

平成 29 年 度

専門科目教育要項

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科
口腔保健衛生学専攻

ま え が き

この教育要項は、歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻の授業を受ける学生の皆さんに、平成28年度に行われる予定の専門教育科目を示し、それらの授業計画および授業内容の概要を知らせるためのものです。

学生の皆さんが、本学における口腔保健衛生学専攻教育の内容を把握すると共に、充実した履修が行えるよう本要項を有意義に活用されることを希望します。

平成29年4月

歯学部口腔保健学科教育委員会

口腔保健学科

基本的理念

温かく豊かな人間性を有し、口腔保健・福祉の立場から、人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識および技術をもって広く社会貢献し、指導的役割を果たすことのできる人材を育成する。

一般教育目標

口腔保健学科では、次のような一般教育目標の基に教育を行っています。

1. 生命の尊厳と基本的な科学原理・概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
2. 基本的人権を尊重し、相手の心情と行動を理解して人と接する能力を身につける。
3. 社会における口腔保健・福祉の果たす役割とその重要性を理解する。
4. 心身の様々な状態を理解し、口腔保健に関する知識および技術を修得する。
5. 科学的探究心と問題解決能力を身につけ、生涯学習への意欲を培う。
6. 保健・医療・福祉等の関連職種と連携して活動できる能力を身につける。
7. 口腔保健の立場から国際貢献ができる能力を修得する。
8. 深い人間理解と医療人としての高い倫理観、豊かな感性を身につける。
9. QOLの向上に関わるものづくりの専門家として、自らの高度な知識と技術を社会に還元する意欲を養う。

口腔保健学科のディプロマポリシー

口腔保健学科では、教養部および各専攻における、基礎から臨床、実践に統合する体系的学習を行い、進級要件（東京医科歯科大学全学共通科目履修規則及び東京医科歯科大学専門科目履修規則）を満たし、卒業までに、所定の単位を修得し、以下の要件を満たしている者に学位を授与する。

1. 幅広い教養と豊かな感性

全学共通科目から専門の臨床・臨地実習に至る全教育課程を通して、口腔保健・医療・福祉領域の専門職に必要とされる幅広い教養ならびに人々の心情と行動を理解できる豊かな感性と高い倫理観を身につけている。

2. 問題提起、解決能力

口腔保健・医療の急速な進歩ならびに口腔保健・医療・福祉への多様なニーズに対応できるよう、科学的根拠に基づいた論理的思考力と、主体的に問題を提起、解決する能力を有している。

3. 国際性

口腔保健・医療・福祉分野における国際貢献への高い関心を有し、国際活動・協力を実践するための基礎力を備えている。

歯科衛生および歯科技工の領域において指導的役割を担えるよう、専門職としての高度な知識と技能を有していることが求められる。また、近年は関連多職種と連携した口腔保健の実践が求められており、チームとしての保健・医療・福祉活動に専門職として参加できる基礎力を修得していることが必須である。

口腔保健衛生学専攻のカリキュラムポリシー

東京医科歯科大学の教育理念、および歯学部口腔保健学科の教育理念に基づき、口腔保健衛生学専攻の教育目標をふまえて、ディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラムの策定方針を以下のとおり定める。

1. 全学共通科目の人文・社会科学、および専門科目の相談援助関連の履修全体を通じて、人を思いやれる心とコミュニケーション力を育て、医療人としての倫理観を培う教育を行う。
2. 全学共通科目の自然科学の学びを基礎に、専門課程では人体の構造と機能及び疾病、疾病の成り立ちと回復過程の促進、卒業研究等の履修により、学際的科学的視点と研究への意欲を培う。
3. PBLテュートリアル授業およびグループ討論で学ぶ口腔保健と専門職、社会保障など幅広い科目の履修を通してとおして、人々の健康・生活における諸問題を発見・分析し、解決へとつなげる力を養成する。
4. 歯科衛生過程の基礎理論、健康教育の基礎および企画・実践・評価、歯科衛生臨床・臨地実習等の履修をとおして、歯科衛生に関する知識と技術を基礎から応用まで段階的に学び、人々の口腔と全身の健康を守り、推進するための専門的な力を醸成する。
5. 保健医療サービス、介護福祉関連科目等の履修および他学科・専攻との合同授業をとおして、保健・医療・福祉分野等の他職種と連携した口腔保健を実践するための基礎力を育成する。
6. 科学英語、口腔保健と国際協力等の科目の履修をとおして、国際協力に関心をもち、海外の文化、社会への理解を深め、国際貢献への姿勢と能力を身につける教育を行う。

目 次

まえがき	
基本的理念	
一般教育目標	
口腔保健学科のディプロマポリシー	
口腔保健衛生学専攻のカリキュラムポリシー	
東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成27年度以降入学者）	1
東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成26年度以前入学者）	11
東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規	21
東京医科歯科大学試験規則	22
東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科試験内規	25
学生周知事項等	
歯科衛生士国家試験について	27
社会福祉士国家試験について	28
学生周知事項	29
災害関係連絡事項	33
学生・女性支援センター（5号館3階）について	35
保健管理センター（5号館2階）について	36
図書館（M&Dタワー3・4階）について	37
国立美術館キャンパスメンバーズについて	39
1号館西・2号館・7号館の管理、使用について	40
歯学部附属病院の機構	43
湯島キャンパス案内	46
1号館西6～8階平面図	47
2号館見取り図	48
7号館平面図	49
1号館の配置	50
2号館、7号館の配置	51
10号館、M&Dタワーの配置	52
3号館、歯科棟の配置	53
平成29年度歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻専門課程科目授業計画表	54
歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻科目責任者連絡先一覧	55

第 1 学年 履修ユニット.....	56
人体の構造と機能 I	57
栄養と代謝.....	59
公衆衛生学.....	61
社会保障 I	63
口腔保健と専門職.....	65
歯科衛生学総論.....	66
メディア情報学.....	68
臨床体験実習.....	70
 第 2 学年 履修ユニット.....	 71
臨床体験実習.....	72
人体の構造と機能 II	75
科学英語 I	79
科学英語 II	81
歯・口腔の構造と機能.....	82
歯の形態学.....	88
口腔保健衛生基礎科学.....	91
病理学総論.....	94
病原微生物と生体防御.....	96
口腔病理学.....	99
薬理学.....	101
社会保障 II	103
保健医療サービス.....	105
歯科保存学.....	108
小児歯科学.....	111
歯科補綴学.....	113
口腔外科・歯科麻酔学.....	115
臨床医学 I	118
口腔疾患予防基礎学 I	121
口腔疾患予防基礎学 II	124
口腔疾患予防基礎学実習.....	127
健康教育の基礎 I	132
健康教育の基礎 II	134
食生活教育.....	137
生体材料学.....	140

臨床検査.....	142
歯科診療補助論Ⅰ.....	144
歯科診療補助論Ⅱ.....	147
臨床口腔保健衛生実習Ⅰ.....	151
歯科衛生過程の基礎.....	153
児童・家庭福祉Ⅰ.....	155
障害児・者福祉Ⅰ.....	157
地域福祉Ⅰ.....	159
高齢者福祉Ⅰ.....	161
介護福祉Ⅰ.....	162
相談援助の基盤と専門職Ⅰ.....	163
相談援助演習Ⅰ.....	165
児童・家庭福祉Ⅱ.....	167
障害児・者福祉Ⅱ.....	168
地域福祉Ⅱ.....	170
高齢者福祉Ⅱ.....	171
現代社会と福祉Ⅰ.....	172
現代社会と福祉Ⅱ.....	175
ソーシャルワークⅠ.....	177
第3学年 履修ユニット.....	179
小児歯科学.....	180
歯科薬理・薬剤学.....	182
矯正歯科学.....	185
歯科放射線学.....	187
包括的歯科医療の実際.....	189
口腔疾患予防学の実践と応用.....	191
医学一般Ⅱ.....	198
健康教育の企画と実践Ⅰ.....	201
臨床口腔保健衛生応用学Ⅱ.....	205
歯科衛生過程専門演習.....	209
歯科衛生臨床実習.....	211
歯科衛生臨地実習.....	213
高齢者福祉.....	214
社会調査の基礎.....	216
介護福祉.....	218

児童・家庭福祉Ⅰ	220
障害児・者福祉Ⅰ	222
地域福祉Ⅰ	224
相談援助の基盤と専門職Ⅱ	226
相談援助演習Ⅰ	227
卒業研究	229
口腔保健と国際協力	234
児童・家庭福祉Ⅱ	237
障害児・者福祉Ⅱ	238
地域福祉Ⅱ	240
相談援助の基盤と専門職Ⅲ	241
権利擁護	243
社会福祉行政	245
ソーシャルワークⅡ	246
相談援助実習指導	248
相談援助実習	250
第4学年 履修ユニット	251
歯科衛生臨床実習	252
歯科衛生臨地実習	254
卒業研究	255
相談援助実習指導	261
相談援助実習	263
歯科衛生臨床・臨地応用実習	264
全身と口腔の健康評価	265
顎口腔機能の育成と回復	267
相談援助演習Ⅱ	270
口腔疾患予防学演習	272
口腔健康教育演習	273
臨床口腔保健衛生基礎学演習	274
公的扶助	275
コミュニティーワーク	276
相談援助演習Ⅲ	277

福祉計画	279
司法福祉	280
福祉運営管理	281
就労支援サービス	283
健康教育の企画と実践Ⅱ	284

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則 (平成28年度以降入学者)

〔平成22年3月30日〕
規則第41号

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則(平成16年規程第4号。以下「学則」という。)定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(専門科目の履修)

第2条 専門科目の履修については、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て別表1に定めるとおりとする。

(授業)

第3条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

(1単位当たりの授業時間)

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- (1) 講義 15時間
- (2) 演習 30時間
- (3) 実習 45時間

2 前項第3号の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科の臨地実習の1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- (1) 看護学専攻 45時間
- (2) 検査技術学専攻 30時間

(編入学者、転入学者の単位認定)

第5条 学則第12条から第18条の2までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）におい

て行うものとする。

3 在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

(再入学の単位認定)

第6条 学則第19条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

(編入学者、転入学者、再入学者の在学年限)

第7条 学則第12条から第19条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第32条第1項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

(試験及び単位)

第8条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。

5 学習の評価は、別表2のとおりとする。

6 単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。

7 試験の方法に関しては別に定める。

(進級要件)

第9条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。

2 医学部医学科にあつては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、なお成業の見込みがないと認められたときは、学則第33条第1号の規定により退学を命ずる。

(卒業認定)

第10条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

第11条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部履修規則（平成16年規則第201号）は、廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成16年規則第213号）は、廃止する。
- 4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
- 5 平成22年3月31日において現に歯学部在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第15号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年2月3日規則第19号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年3月30日規則第60号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年3月29日規則第56号）

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 平成25年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成25年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1（3）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年5月30日規則第73号）

この規則は、平成25年5月30日から施行し、平成25年4月17日から適用する。

附 則（平成26年3月25日規則第8号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成25年10月1日の在学者については、平成25年度に医学部又は歯学部1年次に入学した者にのみ改正後の別表1（7）を適用する。
（平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）
- 3 前項の規定にかかわらず、平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表1（7）は、次のとおりとし、平成25年10月1日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目	単位数	履修対象学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
医療リーダーシップ特論1	1	○	○				
医療リーダーシップ特論2	1		○				
医療リーダーシップ特論3	1		○				
医療リーダーシップ特論4	1			○	○ (※2)		
医療リーダーシップ特論5	1			○ (※1)			
国際教養特論1	1	○	○				
国際教養特論2	1		○	○	○ (※2)		
国際教養特論3	1		○	○	○ (※2)		
計	8						

※1 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※2 医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※3 医療リーダーシップ特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を、3を履修しなければ4を、4を履修しなければ5を履修することができる。

ない。

※4 国際教養特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を履修することができない。

別表 1

口腔保健学科（口腔保健衛生学専攻）教育課程

区分	授業科目	単位数			履修学年								
					1年		2年		3年		4年		
		必修	選択	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎分野	科学英語Ⅰ	1					○						
	科学英語Ⅱ			1				○					
	人体の構造と機能及び疾病	4				○	○	○					
	歯・口腔の構造と機能	6					○	○					
	疾病の成り立ちと回復過程の促進	6					○	○	○				
	公衆衛生学	1				○							
	社会保障Ⅰ	2				○							
	社会保障Ⅱ	2					○						
	保健医療サービス	2						○					
専門分野	口腔保健と専門職	1			○								
	歯科衛生学総論	1				○							
	臨床歯科医学	7					○	○	○	○			
	チーム医療の基礎	1								○			
	チーム医療の実践	1								○			
	口腔機能管理実習	1								○			
	高齢者歯科学	1								○			
	障害者歯科学	1								○			
	臨床医学	4						○	○				
	口腔疾患予防学	8						○	○	○	○		
	臨床口腔保健応用学	1										○	
	健康教育の基礎	2						○	○				
	メディア情報学	1					○						
	食生活教育	1						○	○				

	健康教育の企画と実践	3						○	○	○	○
	生体材料学	1				○					
	臨床検査	1					○				
	歯科診療補助論	5				○	○	○			
	臨床口腔保健衛生実習	2				○	○	○			
	歯科衛生臨床実習	13							○	○	○
	歯科衛生臨地実習	6								○	○
	臨床体験実習	1			○	○	○				
統合分野	歯科衛生過程	2					○	○			
	社会調査の基礎	2						○			
	卒業研究	4						○	○	○	○
	児童・家庭福祉Ⅰ		1			○					
	障害児・者福祉Ⅰ		1				○				
	地域福祉Ⅰ		1			○					
	高齢者福祉Ⅰ		1			○					
	介護福祉Ⅰ		1			○					
	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	1				○					
	相談援助演習Ⅰ		1				○				
	相談援助演習Ⅱ		1					○			
	口腔保健と国際協力	1						○	○		
	歯科衛生学演習	1								○	○
口腔保健衛生選択科目	歯科衛生臨床・臨地応用論		1							○	○
	歯科衛生研究		1						○	○	
	口腔保健衛生エクスターンシップ		1						○	○	○
	口腔保健マネジメント論		1							○	○
	保健行動科学		1							○	○
	地域口腔保健論		1							○	○
	在宅訪問・災害口腔保健医療		1							○	○
	先端歯科医療学		1							○	○

社会福祉選択科目	児童・家庭福祉Ⅱ		1			○				
	障害児・者福祉Ⅱ		1			○				
	地域福祉Ⅱ		1		○					
	公的扶助		2				○			
	コミュニティーワーク		2				○			
	相談援助の基盤と専門職Ⅱ		1				○			
	相談援助の基盤と専門職Ⅲ		2				○			
	介護福祉Ⅱ		1				○			
	高齢者福祉Ⅱ		1			○				
	現代社会と福祉Ⅰ		2		○					
	現代社会と福祉Ⅱ		2			○				
	ソーシャルワークⅠ		4		○	○				
	ソーシャルワークⅡ		4				○	○		
	権利擁護		1				○			
	社会福祉行政		1				○			
	福祉計画		1				○			
	司法福祉		1				○			
	福祉運営管理		2					○		
	就労支援サービス		1				○			
	相談援助演習Ⅲ		3				○	○	○	○
相談援助実習指導		2				○	○	○	○	
相談援助実習		4				○	○	○	○	
計	98	7	49							

※選択科目から4単位以上修得する。

別表 2

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A +	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	A	
当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	
当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

口腔保健学科（口腔保健衛生学専攻）

（1）第1学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第2学年に進級することができない。

公衆衛生学、社会保障Ⅰ、口腔保健と専門職、歯科衛生学総論、メディア情報学、
（第1学年に実施される授業を対象とする）人体の構造と機能及び疾病、臨床体験実習

（2）第2学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第3学年に進級することができない。

科学英語Ⅰ、人体の構造と機能及び疾病、歯・口腔の構造と機能、社会保障Ⅱ、保健医療サービス、健康教育の基礎、食生活教育、生体材料学、臨床検査、臨床体験実習、相談援助の基盤と専門職Ⅰ、

（選択科目である）児童・家庭福祉Ⅰ、障害児・者福祉Ⅰ、地域福祉Ⅰ、高齢者福祉Ⅰ、介護福祉Ⅰ、相談援助演習Ⅰのうち少なくとも3単位

（第2学年に実施される授業を対象とする）疾病の成り立ちと回復過程の促進、臨床歯科医学、臨床医学、口腔疾患予防学、歯科診療補助論、臨床口腔保健衛生実習、歯科衛生過程

（3）第3学年の前期までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第3学年後期以降の授業科目を履修することができない。

疾病の成り立ちと回復過程の促進、臨床医学、歯科診療補助論、臨床口腔保健衛生実習、歯科衛生過程、社会調査の基礎、口腔保健と国際協力

（選択科目の4単位目として選択した場合の）相談援助演習Ⅱ、

（第3学年前期に実施される授業を対象とする）臨床歯科医学、口腔疾患予防学、健康教育の企画と実践

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成27年度以前入学者）

平成22年3月30日
規則第41号

（趣旨）

第1条 東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成16年規程第4号。以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

（専門科目の履修）

第2条 専門科目の履修については、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て別表1に定めるとおりとする。

（授業）

第3条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修、選択必修又は選択とする。

（1単位当たりの授業時間）

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- (1) 講義 15時間
- (2) 演習 30時間
- (3) 実習 45時間

2 前項第3号の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科の臨地実習の1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- (1) 看護学専攻 45時間
- (2) 検査技術学専攻 30時間

（編入学者、転入学者の単位認定）

第5条 学則第12条から第18条の2までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）におい

て行うものとする。

3 在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

(再入学の単位認定)

第6条 学則第19条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

(編入学者、転入学者、再入学者の在学年限)

第7条 学則第12条から第19条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第32条第1項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

(試験及び単位)

第8条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。

5 学習の評価は、別表2のとおりとする。

6 単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。

7 試験の方法に関しては別に定める。

(進級要件)

第9条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。

2 医学部医学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、なお成業の見込みがないと認められたときは、学則第33条第1号の規定により退学を命ずる。

(卒業認定)

第10条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

第11条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部履修規則（平成16年規則第201号）は、廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成16年規則第213号）は、廃止する。
- 4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
- 5 平成22年3月31日において現に歯学部在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第15号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年2月3日規則第19号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年3月30日規則第60号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年3月29日規則第56号）

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 平成25年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成25年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1（3）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年5月30日規則第73号）

この規則は、平成25年5月30日から施行し、平成25年4月17日から適用する。

附 則（平成26年3月25日規則第8号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成25年10月1日の在学者については、平成25年度に医学部又は歯学部1年次に入学した者にのみ改正後の別表1（7）を適用する。
（平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）
- 3 前項の規定にかかわらず、平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表1（7）は、次のとおりとし、平成25年10月1日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目	単位数	履修対象学年						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
選択科目	医療リーダーシップ特論1	1	○	○				
	医療リーダーシップ特論2	1		○				
	医療リーダーシップ特論3	1		○				
	医療リーダーシップ特論4	1			○	○ (※2)		
	医療リーダーシップ特論5	1			○ (※1)			
	国際教養特論1	1	○	○				
	国際教養特論2	1		○	○	○ (※2)		
	国際教養特論3	1		○	○	○ (※2)		
	計	8						

- ※1 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。
- ※2 医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。
- ※3 医療リーダーシップ特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を、3を履修しなければ4を、4を履修しなければ5を履修することができる。

ない。

※4 国際教養特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を履修することができない。

別表 1

口腔保健学科（口腔保健衛生学専攻）教育課程

区分	授業科目	単位数		履修学年								
				1年		2年		3年		4年		
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎分野	科学英語Ⅰ	1				○						
	科学英語Ⅱ		1				○					
専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病	6			○	○	○					
	歯・口腔の構造と機能	4				○	○					
	口腔保健衛生基礎科学実習	1				○	○					
	疾病の成り立ちと回復過程の促進	6				○	○					
	公衆衛生学	1			○							
	社会保障Ⅰ	2			○							
	社会保障Ⅱ	2				○						
	保健医療サービス	2					○					
専門分野	口腔保健と専門職	1		○								
	歯科衛生学概論Ⅰ	1			○							
	歯科衛生学概論Ⅱ	1			○							
	口腔衛生学	1				○						
	臨床歯科医学	8				○	○	○	○			
	口腔疾患予防学	8				○	○	○	○			
	口腔健康科学	1				○						
	健康教育の基礎	2				○	○					
	食生活教育	1					○					
	高齢者福祉	2							○			
	社会調査の基礎	2							○			
	健康教育の企画と実践	3							○	○	○	
	生体材料学	1					○					
	臨床検査	1						○				
	歯科薬理・薬剤学	1							○			
介護福祉	2							○				

	歯科口腔保健衛生基礎学	2				○					
	臨床口腔保健衛生応用学Ⅰ	2					○				
	臨床口腔保健衛生応用学Ⅱ	2						○	○		
	歯科衛生臨床実習	13							○	○	○
	歯科衛生臨地実習	5							○	○	○
	歯科衛生臨床・臨地応用実習		1							○	○
	全身と口腔の健康評価	1								○	
	顎口腔機能の育成と回復	1									○
統合分野	臨床体験実習	1			○	○	○				
	歯科衛生過程	2				○	○	○	○		
	卒業研究	4						○	○	○	○
	児童・家庭福祉Ⅰ	1						○			
	障害児・者福祉Ⅰ	1						○			
	地域福祉Ⅰ	1						○			
	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	1						○			
	相談援助の基盤と専門職Ⅱ	1						○			
	相談援助演習Ⅰ	1								○	
	相談援助演習Ⅱ	2									○
展開分野	口腔保健と国際協力		2					○			
	口腔疾患予防学演習		1							○	○
	口腔健康教育演習		1							○	○
	臨床口腔保健衛生基礎学演習		1							○	○
	児童・家庭福祉Ⅱ		1					○			
	障害児・者福祉Ⅱ		1					○			
	地域福祉Ⅱ		1					○			
	公的扶助		2							○	
	コミュニティーワーク		2							○	
	相談援助の基盤と専門職Ⅲ		2						○		
	相談援助演習Ⅲ		2								○
	現代社会と福祉Ⅰ		2			○					

現代社会と福祉Ⅱ		2				○				
ソーシャルワークⅠ		4			○	○				
ソーシャルワークⅡ		4					○	○		
権利擁護		1					○			
社会福祉行政		1					○			
福祉計画		1								○
司法福祉		1							○	
福祉運営管理		2								○
就労支援サービス		1								○
相談援助実習		4						○	○	○
相談援助実習指導		2						○	○	○
計	102	43								

別表 2

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A +	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	A	
当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	
当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

口腔保健学科（口腔保健衛生学専攻）

（１）第１学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第２学年に進級することができない。

公衆衛生学、社会保障Ⅰ、口腔保健と専門職、歯科衛生学概論Ⅰ、歯科衛生学概論Ⅱ、
（第１学年に実施される授業を対象とする）人体の構造と機能及び疾病、臨床体験実習

（２）第２学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第３学年に進級することができない。

科学英語Ⅰ、人体の構造と機能及び疾病、歯・口腔の構造と機能、口腔保健衛生基礎科学実習、疾病の成り立ちと回復過程の促進、社会保障Ⅱ、保健医療サービス、口腔衛生学、口腔健康科学、健康教育の基礎、食生活教育、生体材料学、臨床検査、歯科口腔保健衛生基礎学、臨床口腔保健衛生応用学Ⅰ、臨床体験実習、相談援助の基盤と専門職Ⅰ、
（第２学年に実施される授業を対象とする）臨床歯科医学、口腔疾患予防学、歯科衛生過程

（３）第３学年の前期までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第３学年後期以降の授業科目を履修することができない。

高齢者福祉、社会調査の基礎、歯科薬理・薬剤学、介護福祉、児童・家庭福祉Ⅰ、障害児・者福祉Ⅰ、地域福祉Ⅰ、相談援助の基盤と専門職Ⅱ
（第３学年前期に実施される授業を対象とする）臨床歯科医学、口腔疾患予防学、健康教育の企画と実践、臨床口腔保健衛生応用学Ⅱ、歯科衛生過程

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規

平成23年12月7日
歯学部長制定

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学歯学部専門科目履修規則（平成22年規則第41号。以下「履修規則」という。）第11条に基づき、歯学部口腔保健学科における専門に関する教育科目の履修に関し、必要な事項を定めるものとする。

(学習の評価)

第2条 定期試験及び追試験の成績については、担当教員が100点満点で採点し、授業科目ごとに履修規則別表2のとおり学習の評価を行う。

2 第1項の学習の評価に、平常の学習の成果を加味することができる。

(必修科目及び仮進級)

第3条 履修規則別表3(4)(5)に掲げる科目は、必修科目とする。

2 必修科目に係る試験の不合格者については、仮進級を認めない。

(G P)

第4条 評価とG Pとの対応は次のとおりとする。

成績評価	A+	A	B	C	D	F
G P	4.0	3.5	3.0	2.0	1.0	0.0

2 卒業要件に含まない科目のうち、単位を認定されなかった科目については、未履修としG P A (Grade Point Average) の計算式には算入しない。

(補則)

第5条 この内規に定めるもののほか、履修に関し必要な事項は各専攻において別に定めることができる。

附 則

- この内規は、平成23年12月7日から施行し、平成23年4月1日から適用する。
- 平成23年3月31日において現に歯学部口腔保健学科に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日制定）

- この内規は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

東京医科歯科大学試験規則

（平成23年4月1日）
規則第1号

（趣旨）

第1条 この規則は、東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目及び専門に関する教育科目（以下「授業科目」という。）の試験に関して、東京医科歯科大学学則（平成16年規程第4号。以下「学則」という。）、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則（平成16年規則第217号。）及び東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成22年規則第41号。）に定めるもののほか、必要な事項を定める。

（試験の種類）

第2条 試験は、本試験、追試験及び再試験とする。

（試験の方法）

第3条 試験は、筆答試験、コンピュータ活用試験、口答試験及び実地試験のいずれかによって行う。

（本試験）

第4条 本試験は、定期試験及び共用試験をいう。

2 共用試験は、医学部医学科及び歯学部歯学科において行う。

（定期試験）

第5条 定期試験とは、履修した授業科目について行う試験をいう。

2 定期試験の実施日時は、試験実施日の2週間前までに公示する。

3 定期試験を受験することのできる者は原則として次のとおりとする。

(1) 講義及び演習 当該授業科目の授業時間数の3分の2以上履修した者

(2) 実習 当該授業科目の授業時間数の4分の3以上履修した者

4 定期試験の結果は、公示する。

5 第3項に定めるもののほか、定期試験の受験資格に関し必要な事項は、医学部、歯学部又は教養部（以下「部局」という。）において別に定めることができる。

（共用試験）

第6条 共用試験とは、知識・問題解決能力を主として評価する多肢選択形式のコンピュータ活用試験（CBT）及び技能・態度を主として評価する客観的臨床能力試験（OSCE）をいう。

2 共用試験の実施日時は、試験実施日の2週間前までに公示する。

3 共用試験を受験することのできる者は医学部医学科及び歯学部歯学科において

別に定める。

4 共用試験の結果は、公示する。

(追試験)

第7条 追試験とは、病気、その他止むを得ない理由により本試験を受験できなかった者に対して行う試験をいう。ただし、追試験は原則として1回限りとする。

2 追試験を受験しようとする者(以下「追試験申請者」という。)は、所定の受験申請書に医師の診断書等の証明書類を添えて、本試験終了後原則として5日以内に医学部長、歯学部長又は教養部長(以下「学部長等」という。)に願い出て、許可を受けなければならない。

3 学部長等は、前項の申請について、教育委員会又は教務委員会と協議のうえ、その可否を決定し、追試験申請者に通知するものとする。

4 追試験受験決定が否の場合は、本試験を不合格とする。

5 試験の結果は、公示する。

6 第2項に定めるもののほか、追試験の申請に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

(再試験)

第8条 再試験とは、本試験又は追試験を受験し、不合格となった者に対し行う試験をいう。ただし、再試験は、原則として1回限りとする。

2 再試験の実施日時は、指定の期日までに公示する。

3 再試験は当該学部長等の判断により、受験を許可しないことがある。

4 再試験受験決定が否の場合は、当該授業科目を不合格とする。

5 試験の結果は、公示する。

6 第3項に定めるもののほか、再試験の許可に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

(試験の成績)

第9条 本試験、追試験及び再試験による成績については、科目責任者が100点満点で採点し、60点以上を「当該科目の到達目標のうち最低限を達成した」ものとして合格とする。

2 共用試験の成績については、前項の規定にかかわらず、医学部医学科及び歯学部歯学科において別に定める。

(成績の報告)

第10条 科目責任者は、本試験、追試験及び再試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長等に報告しなければならない。

2 医学科教育委員会委員長又は歯学科教育委員会委員長は、共用試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長に報告しなければならない。

(罰則)

第11条 試験において不正行為があったときは、学則第58条の規定による懲戒の手続きをとるものとする。

(補則)

第12条 この規則に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部試験規則（平成16年規則202号）は廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部試験規則（平成16年規則214号）は廃止する。
- 4 この規則は、平成23年3月31日において現に医学部または歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降在学者が所属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の規則にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部試験規則または東京医科歯科大学歯学部試験規則の例による。

附 則（平成28年3月31日規則第74号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科試験内規

平成23年12月7日
歯学部長制定

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学試験規則（平成23年規則第1号。以下「試験規則」という。）第12条に基づき、歯学部口腔保健学科における専門に関する教育科目の試験に関し、必要な事項を定めるものとする。

(試験の種類)

第2条 試験規則第5条に規定する定期試験とは、期末試験及び中間試験とする。

(期末試験及び中間試験)

第3条 期末試験とは、履修を修了した授業科目及び授業科目を構成するユニット（以下「ユニット」という。）について定期的に行う試験をいう。

2 中間試験とは、履修中の授業科目及びユニットについて適宜行う試験をいう。

3 期末試験及び中間試験の実施時期については、口腔保健衛生学専攻及び口腔保健工学専攻（以下、「各専攻」という。）において別に定める。

(追試験)

第4条 追試験は、原則として定期試験の実施期間に行う。

(再試験)

第5条 定期試験に係る再試験は、原則として定期試験の実施期間に行う。

(補則)

第6条 この内規に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は各専攻において別に定めることができる。

附 則

1. この内規は、平成23年12月7日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

2. 東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科に平成23年3月31日に在学し、引き続き本学科の在学者となった者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者に係る試験については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

歯科衛生士国家試験ならびに社会福祉士国家試験について

歯科衛生士国家試験

〔試験の概要〕

(試験科目)

人体（歯・口腔を除く。）の構造と機能、歯・口腔の構造と機能、疾病の成り立ち及び回復過程の促進、歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み、歯科衛生士概論、臨床歯科医学、歯科予防処置論、歯科保健指導論及び歯科診療補助論

(受験資格)

- (1) 文部科学大臣の指定した歯科衛生士学校を卒業したもの（卒業見込みの者を含む。）
- (2) 厚生労働大臣の指定した歯科衛生士養成所を卒業したもの（卒業見込みの者を含む。）
- (3) 外国の歯科衛生士学校を卒業し、又は外国において歯科衛生士免許を得た者であって、厚生労働大臣が（1）又は（2）に掲げる者と同等以上の知識及び技能を有すると認めたもの

(試験期日)

例年、3月の第1日曜日に行われる。

第25回（前回）の歯科衛生士国家試験は、平成29年3月5日（日）に行われた。

(受験手数料)

受験手数料の額は14,300円である。（変更の可能性あり）

(受験手続)

1. 必要書類

ア. 受験願書

イ. 写真

ウ. 卒業証明書又は卒業見込証明書（受験資格の（1）、（2）に該当する者）

なお、（1）、（2）に該当する者で卒業見込証明書を提出した者にあつては、3月16日午後5時までに卒業証明書を提出する。期日までに、提出されないときは、当該受験は無効となる。

2. 出願について

出願については、大学で必要書類をとりまとめ、一般財団法人歯科医療振興財団に提出する。

なお、受験願書、写真用台紙、受験手数料払込用紙等は、一般財団法人歯科医療振興財団から毎年10月中旬に各養成機関宛に届くので、受験予定者は歯学系教務掛にて受領する。

試験の詳細については、受験案内で確認すること。

社会福祉士国家試験

〔試験の概要〕

(試験科目)

人体の構造と機能及び疾病、心理学理論と心理的支援、社会理論と社会システム、現代社会と福祉、地域福祉の理論と方法、福祉行政と福祉計画、社会保障、障害者に対する支援と障害者自立支援制度、低所得者に対する支援と生活保護制度、保健医療サービス、権利擁護と成年後見制度、社会調査の基礎、相談援助の基盤と専門職、相談援助の理論と方法、福祉サービスの組織と経営、高齢者に対する支援と介護保険制度、児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度、就労支援サービス、更生保護制度

(受験資格)

- (1) 4年制大学等で指定科目を修めて卒業したもの
- (2) 2年制（又は3年制）短期大学等で指定科目を修めて卒業し、指定施設において2年以上（又は1年以上）相談援助の業務に従事したもの
- (3) 社会福祉士短期養成施設（6月以上）を卒業（修了）したもの
- (4) 社会福祉士一般養成施設（1年以上）を卒業（修了）したもの

(試験期日)

次回（第30回）の試験は、平成30年1月下旬に行われる予定
第29回（前回）の試験は、平成29年1月29日（日）に行われた。

(受験手数料)

受験手数料の額は7,540円である。

(受験手続)

1. 必要書類
 - ア. 受験申込書
 - イ. 写真
 - ウ. 卒業証明書又は卒業見込証明書（受験資格の（1）に該当する者）

2. 出願について

公益財団法人社会福祉振興・試験センターより本学に出願書類が届いた後、歯学系教務係から社会福祉士養成課程履修者（4学年）に出願書類を配布するので、受験予定者は出願書類を歯学系教務係に提出すること。

学生周知事項

1. 掲示について

学生への告知、通知、連絡はすべて掲示板に掲示する。掲示の見落としがないよう十分注意すると共に、1日に1度は掲示を見て不利益をこうむらないように心がけること。

2～4学年用の教務連絡用掲示板は1号館西7階リフレッシュルーム前に設置されている。また、eラーニングシステム（WebClass）や電子メール（Webメール）によって連絡されることがあるので頻繁に確認すること。

2. 学生証について

- (1) 学生証は常に携帯すること。
- (2) 学生証を紛失または破損等したときは、学務企画課（1号館西1階）に届け出て再交付の手続きをすること。再交付費用（1,500円）は学生本人の負担とする。
- (3) 学生証は卒業、退学または除籍のときには直ちに学務企画課へ返納すること。返却できない場合は、費用を負担することとする。

3. 学生旅客運賃割引

- (1) 課外活動または帰省等でJR線を利用し、乗車区間が片道100kmを超える場合、旅客運賃の割引（2割）を受けることができる。
- (2) 学割証の不正使用（第三者への貸与等）は絶対にしないこと。
- (3) 年間使用限度枚数は1人10枚（1回につき2枚まで）
- (4) 私鉄、バス等の利用において通学証明書を必要とする場合は、所定の用紙をもらい、学務企画課企画調査係（1号館西1階）に問い合わせること。
- (5) 学割証が必要なときは5号館4階談話室にある証明書自動発行機を使用すること。
利用日時：月曜日～金曜日、8:30～21:00
問い合わせ先：学務企画課企画調査係（内線5075）

4. 証明書等

証明書等は、歯学系教務係および証明書自動発行機にて発行する。

<http://www.tmd.ac.jp/campuslife/procedure/shigaku/index.html>

- (1) 次に掲げるものは、歯学系教務係（歯科棟南2階）で発行するので歯学部証明書交付願を記入し提出すること（受付時間 8:30～17:15）
(①と②の交付は、原則として交付願を受理した日から1週間程度要する。)
 - ①成績証明書
 - ②調査書
 - ③英文の在学証明書

(2) 次に掲げるものは、5号館 4階談話室にある自動発行機で発行する。

(利用日時：月曜日～金曜日、8：30～21：00)

(問い合わせ先：学務企画課企画調査係（内線 5074）)

①在学証明書

②卒業見込証明書（第4学年在学者のみ）

(3) 次に掲げるものは、学務企画課企画調査係（1号館西 1階）で発行する。

①通学証明書（交通機関から請求された場合に限る）

通学証明書が必要な場合は、企画調査係に問い合わせること。

鉄道やバスの通学定期券を購入する場合は、住居の最寄り駅または大学の最寄り駅にて学生証を提示し、直接購入すること。

5. 住所・氏名等の変更について

本人または保証人の住所、氏名、電話、本籍等（電話番号を含む）に変更が生じたときには、速やかに歯学系教務係へ申し出て所定の手続きをすること。

6. 欠席、休学、復学、退学

(1) 授業の欠席

病気その他の事由により欠席した場合は欠席届を歯学系教務係（歯科棟南 2階）へ提出すること。（病気の場合は、必ず医師の診断書を添付すること。）

(2) 休学

病気その他の事由により、引き続き3か月以上休学する場合は、休学願（保証人連署）を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること。（病気の場合は、必ず医師の診断書を添付すること。）

休学を許可される期間は、通算して2年以内。（特別の事情があるときは、さらに1年以内の休学が許可されることがある。）

(3) 復学

休学している学生が、休学許可期間の途中または満了時に復学を希望する場合は、復学願（保証人連署）を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること。（病気を理由に休学した場合は、復学可能である旨の医師の診断書を添付した上で、保健管理センターを受診する必要がある。）

(4) 退学

病気その他の事由により、学業を継続することが困難となり、退学しようとする場合は、退学願（保証人連署）を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること。

なお、退学するにあたっては、事前に担任教員等と面談し、退学事由等について十分相談すること。

7. ネームプレート着用について

歯学部学生であることを明示するために、歯学部・同附属病院では必ずネームプレートを着用すること。

プレートは貸与とし、紛失または破損した場合は、再交付を受けるものとする。この場合は実費を負担すること。

学科専攻名と氏名の間のスペースに学年を表示するシール（例「OH2」）を貼ること。シールは歯学系教務係で配布しているので、汚損したら適宜貼りかえること。

8. 授業中（大学行事、課外授業を含む）の事故等

入学時に加入した「学生教育研究災害傷害保険」および「医学生教育研究賠償責任保険」の対象となる。（詳細は「学生生活の手引き」を参照すること。） 問い合わせ先：学生支援事務室（5号館3階）内線（5077）

<http://www.tmd.ac.jp/campuslife/support/insurance-regime/index.html>

9. 遺失物および拾得物

学内での遺失物に関する問い合わせまたは拾得物の届け出は、下記のとおりです。

(1) 講義室、実習室、ロッカー室：歯学系教務係（歯科棟南 2 階：内線 5411）

学部防災センター（歯科棟北 1 階）

(2) 上記（1）以外：歯学部総務課（歯科棟南 2 階：内線 5406）

10. 授業料の払込について

金融機関の預金口座振替により、授業料を引き落とす。

前期分授業料は 4 月中に、後期分授業料は 10 月中に納付すること。

11. 湯島キャンパスにおける講義に際しての注意事項

(1) 平日の午前 8 時 30 分から午後 5 時まで歯学部附属病院玄関から出入りすることを原則禁止

(2) 歯学部建物内へは、以下のように出入りすること。

1) 聖門⇔1 号館、2 号館、7 号館

2) 正門⇔1 号館、2 号館、7 号館

3) 御茶ノ水門あるいは丸の内線出口⇔1 号館、2 号館、歯学部附属病院防災センター（歯学部時間外通用口）

(3) 白衣または実習着を着用していない学生は、歯学部附属病院の聖橋側エレベーターを使用すること。

(4) 臨床実習履修中の学生以外がやむを得ない理由で歯学部附属病院内を移動するときは、私語を慎むこと。

(5) 白衣または実習着を着用したまま学外に出ないこと

12. 授業中のパーソナルコンピュータ、スマートフォンなどの機器使用の制限について

授業中におけるパーソナルコンピュータ、タブレット端末、スマートフォンなどの携帯電話等の使用に関して以下のように定めている。

- (1) 当該授業に関係のない機器を使用することを禁ずる。
- (2) 上記 1 の状況において、授業担当者あるいは授業補助者が、学生が当該授業を使用していると認めるときは、これを制限できる。この場合制限とは以下のことをいう。
 - 1) 当該機器の電源を強制的に OFF にする。
 - 2) 当該授業終了時まで授業担当者あるいは授業補助者が当該機器を保管することができる。
 - 3) 当該学生を退出させる。再入室にあたっては当該機器を持ち込んでいないことを条件とする。

13. カードリーダーの設置について

各講義室および実習室、リフレッシュルーム等には、カードリーダーが設置されている。各授業の出席については、原則的にこれらに学生証をタッチすることで登録を行うので、学生証を必ず忘れないようにすること。

なお、授業によりこの装置を使用しないことがある。その場合は、担当教員の指示に従うこと。また、**万が一、学生証を忘れた場合、歯学系教務係でその日に限りの貸し出しカードを一時的に貸与するので申し出ること。**

基本的にはカードリーダーへのタッチで出欠がカウントされる。

14. 学生用メールについて

学生各自に割り当てられたメールアドレス（学籍番号下6桁にos@tmd.ac.jp）宛に、掲示に準じた連絡や、個別の連絡を送信することがあるので、定期的にチェックしておくこと。

15. その他

- (1) クラブ、サークル等宛の郵便物等は、学生支援課の窓口で保管しているので、責任者は適宜確認すること。

なお、個人宛の郵便物等は、大学に配達されることがないようにすること。

- (2) 事務の窓口

教 務 事 務：歯学系教務係（歯科棟南 2 階、内線 5411）

授 業 料 の 納 入：財務施設部財務管理課収入管理係（1 号館西 3 階、内線 5048）

奨 学 金、授業料免除：学生支援事務室（5 号館 3 階、内線 5077） 奨学金：

<http://www.tmd.ac.jp/campuslife/scholarship/index.html>

授業料免除：<http://www.tmd.ac.jp/campuslife/exemption/index.html>

災害関係連絡事項

1. 台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う湯島地区で行う授業の休講、試験の延期の措置等を決定した場合は、下記により本学のホームページ「学部・大学院」ニュース欄に掲載する。

URL: <http://www.tmd.ac.jp/faculties/index.html>

○台風などで首都圏に直接災害が予想される場合

- ・ 午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前 6 時 30 分までに公示する。
- ・ 午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前 10 時までに公示する。
- ・ 夜間（午後 6 時以降）の授業を休講、夜間（午後 6 時以降）の試験を延期とする場合は、午後 4 時までに公示する。

○首都圏における交通機関（JR および大手私鉄・地下鉄など）が全面的に運転を休止している場合

- ・ 午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前 6 時 30 分までに公示する。
- ・ 午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前 10 時までに公示する。
- ・ 夜間（午後 6 時以降）の授業を休講、夜間（午後 6 時以降）の試験を延期とする場合は、午後 4 時までに公示する。

2. 授業中の大規模地震のときの避難場所について

学内で地震や火災などの非常事態が起こった場合、あわてずに教員の指示に従って行動すること。1 号館西での授業中に大規模地震が発生した際には、口腔保健衛生学専攻の学生は 1 号館西 1 階の正面玄関前に避難すること。ただし、状況に応じて別の避難場所に誘導される場合がある。

大学全体としての避難場所は M&D タワー前スペースとなっている。

3. 大規模地震ポケットマニュアルについて

このマニュアルは、大規模地震（震度 5 強以上を想定）が発生した場合の初動対応を掲載している。常時携行し、大規模地震が発生した場合の安全確保や避難及び安否確認等に役立てること。

マニュアルが手元に届かない場合、あるいは破損・紛失した場合は、以下に問い合わせること。英語版のポケットマニュアルも作成しているので、必要な場合は以下に申し出ること。

問い合わせ先：歯学系教務係（歯科棟南 2 階）03-5803-5411

なお、このマニュアルは、ホームページからも確認できる。

（学内専用サイト → 学内専用教職員学生向け情報 → 危機管理に関する情報）

<http://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/20110405/index.html>

4. 安否確認システムについて

このシステムは、大規模地震はもとより、風水害等による本学の学生及び教職員の安否確認のため、携帯電話・スマートフォン・パソコンから安否情報を入力するものである。

大規模地震や風水害の際には、「大規模地震ポケットマニュアル」の「安否確認システムによる報告」を確認し、安否確認システム (<https://asp21.emc-call3rd.jp/tmdu/>) にアクセスし、ID (学籍番号) とパスワード (初期値は ID と同じ) によりログインして自身の安否を入力すること。

今後、このシステムの実効性を高めるため、試行を重ねる予定であるので、その際はメール等により案内する。

なお、このシステムの操作方法等については、ホームページから確認すること。

(学内専用サイト → 教職員学生向け情報サイト → 危機管理に関する情報)

<http://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/20110405/index.html>

学生支援・保健機構について 学生・女性支援センターについて

場所：5号館3階 開室時間：9：00～17：00

学生・女性支援センターは、本学の学生に対して、生活、修学、就職、メンタルヘルスやハラスメント、キャリアパスや学業（仕事）と家庭との両立に関する事など、キャンパスライフ全般に渡り、学生支援活動の充実を図ることを目的として設置されています。

また、以下のとおり学生生活全般及びキャリアに関する相談に応じています。各ホームページに個別相談予約状況や予約方法を記載していますので、お気軽にご利用ください。

なお、本センターは男女問わずご利用頂けます。

<学生相談・就職支援部>・・・学生生活全般に関する事

- ・生活支援、修学支援、就職支援に関する事
- ・メンタル（保健管理センターと連携）に関する相談及びカウンセリングに関する事
- ・ハラスメントに関する相談及びカウンセリングに関する事

☆ キャンパスライフを送るうえでの悩みや困ったことなどについて、個別に相談に応じています。

・月～金（10:30～17:00）1回50分：http://www.tmd.ac.jp/cgi-bin/stdc/cms_reserv.cgi

・国府台キャンパス（保健管理センター内）：週に1回相談に応じています。

URL：<http://www.tmd.ac.jp/labs/gakuseihokenkikou/scsfs/sc/index.html>

連絡先：03-5803-4959 Email：scenter.stc@tmd.ac.jp（月～金 9:00～17:00）

<男女協働・キャリア支援部>・・・キャリア支援や学業（仕事）と家庭との両立支援に関する事

- ・今後の進路や生き方に関する支援及びその相談
- ・妊娠・出産・育児や保育園入園、介護に関する支援及びその相談

☆ 今後のキャリアに関する悩みや、学業と家庭との両立や育児について困ったことがあれば、個別やカップルでのキャリア相談にも応じています。

・月～金（10:30～17:00）1回60分：<http://www.tmd.ac.jp/ang/counsel/index.html>

☆ 学生・女性支援センター内には、授乳・搾乳室も設置しています。

URL：<http://www.tmd.ac.jp/ang/>

連絡先：03-5803-4921 Email：info.ang@tmd.ac.jp（月～金 9:00～17:00）

保健管理センターについて

1. 場所：5号館2階
2. 利用可能時間：8：45～12：00、13：00～17：00
3. 主な業務：（詳細は「保健管理センター案内」を参照してください。）
 - 健康相談、処置（担当医による相談：10：00～12：00、13：00～15：00）
 - **健康診断書の発行**：事前申し込みが必要です。**必ず学生一般定期健康診断を受けていなければなりません。**保健管理センター窓口で相談してください。
 - 健康診断（5月）と各種検査、ワクチン接種（年間予定により実施）
4. 問い合わせ先：内線 5081
ホームページ：<http://www.tmd.ac.jp/cmn/hsc/hsc.htm>

図書館について

1. 場所：M&D タワー3階（カウンター、閲覧席等）、4階（閲覧席、情報検索室等）

2. 利用可能時間：

開館時間	平日	8：30～22：00
	土日祝	10：00～18：30
(情報検索室)	平日	9：00～21：00
	土日祝	11：00～17：30
休館日		年末年始

※プレ開館 土日祝 8:30～10:00

3. 利用方法：（詳細は「図書館ホームページ」を参照してください。）

- 図書館の利用には、利用証が必要です。ICカードタイプの学生証が利用証になります。入館ゲートにかざして入館してください。忘れた場合はカウンターに申し出て下さい。入館はできますが、貸出ができません。
- 探している資料があるか、配架場所等は図書館蔵書検索（OPAC）でお調べください。
- 貸出を希望される資料と利用証を持って、カウンターへお越しください。自動貸出機もご利用いただけます。ただし、CD-ROMなどの付属資料のあるものはカウンターでの貸出のみとなります。貸出可能冊数は図書・製本雑誌合わせて5冊まで、貸出期間は図書は2週間、製本雑誌は1週間です。
- 引き続き資料を利用したい場合、期限内であり、次に予約が入っていない図書に関しては、1回に限り貸出期間を延長することが出来ます。図書館ホームページのMy Libraryもしくはカウンターで延長手続きをしてください。
- 本館・分館間で週に一度、資料の取り寄せを行っています。カウンターで申込手続きを行ってください。（来館でのお申込みのみになります）
- 本館・分館の資料は、どちらの図書館でも返却できます。（返却日は厳守してください）
開館時：カウンターに返却してください。
閉館時：M&D タワー1階、図書館入口のブックポストに返却してください。
- 製本雑誌は自動書庫に保管されています。あらかじめ予約をして4階出庫ステーションからご自身で取り出して、ご利用ください。
出庫予約時のID・パスワードはMyLibraryと同じ統合IDとパスワードです。
- 電子ジャーナルは出版社との契約により、学内LANからの利用のみにとなります。
- 本学の資料を著作権の範囲内で複製することができます。コピーはセルフサービスです。図書館に設置されているコピー機をお使いください。現金またはプリペイドカードでお支払いください。両替はできません。料金：モノクロ1枚 10円 カラー1枚 30円
- 情報検索室のPCが利用できます。（ただし、全面利用の授業時は利用ができません）ネットワークの利用にはアカウントとパスワードが必要です。プリンターは情報検索室を出て左手奥に1台設置されており、モノクロとカラー印刷が可能で有料となります。
- 館内は無線LAN対応です。各自で持ち込まれるパソコンからインターネット、学内LAN

に接続する場合は、アカウントとパスワードが必要となります。アカウントとパスワードが必要ない印刷は USB メモリー印刷専用の PC が 3 階と 4 階に設置されていますので、USB メモリーに保存してあるものは印刷が可能です。印刷物はそれぞれ指定のプリンター（モノクロ、カラー・有料）から出力されます。

3 階閲覧室に備付のパソコンがあります。インターネット、印刷利用の場合は、アカウントとパスワードが必要です。3 階閲覧室のプリンターはカウンター脇（モノクロ、カラー・有料）にあります。

- 利用したい資料が学内（講座・電子ジャーナル含む）になく、他大学や研究機関の図書館で所蔵している場合、複写を申し込む、または図書を取り寄せることができます。複写と貸借は My Library からお申込みください。
- 他大学の図書館を利用する場合、身分証の他に紹介状が必要です。（紹介状は訪問希望日の 3 日前までにお申し込みください）訪問先で利用したい資料の所在を確認し、カウンターでお申し込みください。なお、明治大学の図書館は本学の学生証で利用することができます。ただし、明治大学図書館の資料の館外貸出を希望される方は学生証の他に、住所のわかるものを持参していただき、明治大学のライブラリーカードを作る必要があります。（1 月、7 月は利用不可、3 月貸出停止）
- 館内での飲食は原則禁止です。（本館では、3 階の図書館入口前に、飲食ラウンジがあります。）
- 所持品は各自責任を持って管理してください。貴重品は常に携帯してください。荷物を置いたままで長時間席を離れる席取り行為はやめてください。長時間席に居ない場合は、荷物を回収することもあります。

4. 問い合わせ先：内線 5596 e-mail: info-serve.lib@ml.tmd.ac.jp

ホームページ: <https://www01s.ufinity.jp/tmdu/>

国立美術館キャンパスメンバーズについて

「国立美術館キャンパスメンバーズ」とは、学校教育において美術館を有効に活用すること、学生や教職員の美術に親しむ機会をより豊かにすることを目的とした、大学等を対象とする制度です。本学でもこのキャンパスメンバーズに加入しています。

1. 対象：本学の学部学生・大学院生・教職員
2. 特典：所蔵作品展の「無料観覧」（所蔵作品を持たない国立新美術館を除く）
特別展・共催展の「割引観覧」（学生は大学生団体料金・教職員は一般団体料金）
3. 利用方法：各館の券売所または改札で学生は学生証、教職員は身分証明書を提示し、キャンパスメンバーズの利用の旨を伝え、入館または観覧券を購入してください。学生証、身分証明書を持参していない場合、特典を受けることはできません。なお、詳しい日程は、各館のホームページで確認してください。
4. 利用機関：以下の3館
国立西洋美術館、東京国立近代美術館、国立新美術館
5. ホームページ：http://www.tmd.ac.jp/campuslife/campus_members/index.html
<http://www.campusmembers.jp/>

1号館西・2号館・7号館の管理、使用について

1. 1号館西・2号館・7号館の出入口の施錠（平日）について

1号館西出入口

1号館西 正面玄関 終日出入可（防災センター管理）

1号館西 東側出入口 解錠 6:00 施錠 18:30

2号館出入口

2階正面玄関 解錠 7:30 施錠 18:00

2階外階段 解錠 7:30 施錠 18:00

（施錠後はカードリーダーに学生証をタッチすることで外から入ることが可能です。）

2階歯科棟接続口 終日出入可

7号館出入口

1階聖門側（1か所） 解錠 7:30 施錠 18:00

歯科棟北接続口（東側6か所） 解錠 7:30 施錠 18:00

1号館東接続口（2階、3階2か所） 解錠 7:00 施錠 20:00

消防法の規定により、歯科棟側と2階外階段出入口は避難口のため、施錠しても建物内から外へは常に出られます。ただし、7号館の1号館東接続口（2階、3階）は施錠すると出入りできません。

2. 1号館西・2号館・7号館内各室の施錠について

1号館西講義室 解錠 7:30 施錠 18:00

2号館講義室 随時（口腔保健工学専攻教員が解・施錠）

7号館講義室 解錠 7:30 施錠 17:00

2号館学生ロッカー室 番号ロック制

3. 1号館西・2号館・7号館における講義室の目的外使用について

講義室は、原則として目的外使用は許可しません。

4. 学生ロッカー室（2号館3階）について

（1）ロッカー室は、更衣のほか、休憩室として使用できます。

（2）各人にロッカーが貸与されるので、丁寧に使用してください。

女子学生は、学生ロッカー室1に1年生と4年生、学生ロッカー室2に2年生と3年生が使用します。

また、各人の責による破損等については、各人の負担により原状回復してください。

（3）ロッカーの使用にあたって、各人で暗証番号を設定し、ロッカーには必ず鍵を閉め、盗難に注意しましょう。ロッカーでの盗難が多発しているため、特に貴重品等の管理は厳重にしてください。

- (4)ロッカーの上部に私物を置かないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。
- (5)ロッカーの内外部にシール、ポスター等を貼らないこと。
- (6)飲食後の空容器、紙くず等は必ず分別してごみ箱に捨て、室内に放置しないこと。
- (7)ロッカー室でサークルの集会をしたり、マーじゃん等をしたりしないこと。

5. リフレッシュルーム（2号館）の使用について

- (1)リフレッシュルームは、食事、休憩、歯磨きなどの目的で使用します。
- (2)口腔保健学科口腔保健工学専攻学生の共用で使用します。
- (3)周囲に迷惑がかからぬよう、お互いに協力して、節度をもって使用すること。
- (4)リフレッシュルームの棚にある図書、雑誌は、口腔保健工学専攻学生の共用とします。一部の学生が独占的に利用することがないようにしましょう。図書、雑誌の管理は学生に任されています。紛失や破損等については、各人の負担により原状回復してください。
- (5)注意事項
 - ・私物を保管・放置したり、特定の場所を占拠したりしないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。
 - ・エアコンの設定温度に留意し、誰もいないときにはエアコンを消すこと。
 - ・飲食した空容器、紙くず等は放置せず、必ず分別してごみ箱に捨てること。
 - ・洗面台の排水が詰まるので、食べ物のカス等を流さないこと。
 - ・全員退出する際には電源を全て消すこと。
 - ・掲示板およびホワイトボードは全学年共用で、学生間の連絡のほか、教員からの連絡にも使用することがあります。不要になった書き込みや掲示物は、書いたものや掲示したものが責任を持って消し、撤去してください。
- (6)リフレッシュルームは平日に使用できますが、長期休暇中は平日も施錠されるので、その期間中に使用したい学生は、口腔保健工学専攻教員に申し出て解・施錠してもらうこと。

6. 歯学部リフレッシュルーム（7号館）の使用について

7号館1階および6階には、学生の休息、自己学習等での使用を目的としたリフレッシュスペースが設けられています。この施設では、無線LANを利用して学内LANへの接続も可能になっています。施設を利用する場合は、下記の注意事項を厳守してください。

(1) 利用時間

平日 午前8時30分から午後7時30分まで

(2) 利用する上での注意事項

- 1)きれいに、清潔に利用すること。
- 2)一部の学生が独占的に利用する環境を作らないこと。
- 3)私物や貴重品は極力置かないこと（紛失は本人の責任になります）。

- 4) 禁煙です。
- 5) 本学学生としてあるまじき行為を行った場合、大学の懲戒規定にかかるとともに、他の学生を含め、当施設の利用を全面的に禁止することが有り得ることを念頭に置き、使用してください。
- 6) 他に使用している学生を考慮し、騒がないこと。
- 7) ごみの始末は各自で行うこと。

7. 学生用ホワイトボード（リフレッシュルーム）の使用について

- (1) 掲示物の内容については関知しないが、良識をもって掲示すること。
- (2) 掲示期間を過ぎることのないよう、自主的に撤去すること。

8. 講義室・実習室の使用について

- (1) 講義室・実習室における飲食は原則として禁止します。
- (2) 講義室の机の上に腰をかけないこと。
- (3) 7号館7階以上は動物実験施設なので、感染予防等のため関係者以外の出入りを禁止します。
- (4) 講義室・実習室においては、紙くず等を散らさないようにし、必ず分別してごみ箱に捨てること。
- (5) 参考書・ノート等の私物は講義室の中に放置しないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。
- (6) 室内は学生用ホワイトボード・掲示板以外に掲示物の添付を禁じます。
- (7) 講義室・実習室等においては、下駄ばきを厳禁します。

歯学部附属病院の機構

歯学部附属病院は患者の診療を通じて歯学の教育と研究を行う場です。しかし、最近では社会の要請にも答える必要から、歯科医療における模範的診療機関としての使命も課せられています。

1. 診療科

歯科病棟	8階
歯科麻酔外来	7階
インプラント外来	
口腔外科外来	6階
顎顔面外科外来	
顎義歯外来	
言語治療外来	
むし歯外来	5階
歯周病外来	
第一総合診療室	4階
第二総合診療室	
歯科心身医療外来	
顎関節治療部	
快眠歯科（いびき・無呼吸）外来	
義歯外来	3階
歯科アレルギー外来	
スポーツ歯科外来	
クリーンルーム歯科外来	
矯正歯科外来	2階
小児歯科外来	
ペインクリニック	
口腔ケア外来	
歯科総合診療部	1階
スペシャルケア外来（高齢者）	
スペシャルケア外来（障がい者）	
摂食リハビリテーション外来	
息さわやか外来	
セカンドオピニオン外来	
歯科放射線外来	地下1階

クリーンルーム歯科外来（3階）は、院内感染のリスクを分散しないために、血液・唾液・その他を媒体として院内感染を引き起こす可能性のある病原微生物（肝炎ウイルス、HIV、MRSAなど）を有する患者のうち、内科主治医等により疾患の管理がなされ、外来診療に耐え得る患者の一般歯科診療を行う施設として設けられています。

第1総合診療室（4階）は歯学科学学生臨床実習の場として、一口腔単位の総合歯科診療が行われています。学生は歯科診療用ユニットと技工機（5階）が配当されます。また、第2総合診療室（4階）は臨床研修医の総合研修が行われています。口腔保健学科口腔ケア実習北2診療室（4階）では口腔保健学科口腔保健衛生学専攻学生の臨床実習が行われます。

2. 病棟（8階）

入院患者のために、60床のベッドとそれに必要な処置室、記録室等付帯施設が完備され、基準看護のもとに、日夜にわたる診療体制が敷かれています。

3. 中央診療施設

検査部、歯科技工部、医療安全管理室、感染対策室、診療情報管理室、歯科臨床研修センター、地域歯科医療連携センター、歯科医療情報センター、歯科器材・薬品開発センター、中央手術室、中央器材室が設置されています。

歯科技工部は、歯学部附属病院3階にあり、約27名の歯科技工士が全診療科で扱う補綴物の製作等の歯科技工業務を行っています。口腔保健工学専攻の学生の臨床実習では歯科技工部を通して患者のための歯科技工を実際に行います。

4. 薬剤部（1階）

数名の薬剤師が配置されており、薬剤に関する業務（調剤、製剤、処方、薬品の管理、薬品の情報の収集・伝達など）および歯学科臨床実習を行う学生に対する処方箋の取り扱いその他の教育を行っています。

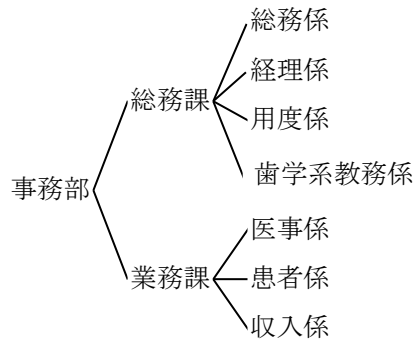
5. 看護部

約55名の看護師が各診療科や病棟に配置されており、病院の看護業務を行っています。

6. 歯科衛生保健部

約30名の歯科衛生士が口腔ケア外来や関係診療科に配置されており、歯科診療における歯科健康教育、歯科予防処置、歯科診療補助を行っています。口腔保健学科口腔保健衛生学専攻の学生の教育を行っています。

7. 事務部



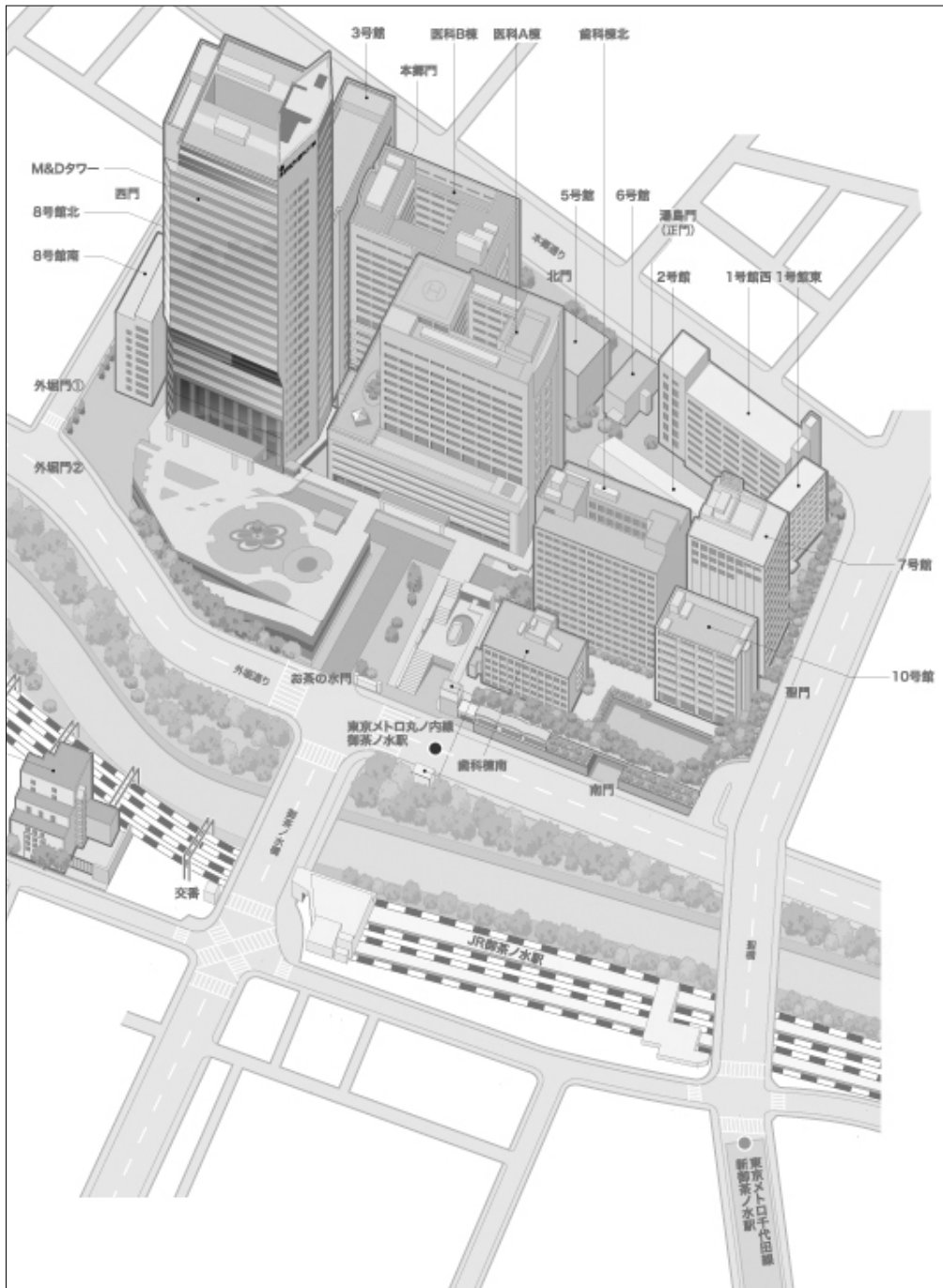
歯学部の実務業務は、総務課と業務課によって行われています。また、学生は歯学系教務係を通じて病院内で勉学できるようになっています。患者は全て業務課を経て受診するように決められています。

患者の歯科技工に用いる歯科材料は、医事係材料室から給付されます。

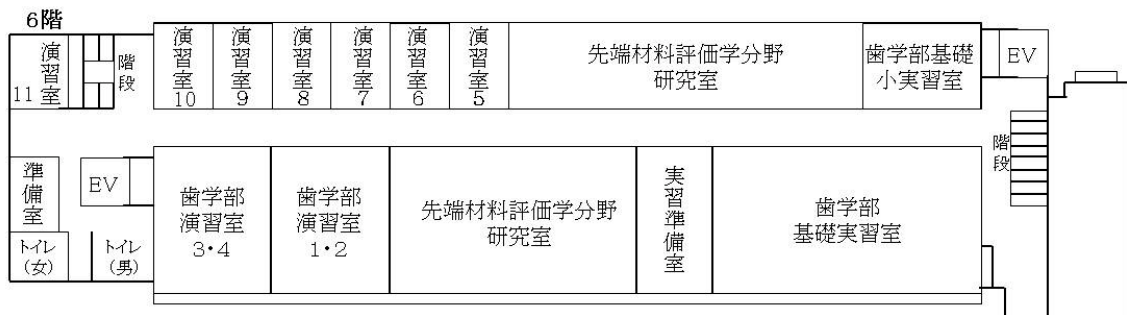
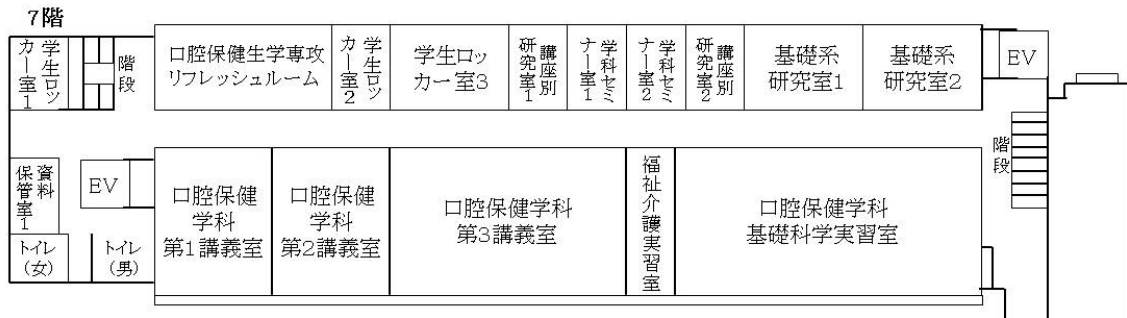
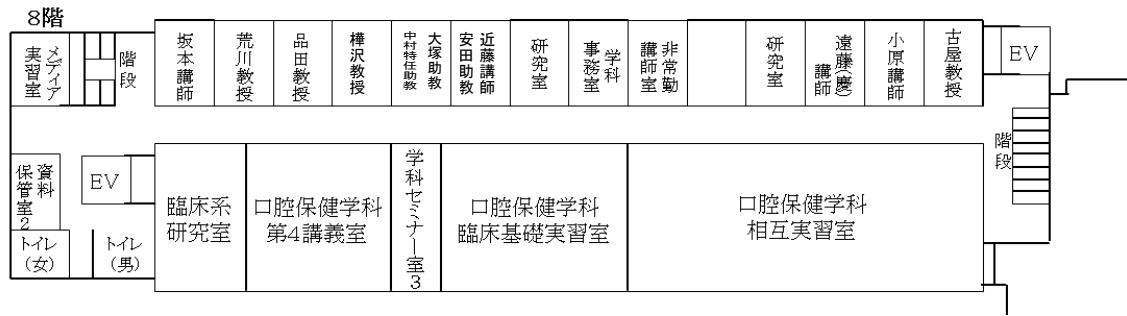
8. 病院の管理運営

病院長が病院の管理運営を統括します。病院は、病院長、各科長、各部長によって構成される病院運営会議によって運営されます。また、学生の臨床教育については、各臨床教授で構成される臨床教育会議および歯学科、口腔保健学科教育委員会において討議されています。

湯島キャンパス案内

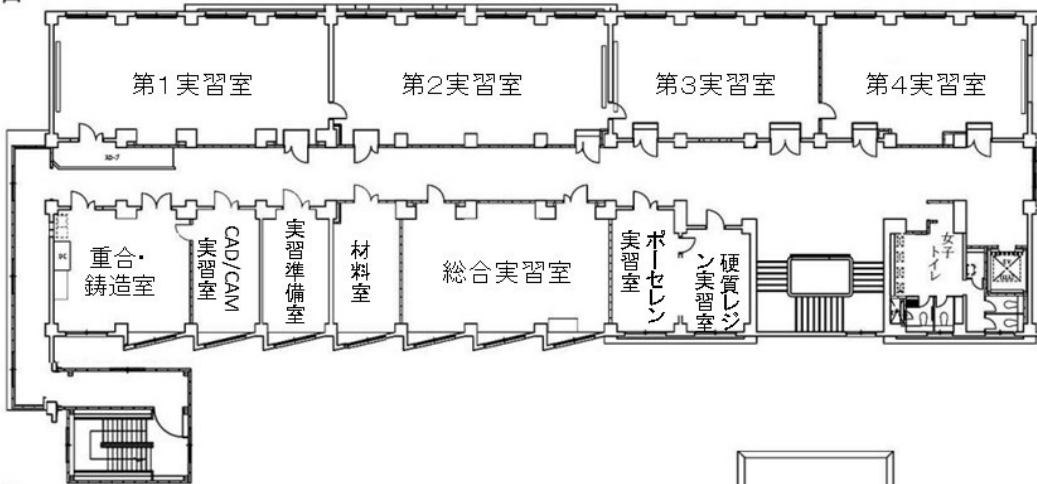


1号館西6～8階平面図

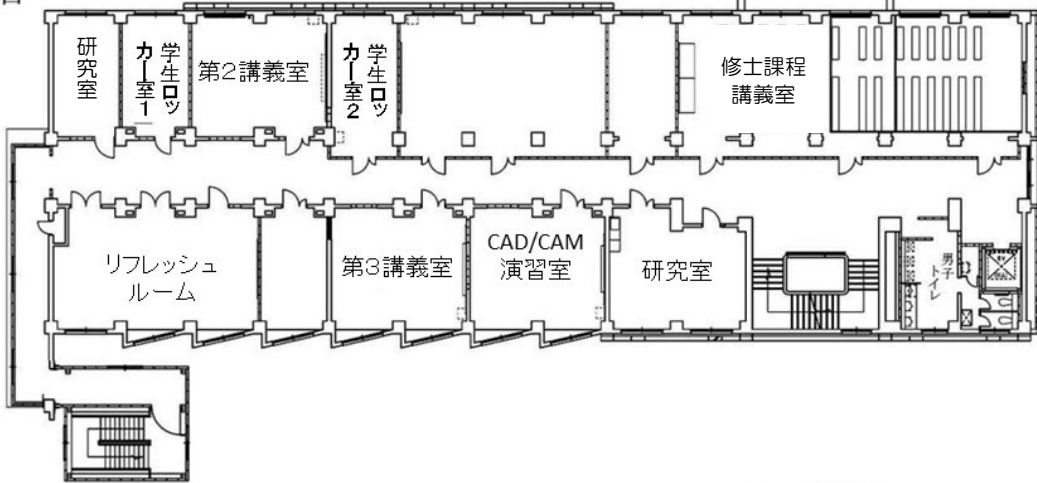


2号館見取り図

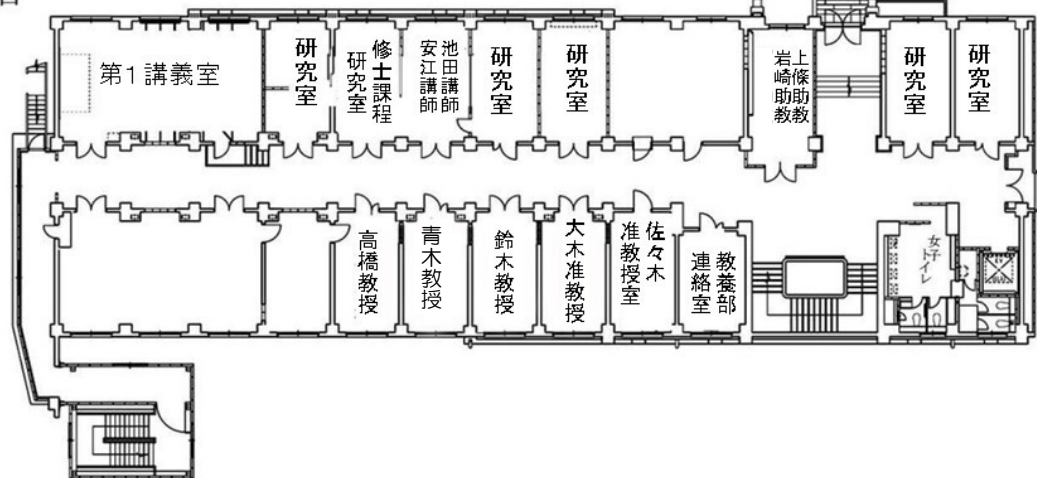
4階



3階

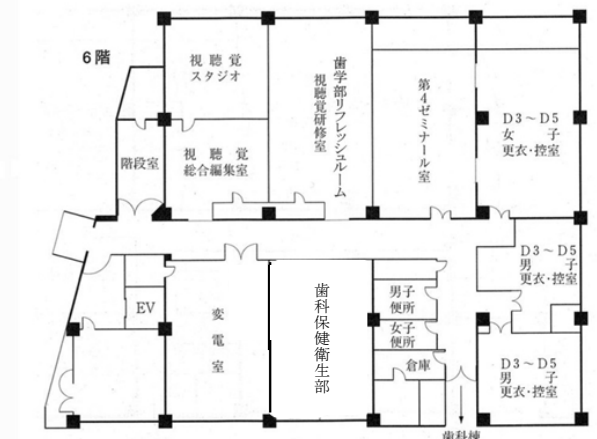
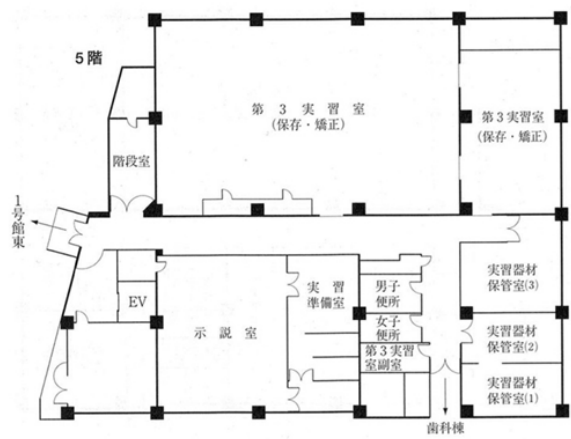
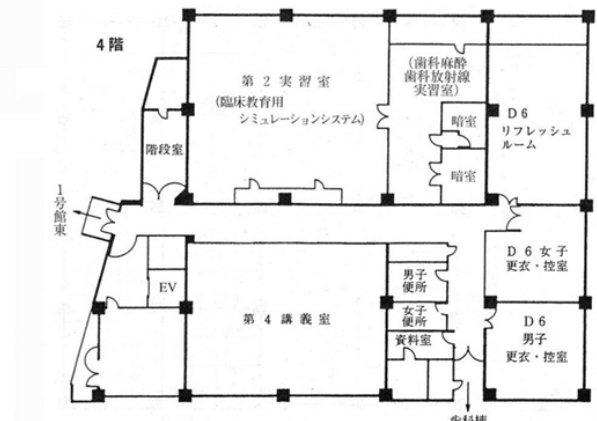
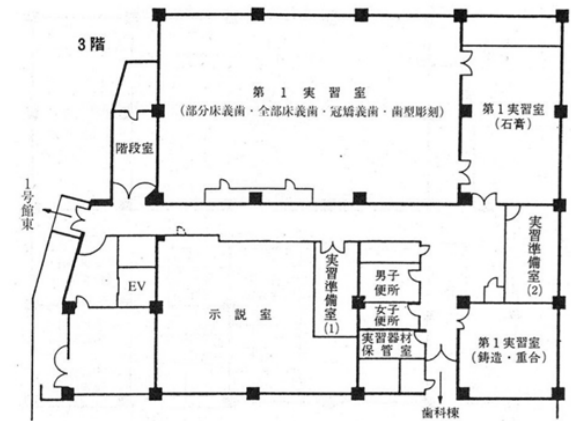
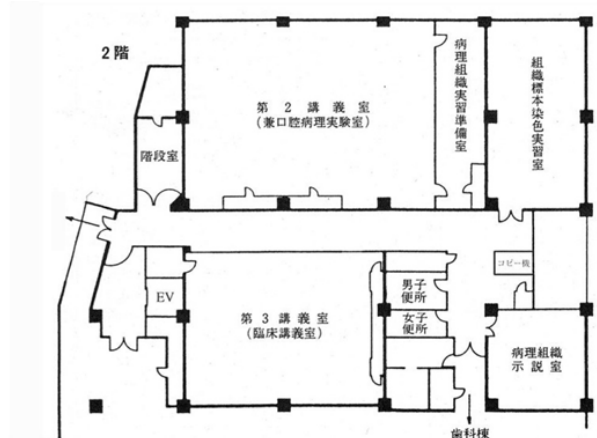
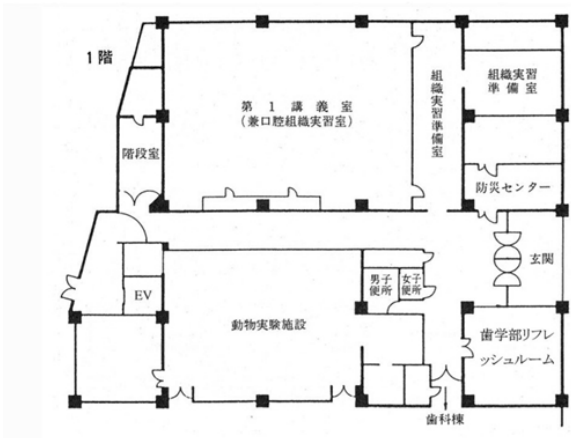


2階



2階
歯科棟
連絡口

7号館平面図



1号館の配置

階	1号館西				1号館東	
	講義室・実習室	研究室等	教授室等	その他	研究室等	教授室
9	特別講堂			歯科同窓会事務室 特別第1会議室		
8	口腔保健衛生学専攻 第4講義室 臨床基礎実習室 相互実習室 メディア実習室	口腔保健衛生学専攻 学科セミナー室3 講座別研究室3, 4 臨床系研究室	口腔保健衛生学 専攻 教授室 准教授室 講師室	口腔保健衛生学専攻 学科事務室 非常勤講師室 資料保管室2		
7	口腔保健衛生学専攻 第1～3講義室 基礎科学実習室 福祉介護実習室 学生ロッカー室1～3 リフレッシュルーム	口腔保健衛生学専攻 学科セミナー室1, 2 講座別研究室1, 2 基礎系研究室1, 2		口腔保健衛生学専攻 資料保管室1	歯学部会議室 第1, 2ゼミナール室	
6	歯学部演習室1～11 基礎実習室	先端材料評価学	宇尾		第3ゼミナール室 インプラント・ 口腔再生医学	
5	スキルスラボⅡ	医歯学教育システム 研究センター 生命倫理研究センター	荒木	女性研究者支援室	インプラント・ 口腔再生医学口 腔病理学	春日井
4				学術国際部 国際交流センター	口腔病理学	
3				財務施設部	高齢者歯科学 歯学部	水口 下山
2				総務部総務秘書課	監査法人室 高齢者歯科学	
1				学務企画課 入試課 総務部人事課		

2号館の配置

階	講義室・実習室	研究室等	教授室等	その他
4	第 1~4 実習室 CAD/CAM 実習室			
3	第 2, 3 講義室 修士課程講義室 CAD/CAM 演習室	研 究 室		学生ロッカー室 1,2 リフレッシュルーム
2	第 1 講義室	研 究 室 修士課程研究室	口腔保健工学専攻 教 授 室 准 教 授 室 教 員 室 顎顔面矯正学分野准教授室	歯 学 部 教 養 部 連 絡 室
1				和 同 会 事 務 室 U R A 室

7号館の配置

階	講義室・実習室	その他
7~11		動 物 実 験 施 設
6	第 4 ゼミナール室	D 2 ~ D 5 男子更衣・控室 D 2 ~ D 5 女子更衣・控室 リフレッシュルーム 歯 科 保 健 衛 生 部 変 電 室
5	第 3 実 習 室 示 説 室	
4	第 4 講 義 室 第 2 実 習 室 歯科麻酔歯科放射線実習室	D 6 男子更衣・控室 D 6 女子更衣・控室 D 6 リフレッシュルーム
3	第 1 実 習 室 示 説 室	
2	第 2 , 3 講 義 室	コ ピ ー 機
1	第 1 講 義 室	リ フ レ ッ シ ュ ル ー ム 動 物 実 験 施 設

10号館の配置

階	研究室	教授室等
7	歯周病学	和泉
6	顎顔面外科学	
5	高齢者歯科 口腔顔面痛制御学	戸原 嶋田
4	口腔顔面痛制御学 麻酔・生体管理学 スポーツ医歯学	深山
3	スポーツ医歯学 障害者歯科学 歯科医療行動科学	上野 篠塚 俣木
2	顎顔面補綴学 歯科心身医学 総合診療歯科学	谷口 豊福

M&Dタワーの配置

	階	研究室	教授室等		階	研究室	教授室等
北側	8	硬組織構造生物学 法 歯 学 分子情報伝達学	田畑 櫻田 中島	南側	8	細菌感染制御学	鈴木
	7	硬組織病態生化学 歯学教育開発学 口腔放射線腫瘍学 硬組織再生学	渡部 森尾 三浦(雅) 篠村		7	硬組織薬理学 認知神経生物学	泰羅
	6	分子発生学 ナノメディスン(DNP) 分子細胞機能学	井関 小牧 中濱		6	医療経済学 顎顔面解剖学 分子免疫学	川淵 柴田 東
階	講堂・図書館		研究室・その他				
4	図 書 館		情 報 検 索 室 図 書 館 情 報 メ デ ィ ア 機 構				
3							
2	鈴木章夫記念講堂		共用講義室1, 2				

3号館

5階	図書館情報メディア機構・教育メディア開発学	木下
----	-----------------------	----

歯科棟の配置

〈歯科棟北〉

階	分野	教授室等	外来等	医局	その他
12	咬合機能矯正学 顎顔面矯正学	小野 森山			歯科衛生保健部
11	部分床義歯補綴学 摂食機能保存学 小児歯科学	若林 三浦(宏) 宮新			
10	う蝕制御学 歯髄生物学 健康推進歯学	田上 興地 川口			歯科衛生保健部
9	顎口腔外科学 口腔放射線医学 顎関節咬合学	原田 倉林			
8			病棟		医員当直室(男)
7			歯科麻酔外来 インプラント外来 手術室	麻酔・生体管理学	医員当直室(女) 滅菌材料室
6	口腔病態診断科学		口腔外科外来 顎口腔変形疾患外来 顎義歯外来 言語治療外来 検査部	顎口腔外科学 顎顔面外科学 検査部	
5			むし歯外来 歯周病外来	う蝕制御学 歯髄生物学 歯周病学	総合技工室 (歯科棟南:外来事務棟)
4			第1総合診療室 第2総合診療室 先端歯科診療センター 歯科心身外来		ヘッドライター室 器材準備室 歯学部特別講堂 演習室 歯科臨床研修センター 材料室 和同会売店
3			義歯外来 スポーツ歯科外来 歯科アレルギー外来 顎関節治療部 快眠歯科外来 クリーンルーム歯科外来 技工部	部分床義歯補綴学 全部床義歯補綴学 摂食機能保存学 高齢者歯科学	大会議室 小会議室 看護部 研修医技工室
2	歯学教育システム 評価学		小児歯科外来 矯正歯科外来 ペインクリニック 口腔ケア外来	小児歯科学 咬合機能矯正学 顎顔面矯正学	歯学部総務課 歯学系教務係 歯学部国際交流室
1			歯科総合診療部 スペシャルケア外来 摂食嚥下リハビリテーション外来 息さわやか外来 セカンドオピニオン外来 薬剤部	歯科総合診療部	電算室 防災センター 器材薬剤センター 和同会売店 研修医控室
B1			歯科放射線外来		低温室 ボイラー室 談話室
B2					食堂

平成29年度歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻専門科目授業計画表

第1学年

前期	学部専門科目 「口腔保健と専門職」	29. 4. 11(火)～29. 5. 9(火) 5週 毎週火曜日
----	----------------------	--------------------------------------

後期	学部専門科目 「歯科衛生学総論」 「人体の構造と機能Ⅰ」 「公衆衛生学」 「社会保障Ⅰ」 「メディア情報学基礎」 「臨床体験実習」	29. 10. 3(火)～30. 1. 30 (火) 16週 毎週火曜日 30. 2. 6(火) 2. 13(火) 定期試験
----	---	---

第3学年

区 分		期 間
前 期	春 季 休 業	29. 3. 31(金)
	ガイダンス・授業17週	29. 4. 3(月)～29. 7. 28(金)
	夏季休業(選択科目授業有り)	29. 7. 31(月)～29. 8. 18(金)
	定 期 試 験	29. 8. 21(月)～29. 9. 6(水)
後 期	授業3週(選択科目のみ)※	29. 9. 7(木)～29. 9. 25(月)
	臨 床 実 習 ガ イ ダ ン ス	29. 9. 27(水)・29. 9. 28(木)
	授 業 1 3 週	29. 9. 26(火)～29. 12. 22(金)
	創 立 記 念 日	29. 10. 12(木)
	お茶の水祭準備のため休講	29. 10. 13(金)
	お 茶 の 水 祭	29. 10. 14(土)～29. 10. 15(日)
	冬 季 休 業	29. 12. 25(月)～30. 1. 4(木)
	授 業 7 週	30. 1. 5(火)～30. 2. 16(金)
定 期 試 験	30. 2. 19(月)～30. 2. 23(金)	
春季休業(選択科目授業有り)	30. 2. 26(月)～30. 3. 30(金)	

※学外講師の日程により、夏季・春季休業期間または8限等に実施する場合があります。

第2学年

区 分		期 間
前 期	春 季 休 業	29. 3. 31(金)
	ガ イ ダ ン ス	29. 4. 4(火)
	授 業 1 7 週	29. 4. 4(火)～29. 7. 31(月)
	夏季休業(選択科目授業有り)	29. 8. 1(火)～29. 9. 1(金)
	定 期 試 験	29. 9. 4(月)～29. 9. 22(金)
	補 講 ・ 選 択 科 目	29. 9. 25(月)～29. 9. 29(金)
後 期	授 業 1 2 週	29. 10. 2(月)～29. 12. 22(金)
	創 立 記 念 日	29. 10. 12(木)
	お茶の水祭準備のため休講	29. 10. 13(金)
	お 茶 の 水 祭	29. 10. 14(土)～29. 10. 15(日)
	解 剖 体 追 悼 式	29. 10. 19(木)
	冬 季 休 業	29. 12. 25(月)～30. 1. 4(木)
	授 業 6 週	30. 1. 5(金)～30. 2. 14(水)
	定 期 試 験	30. 2. 15(木)～30. 3. 2(金)
春 季 休 業	30. 3. 5(月)～30. 3. 30(金)	

※学外講師の日程により、夏季・春季休業期間または8限等に実施する場合があります。

第4学年

区 分		期 間
前 期	春 季 休 業	29. 3. 31(金)
	ガ イ ダ ン ス、授 業	29. 4. 3(月)
	授 業 1 7 週	29. 4. 3(月)～29. 7. 28(金)
	夏季休業(選択科目授業有り)	29. 7. 31(月)～29. 9. 28(木)
後 期	授 業 1 2 週	29. 9. 29(金)～29. 12. 22(金)
	創 立 記 念 日	29. 10. 12(木)
	お茶の水祭準備のため休講	29. 10. 13(金)
	お 茶 の 水 祭	29. 10. 14(土)～29. 10. 15(日)
	冬 季 休 業	29. 12. 25(月)～30. 1. 4(木)
	補 講 お よ び 卒 業 試 験	30. 1. 5(金)～30. 1. 26(金)
	自己研修および国家試験対策	30. 1. 29(月)～30. 2. 23(金)
卒 業 式	30. 3. 23(金)	

※学外講師の日程により、夏季・春季休業期間または8限等に実施する場合があります。

歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻 教員連絡先一覧

大学院医歯学総合研究科医歯理工学専攻	分野名	氏名	メールアドレス
	生涯口腔保健衛生学分野	荒川 真一	s-arakawa.ltoh@tmd.ac.jp
		近藤 圭子	solan.ltoh@tmd.ac.jp
		中村 奈都美	n.nakamura
	健康支援口腔保健衛生学分野	樺沢 勇司	kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp
	口腔疾患予防学分野	品田 佳世子	shinada.pvoh@tmd.ac.jp
		大塚 紘未	hiromi.pvoh@tmd.ac.jp
	地域・福祉口腔保健衛生学分野	古屋 純一	furuya.ohcw@tmd.ac.jp
		遠藤 慶子	k-endo.ohcw@tmd.ac.jp
	口腔健康教育学分野	遠藤 圭子	usagi.ohce@tmd.ac.jp
		小原 由紀	ohara.pvoh@tmd.ac.jp
	口腔保健衛生基礎学分野	坂本 裕次郎	y.sakamoto.bsoh@tmd.ac.jp
	歯学部附属病院	安田 昌代	yasuda.ocsh@tmd.ac.jp

第1学年
履修科目・ユニット

時間割番号	022202					
科目名	人体の構造と機能 I					
担当教員	坂本 裕次郎, 井関 祥子, 勝山 成美					
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1	
<p>科目名: 人体の構造と機能及び疾病 ユニット番号: 1201 授業形態: 講義 時間数: 必修 1 単位・90 分×8 回 科目責任者・ユニット責任者: 坂本 裕次郎・坂本 裕次郎</p>						
主な講義場所						
口腔保健学科 第1 講義室						
授業の目的、概要等						
人体の正常な構造と機能を学んで、生命現象が営まれるメカニズムを分子レベルから個体レベルへと統合的に理解するとともに、組織および器官の発生のしくみと成長と加齢に伴う変化ならびに生体の恒常性維持機構について理解する。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・人体の構成ならびに構造と機能の関係を概説する。 ・細胞の構造と働きならびに遺伝子の分子機構を説明する。 ・人体の発生と発達の概要を説明する。 ・上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織の特徴と役割を説明する。 ・運動器(骨格系と筋系)の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/3	12:50-14:20	口腔保健 学科第1 講義室	人体の構成	人体の構造と機能を学ぶ意義、人体の構成と身体の方角用語、細胞と組織と器官系の分類	坂本 裕次郎
2	10/10	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	人体を構成する細胞の構造と機能	核とその役割、細胞質と細胞膜・細胞内小器官の役割	坂本 裕次郎
3	10/17	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	組織の分類	上皮組織・支持組織・筋組織・神経組織の構成要素の特徴と役割および器官系の構成	坂本 裕次郎
4	10/24	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	組織の分類	上皮組織・支持組織・筋組織・神経組織の構成要素の特徴と役割および器官系の構成	坂本 裕次郎
5	10/31	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	人体の発生と生後発達	人体の発生過程と生後の変化	井関 祥子
6	11/7	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	骨組織の形成と機能、運動器(骨格系と筋系)の総論	骨組織の構造と発生様式、骨格系の機能、運動器(骨格系と筋系)の構成と役割および成長に伴う変化	坂本 裕次郎
7	11/14	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	筋の収縮機構と機能、骨格筋の収縮のタイプと疲労	骨格筋・心筋・平滑筋の収縮のしくみと役割	勝山 成美
8	11/21	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	筋の収縮機構と機能、骨格筋の収縮のタイプと疲労	骨格筋・心筋・平滑筋の収縮のしくみと役割	勝山 成美
成績評価の方法						
・筆記試験と受講状況による総合評価を行う。						

準備学習などについての具体的な指示

- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

参考書

人体の構造と機能／前田健康, 山田好秋 ほか著.: 医歯薬出版, 2010

人体解剖学／藤田恒太郎 著.: 南江堂, 2003

入門人体解剖学／藤田恒夫 著.: 南江堂, 2012

グレイ解剖学／Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell 原著, 塩田浩平, 瀬口春道, 大谷浩, 杉本哲夫 訳.: エルゼビア・ジャパン, 2011

標準組織学総論／藤田尚男, 藤田恒夫 共著.: 医学書院, 2002

標準組織学／藤田尚男, 藤田恒夫 共著.: 医学書院, 2010

標準生理学／小澤静司, 福田康一郎 総編集, 本間研一, 大森治紀, 大橋俊夫 編.: 医学書院, 2009

解剖学・組織発生学・口腔解剖学／全国歯科衛生士教育協議会 編.: 医歯薬出版, 1996

生理学／全国歯科衛生士教育協議会 編.: 医歯薬出版, 1995

連絡先

坂本 裕次郎 y.sakamoto.bsoh@tmd.ac.jp

井関 祥子 s.iseki.emb@tmd.ac.jp

勝山 成美 katz.cnb@tmd.ac.jp

オフィスアワー

坂本 裕次郎 随時 1号館西8階

井関 祥子 随時 (必ず事前に連絡すること)

勝山 成美 随時 (ただし必ず事前に連絡のこと)

時間割番号	022204																																																																				
科目名	栄養と代謝																																																																				
担当教員	品田 佳世子, 渡部 徹郎, 中島 友紀																																																																				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1																																																																
<p>ユニット: 栄養と代謝</p> <p>科目: 人体の構造と機能及び疾病</p> <p>単位: 1(90分授業×8回)</p>																																																																					
<p>主な講義場所</p> <p>1号館西7階 口腔保健学科第2講義室</p>																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>生体の構成要素、栄養素の消化吸収、代謝と作用を理解し、口腔の健康との関連を概説できる。</p>																																																																					
<p>授業の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 生体の構成要素を理解する。 2) 栄養素の消化吸収を理解する。 3) 栄養素の代謝、作用を理解する。 4) 生体における恒常性の維持を理解する。 5) 食品に多く含まれ栄養素を知り、欠乏症を説明できる。 																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>11/7</td> <td>10:00-10:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>栄養と代謝の概要、五 大栄養素</td> <td></td> <td>品田 佳世子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>11/28</td> <td>08:50-10:20</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>細胞の恒常性維持のメ カニズム、ホルモンによ る恒常性の維持、ホル モンの分泌と作用メカニ ズム</td> <td>細胞の恒常性維持のメカニズム、ホルモン による恒常性の維持、ホルモンの分泌と作用 メカニズム</td> <td>渡部 徹郎</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>12/5</td> <td>08:50-10:20</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>細胞の役割、生体にお ける水、細胞における 代謝</td> <td>細胞の役割、生体における水、細胞における 代謝</td> <td>横山 三紀</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>12/12</td> <td>08:50-10:20</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>糖質・脂質・タンパク質 の代謝・応答</td> <td>糖質・脂質・タンパク質の代謝・応答</td> <td>井上 カタジナアンナ</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>12/19</td> <td>08:50-10:20</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>歯と歯周組織の生化学</td> <td>歯と歯周組織の生化学</td> <td>中島 友紀</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>1/9</td> <td>08:50-10:20</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>ビタミンの役割、多く含 む食品と欠乏症</td> <td>ビタミンの役割、多く含む食品と欠乏症</td> <td>品田 佳世子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>1/16</td> <td>08:50-10:20</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>ミネラルの役割、多く含 む食品と欠乏症</td> <td>ミネラルの役割、多く含む食品と欠乏症</td> <td>品田 佳世子</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>1/23</td> <td>08:50-10:20</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>栄養と食品、栄養学のマ とめ</td> <td>五大栄養素の関連</td> <td>品田 佳世子</td> </tr> </tbody> </table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	11/7	10:00-10:50	口腔保健 学科第2 講義室	栄養と代謝の概要、五 大栄養素		品田 佳世子	2	11/28	08:50-10:20	口腔保健 学科第2 講義室	細胞の恒常性維持のメ カニズム、ホルモンによ る恒常性の維持、ホル モンの分泌と作用メカニ ズム	細胞の恒常性維持のメカニズム、ホルモン による恒常性の維持、ホルモンの分泌と作用 メカニズム	渡部 徹郎	3	12/5	08:50-10:20	口腔保健 学科第2 講義室	細胞の役割、生体にお ける水、細胞における 代謝	細胞の役割、生体における水、細胞における 代謝	横山 三紀	4	12/12	08:50-10:20	口腔保健 学科第2 講義室	糖質・脂質・タンパク質 の代謝・応答	糖質・脂質・タンパク質の代謝・応答	井上 カタジナアンナ	5	12/19	08:50-10:20	口腔保健 学科第2 講義室	歯と歯周組織の生化学	歯と歯周組織の生化学	中島 友紀	6	1/9	08:50-10:20	口腔保健 学科第2 講義室	ビタミンの役割、多く含 む食品と欠乏症	ビタミンの役割、多く含む食品と欠乏症	品田 佳世子	7	1/16	08:50-10:20	口腔保健 学科第2 講義室	ミネラルの役割、多く含 む食品と欠乏症	ミネラルの役割、多く含む食品と欠乏症	品田 佳世子	8	1/23	08:50-10:20	口腔保健 学科第2 講義室	栄養と食品、栄養学のマ とめ	五大栄養素の関連	品田 佳世子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																															
1	11/7	10:00-10:50	口腔保健 学科第2 講義室	栄養と代謝の概要、五 大栄養素		品田 佳世子																																																															
2	11/28	08:50-10:20	口腔保健 学科第2 講義室	細胞の恒常性維持のメ カニズム、ホルモンによ る恒常性の維持、ホル モンの分泌と作用メカニ ズム	細胞の恒常性維持のメカニズム、ホルモン による恒常性の維持、ホルモンの分泌と作用 メカニズム	渡部 徹郎																																																															
3	12/5	08:50-10:20	口腔保健 学科第2 講義室	細胞の役割、生体にお ける水、細胞における 代謝	細胞の役割、生体における水、細胞における 代謝	横山 三紀																																																															
4	12/12	08:50-10:20	口腔保健 学科第2 講義室	糖質・脂質・タンパク質 の代謝・応答	糖質・脂質・タンパク質の代謝・応答	井上 カタジナアンナ																																																															
5	12/19	08:50-10:20	口腔保健 学科第2 講義室	歯と歯周組織の生化学	歯と歯周組織の生化学	中島 友紀																																																															
6	1/9	08:50-10:20	口腔保健 学科第2 講義室	ビタミンの役割、多く含 む食品と欠乏症	ビタミンの役割、多く含む食品と欠乏症	品田 佳世子																																																															
7	1/16	08:50-10:20	口腔保健 学科第2 講義室	ミネラルの役割、多く含 む食品と欠乏症	ミネラルの役割、多く含む食品と欠乏症	品田 佳世子																																																															
8	1/23	08:50-10:20	口腔保健 学科第2 講義室	栄養と食品、栄養学のマ とめ	五大栄養素の関連	品田 佳世子																																																															

成績評価の方法 ・ 出席点(1割)および筆記試験(9割)を総合的に評価とする。
準備学習などについての具体的な指示
試験の受験資格 ・3分の2以上の出席を必要とする。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。
教科書 人体の構造と機能2 栄養と代謝／高橋信博, 江指隆年 ほか著, 医歯薬出版, 2016
参考書 : 医歯薬出版
連絡先 品田 佳世子:shinada.pvoh@tmd.ac.jp
オフィスアワー 品田 佳世子:随時

時間割番号	022205					
科目名	公衆衛生学					
担当教員	品田 佳世子					
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1	
科目名:公衆衛生学 時間数:90分×8回 授業形態:講義						
主な講義場所 1号館西7階 口腔保健学科 第2講義室						
授業の目的、概要等 健康、疫学、人口、環境、感染症、保健衛生などの基本事項を理解し、ヘルスプロモーションや予防医学を実践するための基礎的知識の習得と新たな発想を展開する方法を学ぶ。						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・健康の概念を説明できる。 ・疫学について説明できる。 ・人口統計について説明できる。 ・環境による健康への影響を説明できる。 ・感染症の概念および感染成立の三要因について説明できる。 ・地域保健について基本的事項を理解する。 ・ヘルスプロモーション、予防医学の基本概念と実践方法について理解する。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/3	10:30-12:00	口腔保健 学科第2 講義室	保健生態学、健康(総論)		品田 佳世子
2	10/10	10:30-12:00	口腔保健 学科第2 講義室	疫学	総論の小テスト・解説、疫学	品田 佳世子
3	10/17	10:30-12:00	口腔保健 学科第2 講義室	人口人口の動向、人口動態統計、生命表	疫学の小テスト・解説、人口の動向、人口動態統計、生命表	品田 佳世子
4	10/24	10:30-12:00	口腔保健 学科第2 講義室	健康と環境①環境の概念 感染症、食中毒	人口の小テスト・解説 健康と環境①環境の概念 感染症、食中毒	品田 佳世子
5	10/31	10:30-12:00	口腔保健 学科第2 講義室	地域社会と地域保健	健康と環境①環境の概念、感染症、食中毒の小テスト・解説 地域社会と地域保健	品田 佳世子
6	1/16	12:50-14:20	口腔保健 学科第2 講義室	健康と環境 課題グループ発表(②空気・水、③放射線、④住居・衣服、⑤地球環境の変化、⑥公害、⑦廃棄物処理)	課題グループ発表(②空気・水、③放射線、④住居・衣服、⑤地球環境の変化、⑥公害、⑦廃棄物処理)	品田 佳世子
7	1/23	10:30-12:00	口腔保健 学科第2 講義室	健康と環境の総括と地域保健の組織	健康と環境の課題発表範囲の小テスト・解説、地域保健の組織	品田 佳世子
8	1/23	12:50-14:20	口腔保健 学科第2 講義室	健康にかかわる地域の役割、地域保健・公衆衛生概要	地域保健の概要・組織の小テスト・解説 健康にかかわる地域の役割、地域保健・公衆衛生概要	品田 佳世子
成績評価の方法						

<p>・課題発表・作成された資料(2割)、筆記試験(小テスト等 7割)と受講状況(1割)による総合評価を行う。</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の住んでいる地域や実家の地域の環境問題や健康問題を調べておく。 ・前回の授業の復習をしておくこと、小テストを行う。
<p>試験の受験資格</p> <p>全講義回数(8回)の2/3以上出席していること。</p>
<p>教科書</p> <p>保健生態学 第2版／可児徳子, 松井恭平, 眞木吉信 編: 医歯薬出版, 2015</p>
<p>連絡先</p> <p>shinada.pvoh@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>随時</p>

時間割番号	022206					
科目名	社会保障 I					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2	
科目名: 社会保障 I 時間数: 90 分 × 15 回 授業形態: 講義						
主な講義場所 口腔保健学科 第2講義室および 第3講義室						
授業の目的、概要等 ・社会保障制度の基礎的知識および社会保障と口腔保健の関連性を理解する。 ・少子高齢社会における社会保障制度と保健・福祉・医療の実際を理解する。						
授業の到達目標 ・社会保障制度の目的と機能を説明する。 ・社会保障と口腔保健の関連性を説明する。 ・少子高齢社会における社会保障制度の課題を説明する。 ・社会保障制度と保健・福祉・医療の実際を関係づける。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/3	14:30-16:00	口腔保健 学科第3 講義室	オリエンテーション	人々の暮らしと社会保障制度	遠藤 慶子
2-3	10/10	12:50-16:00	口腔保健 学科第3 講義室	社会保障制度 I	日本の社会保障制度について	遠藤 慶子, 中村 秀一
4-5	10/17	12:50-16:00	口腔保健 学科第3 講義室	社会保障制度 II	社会保障制度の基礎を学ぶ	遠藤 慶子, 樋口 郁子
6-7	10/31	12:50-16:00	口腔保健 学科第3 講義室	社会保障制度 III	障害者を支援する社会保障制度	遠藤 慶子, 石渡 和実
8-9	11/7	12:50-16:00	口腔保健 学科第3 講義室	社会保障制度 IV	高齢者を支援する社会保障制度	遠藤 慶子, 餐場 直美
10-11	11/14	12:50-16:00	口腔保健 学科第3 講義室	社会保障制度 V	地域社会と社会保障制度	遠藤 慶子, 大貫 正男
12-13	11/21	12:50-16:00	口腔保健 学科第3 講義室	社会保障制度 VI	日本の社会保障制度の課題	遠藤 慶子, 中村 秀一
14-15	11/28	12:50-16:00	口腔保健 学科第3 講義室	社会保障制度 VII	世界の社会保障制度の課題	遠藤 慶子, 富田 洋
成績評価の方法 ・授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。 ・定期試験を実施し、総合的に評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
参考書						

- ・授業中に配布する資料。
- ・参考書は授業時に紹介する。

備考

- ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

担当教員(非常勤)

中村秀一 国際医療福祉大学 大学院

饗場直美 神奈川工科大学

石渡和実 東洋英和女学院大学

大貫正男 司法書士大貫正男事務所

樋口郁子 読売新聞社

富田洋 ジオ・サーチ(株)

時間割番号	022207																																															
科目名	口腔保健と専門職																																															
担当教員	大塚 絃未																																															
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1																																											
科目名: 口腔保健と専門職 時間数: 90分×8回																																																
主な講義場所 口腔保健学科(口腔保健衛生学専攻)第3講義室 歯学部演習室																																																
授業の目的、概要等 自学自習とディスカッションに基づく問題基盤型学習(PBL)や演習を通して、口腔保健の基礎知識、保健・医療・福祉の専門職に共通する職業倫理や実務上の態度・姿勢、多職種連携の重要性を学ぶ。																																																
授業の到達目標 1. 口腔保健の概要を説明できる。 2. 保健・医療・福祉の専門職に共通する職業倫理を説明する。 3. 保健・医療・福祉の専門職に共通する実務上の態度・姿勢を説明する。 4. 保健・医療・福祉の専門職による多職種連携の重要性を説明する。																																																
授業計画 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/11</td> <td>14:30-16:00</td> <td>歯学部演習室 口腔保健学科第3講義室</td> <td>オリエンテーション、シナリオ1</td> <td></td> <td>遠藤 慶子, 大塚 絃未 大木 明子, 青木 和広</td> </tr> <tr> <td>2-3</td> <td>4/18</td> <td>12:50-16:00</td> <td>歯学部演習室</td> <td>学習項目の発表、シナリオ2</td> <td>口腔保健と専門職を学ぶ意義、学習方法(PBL テュートリアル)シナリオ提示、学習項目の検討</td> <td>遠藤 慶子, 大塚 絃未 大木 明子, 青木 和広</td> </tr> <tr> <td>4-5</td> <td>4/25</td> <td>12:50-16:00</td> <td>歯学部演習室</td> <td>学習項目の発表、全体発表準備</td> <td>ディスカッション シナリオ提示、学習項目の検討</td> <td>遠藤 慶子, 大塚 絃未 大木 明子, 青木 和広</td> </tr> <tr> <td>6-7</td> <td>5/2</td> <td>12:50-16:00</td> <td>歯学部演習室</td> <td>全体発表準備</td> <td>ディスカッション全体発表項目、発表法の検討</td> <td>遠藤 慶子, 大塚 絃未 大木 明子, 青木 和広</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/9</td> <td>12:50-14:20</td> <td>口腔保健学科第3講義室</td> <td>全体発表</td> <td>全体発表準備</td> <td>遠藤 慶子, 大塚 絃未 大木 明子, 青木 和広</td> </tr> </tbody> </table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/11	14:30-16:00	歯学部演習室 口腔保健学科第3講義室	オリエンテーション、シナリオ1		遠藤 慶子, 大塚 絃未 大木 明子, 青木 和広	2-3	4/18	12:50-16:00	歯学部演習室	学習項目の発表、シナリオ2	口腔保健と専門職を学ぶ意義、学習方法(PBL テュートリアル)シナリオ提示、学習項目の検討	遠藤 慶子, 大塚 絃未 大木 明子, 青木 和広	4-5	4/25	12:50-16:00	歯学部演習室	学習項目の発表、全体発表準備	ディスカッション シナリオ提示、学習項目の検討	遠藤 慶子, 大塚 絃未 大木 明子, 青木 和広	6-7	5/2	12:50-16:00	歯学部演習室	全体発表準備	ディスカッション全体発表項目、発表法の検討	遠藤 慶子, 大塚 絃未 大木 明子, 青木 和広	8	5/9	12:50-14:20	口腔保健学科第3講義室	全体発表	全体発表準備	遠藤 慶子, 大塚 絃未 大木 明子, 青木 和広
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																										
1	4/11	14:30-16:00	歯学部演習室 口腔保健学科第3講義室	オリエンテーション、シナリオ1		遠藤 慶子, 大塚 絃未 大木 明子, 青木 和広																																										
2-3	4/18	12:50-16:00	歯学部演習室	学習項目の発表、シナリオ2	口腔保健と専門職を学ぶ意義、学習方法(PBL テュートリアル)シナリオ提示、学習項目の検討	遠藤 慶子, 大塚 絃未 大木 明子, 青木 和広																																										
4-5	4/25	12:50-16:00	歯学部演習室	学習項目の発表、全体発表準備	ディスカッション シナリオ提示、学習項目の検討	遠藤 慶子, 大塚 絃未 大木 明子, 青木 和広																																										
6-7	5/2	12:50-16:00	歯学部演習室	全体発表準備	ディスカッション全体発表項目、発表法の検討	遠藤 慶子, 大塚 絃未 大木 明子, 青木 和広																																										
8	5/9	12:50-14:20	口腔保健学科第3講義室	全体発表	全体発表準備	遠藤 慶子, 大塚 絃未 大木 明子, 青木 和広																																										
成績評価の方法 出席状況、課題準備内容、グループディスカッションの状況、全体発表の内容、課題レポートの内容で総合的に評価する。																																																
準備学習などについての具体的な指示 PBL テュートリアル形式の授業のため、各自学習した内容を資料としてまとめ、準備をした上で授業に臨むこと。																																																
試験の受験資格 3分の2以上の出席																																																
参考書 ・授業中に配布する資料。 ・参考書は授業時に紹介する。																																																
履修上の注意事項 ・試験規則に規定された出席要件を満たさない場合、本科目の単位は認定しない。 ・やむをえない事情で遅刻・欠席する場合は、担当教員にその旨連絡する。 ・事前に資料の配布、WebClass へのアップロードがあった場合は、予習して授業に臨むこと。																																																

時間割番号	022208																																																																				
科目名	歯科衛生学総論																																																																				
担当教員	小原 由紀																																																																				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1																																																																
科目名: 歯科衛生学総論 時間数: 90分×8回 授業形態: 講義																																																																					
主な講義場所 口腔保健学科 第2講義室																																																																					
授業の目的、概要等 歯科衛生の変遷と、歯科衛生業務に必要な専門知識・技術の概要および基本事項を理解するとともに、歯科衛生士の主要業務や歯科衛生過程の各場面で必要となる専門知識・技術の特徴を知る。																																																																					
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生の変遷を説明する。 ・歯科衛生を担う職種として、歯科衛生士の活動の場と業務内容を説明する。 ・歯科衛生業務で必要となる専門知識・専門技術の特徴を説明する。 ・歯科臨床の業務で必要となる専門知識・専門技術を説明する。 ・口腔疾患予防業務で必要となる専門知識・専門技術の特徴を説明する。 ・歯科衛生過程の各場面で必要となる専門知識・専門技術の特徴を説明する。 ・医療における多職種連携の重要性を説明する。 ・医療における安全確保の意義と対策を概説する。 																																																																					
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/3</td> <td>16:10-17:40</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>歯科衛生学とは</td> <td>歯科衛生士の歴史 歯科衛生業務 健康と口腔機能</td> <td>小原 由紀</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/10</td> <td>16:10-17:40</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>歯科衛生活動のための理論</td> <td>予防の概念 科学的思考 保健行動の理論</td> <td>小原 由紀</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>11/7</td> <td>16:10-17:40</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>歯科衛生過程</td> <td>ニーズとは何か 歯科衛生過程とは何か 歯科衛生過程の展開</td> <td>小原 由紀</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11/14</td> <td>16:10-17:40</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>歯科衛生士法と歯科衛生業務</td> <td>法の意義 歯科衛生業務の法的定義 歯科衛生士の社会的責任</td> <td>小原 由紀</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/21</td> <td>16:10-17:40</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>歯科衛生活動に求められる医療安全</td> <td>医療安全とは 医療安全管理とヒューマンエラー</td> <td>小原 由紀</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/28</td> <td>16:10-17:40</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>歯科衛生士の活動の場</td> <td>歯科衛生士数の現況 求められる資質と社会の制度</td> <td>小原 由紀</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>12/5</td> <td>12:50-14:20</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>多職種連携と国際貢献</td> <td>多職種連携とチーム医療 国際貢献活動</td> <td>小原 由紀</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/5</td> <td>14:30-16:00</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>プロフェッショナリズム</td> <td>課題演習 医のプロフェッショナリズム 医の倫理</td> <td>小原 由紀</td> </tr> </tbody> </table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/3	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	歯科衛生学とは	歯科衛生士の歴史 歯科衛生業務 健康と口腔機能	小原 由紀	2	10/10	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	歯科衛生活動のための理論	予防の概念 科学的思考 保健行動の理論	小原 由紀	3	11/7	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	歯科衛生過程	ニーズとは何か 歯科衛生過程とは何か 歯科衛生過程の展開	小原 由紀	4	11/14	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	歯科衛生士法と歯科衛生業務	法の意義 歯科衛生業務の法的定義 歯科衛生士の社会的責任	小原 由紀	5	11/21	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	歯科衛生活動に求められる医療安全	医療安全とは 医療安全管理とヒューマンエラー	小原 由紀	6	11/28	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	歯科衛生士の活動の場	歯科衛生士数の現況 求められる資質と社会の制度	小原 由紀	7	12/5	12:50-14:20	口腔保健 学科第2 講義室	多職種連携と国際貢献	多職種連携とチーム医療 国際貢献活動	小原 由紀	8	12/5	14:30-16:00	口腔保健 学科第2 講義室	プロフェッショナリズム	課題演習 医のプロフェッショナリズム 医の倫理	小原 由紀
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																															
1	10/3	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	歯科衛生学とは	歯科衛生士の歴史 歯科衛生業務 健康と口腔機能	小原 由紀																																																															
2	10/10	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	歯科衛生活動のための理論	予防の概念 科学的思考 保健行動の理論	小原 由紀																																																															
3	11/7	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	歯科衛生過程	ニーズとは何か 歯科衛生過程とは何か 歯科衛生過程の展開	小原 由紀																																																															
4	11/14	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	歯科衛生士法と歯科衛生業務	法の意義 歯科衛生業務の法的定義 歯科衛生士の社会的責任	小原 由紀																																																															
5	11/21	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	歯科衛生活動に求められる医療安全	医療安全とは 医療安全管理とヒューマンエラー	小原 由紀																																																															
6	11/28	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	歯科衛生士の活動の場	歯科衛生士数の現況 求められる資質と社会の制度	小原 由紀																																																															
7	12/5	12:50-14:20	口腔保健 学科第2 講義室	多職種連携と国際貢献	多職種連携とチーム医療 国際貢献活動	小原 由紀																																																															
8	12/5	14:30-16:00	口腔保健 学科第2 講義室	プロフェッショナリズム	課題演習 医のプロフェッショナリズム 医の倫理	小原 由紀																																																															
成績評価の方法 ・レポート、期末試験で総合的評価を行う。																																																																					

<ul style="list-style-type: none"> ・受講態度、出席状況等を総合的評価に加味する。 ・本学歯学部試験規則第 11 条(期末試験及び中間試験の受験資格)に規定された出席要件を満たさない場合、本科目の単位は認定しない。
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 ・出席が 2/3 に満たない場合、単位は認定しない。出席要件を満たすように十分留意すること。
<p>試験の受験資格</p> <p>2/3 以上の出席</p>
<p>教科書</p> <p>歯科衛生学総論／遠藤圭子 ほか 著：医歯薬出版，2012</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国歯科衛生士教育協議会監修：最新歯科衛生士教本「歯科衛生学総論」，医歯薬出版，2012.
<p>参考書</p> <p>歯科衛生士の臨床／E.M.ウィルキンス 著，石川達也 校閲，布施祐二，眞木吉信，松井恭平，松崎晃 監訳，全国歯科衛生士教育協議会 監修：医歯薬出版，2008</p> <p>最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修，高阪利美 ほか著：医歯薬出版，2011</p> <p>最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論／可児徳子，合場千佳子，高阪利美 編：医歯薬出版，2007</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国歯科衛生士教育協議会監修：最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」，医歯薬出版，2007. ・全国歯科衛生士教育協議会監修：最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」，医歯薬出版，2011. ・授業の際、印刷物を配布する。
<p>連絡先</p> <p>ohara.pvoh@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>随時</p>

時間割番号	022209						
科目名	メディア情報学						
担当教員	木下 淳博, 佐々木 好幸, 須永 昌代, 大塚 紘未						
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1		
科目名:メディア情報学 時間数:15時間 授業形態:講義・演習							
主な講義場所 1号館7階 口腔保健衛生学科第3講義室							
授業の目的、概要等 口腔保健活動および研究活動に必要なメディア情報処理、コンテンツ作成の基礎を修得し、演習を行う。							
授業の到達目標 1. 学内無線LANに各自の持込みPCを接続できる。 2. 情報セキュリティ、著作権を理解して、口腔保健学に必要な情報処理を実践できる。 3. PC上でプレゼンテーションファイル、静止画像、動画像を編集できる。 4. 表計算ソフトで簡単な集計ができる。 5. インターネットからの情報を適切に収集し、吟味できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	11/14	10:30-12:00	口腔保健 学科第3 講義室	情報セキュリティと著作権、メディアコンテンツ作成演習1	各自持参PCの無線LAN接続、情報セキュリティ、著作権、フリーソフトによる静止画像処理	木下 淳博 須永 昌代	講義・協力:メディア情報係
2	11/21	10:30-12:00	口腔保健 学科第3 講義室	メディアコンテンツ作成演習2	フリーソフトによる静止画像処理とパワーポイント演習	木下 淳博 須永 昌代	
3	11/28	10:30-12:00	口腔保健 学科第3 講義室	メディアコンテンツ作成演習3	フリーソフトによる動画像処理	木下 淳博 須永 昌代	
4	12/5	10:30-12:00	口腔保健 学科第3 講義室	メディアコンテンツ作成演習4	フリーソフトによる動画像処理	木下 淳博 須永 昌代	
5	12/12	10:30-12:00	口腔保健 学科第3 講義室	表計算演習	エクセルによる集計、グラフ作成とパワーポイントによる動画作成	木下 淳博 須永 昌代	
6	12/19	10:30-12:00	口腔保健 学科第3 講義室	インターネット情報検索演習	インターネットからの情報の収集と吟味	佐々木 好幸	
7	1/9	10:30-12:00	口腔保健 学科第3 講義室	課題発表(情報の収集と吟味)	課題発表(情報の収集と吟味)	佐々木 好幸	
8	1/16	10:30-12:00	口腔保健 学科第3 講義室	試験/課題発表(動画像処理)	各自持参PCによる試験(WebClass)および課題発表(動画像処理)	木下 淳博 須永 昌代	
成績評価の方法 提出課題および第8回に行うネットワーク上での試験で総合的評価を行う。							
準備学習などについての具体的な指示 事前に資料の配布、e-learningへのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格 3分の2以上の出席							

<p>履修上の注意事項</p> <p>・入学時の案内・ガイダンス等で指定した推奨ノート PC に指定のソフト (Microsoft 社製 Power Point は必須) をインストールして持参すること。 ・各自ノート PC、USB フラッシュメモリーおよびステレオイヤホンを持参すること。</p>
<p>備考</p> <p>口腔保健工学専攻と合同授業</p>
<p>連絡先</p> <p>木下 淳博:kinoshita.emdv@tmd.ac.jp 佐々木 好幸:sasaki.prev@tmd.ac.jp 須永 昌代:sunaga.emdv@tmd.ac.jp 大塚 紘未:hiromi.pvoh@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>木下 淳博:金 16:00-17:00 3号館5階 教育メディア開発部 佐々木 好幸:毎週月曜日・水曜日 17:00-19:00 須永 昌代:随時 大塚 紘未:随時</p>

時間割番号	022210					
科目名	臨床体験実習					
担当教員	小原 由紀					
開講時期	1.5 通年(秋)	対象年次	1~2	単位数	1	
主な講義場所						
口腔保健学科 第4 講義室・学外施設等						
授業の目的、概要等						
多様な場における歯科衛生士の活動の見学体験を通して、歯科衛生士の専門性と社会的役割、専門職としての倫理観、態度、ならびに対人援助の基本を学ぶ。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・体験した歯科衛生士の活動の実際について説明する。 ・歯科衛生士の専門的業務と社会的役割について説明する。 ・歯科衛生士としての倫理観、態度および対人援助の基本を説明する。 ・歯科衛生士に必要な専門知識・専門技術の基本事項を概説する。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/17	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	オリエンテーション	臨床体験実習の目的、スケジュール	小原 由紀
2-4	10/24	12:50-17:40	その他 (口腔保 健学科口 腔保健衛 生学専 攻)	歯科診療所等における 歯科衛生活動	歯科医療機関におけるシャドーイング 実習	小原 由紀 安田 昌代 近 藤 圭子
5	10/31	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	実習成果発表	報告書作成 実習成果発表会	小原 由紀
6-8	12/12	12:50-17:40	その他 (口腔保 健学科口 腔保健衛 生学専 攻)	歯科関連企業における 歯科衛生活動	実習前オリエンテーション	小原 由紀
9	1/23	14:30-16:00	口腔保健 学科第2 講義室	本学歯学部附属病院に おける歯科衛生活動2	歯学部附属病院における実習の事前 学習	小原 由紀 近藤 圭子 足 達 淑子
10-14	1/30	08:50-17:40	口腔保健 学科第2 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室 第1 総合診療 室	本学歯学部附属病院に おける歯科衛生活動2	歯学部附属病院外来見学実習 患 者体験実習 実習報告書作成	小原 由紀

成績評価の方法 ・報告書の提出、全体発表の結果をもって、総括的評価を行う。 ・受講態度、出席状況等を総括的評価に加味する。
準備学習などについての具体的な指示
参考書 ・授業の際に紹介する。
履修上の注意事項 ・医療福祉の現場における実習となるため、身だしなみに注意すること。身だしなみ、実習態度が不適切な場合は、実習停止とすることがある。
連絡先 ohara.pvoh@tmd.ac.jp
オフィスアワー 随時

第2学年
履修科目・ユニット

時間割番号	022210					
科目名	臨床体験実習					
担当教員	小原 由紀					
開講時期	1.5 通年(秋)	対象年次	1~2	単位数	1	
主な講義場所						
口腔保健学科 第2 講義室・附属病院・企業等						
授業の目的、概要等						
多様な場における歯科衛生士の活動の見学体験を通して、歯科衛生士の専門性と社会的役割、専門職としての倫理観、態度、ならびに対人援助の基本を学ぶ。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・体験した歯科衛生士の活動の実際について説明する。 ・歯科衛生士の専門的業務と社会的役割について説明する。 ・歯科衛生士としての倫理観、態度および対人援助の基本を説明する。 ・歯科衛生士に必要な専門知識・専門技術の基本事項を概説する。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/18	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	オリエンテーション	臨床体験実習の目的、スケジュール	小原 由紀
2-4	10/25	12:50-17:40	その他 (口腔保 健学科口 腔保健衛 生学専 攻)	歯科診療所等における 歯科衛生活動	歯科医療機関におけるシャドーイング実習	小原 由紀 安田 昌代 遠藤 圭子
5	11/1	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	実習成果発表	実習内容に関するプレゼンテーション資料 の作成と発表、グループディスカッション	小原 由紀
6-8	12/13	12:50-17:40	その他 (口腔保 健学科口 腔保健衛 生学専 攻)	歯科関連企業における 歯科衛生活動	デンタルインフォメーションセンターの見学 実習	小原 由紀
9	1/24	14:30-16:00	口腔保健 学科第2 講義室	本学歯学部附属病院に おける歯科衛生活動1	歯学部附属病院における実習の事前学習	小原 由紀
10-14	1/31	08:50-17:40	口腔保健 学科第2 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室 その 他(口腔 保健学科	本学歯学部附属病院に おける歯科衛生活動1	歯学部附属病院外来見学実習 患者体験 実習	小原 由紀 近藤 圭子

			口腔保健 衛生学専 攻)			
15	5/8	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者施設における歯 科衛生活動1	臨床体験実習の目的、方法、スケジュール 事前オリエンテーション	小原 由紀
16-22	5/25	09:00-16:50	その他 (口腔保 健学科口 腔保健衛 生学専 攻)	高齢者施設における歯 科衛生活動2	特別養護老人ホームにおける見学実習	小原 由紀
23-26	6/1	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者施設における歯 科衛生活動3	報告書作成、発表用資料作成、発表および 討論	小原 由紀
27	11/29	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	職域における歯科衛生 活動1	臨床体験実習の目的、方法、スケジュール 事前オリエンテーション	小原 由紀
28-35	12/7	09:00-17:50	その他 (口腔保 健学科口 腔保健衛 生学専 攻)	職域における歯科衛生 活動2	健康教育、歯科衛生業務の実際	小原 由紀
36-38	12/14	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	職域における歯科衛生 活動3	実習成果発表 実習報告書の作成	小原 由紀

成績評価の方法

- ・報告書の提出、全体発表の結果をもって、総括的評価を行う。
- ・受講態度、出席状況等を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

実習先施設の概要、関連法規等を事前に十分確認の上実習に参加すること。

参考書

- ・授業の際に紹介する。

連絡先

ohara.pvoh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時

時間割番号	022203																																																						
科目名	人体の構造と機能Ⅱ																																																						
担当教員	坂本 裕次郎, 井関 祥子, 勝山 成美																																																						
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2																																																		
<p>科目名: 人体の構造と機能及び疾病 ユニット番号: 2203 授業形態: 講義・(一部実習を含む) 時間数: 必修 2 単位・30 時間 科目責任者・ユニット責任者: 坂本 裕次郎・坂本 裕次郎</p>																																																							
<p>主な講義場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔保健学科第4講義室(1号館西8階) ・口腔保健学科基礎科学実習室(1号館西7階) ・解剖学実習室(3号館B1階) 																																																							
<p>授業の目的、概要等</p> <p>人体の正常な構造と機能を理解して、生命現象が営まれるメカニズムを分子レベルから個体レベルへと統合的に理解するとともに、組織および器官の発生のしくみと成長、発育、加齢の過程に伴う変化について理解する。</p>																																																							
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動器(骨格系と筋系)の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・循環器の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・循環調節のしくみおよび血液の役割を説明する。 ・内分泌器の構造および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・末梢神経系および中枢神経系の構造と機能およびその発生と成長に伴う変化を説明する。 ・感覚器系の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・消化器系の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・呼吸器系の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・泌尿器系の構造と機能、尿の生成機序を説明する。 ・生体の恒常性維持機構(体温調節、体液組成および体液量の調節)を説明する。 ・生殖器の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・体幹体肢の運動器、循環器、神経系の相互関係と頭頸部へのつながりについて説明する。 																																																							
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/4</td> <td>14:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>骨格系と筋系</td> <td>肉眼解剖学的にみた骨と筋、全身の骨格と筋の構成</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/5</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>骨格系と筋系</td> <td>肉眼解剖学的にみた骨と筋、全身の骨格と筋の構成</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/5</td> <td>10:00-10:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>骨格系と筋系</td> <td>肉眼解剖学的にみた骨と筋、全身の骨格と筋の構成</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/5</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>心臓と脈管系の構造</td> <td>心臓と血管・リンパ管の組織学的構造</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>4/7</td> <td>13:00-13:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>心臓と脈管系の構造</td> <td>心臓と血管・リンパ管の組織学的構造</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>4/7</td> <td>14:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第4</td> <td>循環器系</td> <td>肉眼解剖学的にみた全身の循環器の構成</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> </tbody> </table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/4	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	骨格系と筋系	肉眼解剖学的にみた骨と筋、全身の骨格と筋の構成	坂本 裕次郎	2	4/5	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	骨格系と筋系	肉眼解剖学的にみた骨と筋、全身の骨格と筋の構成	坂本 裕次郎	3	4/5	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	骨格系と筋系	肉眼解剖学的にみた骨と筋、全身の骨格と筋の構成	坂本 裕次郎	4	4/5	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	心臓と脈管系の構造	心臓と血管・リンパ管の組織学的構造	坂本 裕次郎	5	4/7	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	心臓と脈管系の構造	心臓と血管・リンパ管の組織学的構造	坂本 裕次郎	6	4/7	14:00-14:50	口腔保健 学科第4	循環器系	肉眼解剖学的にみた全身の循環器の構成	坂本 裕次郎
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																	
1	4/4	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	骨格系と筋系	肉眼解剖学的にみた骨と筋、全身の骨格と筋の構成	坂本 裕次郎																																																	
2	4/5	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	骨格系と筋系	肉眼解剖学的にみた骨と筋、全身の骨格と筋の構成	坂本 裕次郎																																																	
3	4/5	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	骨格系と筋系	肉眼解剖学的にみた骨と筋、全身の骨格と筋の構成	坂本 裕次郎																																																	
4	4/5	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	心臓と脈管系の構造	心臓と血管・リンパ管の組織学的構造	坂本 裕次郎																																																	
5	4/7	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	心臓と脈管系の構造	心臓と血管・リンパ管の組織学的構造	坂本 裕次郎																																																	
6	4/7	14:00-14:50	口腔保健 学科第4	循環器系	肉眼解剖学的にみた全身の循環器の構成	坂本 裕次郎																																																	

			講義室			
7	4/7	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	循環器系	肉眼解剖学的にみた全身の循環器の構成	坂本 裕次郎
8	4/12	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	循環器系の機能と循環 調節	心臓と脈管系の機能とその調節機構	勝山 成美
9	4/12	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	循環器系の機能と循環 調節	心臓と脈管系の機能とその調節機構	勝山 成美
10	4/12	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	血液の機能	血液の構成成分の働きと血液型	勝山 成美
11	4/13	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	脊髄と神経系の基本構 造	神経系の構成、神経細胞と化学シナプス の構造	坂本 裕次郎
12	4/13	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	全身の末梢神経系	脊髄と脊髄神経	坂本 裕次郎
13	4/13	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	内分泌系の構造と発生	内分泌器官の種類と構造、発生過程	井関 祥子
14	4/13	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	内分泌系の構造と発生	内分泌器官の種類と構造、発生過程	井関 祥子
15	4/19	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	全身の末梢神経系	脊髄神経系と自律神経系の走行	坂本 裕次郎
16	4/19	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	全身の末梢神経系	脊髄神経系と自律神経系の走行	坂本 裕次郎
17	4/19	11:00-11:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	体幹体肢の骨格系の観 察	人体骨格標本を使って、体幹・体肢の骨格 系の特徴と頭部とのつながりについて	坂本 裕次郎
18	5/10	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	呼吸器系の構造	呼吸器系の構成と組織構造	坂本 裕次郎
19	5/24	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	神経系の発生	神経系の発生過程とその機構	井関 祥子
20	5/24	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	呼吸器系の発生	呼吸器系の発生過程とその機構	井関 祥子
21	5/31	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	呼吸器系の働き	呼吸運動、ガス交換のしくみ、呼吸調節、 肺気量の分画	勝山 成美
22	5/31	11:00-11:50	口腔保健 学科第4	体温調節	発汗、体温調節機構	勝山 成美

			講義室			
23	6/7	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	泌尿器系の構造と発生	泌尿器系の構造と発生のしくみ	井関 祥子
24	6/7	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	泌尿器系の構造と発生	泌尿器系の構造と発生のしくみ	井関 祥子
25	6/8	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	生殖器の構造と発生	生殖器の構造と発生のしくみ	坂本 裕次郎
26	6/8	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	生殖器の構造と発生	生殖器の構造と発生のしくみ	坂本 裕次郎
27	7/5	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	尿の生成と体液の調節	尿生成のメカニズム、排尿、体液量および 体液組成の調節	勝山 成美
28	7/5	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	尿の生成と体液の調節	尿生成のメカニズム、排尿、体液量および 体液組成の調節	勝山 成美
29	7/12	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	脊髄神経系・自律神経 系・脈管系と周囲の構造	体幹・体肢の末梢神経系・脈管系の総括と 頭頸部とのつながり	坂本 裕次郎
30	7/12	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	脊髄神経系・自律神経 系・脈管系と周囲の構造	体幹・体肢の末梢神経系・脈管系の総括と 頭頸部とのつながり	坂本 裕次郎

成績評価の方法

- ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総合的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

- ・1年次開講の「人体の構造と機能Ⅰ」と一連の授業であることを理解しておくこと。
- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・事前に資料の配付、e-learningへのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

参考書

人体の構造と機能／前田健康、山田好秋 ほか著、:医歯薬出版、2010

人体解剖学／藤田恒太郎 著、:南江堂、2003

入門人体解剖学／藤田恒夫 著、:南江堂、2012

グレイ解剖学／Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell 原著、塩田浩平、瀬口春道、大谷浩、杉本哲夫 訳、:エルゼビア・ジャパン、2011

標準組織学総論／藤田尚男、藤田恒夫 共著、:医学書院、2002

標準組織学／藤田尚男、藤田恒夫 共著、:医学書院、2010

標準生理学／小澤静司、福田康一郎 総編集、本間研一、大森治紀、大橋俊夫 編、:医学書院、2009

解剖学・組織発生学・口腔解剖学／全国歯科衛生士教育協議会 編、:医歯薬出版、1996

生理学／全国歯科衛生士教育協議会 編、:医歯薬出版、1995

履修上の注意事項

- ・実習室で行われる授業では白衣とネームプレートを着用すること。

連絡先

坂本 裕次郎 y.sakamoto.bsoh@tmd.ac.jp

井関 祥子 s.iseki.emb@tmd.ac.jp

勝山 成美 katz.cnb@tmd.ac.jp

オフィスアワー

坂本 裕次郎随時 1号館西8階

井関 祥子随時 (必ず事前に連絡すること)

勝山 成美随時(ただし必ず事前に連絡のこと)

時間割番号	022211						
科目名	科学英語 I						
担当教員	品田 佳世子						
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1		
科目名:科学英語 I 時間数:15 時間 授業形態:講義(英会話および e-learning 含む)							
主な講義場所 口腔保健学科 第4 講義室							
授業の目的、概要等 <ul style="list-style-type: none"> ・口腔保健に関連する基本的英語表現を修得する。 ・口腔保健に関して、英語で対応するための基礎的能力を身につける。 							
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・口腔保健関連の専門用語を英語で表現する。 ・英会話で、予約対応、医療面接の補助等を行うための基礎を学ぶ。 ・英語で歯科疾患について説明できるための基礎を学ぶ。 ・英語でブラッシング、フッ化物の応用、シーラントを説明するための基礎を学ぶ。 ・歯科、口腔保健関連の英文を読解し、内容を理解する。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	5/29	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Making an appointment(Conversation) 受付などの対応の 実践(英会話) Healthy snacks for teeth(Reading)	Making an appointment(Conversation) 受付 などの対応の実践(英会話) Healthy snacks for teeth(Reading)	品田 佳世子, 關 奈央子, Janelle Renee Moross	歯科英語の教科 書を予習しておく こと
3-4	6/5	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Asking the Medical History(Conversation) 医療面接のアシスタント (英会話) Toothbrush and brushing (Reading)	Asking the Medical History(Conversation) 医療面接 のアシスタント(英会話) Toothbrush and brushing (Reading)	品田 佳世子, 關 奈央子, Janelle Renee Moross	歯科英語の教科 書を予習しておく こと
5-6	6/12	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Periodontal disease(Conversation) Tooth designating system, Tobacco and oral health (Reading)	Periodontal disease(Conversation) Tooth designating system, Tobacco and oral health (Reading)	品田 佳世子, 關 奈央子, Janelle Renee Moross	歯科英語の教科 書を予習しておく こと
7-8	6/19	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Tooth brushing Instruction(Conversation) Bleeding and swollen gums during pregnancy (Reading)	Tooth brushing Instruction(Conversation) Bleeding and swollen gums during pregnancy (Reading)	品田 佳世子, 關 奈央子, Janelle Renee Moross	歯科英語の教科 書を予習しておく こと
9-10	6/26	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室 情報検索 室	e-learning	e-learning	關 奈央子, Janelle Renee Moross	歯科英語(英会 話)の授業を復習 しておくこと
11-12	7/3	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	First aid steps for a knocked-out tooth, Global goals for oral health (Reading)	First aid steps for a knocked-out tooth, Global goals for oral health (Reading)	品田 佳世子	歯科英語の教科 書を予習しておく こと

13-14	7/10	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Why sealants?, Fluoride; How does it work?, Care for child's teeth, Post operative instructions	Why sealants?, Fluoride; How does it work?, Care for child's teeth, Post operative instructions (Reading)	品田 佳世子	歯科英語の教科 書を予習しておく こと 口腔保健に 関する学術論文 配布、次の回まで に予習すること
15	7/24	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔保健に関する学術 論文(事前配布)	口腔保健に関する学術論文(事前 配布)	品田 佳世子	口腔保健に関す る学術論文を予 習しておくこと

成績評価の方法

- ・期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度、英語によるロールプレイの状況を総括的評価に加味する。
- ・随時の小テスト等で形成的評価を行い総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

- ・教科書や事前に配布された資料中の単語を調べ、声を出して読んで、予習しておくこと。
- ・単語のテストの範囲を事前に知らせるので、学習しておくこと。

試験の受験資格

全講義 15 時間の 2/3 以上出席していること。

教科書

歯科英語／Thomas RWard, 川口陽子, 廣瀬浩二, 杉田めぐみ 著, :医歯薬出版, 2013

参考書

丸ごと覚える歯科臨床英会話フレーズ集 川口陽子 監修・著 クインテッセンス出版

TMDU 臨床トレーニングシリーズ 英語医療面接教材:56yo Female pain,他9本 關奈央子、須永昌代、福井雄二、ジャーナル・モロス、樺沢
勇司、木下淳博 著 東京大学出版会

備考

担当(6時間)教員:關 奈央子 統合国際機構
Janelle Moross 統合国際機構

連絡先

shinada.pvoh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時

時間割番号	022212						
科目名	科学英語Ⅱ						
担当教員	荒川 真一						
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1		
科目名:科学英語Ⅱ 時間数:15時間 授業形態:講義							
主な講義場所 演習室または第4講義室							
授業の目的、概要等 <ul style="list-style-type: none"> ・口腔保健に関連する科学論文を理解する能力を身につける。 ・口腔保健の研究に関して、英語で発表できる能力を身につける。 							
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・口腔保健関連の英語の専門用語を理解する。 ・口腔保健関連英文科学論文の内容を理解する。 ・口腔保健関連英文科学論文の内容を説明する。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	10/20	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	英文論文の種類・構成 について	様々な英文論文の種類について説明する。英文論文の構成について概説する。これにより、いかに英文論文を読むかを体得する。	荒川 真一	
4-6	10/27	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	論文検索の方法及び抄読論文の選択	文献検索の方法を学ぶ。次回から読む論文を選択する。	荒川 真一	PCを持参すること。班別または、個人ごとで選定する。
7-9	11/10	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	英語論文抄読	前回選択した英文論文を抄読する。	荒川 真一	PCを持参すること。参考文献もチェックする。
10-12	11/17	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	英語論文抄読・抄読の発表の準備	抄読の継続。次回論文内容を紹介すが、その準備を行う。	荒川 真一	PCを持参すること。
13-15	12/14	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	抄読の発表、小テスト	論文内容を発表する。小テストを実施する。	荒川 真一	PCを持参すること。
成績評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総合的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。 ・提出レポート、発表等で総合的評価を行う。 							
準備学習などについての具体的な指示 あらかじめ配布された英文論文を読み、内容(当該研究の目的・方法・討論)を理解するよう努力する。Abstractを読み内容的に門外漢であった場合は、Introductionで研究の背景を勉強しておく。							
参考書 英和辞典、PC(文献検索に使用)							
備考 <ul style="list-style-type: none"> ・英語の辞書(電子辞書)、PC(11回目からの文献検索に使用)等を持参すること。 ・事前に配布された論文中のわからない単語を調べ、予習しておくこと。 							

時間割番号	022214																																														
科目名	歯・口腔の構造と機能																																														
担当教員	坂本 裕次郎, 泰羅 雅登, 勝山 成美																																														
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	4																																										
科目名: 歯・口腔の構造と機能 ユニット番号: 2204 授業形態: 講義・(一部実習を含む) 時間数: 必修 4 単位・60 時間 科目責任者・ユニット責任者: 坂本 裕次郎・坂本 裕次郎																																															
主な講義場所 ・口腔保健学科第 4 講義室(1 号館西 8 階) ・口腔保健学科基礎科学実習室(1 号館西 7 階)																																															
授業の目的、概要等 顎・顔面・口腔領域の組織、器官の構造と機能および分子的基盤を学ぶとともに、それらの発生と成長について学び、顎・顔面・口腔領域の健康と全身の健康との関連について理解を深める。																																															
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・顎顔面と口腔諸器官の構造および発生と成長について説明する。 ・歯と歯列の方向用語、歯の形態を表す用語について説明する。 ・歯の分類と表記方法について説明する。 ・末梢神経系および中枢神経系の構造と機能およびその発生と成長に伴う変化を説明する。 ・感覚器系の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・脳神経の支配様式と働きについて説明する。 ・消化器系の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・唾液線の構造と分泌機構および唾液の成分とその作用について説明する。 ・歯と歯周組織の形態と構成成分ならびに機能について説明する。 ・歯と歯周組織の発生、成長過程を説明する。 ・脳の構造と上行性・下行性伝導路について説明する。 ・口腔領域の体性感覚器・味覚器の構造と働きおよび発生と成長について説明する。 ・下顎反射のしくみとその役割について説明する。 ・咀嚼運動の神経機構と嚥下・吸引・嘔吐反射のしくみを説明する。 ・発声・構音のしくみを説明する。 ・口腔諸器官(歯・歯周組織・唾液線を含む)の機能と全身の正常機能とを関連づける。 																																															
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>15:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>口腔諸器官の総論</td> <td>口腔～咽頭の構造と機能の基礎知識、 歯と歯周組織の構成要素</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/5</td> <td>16:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯と歯列の総論</td> <td>歯の種類と記号・方向用語、歯列と咬合 の基礎知識</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/26</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>中枢神経系の構成</td> <td>脳の基本構成と脳脊髄膜と脳室系</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:00-10:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>脳神経</td> <td>脳神経系の構成と基本走行</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>4/26</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>脳神経</td> <td>脳神経系の構成と基本走行</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/5	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔諸器官の総論	口腔～咽頭の構造と機能の基礎知識、 歯と歯周組織の構成要素	坂本 裕次郎	2	4/5	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯と歯列の総論	歯の種類と記号・方向用語、歯列と咬合 の基礎知識	坂本 裕次郎	3	4/26	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	中枢神経系の構成	脳の基本構成と脳脊髄膜と脳室系	坂本 裕次郎	4	4/26	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	脳神経	脳神経系の構成と基本走行	坂本 裕次郎	5	4/26	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	脳神経	脳神経系の構成と基本走行	坂本 裕次郎
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																									
1	4/5	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔諸器官の総論	口腔～咽頭の構造と機能の基礎知識、 歯と歯周組織の構成要素	坂本 裕次郎																																									
2	4/5	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯と歯列の総論	歯の種類と記号・方向用語、歯列と咬合 の基礎知識	坂本 裕次郎																																									
3	4/26	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	中枢神経系の構成	脳の基本構成と脳脊髄膜と脳室系	坂本 裕次郎																																									
4	4/26	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	脳神経	脳神経系の構成と基本走行	坂本 裕次郎																																									
5	4/26	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	脳神経	脳神経系の構成と基本走行	坂本 裕次郎																																									

6	5/2	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	感覚器系の構造	感覚器の構造および感覚伝導路の基本	坂本 裕次郎
7	5/2	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	感覚器系の構造	感覚器の構造および感覚伝導路の基本	坂本 裕次郎
8	5/10	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	消化器系総論	消化器系の全体像と発生および基本構造	坂本 裕次郎
9	5/10	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔粘膜・舌・唾液腺	口腔粘膜・舌・唾液腺の構造	坂本 裕次郎
10	5/17	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	神経系の働き	興奮伝導・興奮伝達のしくみ、神経伝達物質の働き	泰羅 雅登
11	5/17	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	神経系の働き	末梢神経系の働き、脊髄の働きと脊髄反射	泰羅 雅登
12	5/17	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	神経系の働き	脳(大脳皮質、大脳辺縁系、間脳、小脳、脳幹(なか))の働き	泰羅 雅登
13	5/18	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	一般体性感覚、内臓感覚	一般体性感覚、内臓感覚	泰羅 雅登
14	5/18	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	特殊感覚	視覚、聴覚、平衡感覚の伝導路と機能	泰羅 雅登
15	5/18	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	特殊感覚	視覚、聴覚、平衡感覚の伝導路と機能	泰羅 雅登
16	5/18	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	記憶・学習・情動行動	記憶・学習・情動行動のしくみ	泰羅 雅登
17	5/19	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔粘膜・舌・唾液腺	口腔粘膜・舌・唾液腺の構造	坂本 裕次郎
18	5/22	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔粘膜・舌・唾液腺	口腔粘膜・舌・唾液腺の構造	坂本 裕次郎
19	5/26	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	口蓋、咽頭、喉頭	口蓋・咽頭・喉頭の構造	坂本 裕次郎
20	6/2	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	食道、胃腸	食道、胃、小腸、大腸の構造	坂本 裕次郎
21	6/9	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	肝胆膵	肝臓、胆のう、膵臓の構造	坂本 裕次郎
22	6/14	10:00-10:50	口腔保健	顎顔面領域の発生	顎顔面領域の初期発生	坂本 裕次郎

			学科第4 講義室				
23	6/14	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯の発生 1	硬組織形成前までの歯胚の発生過程	坂本 裕次郎	
24	6/15	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯の発生 2	象牙質・歯髄複合体の形成機構	坂本 裕次郎	
25	6/15	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯の発生 3	エナメル質の形成機構	坂本 裕次郎	
26	6/16	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯周組織の形成機構	歯周組織の形成機構	坂本 裕次郎	
27	6/19	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	象牙質・歯髄複合体	象牙質・歯髄複合体の構造と象牙質の成長線	坂本 裕次郎	
28	6/19	10:00-10:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	口腔領域の消化器系の組織観察	口唇・舌・扁桃・唾液腺の顕微鏡観察	坂本 裕次郎	
29	6/19	11:00-11:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	口腔領域の消化器系の組織観察	口唇・舌・扁桃・唾液腺の顕微鏡観察	坂本 裕次郎	
30	6/21	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	エナメル質	エナメル質の構造と成長線	坂本 裕次郎	
31	6/26	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯周組織	歯周組織の構造	坂本 裕次郎	
32	6/26	10:00-10:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	顔面の発生・歯の発生の組織像	顔面の発生、初期歯胚、硬組織形成期歯胚の顕微鏡観察	坂本 裕次郎	
33	6/26	11:00-11:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	顔面の発生・歯の発生の組織像	顔面の発生、初期歯胚、硬組織形成期歯胚の顕微鏡観察	坂本 裕次郎	
34	6/28	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯列形成と歯の萌出と交換	歯列と咬合の形成と歯の萌出と交換のしくみ	坂本 裕次郎	
35	7/11	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯と歯周組織の組織像	象牙質・エナメル質・歯周組織の顕微鏡観察	坂本 裕次郎	
36	7/11	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯と歯周組織の組織像	象牙質・エナメル質・歯周組織の顕微鏡観察	坂本 裕次郎	
37	7/27	14:00-14:50	口腔保健	中間まとめ	ここまでのまとめ	坂本 裕次郎	

			学科第4 講義室				
38	10/2	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	中枢神経系	中枢神経系の外景と内景	坂本 裕次郎	
39	10/2	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	中枢神経系	中枢神経系の外景と内景	坂本 裕次郎	
40	10/2	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	中枢神経系	上行性・下行性伝導路	坂本 裕次郎	
41	11/16	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯と口腔の神経	歯と口腔の感覚をつかさどる神経	坂本 裕次郎	
42	11/21	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯と口腔の神経	歯と口腔の感覚をつかさどる神経	坂本 裕次郎	
43	11/21	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯と口腔の神経	口腔の自律神経系	坂本 裕次郎	
44	11/28	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯と口腔の神経	口腔の自律神経系	坂本 裕次郎	
45	11/29	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔粘膜感覚	口腔粘膜感覚のしくみ	泰羅 雅登	
46	11/29	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯髄感覚・歯根膜感覚	歯髄感覚・歯根膜感覚のしくみ	泰羅 雅登	
47	12/6	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	唾液腺の機能	唾液の分泌機構	勝山 成美	
48	12/6	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	唾液腺の機能	唾液の性状・成分・生理作用	勝山 成美	
49	12/11	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	咀嚼運動	顎関節の感覚をつかさどる神経	坂本 裕次郎	
50	12/11	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	咀嚼運動	咀嚼運動の制御機構	坂本 裕次郎	
51	12/11	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	咀嚼運動	口蓋と咽頭のつながり	坂本 裕次郎	
52	12/13	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	味覚・嗅覚	味覚と嗅覚のしくみ	泰羅 雅登	
53	12/13	11:00-11:50	口腔保健 学科第4	味覚・嗅覚	味覚と嗅覚のしくみ	泰羅 雅登	

			講義室			
54	12/20	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	下顎反射、嚥下、吸引、 嘔吐	開口反射と閉口反射のしくみ、嚥下、吸 引、嘔吐のしくみ	泰羅 雅登
55	12/20	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	発声と構音	発声のしくみと構音	泰羅 雅登
56	12/21	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	消化と吸収	消化管運動のしくみ	勝山 成美
57	12/21	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	消化と吸収	消化液の成分と作用および分泌調節	勝山 成美
58	12/21	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	消化と吸収	栄養素の消化と吸収および排便反射の しくみ	勝山 成美
59	1/16	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	実習の解説	基礎科学実習との関連について	坂本 裕次郎
60	1/26	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	総まとめ	総まとめ	坂本 裕次郎

成績評価の方法

- ・前期評価と後期評価を総合して年間評価とするが、原則として前期と後期それぞれに合格しなくてはならない。
- ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総合的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。
- ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、授業態度等も総合的評価に加える。

準備学習などについての具体的な指示

- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

- ・前期末と後期末に評価するので、前期と後期それぞれに受験資格を満たさなくてはならない。

参考書

歯・口腔の構造と機能：口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学／全国歯科衛生士教育協議会 監修、井出吉信、山田好秋 ほか著、医歯薬出版、2011

人体の構造と機能／前田健康、山田好秋 ほか著、医歯薬出版、2010

人体解剖学／藤田恒太郎 著、南江堂、2003

入門人体解剖学／藤田恒夫 著、南江堂、2012

標準組織学／藤田尚男、藤田恒夫 共著、医学書院、2010

基礎歯科生理学／森本俊文、山田好秋、二ノ宮裕三、岩田幸一 編、医歯薬出版、2014

標準生理学／小澤静司、福田康一郎 総編集、本間研一、大森治紀、大橋俊夫 編、医学書院、2009

解剖学・組織発生学・口腔解剖学／全国歯科衛生士教育協議会 編、医歯薬出版、1996

生理学／全国歯科衛生士教育協議会 編、医歯薬出版、1995

履修上の注意事項

- ・実習室で行われる授業では白衣とネームプレートを着用すること。

備考

連絡先

坂本 裕次郎 y.sakamoto.bsoh@tmd.ac.jp

泰羅 雅登 masato.cnb@tmd.ac.jp

勝山 成美 katz.cnb@tmd.ac.jp

オフィスアワー

坂本 裕次郎 随時 1号館西8階

泰羅 雅登 随時 (必ず事前に連絡のこと)

勝山 成美 随時 (ただし必ず事前に連絡のこと)

時間割番号	022215																																															
科目名	歯の形態学																																															
担当教員	坂本 裕次郎 安江 透																																															
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	1																																											
科目名:歯・口腔の構造と機能 ユニット番号:2205 授業形態:講義・実習 時間数:必須1単位・30時間 科目責任者・ユニット責任者:坂本 裕次郎・坂本 裕次郎																																																
主な講義場所 ・口腔保健学科基礎科学実習室(1号館西7階) ・口腔保健学科第4講義室(1号館西8階) ・解剖学実習室(3号館B1階)																																																
授業の目的、概要等 歯の種類と形態的特徴および役割、頭蓋と顎関節および頭頸部の諸器官の構造を互いに関連付けて学び、歯と口腔の役割を包括的に理解するとともに、顎・顔面・口腔領域の健康と全身の健康との相互関係について理解を深める。																																																
授業の到達目標 ・口腔の構造とはたらきについて説明する。 ・歯と歯周組織の構成要素ならびに役割について説明する。 ・歯と歯列の方向用語、歯の形態を表す用語について説明する。 ・歯の分類と表記方法について説明する。 ・永久歯の種類ごとに歯冠と歯根の形態について説明する。 ・永久歯の種類と上下左右の区別について説明する。 ・乳歯の種類ごとに歯冠と歯根の形態について説明する。 ・乳歯の種類と上下左右の区別について説明する。 ・歯の形態について立体的に表現する。 ・頭蓋を構成する骨の種類と形態および顎関節の構造について説明する。 ・頭頸部の筋の種類と起始・停止、支配神経と作用を説明する。 ・頭頸部の動・静脈、リンパ系について説明する。 ・ヒトの歯の形態と顎運動を互いに関連付けて説明する。 ・口腔諸器官の機能と全身の正常機能とを関連づける。																																																
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/12</td> <td>15:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>永久歯の解剖学</td> <td>切歯・犬歯・小臼歯の形態</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/19</td> <td>15:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>永久歯の解剖学</td> <td>切歯・犬歯・小臼歯の形態</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>3-5</td> <td>4/20</td> <td>13:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科基礎 科学実習 室</td> <td>歯の形態1</td> <td>切歯と犬歯のスケッチと形態形成</td> <td>坂本 裕次郎 安江 透</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>4/26</td> <td>15:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>永久歯の解剖学</td> <td>大臼歯の形態</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>4/27</td> <td>13:00-13:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>乳歯の解剖学</td> <td>乳切歯・乳犬歯・乳臼歯の形態</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> </tbody> </table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/12	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	永久歯の解剖学	切歯・犬歯・小臼歯の形態	坂本 裕次郎	2	4/19	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	永久歯の解剖学	切歯・犬歯・小臼歯の形態	坂本 裕次郎	3-5	4/20	13:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態1	切歯と犬歯のスケッチと形態形成	坂本 裕次郎 安江 透	6	4/26	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	永久歯の解剖学	大臼歯の形態	坂本 裕次郎	7	4/27	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	乳歯の解剖学	乳切歯・乳犬歯・乳臼歯の形態	坂本 裕次郎
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																										
1	4/12	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	永久歯の解剖学	切歯・犬歯・小臼歯の形態	坂本 裕次郎																																										
2	4/19	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	永久歯の解剖学	切歯・犬歯・小臼歯の形態	坂本 裕次郎																																										
3-5	4/20	13:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態1	切歯と犬歯のスケッチと形態形成	坂本 裕次郎 安江 透																																										
6	4/26	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	永久歯の解剖学	大臼歯の形態	坂本 裕次郎																																										
7	4/27	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	乳歯の解剖学	乳切歯・乳犬歯・乳臼歯の形態	坂本 裕次郎																																										

8-10	4/27	14:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 2	小臼歯のスケッチと形態形成	坂本 裕次郎 安江 透
11	5/11	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	乳歯の解剖学	乳切歯・乳犬歯・乳臼歯の形態	坂本 裕次郎
12-14	5/11	14:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 3	大臼歯のスケッチと形態形成	坂本 裕次郎
15	5/22	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	永久歯の解剖学	永久歯のまとめ	坂本 裕次郎
16	10/16	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	頭蓋	頭蓋の外景・内景	坂本 裕次郎
17	10/16	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	頭頸部の脈管系	頭頸部の動・静脈 1	坂本 裕次郎
18	10/16	11:00-11:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	頭蓋	頭蓋の外景・内景の観察	坂本 裕次郎
19	10/19	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	頭蓋	頭蓋を構成する骨	坂本 裕次郎
20	11/7	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	頭蓋	頭蓋を構成する骨	坂本 裕次郎
21	11/7	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	頭頸部の脈管系	頭頸部の動・静脈 2、リンパ管・リンパ節	坂本 裕次郎
22	11/14	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	頭頸部の筋系と頸筋膜	表情筋・咀嚼筋・浅頸筋・外側頸筋	坂本 裕次郎
23	11/14	14:00-14:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	頭蓋	頭蓋を構成する骨の観察	坂本 裕次郎
24	11/21	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	頭頸部の筋系と頸筋膜	前頸筋(舌骨上筋・舌骨下筋)・後頸筋、頸筋膜	坂本 裕次郎
25	11/21	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	顎関節と顎運動	顎関節の構造と機能および顎運動	坂本 裕次郎
26	11/28	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	顎関節と顎運動	顎関節の構造と機能および顎運動	坂本 裕次郎

27	1/19	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	実習の解説	見学実習・基礎科学実習との関連	坂本 裕次郎	
28-30	1/30	09:00-11:50	解剖学実 習室	解剖学見学実習	解剖体を使って、頭頸部を中心とした局所解剖観察	坂本 裕次郎	
成績評価の方法							
<ul style="list-style-type: none"> ・授業は講義と実習を合わせて行い、期末の客観試験、論述試験および実習内容で総括的評価を行う。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、出席状況、提出物、授業態度等も総括的評価に加える。 ・前期と後期での講義の評価と実技の評価を総合して年間評価するが、原則として前期と後期に講義と実技のそれぞれに合格しなくてはならない。 							
準備学習などについての具体的な指示							
<ul style="list-style-type: none"> ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 							
試験の受験資格							
<ul style="list-style-type: none"> ・前期末と後期末に講義と実技を分けて評価するので、前期と後期それぞれに講義と実技での受験資格を満たさなくてはならない。 							
参考書							
<p>歯・口腔の構造と機能：口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学／全国歯科衛生士教育協議会 監修、井出吉信、山田好秋 ほか著、：医歯薬出版、2011</p> <p>歯の解剖学／藤田 恒太郎／原著、：金原出版、1995</p> <p>人体解剖学／藤田恒太郎 著、：南江堂、2003</p> <p>入門人体解剖学／藤田恒夫 著、：南江堂、2012</p> <p>グレイ解剖学／Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell 原著、塩田浩平、瀬口春道、大谷浩、杉本哲夫 訳、：エルゼビア・ジャパン、2011</p>							
履修上の注意事項							
<ul style="list-style-type: none"> ・実習室で行われる授業では白衣とネームプレートを着用すること。 ・解剖学実習室で行われる授業では、白衣と上履を着用するほか、臨床系実習と同様のゴム手袋(グローブ)やマスク等を着用すること。 							
連絡先							
<p>坂本 裕次郎 y.sakamoto.bsoh@tmd.ac.jp</p> <p>安江 透 yasue.fpo@tmd.ac.jp</p>							
オフィスアワー							
<p>坂本 裕次郎 随時 1号館西8階</p> <p>安江 透 随時</p>							

時間割番号	022216																																														
科目名	口腔保健衛生基礎科学																																														
担当教員	坂本 裕次郎, 青木 和広, 田村 幸彦, 水口 俊介, 上野 俊明, 高橋 敏幸, 駒ヶ嶺 友梨子																																														
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	1																																										
<p>科目名: 口腔保健衛生基礎科学 ユニット番号: 2206 授業形態: 実習 対象年次: 2年・編入3年 時間数: 必修1単位・30時間 科目責任者・ユニット責任者: 坂本 裕次郎・坂本 裕次郎</p>																																															
<p>主な講義場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔保健学科基礎科学実習室(1号館西7階) ・解剖学実習室(3号館B1階) ・上記以外の場所で行う実習項目があるので事前に確認すること。 																																															
<p>授業の目的、概要等</p> <p>人体の構造と機能及び疾病、歯・口腔の構造と機能、疾病の成り立ちと回復過程の促進などの講義で学習した内容について、実習を通して理解を深める。</p>																																															
<p>授業の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人体の筋、神経系および主要器官を観察して特徴を説明する。(2年生対象) ・人体の主要器官の組織標本を観察して特徴を説明する。 ・細菌の分離培養とその細菌の鑑別を行う。 ・組織標本の切片作製と染色を行い、光学顕微鏡観察の意義について説明する。 ・咀嚼その他の各種の運動と筋の働きの検査を行い、筋の種類と働きについて説明する。 ・味覚および体性感覚の感覚検査を行い、感覚のしくみについて説明する。 ・中枢神経に作用する薬物とくに麻酔薬の作用とED50について理解する。 ・蛍光色素等の硬組織内への沈着を観察し、硬組織の成長・発育過程を説明する。 ・う蝕および歯周病のリスクおよびその予防法について説明する。(編入生対象) ・口臭の測定や口腔内状況を観察し、口臭の発生や予防について説明する。(編入生対象) ・歯科で用いられる生体材料の基本的な操作法を説明する。(編入生対象) 																																															
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>6/23</td> <td>10:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科基礎 科学実習 室</td> <td>解剖組織実習1</td> <td>組織標本作製(組織切片の作製)と組織標本の顕微鏡観察1</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>3-5</td> <td>6/30</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科基礎 科学実習 室</td> <td>解剖組織実習2</td> <td>組織標本作製(組織切片の染色)と顕微鏡観察2</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>6-8</td> <td>7/12</td> <td>13:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科基礎 科学実習 室</td> <td>細菌学実習</td> <td>細菌標本の作製と観察</td> <td>鈴木 敏彦</td> </tr> <tr> <td>9-11</td> <td>7/26</td> <td>13:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科基礎 科学実習 室</td> <td>肉眼解剖学実習</td> <td>解剖体を使って、頭頸部以外を中心とした観察</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>7/27</td> <td>13:00-13:50</td> <td>口腔保健 学科基礎</td> <td>解剖組織実習3</td> <td>組織標本作製(組織切片の染色)と顕微鏡観察3</td> <td>坂本 裕次郎</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-2	6/23	10:00-11:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖組織実習1	組織標本作製(組織切片の作製)と組織標本の顕微鏡観察1	坂本 裕次郎	3-5	6/30	09:00-11:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖組織実習2	組織標本作製(組織切片の染色)と顕微鏡観察2	坂本 裕次郎	6-8	7/12	13:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	細菌学実習	細菌標本の作製と観察	鈴木 敏彦	9-11	7/26	13:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	肉眼解剖学実習	解剖体を使って、頭頸部以外を中心とした観察	坂本 裕次郎	12	7/27	13:00-13:50	口腔保健 学科基礎	解剖組織実習3	組織標本作製(組織切片の染色)と顕微鏡観察3	坂本 裕次郎
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																									
1-2	6/23	10:00-11:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖組織実習1	組織標本作製(組織切片の作製)と組織標本の顕微鏡観察1	坂本 裕次郎																																									
3-5	6/30	09:00-11:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖組織実習2	組織標本作製(組織切片の染色)と顕微鏡観察2	坂本 裕次郎																																									
6-8	7/12	13:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	細菌学実習	細菌標本の作製と観察	鈴木 敏彦																																									
9-11	7/26	13:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	肉眼解剖学実習	解剖体を使って、頭頸部以外を中心とした観察	坂本 裕次郎																																									
12	7/27	13:00-13:50	口腔保健 学科基礎	解剖組織実習3	組織標本作製(組織切片の染色)と顕微鏡観察3	坂本 裕次郎																																									

			科学実習室			
13	1/11	14:00-14:50	口腔保健 学科基礎 科学実習室	解剖と機能の実習	解剖と機能の実習1の予告説明	坂本 裕次郎
14	1/12	09:00-09:50	口腔保健 学科基礎 科学実習室	解剖と機能の実習	解剖と機能の実習2、3の予告説明	坂本 裕次郎 水口 俊介, 高橋 敏幸
15-18	1/12	13:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習室	解剖と機能の実習1、2、 3	1 感覚機能検査(味覚閾値測定・皮膚感覚の測定)、2 運動機能検査(咀嚼・その他の運動と機能検査)、3 咀嚼機能検査(下顎運動の測定)	水口 俊介, 上野 俊 明, 坂本 裕次郎, 駒 ヶ嶺 友梨子, 高橋 敏幸
19-22	1/19	13:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習室	解剖と機能の実習1、2、 3	1 感覚機能検査(味覚閾値測定・皮膚感覚の測定)、2 運動機能検査(咀嚼・その他の運動と機能検査)、3 咀嚼機能検査(下顎運動の測定)	水口 俊介, 上野 俊 明, 坂本 裕次郎, 駒 ヶ嶺 友梨子, 高橋 敏幸
23-26	1/26	13:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習室	薬理学実習1	全身麻酔薬の作用、アップダウン法によるED50の検討	青木 和広, 田村 幸 彦, 菅森 泰隆
27-30	2/2	13:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習室	薬理学実習2	硬組織内時刻描記法による象牙質、骨の成長方向、骨形成の観察 骨吸収抑制薬の作用を観察	青木 和広, 田村 幸 彦, 菅森 泰隆

成績評価の方法

- ・出席状況、実習態度、提出レポート等で総合的評価を行う。
- ・各基礎系ユニットに該当する実習項目ごとの評価を総合して評価するが、原則としてそれぞれに合格しなくてはならない。

準備学習などについての具体的な指示

- ・基礎歯科学系の講義で学習した内容を復習して、実習内容との関連性を確認しておくこと。
- ・事前に資料の配付、e-learningへのアップロード等があった場合は、配付された実習書等を読み、関連知識を予習しておくこと。

試験の受験資格

各基礎系ユニットに該当する実習項目ごとに評価するので、原則としてそれぞれに出席を満たさなくてはならない。

教科書

要説スポーツ歯科医学／石上恵一、上野俊明、川良美佐雄、前田芳信、安井利一 編集：医学情報社、2015
 実践スポーツマウスガード：製作・調整と競技別サポート／大山喬史 監修、上野俊明 編集：医学情報社、2014
 スポーツ歯科入門ハンドブック：健康スポーツ歯科をめざして／安井利一、杉山義祥 編著、姫野かつよ [ほか]著：医学情報社、2009

参考書

- ・基礎歯科学系各ユニットの参考書欄を参照。

履修上の注意事項

- ・編入生の実施日時は、編入生の履修時間割を確認して、夏季・冬季休暇なども含めて実施可能なときに行う。 ・実習室では、必ず白衣とネームプレートを着用すること。 ・解剖学実習室では、白衣とネームプレートのほかに、上履きを着用するほか、手袋(臨床系実習と同様のグローブ)やマスク等を着用すること。

備考

- 担当教員の補足：
- ・品田 佳世子 口腔疾患予防学分野（編入生の実習）
 - ・高橋 英和 生体材料加工学分野（編入生の実習）
 - ・岩崎 直彦 生体材料加工学分野（編入生の実習）

その他:

- ・編入生が時間割の都合上、2年生と同じ授業時間に実習できない項目は、担当教員と相談して日時を決めること。
- ・編入生だけが対象の到達目標に該当する内容の実習は、2年生に対しては別ユニットの授業で実施されている。
- ・薬理学関連実習(1月26日と2月2日)は、口腔保健工学専攻2年生との合同実習となる。

連絡先

坂本 裕次郎:y.sakamoto.bsoh@tmd.ac.jp

水口 俊介:s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp

青木 和広:kazu.hpha@tmd.ac.jp

上野 俊明:t.ueno.spm@tmd.ac.jp

田村 幸彦:tamu.hpha@tmd.ac.jp

オフィスアワー

坂本 裕次郎:随時 1号館西8階

水口 俊介:随時

青木 和広: 随時 2号館2階 217号室(口腔基礎工学分野)

上野 俊明:月・木 16:00-17:00

田村 幸彦:毎週金曜日 16:00-19:00 MDタワー7階南 研究室1(S760)

時間割番号	022218					
科目名	病理学総論					
担当教員	坂本 裕次郎, 坂本 啓, 栢森 高					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1	
科目名: 疾病の成り立ちと回復過程の促進 ユニット番号: 2006 授業形態: 講義 時間数: 必修 1 単位・15 時間 科目責任者・ユニット責任者: 坂本 裕次郎・坂本 啓						
主な講義場所						
口腔保健学科 第4 講義室						
授業の目的、概要等						
・疾病の病理学的分類および原因と病態に関する基本的知識を習得し、人体の構造と機能の正常と異常の相互関係について理解する。						
授業の到達目標						
・病因に基づく疾病の分類体系を理解する。 ・疾病の原因となる変化が、遺伝子、蛋白質、細胞、組織、器官、器官系レベル、個体の各レベルにあり、相互に密接に関連していることを理解する。 ・各々の疾病における組織学的変化の基礎を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/4	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	病理学序論	病理学の歴史、病因論	栢森 高
3-4	4/11	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	遺伝性疾患	染色体異常、遺伝子異常、奇形	栢森 高
5-6	4/18	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	代謝障害	代謝障害、退行性病変	栢森 高
7-8	4/25	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	増殖と修復	再生と修復、進行性病変、創傷治癒	栢森 高
9-10	5/2	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	循環障害	循環障害	栢森 高
11-12	5/9	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	炎症	炎症、感染症	栢森 高
13-14	5/16	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	免疫異常、腫瘍総論①	免疫学の基礎、免疫異常、腫瘍の発生機序	栢森 高
15	5/23	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	腫瘍総論②	腫瘍の種類と性質	栢森 高
成績評価の方法						
・出席状況、授業態度と期末の客観試験で総合的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。						

教科書 病理学・口腔病理学／仙波伊知郎, 高田隆 ほか 著.: 医歯薬出版, 2012
参考書 シンプル病理学／笹野公伸, 岡田保典, 安井弥 編集.: 南江堂, 2015
参照ホームページ ・日本病理学会 病理コア画像 http://pathology.or.jp/corepictures2010/index.html
連絡先 坂本 裕次郎,y.sakamoto.bsoh@tmd.ac.jp 坂本 啓:s-kei.mpa@tmd.ac.jp 栢森 高:kayamori.mpa@tmd.ac.jp
オフィスアワー 坂本 裕次郎:随時 1号館西8階 坂本 啓:水 16:30-18:00 栢森 高:毎週金曜日 PM.4:00-5:30 1号館東4階口腔病理学第1研究室

時間割番号	022219					
科目名	病原微生物と生体防御					
担当教員	坂本 裕次郎, 永井 重徳, 鈴木 敏彦, 俣木 志朗, 砂川 光宏					
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	2	
科目名: 疾病の成り立ちと回復過程の促進 ユニット番号: 2208 授業形態: 講義 時間数: 必須 2 単位・30 時間 科目責任者・ユニット責任者: 坂本 裕次郎・坂本 裕次郎						
主な講義場所						
口腔保健学科 第4 講義室						
授業の目的、概要等						
病原微生物の特徴と病原性、口腔および全身の感染症の病因と感染成立の機序および生体の防御反応のしくみについて理解し、その理解に基づく感染予防の方法ならびに実際の対処法を理解する。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・細菌、ウィルス等による感染について、微生物の病原性を構造、機能、遺伝的因子から理解する。 ・感染の予防と治療の基礎を微生物の特性に着眼して理解する。 ・病原微生物の分類と病原性について説明する。 ・口腔細菌の特徴と病原性について説明する。 ・免疫獲得と免疫寛容の機構および免疫疾患の病因・病態について説明する。 ・病原微生物や様々な外来刺激に対する生態の防御系を説明する。 ・疼痛の病因・病態について説明する。 ・顎・顔面・口腔領域の神経痛の病因・病態について説明する。 ・歯科医療現場で遭遇する感染症について説明する。 ・感染予防の方法と限界について説明する。 ・医療現場における安全対策について説明する。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/24	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	免疫概論	免疫システムとは、自己寛容	永井 重徳
2	5/31	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	免疫担当細胞	免疫担当細胞	永井 重徳
3	6/7	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	自然免疫	食細胞、抗体、補体、自然免疫	永井 重徳
4	6/14	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	適応免疫 1	細胞性免疫、エフェクター細胞	永井 重徳
5	6/21	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	適応免疫 2	液性免疫、免疫記憶、ワクチン	永井 重徳
6	6/28	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	アレルギー	過敏症、自己免疫	永井 重徳
7	7/3	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	微生物学総論	微生物の一般的性状(細菌、ウィルス、その他)	鈴木 敏彦

8	7/3	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	微生物学総論	微生物の一般的性状(細菌、ウィ ルス、その他)	鈴木 敏彦
9	7/3	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	感染 1	微生物の病原因子、感染経路	鈴木 敏彦
10	7/10	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	感染 2	感染症の種類、口腔内症状を呈す る感染症	鈴木 敏彦
11	7/10	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	感染 2	感染症の種類、口腔内症状を呈す る感染症	鈴木 敏彦
12	7/10	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	感染と免疫 1	感染と免疫の基礎	鈴木 敏彦
13	7/18	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	感染と免疫 2	感染と免疫の基礎	鈴木 敏彦
14	7/18	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	化学療法	化学療法の機序、薬剤耐性	鈴木 敏彦
15	7/18	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	化学療法	化学療法の機序、薬剤耐性	鈴木 敏彦
16	7/24	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	微生物学各論 1	グラム陽性菌、グラム陰性菌	鈴木 敏彦
17	7/24	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	微生物学各論 1	グラム陽性菌、グラム陰性菌	鈴木 敏彦
18	7/24	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	微生物学各論 2	スピロヘータ、マイコプラズマ、リ ケッチア、クラミジア	鈴木 敏彦
19	7/25	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	微生物学各論 3	真菌、ウイルス	鈴木 敏彦
20	7/25	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔細菌	う蝕関連細菌、歯周疾患関連細菌	鈴木 敏彦
21	7/25	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔細菌	う蝕関連細菌、歯周疾患関連細菌	鈴木 敏彦
22	1/11	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	安全対策	歯科医療現場における安全対策	俣木 志朗
23	1/11	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	安全対策	歯科医療現場における安全対策	俣木 志朗
24	1/18	10:00-10:50	口腔保健	疼痛総論	疼痛の概念と分類、疼痛発生の原	坂本 裕次郎

			学科第4 講義室		因と機序		
25	1/18	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	疼痛総論	疼痛の概念と分類、疼痛発生の原因と機序	坂本 裕次郎	
26	2/2	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	顎・顔面領域の疼痛	脳神経と顎・顔面領域の疼痛の原因と機序	坂本 裕次郎	
27	2/6	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科医療と感染症	歯科医療現場において遭遇するおもな感染症	砂川 光宏	
28	2/6	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科医療と感染症	歯科医療現場において遭遇するおもな感染症	砂川 光宏	
29	2/13	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	感染予防の方法	歯科医療現場における感染予防法の実際	砂川 光宏	
30	2/13	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	感染予防の方法	歯科医療現場における感染予防法の実際	砂川 光宏	

成績評価の方法

- ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総合的評価を行う。
- ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、出席状況、授業態度等も総合的評価に加える。
- ・前期評価と後期評価を総合して年間評価とするが、原則として前期と後期それぞれに合格しなくてはならない。
- ・前期末と後期末に評価するので、前期と後期それぞれに受験資格を満たさなくてはならない。

準備学習などについての具体的な指示

- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

参考書

微生物学：疾病の成り立ち及び回復過程の促進 2/木村重信 ほか著：医歯薬出版、2011
 微生物学/梅本俊夫, 奥田克爾, 中山浩次, 三宅洋一郎 著：医歯薬出版、2007
 標準微生物学/中込治, 神谷茂 編集：医学書院、2015

連絡先

坂本 裕次郎 y.sakamoto.bs@tmd.ac.jp
 鈴木 敏彦 suzuki.bact@tmd.ac.jp
 俣木 志朗 mataki.diag@tmd.ac.jp
 砂川 光宏 m.sunakawa.endo@tmd.ac.jp

オフィスアワー

坂本 裕次郎 随時 1号館西8階
 鈴木 敏彦 月～金 17:00-19:00 M&D タワー8階南 細菌感染制御学分野教員室
 俣木 志朗 水 16:00-18:00
 砂川 光宏 随時(必ず事前に連絡を入れること)

時間割番号	022220					
科目名	口腔病理学					
担当教員	坂本 裕次郎, 坂本 啓, 栢森 高					
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1	
科目名: 疾病の成り立ちと回復過程の促進 ユニット番号: 2007 時間数: 必修 1 単位・14 時間 授業形態: 講義 科目責任者・ユニット責任者: 坂本 裕次郎・坂本 啓						
主な講義場所 口腔保健学科 第4 講義室						
授業の目的、概要等 ・顎口腔領域の疾病の病理学的分類および原因と病態に関する基本的知識を習得し、顎口腔領域の諸器官について正常な構造と機能と異常との相互関係を理解する。						
授業の到達目標 ・各々の疾患の病因・病態と症状を、その組織学的変化と対応して理解する。 ・顎口腔の解剖学的構造と疾患との相互関係からそれぞれの理解を深める。 ・主な口腔疾患の臨床的な症状と病理・病態を、症例を通して理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/5	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯の異常	歯の発育異常、歯の損傷と付着物	坂本 啓
2-3	10/12	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	齲蝕	齲蝕	坂本 啓
4-5	10/19	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯髄炎	歯髄炎	坂本 啓
6-7	10/23	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯周炎	根尖性歯周炎 歯周病 治癒の 病理	坂本 啓
8-9	10/26	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔の発育異常、嚢胞	口腔の発育異常 顎口腔領域の 嚢胞	坂本 啓
10-11	11/2	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔粘膜疾患	口腔粘膜疾患	栢森 高
12-13	11/9	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔の腫瘍、顎骨の病 変	口腔の腫瘍 顎骨・唾液腺の腫瘍 性、炎症性疾患	栢森 高
14	11/16	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	唾液腺疾患	唾液腺の腫瘍性疾患 唾液線の 炎症性疾患	栢森 高
成績評価の方法 ・出席状況、授業態度と期末の客観試験で総合的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。						

教科書 病理学・口腔病理学／仙波伊知郎, 高田隆 ほか 著.: 医歯薬出版, 2012
参考書 口腔病理アトラス／高木實 監修, 山本浩嗣, 坂井英隆, 高田隆 編.: 文光堂, 2006
備考
参照ホームページ ・口腔病理基本画像アトラス http://www.dent.nihon-u.ac.jp/OralPathologyAtlas/Ver1/
連絡先 坂本 裕次郎, y.sakamoto.bsoh@tmd.ac.jp 坂本 啓, s-kei.mpa@tmd.ac.jp 栢森 高, kayamori.mpa@tmd.ac.jp
オフィスアワー 坂本 裕次郎 随時 1号館西8階 坂本 啓 水 16:30-18:00 栢森 高 毎週金曜日 PM.4:00-5:30 1号館東4階口腔病理学第1研究室

時間割番号	022221					
科目名	薬理学					
担当教員	坂本 裕次郎, 青木 和広, 田村 幸彦					
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1	
科目名: 疾病の成り立ちと回復過程の促進 ユニット番号: 2008 授業形態: 講義 時間数: 必修 1 単位・15 時間 科目責任者・ユニット責任者: 坂本 裕次郎・青木 和広						
主な講義場所						
口腔保健学科 第4 講義室						
授業の目的、概要等						
医薬品の薬理作用を理解し、薬物を安全かつ効果的に利用するために必要な基本的知識を修得する。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・薬理作用の種類を説明できる。 ・薬物受容体と細胞内情報伝達系について説明できる。 ・薬物の構造活性相関について説明できる。 ・薬物の投与方法とその特徴について説明できる。 ・薬物の生体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)について説明できる。 ・薬物を安全に使用するための基本的考え方を修得する。 ・薬理作用を規定する要因について説明できる。 ・薬物の連用および併用に伴う現象について説明できる。 ・中枢神経系作用薬物の種類と作用について説明できる。 ・末梢神経系作用薬物の種類と作用について説明できる。 ・局所麻酔について説明できる。 ・痛みと薬物について説明できる。 ・抗炎症薬の種類と作用について説明できる。 ・硬組織に作用する薬の種類と作用について説明できる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/6	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	薬理学の基礎、医療と 薬物	薬理学、薬力学、薬物動態学、ゲ ノム薬理学の概要	青木 和広
2	10/20	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	身体と薬物1	薬の使用目的とその作用、受容体 と薬物	青木 和広
3	10/27	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	身体と薬物2	化学構造と薬理作用、薬物の適用 方法	青木 和広
4	11/10	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	身体と薬物3	薬物の生体内変化、代謝、排泄	青木 和広
5	11/17	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	身体と薬物4	薬物の生物学的検定法、用量反応 曲線	青木 和広
6	11/24	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	身体と薬物5	薬理作用を規定する要因	田村 幸彦
7	12/1	11:00-11:50	口腔保健	身体と薬物6	ライフステージと薬物	青木 和広

			学科第4 講義室				
8-9	1/5	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	抗炎症薬	ステロイド性抗炎症薬、非ステロ イド性抗炎症薬、痛風治療薬	田村 幸彦	
10-11	1/12	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	末梢神経系作用薬物	神経伝達物質、自律神経系作用薬	江面 陽一	
12	1/19	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	局所麻酔薬	局所麻酔薬の作用機序・分類・代 謝	田村 幸彦	
13	1/19	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	痛みと薬物	麻薬性鎮痛薬、非麻薬性鎮痛薬、 解熱鎮痛薬	田村 幸彦	
14	1/26	11:00-11:50	第1講義 室	中枢神経系作用薬	全身麻酔薬、睡眠薬、向精神薬、 抗けいれん薬、抗パーキンソン 薬、中枢神経興奮薬	青木 和広	
15	2/2	11:00-11:50	第1講義 室	硬組織に作用する薬物	骨吸収抑制薬・骨形成促進薬・骨 質改善薬	青木 和広	

成績評価の方法

- ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総合的評価を行う。
- ・出席状況および授業態度を総合的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

- ・事前に資料配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、必ず目を通してから講義に臨むこと。
- ・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。

参考書

薬理学／全国歯科衛生士教育協議会 編、川口充、大浦清、大谷啓一、戸荻彰史、加藤有三、篠原光子 著、:医歯薬出版、2011
 シンプル薬理学／野村隆英、石川直久 編集、:南江堂、2014
 現代歯科薬理学／大谷啓一、鈴木邦明、戸荻彰史 編、加藤有三、篠田壽 監修、:医歯薬出版、2012
 コメディカルのための薬理学／渡邊泰秀、樋口マキエ 編集、:朝倉書店、2012

連絡先

坂本 裕次郎 y.sakamoto.bsoh@tmd.ac.jp
 青木 和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp
 田村 幸彦 tamu.hpha@tmd.ac.jp

オフィスアワー

坂本 裕次郎 随時 1号館西8階
 青木 和広 随時 2号館2階 217号室(口腔基礎工学分野)
 田村 幸彦 毎週金曜日 16:00-19:00 MDタワー7階南 研究室1(S760)

時間割番号	022222																																																													
科目名	社会保障Ⅱ																																																													
担当教員	遠藤 慶子																																																													
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2																																																									
科目名: 社会保障Ⅱ 時間数: 30 時間 授業形態: 講義																																																														
主な講義場所 口腔保健学科 第4 講義室																																																														
授業の目的、概要等 本講義では社会保障の制度体系・考え方について学びます。 受講する皆さんには、社会保障、社会福祉の問題が、自分自身の生活と結びついていることを理解し、これら制度について考えられるようになってほしいと思います。																																																														
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における社会保障制度の位置づけと課題を説明できる。 ・社会保障制度の概念・理念・対象を説明できる。 ・社会保障制度の体系(各制度の概要)を説明できる。 ・社会保障の財源と費用を説明できる。 ・社会保険と公的扶助の関係を説明できる。 ・社会保険制度と民間保険制度の関係を説明できる。 ・諸外国における社会保障制度の概要を説明できる。 																																																														
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-4</td> <td>6/6</td> <td>13:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>・現代社会と社会保 障 ・諸外国における社 会保障</td> <td>・現代における社会保障制度の内 容と意義、諸外国との比較</td> <td>遠藤 康裕 遠藤 慶子</td> </tr> <tr> <td>5-8</td> <td>6/13</td> <td>13:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>・社会保障制度の構造</td> <td>・社会保障制度を構成する</td> <td>遠藤 康裕</td> </tr> <tr> <td>9-12</td> <td>6/20</td> <td>13:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>・社会保障制度の財源と 費用 ・社会保障制度 の歴史</td> <td>・社会保障の財源、費用負担等、 歴史的展開</td> <td>遠藤 康裕</td> </tr> <tr> <td>13-16</td> <td>6/27</td> <td>13:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>・社会保障と民間保 険 ・年金保険制度</td> <td>・民間保険と社会保障の異同につ いて、年金保険制度</td> <td>遠藤 康裕</td> </tr> <tr> <td>17-21</td> <td>7/4</td> <td>13:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>・医療保険制度 ・介護 保険制度</td> <td>・医療保険制度、介護保険制度</td> <td>遠藤 康裕</td> </tr> <tr> <td>22-25</td> <td>7/11</td> <td>14:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>・労働保険制度 ・社会 福祉制度</td> <td>・労働保険制度(雇用保険、労災保 険)、社会福祉制度(生活保護、社 会手当等)</td> <td>遠藤 康裕</td> </tr> <tr> <td>26-30</td> <td>7/18</td> <td>13:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>・社会保障が当面する課 題</td> <td>・社会保障の抱える課題について</td> <td>遠藤 康裕</td> </tr> </tbody> </table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-4	6/6	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	・現代社会と社会保 障 ・諸外国における社 会保障	・現代における社会保障制度の内 容と意義、諸外国との比較	遠藤 康裕 遠藤 慶子	5-8	6/13	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	・社会保障制度の構造	・社会保障制度を構成する	遠藤 康裕	9-12	6/20	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	・社会保障制度の財源と 費用 ・社会保障制度 の歴史	・社会保障の財源、費用負担等、 歴史的展開	遠藤 康裕	13-16	6/27	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	・社会保障と民間保 険 ・年金保険制度	・民間保険と社会保障の異同につ いて、年金保険制度	遠藤 康裕	17-21	7/4	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	・医療保険制度 ・介護 保険制度	・医療保険制度、介護保険制度	遠藤 康裕	22-25	7/11	14:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	・労働保険制度 ・社会 福祉制度	・労働保険制度(雇用保険、労災保 険)、社会福祉制度(生活保護、社 会手当等)	遠藤 康裕	26-30	7/18	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	・社会保障が当面する課 題	・社会保障の抱える課題について	遠藤 康裕
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																								
1-4	6/6	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	・現代社会と社会保 障 ・諸外国における社 会保障	・現代における社会保障制度の内 容と意義、諸外国との比較	遠藤 康裕 遠藤 慶子																																																								
5-8	6/13	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	・社会保障制度の構造	・社会保障制度を構成する	遠藤 康裕																																																								
9-12	6/20	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	・社会保障制度の財源と 費用 ・社会保障制度 の歴史	・社会保障の財源、費用負担等、 歴史的展開	遠藤 康裕																																																								
13-16	6/27	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	・社会保障と民間保 険 ・年金保険制度	・民間保険と社会保障の異同につ いて、年金保険制度	遠藤 康裕																																																								
17-21	7/4	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	・医療保険制度 ・介護 保険制度	・医療保険制度、介護保険制度	遠藤 康裕																																																								
22-25	7/11	14:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	・労働保険制度 ・社会 福祉制度	・労働保険制度(雇用保険、労災保 険)、社会福祉制度(生活保護、社 会手当等)	遠藤 康裕																																																								
26-30	7/18	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	・社会保障が当面する課 題	・社会保障の抱える課題について	遠藤 康裕																																																								
成績評価の方法 ・授業内でのリアクションペーパー、レポートや定期試験などで総合的に評価する。																																																														
準備学習などについての具体的な指示																																																														

<p>教科書 新・社会福祉士養成講座／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版, 2014 12 社会保障 第4版</p>
<p>参考書 ・随時、授業中に紹介する。</p>
<p>備考 事前に資料の配付、e-learning システム上へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。</p> <p>担当教員(非常勤) 遠藤康裕 法政大学</p>

時間割番号	022223					
科目名	保健医療サービス					
担当教員	古屋 純一, 樺沢 勇司					
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	2	
保健医療サービス (担当 樺沢勇司・古屋純一) 科目番号: 2014 授業形態: 講義 コマ数: 30 コマ						
主な講義場所 1号館西 8階 第4講義室						
授業の目的、概要等 一般目標 保健医療サービスに関連する法律や衛生行政、医療保険制度、政策動向を理解し、保健医療の専門職の役割や実際、多職種連携やチーム医療を理解する。						
授業の到達目標 到達目標 <ul style="list-style-type: none"> 保健医療サービスに関連する法律(憲法、地域保健法、健康増進法など)の概要を説明できる。 保健医療サービスに関連する政策動向を説明できる 衛生行政の概要と政策動向を説明できる。 医療保険制度(診療報酬に関する内容を含む)の特徴や仕組みを説明できる。 保健医療サービスにおける専門職(医師、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、看護師、保健師、医療ソーシャルワーカー、他の医療技術職)の役割を説明できる。 保健医療サービスにおける多職種連携やチームアプローチを説明できる。 インフォームドコンセントの概要(関連制度、自己決定・自立尊重原理など)を説明できる。 災害時の保健医療サービスにおける多職種連携やチームアプローチを説明できる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/30	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 1	憲法、医療法などの基本法規と保 健医療制度	五十嵐 公
2	10/30	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 2	保健医療サービスの制度・政策	五十嵐 公
3	10/30	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 3	母子保健の関連法規、制度・政策	品田 佳世子
4	11/13	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービスにお ける専門職 1	保健医療サービスにおける専門 職の役割、多職種連携	猪原 光
5	11/13	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の政策動向 1	高齢者福祉・介護と保険医療サー ビス	猪原 光
6	11/13	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 4	成人・高齢者保健の関連法規、制 度・政策	樺沢 勇司
7	11/13	13:00-13:50	口腔保健 学科第4	保健医療サービス関連 の法・制度 5	保健医療サービス従事者の関係 法規と資格制度	北原 稔

			講義室			
8	11/13	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 6	健康増進法の概要と制度・政策	北原 稔
9	11/13	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 7	地域保健の概要と関連法規、制 度・政策	北原 稔
10	11/13	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 8	学校保健の関連法規、制度・政策	品田 佳世子
11	11/20	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 9	産業保健の概要と関連法規、制 度・政策	品田 佳世子
12-13	11/20	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 10	精神保健の関連法規、制度・政策	美濃 由紀子
14	12/4	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	医療保険制度 1	医療保険の種類とプロセス	五十嵐 公
15	12/4	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	医療保険制度 2	出来高払い・包括払いの制度と特 徴	五十嵐 公
16	12/4	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	医療保険制度 3	診療報酬制度の概要	五十嵐 公
17	1/15	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の政策動向 2	歯科口腔保健の推進と保険医療 サービス	矢澤 正人
18	1/15	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	衛生行政 1	国・都道府県・市区町村の衛生行 政と機能	矢澤 正人
19	1/15	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	衛生行政 2	衛生行政と保健事業の実際およ び衛生行政の政策動向と今後の 課題	矢澤 正人
20	1/22	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービスにお ける専門職 2	病院における MSW の役割	伊藤 亜希
21	1/22	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	医療保険制度 4	医療費減免等の諸制度(高額療養 費制度など)	五十嵐 公
22	1/22	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	医療保険制度 5	医療費に関する政策動向と今後 の課題	五十嵐 公
23	1/29	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービスにお ける専門職 3	がん相談支援における MSW の役 割	山田 麻記子
24-25	1/29	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービスにお ける専門職 4	災害時における MSW の役割	山田 美代子

26	2/5	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	インフォームドコンセ ントの概要	関連制度、自己決定、自立尊重の 原理について	樺沢 勇司	
27-28	2/5	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービスにお ける専門職 5	被災地医療機関と受け入れ医療 機関との連携	山田 美代子	
29-30	2/5	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の政策動向 3	障害者福祉・児童福祉と保健医療 サービス	岡光 基子	
成績評価の方法							
提出レポート、期末の記述試験で総合的評価を行う。出席状況および授業態度を総合的評価する。随時の小テスト等で形成的評価を行う。							
準備学習などについての具体的な指示							
授業では、授業範囲についてのディスカッションも行うので、事前に教科書等でよく予習の上、授業に臨むこと。							
試験の受験資格							
全講義 30 時間の 2/3 以上出席すること。							
教科書							
歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険／末高武彦 著、:医歯薬出版, 2016							
参考書							
歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 2 歯科衛生士と法律・制度:医歯薬出版, 2012							
保健生態学／可児徳子, 松井恭平, 眞木吉信 編:医歯薬出版, 2007							
新・社会福祉士養成講座「保健医療サービス」／社会福祉士養成講座編集委員会 編集、:中央法規出版, 2014							
連絡先							
古屋 純一:furuya.ohcw@tmd.ac.jp							
樺沢 勇司:kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
古屋 純一:随時(事前にメールでアポイントすること)							
樺沢 勇司:随時 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。1号館8階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室							

時間割番号	022225																																																					
科目名	歯科保存学																																																					
担当教員	荒川 真一																																																					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2																																																	
科目名:臨床歯科医学 時間数:30 時間 授業形態:演習・講義																																																						
主な講義場所 口腔保健学科 第4 講義室																																																						
授業の目的、概要等 保存系歯科医学の内容を理解し、保存系歯科医療におけるチームアプローチを実践するために必要な知識を修得する。																																																						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・歯の硬組織疾患を説明する。 ・う蝕のリスクファクターと診断法、病理と処置法を説明する。 ・窩洞の分類と修復物の理想的臨床形態を説明する。 ・コンポジットレジン修復を説明する。 ・歯科用セメントの種類と使用目的を説明する。 ・アマルガム修復を説明する。 ・メタルインレー修復を説明する。 ・審美的間接法修復を説明する。 ・う蝕の保存修復治療に必要な器具、器材、前準備、ならびに術後管理を説明する。 ・歯髄保存療法の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 ・歯髄除去療法の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 ・感染根管治療の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 ・根管充填法の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 ・外科的歯内治療の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 ・歯周基本治療の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 ・外科的歯周治療の種類、目的、器具、器材、前準備を説明する。 ・歯周治療におけるメンテナンスの内容、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 																																																						
授業計画 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>5/10</td> <td>15:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯周病の概説及び病因</td> <td>歯周病と歯どのような疾患か、また、その原因について学ぶ</td> <td>荒川 真一</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>5/19</td> <td>09:00-10:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>保存修復治療</td> <td>歯の構造と硬組織疾患、う蝕のリスクファクターと診断、う蝕の病理と処置法、窩洞の分類、修復物の形態修復学</td> <td>井上 剛</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>5/26</td> <td>09:00-10:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>成形充填修復1</td> <td>成形充填修復治療の流れ、コンポジットレジン修復</td> <td>高橋 礼奈</td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>6/2</td> <td>09:00-10:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>成形充填修復2</td> <td>歯科用セメント(ガラスイオノマーセメント修復)、アマルガム修復</td> <td>高橋 礼奈</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/7</td> <td>16:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯周組織の構造、歯周組織検査と診断</td> <td>歯周組織検査の種類、目的、器具・器材の準備</td> <td>荒川 真一</td> </tr> <tr> <td>10-11</td> <td>6/8</td> <td>15:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第4</td> <td>スケーリング、ルートプレーニング</td> <td>スケーリング、ルートプレーニングの目的、器具・器材の準備</td> <td>荒川 真一</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-2	5/10	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯周病の概説及び病因	歯周病と歯どのような疾患か、また、その原因について学ぶ	荒川 真一	3-4	5/19	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	保存修復治療	歯の構造と硬組織疾患、う蝕のリスクファクターと診断、う蝕の病理と処置法、窩洞の分類、修復物の形態修復学	井上 剛	5-6	5/26	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	成形充填修復1	成形充填修復治療の流れ、コンポジットレジン修復	高橋 礼奈	7-8	6/2	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	成形充填修復2	歯科用セメント(ガラスイオノマーセメント修復)、アマルガム修復	高橋 礼奈	9	6/7	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯周組織の構造、歯周組織検査と診断	歯周組織検査の種類、目的、器具・器材の準備	荒川 真一	10-11	6/8	15:00-16:50	口腔保健 学科第4	スケーリング、ルートプレーニング	スケーリング、ルートプレーニングの目的、器具・器材の準備	荒川 真一
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																
1-2	5/10	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯周病の概説及び病因	歯周病と歯どのような疾患か、また、その原因について学ぶ	荒川 真一																																																
3-4	5/19	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	保存修復治療	歯の構造と硬組織疾患、う蝕のリスクファクターと診断、う蝕の病理と処置法、窩洞の分類、修復物の形態修復学	井上 剛																																																
5-6	5/26	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	成形充填修復1	成形充填修復治療の流れ、コンポジットレジン修復	高橋 礼奈																																																
7-8	6/2	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	成形充填修復2	歯科用セメント(ガラスイオノマーセメント修復)、アマルガム修復	高橋 礼奈																																																
9	6/7	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯周組織の構造、歯周組織検査と診断	歯周組織検査の種類、目的、器具・器材の準備	荒川 真一																																																
10-11	6/8	15:00-16:50	口腔保健 学科第4	スケーリング、ルートプレーニング	スケーリング、ルートプレーニングの目的、器具・器材の準備	荒川 真一																																																

			講義室			
12-13	6/9	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	鑄造修復	間接法修復治療の流れ、メタルインレー修復、審美的間接法修復	井上 剛
14	6/14	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	スケーリング、ルートプレーニング	スケーリング、ルートプレーニングの目的、器具・器材の準備	荒川 真一
15-16	6/15	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯周外科手術、咬合調整、固定	歯周外科手術、咬合調整、固定の種類種類	荒川 真一
17-18	6/16	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	ケーススタディー	う蝕の保存修復歯科治療における診療の流れと器材の準備、治療計画とメンテナンス	高橋 礼奈
19-20	6/22	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	根分岐部病変、習癖、メンテナンス(含 SPT)	根分岐部病変、習癖、メンテナンス(含 SPT)について学ぶ	荒川 真一
21-22	6/29	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯内治療	歯内治療概説、歯髄保存療法の種類、目的、器具・器材の準備	興地 隆史
23-24	7/6	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯髄除去療法	歯髄除去療法の種類、目的、器具・器材の準備	興地 隆史
25-26	7/13	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	感染根管治療	感染根管治療の種類、目的、器具・器材の準備	興地 隆史
27-28	7/20	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	根管充填法	根管充填法及び外科的歯内治療の種類、目的、器具・器材の準備	興地 隆史
29-30	7/27	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	ケーススタディー	歯内治療における診療の流れと器材準備	興地 隆史

成績評価の方法

- ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
- ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、授業態度等も総括的評価に加える。
- ・提出レポート、課題発表等で総括的評価を行う。
- ・講義、グループ討論、発表の態度等を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

規定にの出席日数(2/3 以上)を満たす。

構成ユニット

保存修復学、歯周病学、歯内療法学

モジュールの単位判定

期末試験結果および出席状況を勘案して決定する。

参考書

- ・新歯科衛生士教本「歯科診療補助 歯科器械の知識と取り扱い」全国歯科衛生士教育協議会編 医歯薬出版
- ・沼部幸博監修:新人歯科衛生士のためのペリオドンタルインスツルメンテーション. クインテッセンス出版
- ・日本歯周病学会編:歯科衛生士のための歯周治療ガイドブック. 医歯薬出版

- ・最新歯科衛生士教本「歯周疾患 歯周治療」全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版（この書籍は必ず購入してください：荒川）
- ・最新歯科衛生士教本「微生物学」全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版
- ・「ザ・ペリオドントロジー」和泉雄一、沼部幸博、山本松男、木下淳博 編 永末書店
- ・新歯科衛生士教本「保存修復学・歯内療法学」全国歯科衛生士教育協議会編 医歯薬出版
- ・接着ここが知りたい歯科衛生士編 日本接着歯学会編 口腔保健協会
- ・保存修復学21 田上順次、千田彰、奈良陽一郎、桃井保子 永末書店

履修上の注意事項

教本を用い事前学習をし、また講義終了後復習を行うこと。

備考

・事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、各自予習して授業に臨むこと。

時間割番号	022226					
科目名	小児歯科学					
担当教員	近藤 圭子					
開講時期	2年通年	対象年次	2	単位数	1	
科目名:臨床歯科医学 時間数:2 学年 15 時間 授業形態:演習・講義						
主な講義場所 口腔保健学科第4講義室、修士課程講義室						
授業の目的、概要等 小児の心身の成長・発達をふまえ、発達期口腔保健の意義および発達期口腔疾患の特徴、予防・治療法を理解する。						
授業の到達目標 2年 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出生から青少年期までの心身の成長・発達を理解する。 ・ 小児の情緒と社会性の発達を理解する。 ・ 小児の健康を育む食生活と支援の重要性を理解する。 ・ 歯の萌出と乳歯・幼若永久歯の特徴を理解する。 ・ 顎・顔面頭蓋の成長過程を理解する。 ・ 歯列咬合の発育過程を理解する。 ・ 小児期の口腔疾患とその治療法、チーム医療を理解する。 ・ 歯科治療時の小児の行動への対応法を理解する。 ・ 小児に特有な心身の問題とその解決策を概説できる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/24	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	合同講義		近藤 圭子
2-3	10/4	10:00-11:50	修士課程 講義室	小児歯科と成長発育、機能・情緒・社会性の発達	成長発育の特徴、身体の発育とその評価、器官の発育、運動・感覚機能の発達、情緒・社会性の発達	宮新 美智世
4-5	10/11	10:00-11:50	修士課程 講義室	小児の生理的特徴、摂食機能と言語の発達	原始反射、哺乳に関する反射、小児の生理的特徴、栄養摂取と摂食機能の発達、哺乳期、離乳期、幼児期、児童・生徒期、発達期の食の問題、言語の基礎知識、言語の発達、発達期にみられる構音障害	宮新 美智世
6-7	10/18	10:00-11:50	修士課程 講義室	顎・頭蓋・顔面、歯列・咬合の発達	頭蓋の構成要素と相対的発育、頭蓋発育の機構と評価法、側頭部エックス線規格写真計測による日本人小児の平均身長、歯列咬合の発育(無歯期、乳歯萌出期、乳歯列期、混合歯列前期、混合歯列後期、永久歯列期)、歯列発育の評価法	宮新 美智世
8-9	10/25	10:00-11:50	修士課程 講義室	発達期の口腔疾患と歯科的対応	乳歯・幼若永久歯の特徴、歯・歯数・萌出の異常、乳歯う蝕の特徴、小児う蝕の実態、重症乳歯う蝕の為害作用、青少年期のう蝕、発達期の歯周疾患、不正咬合、口腔軟組織疾患の原因と予防、不良習癖、咬合誘	宮新 美智世

					導	
10-11	11/1	10:00-11:50	修士課程 講義室	小児歯科治療時の小児 行動への対応法	小児の歯科診療時の留意事項(診療環境 の整備、小児歯科治療三角、コミュニケー ションの確立)、小児の情動の特徴、行動 変容法、強制的な行動抑制	宮新 美智世
12-13	11/8	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	小児歯科の症例紹介	小児歯科治療における歯科医療従事者の 役割・チーム医療	宮新 美智世
14-15	11/22	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	発達期の口腔疾患と歯 科的対応(臨床)	小児歯科臨床における疾患の予防と治 療、管理	宮新 美智世
成績評価の方法						
出席状況、レポート・試験等により総括評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
歯学部の規定の準ずる						
教科書						
小児歯科学／高木裕三, 田村康夫, 井上美津子, 白川哲夫 編, 医歯薬出版, 2011						
参考書						
小児歯科／大嶋隆 ほか著, 医歯薬出版, 2009						
障害者歯科／向井美恵 ほか 著, 医歯薬出版, 2013						
・全国歯科衛生士教育協議会監修 最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」医歯薬出版						
・前田隆秀、朝田芳信、田中光郎他「小児の口腔科学」学建書院						
・「国民衛生の動向 2014・2015 年」厚生統計協会						
・「平成 26 年版 青少年白書」内閣府						
・「平成 26 年版 食育白書」内閣府						

時間割番号	022227					
科目名	歯科補綴学					
担当教員	古屋 純一					
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1	
主な講義場所						
1号館西 口腔保健学科 第4講義室						
授業の目的、概要等						
補綴歯科医療と補綴装置の特徴を理解するとともに、補綴装置の使用における口腔の健康管理の知識を習得する。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・補綴歯科治療の意義と目的、種類と特徴を説明する。 ・補綴歯科治療に関連する顎口腔系の機能と形態を説明する。 ・冠橋義歯の種類・特徴を説明し、制作過程を概説する。 ・有床義歯の種類・特徴を説明し、制作過程を概説する。 ・補綴装置使用時における口腔の健康法管理を説明する。 ・超高齢社会の補綴歯科治療の特徴を説明する。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/3	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	補綴歯科治療の基礎	補綴歯科治療の意義と目的、歯と 歯列の欠損、補綴装置の役割、種 類と特徴	古屋 純一
2	10/10	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	冠橋義歯の種類と特徴1	咀嚼効率と食事、様々なクラウン とその特徴1	駒田 亘
3	10/17	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	冠橋義歯の種類と特徴2	様々なクラウンとその特徴2、冠 橋義歯の材質	駒田 亘
4	10/24	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	冠橋義歯の種類と特徴3	ブリッジとボンティックの種類と特 徴	駒田 亘
5	10/31	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	冠橋義歯による治療1	冠橋義歯の印象採得と咬合採得、 テンポラリークラウン、冠橋義歯 の装着、仮着と合着	駒田 亘
6-7	11/7	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	冠橋義歯による治療2	冠橋義歯のケア、クラウンブリッジ の失敗症例と対応方法 冠橋義歯 のメンテナンス	駒田 亘
8-9	11/14	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	全部床義歯による治療1	全部床義歯の印象採得と咬合採 得、筋圧形成による最終印象と咬 合床による咬合採得	金澤 学
10-11	11/21	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	部分床義歯による治療1	部分床義歯の印象採得と咬合採 得の特徴、歯根膜負担と粘膜負 担、部分床義歯の構成要素	和田 淳一郎
12	11/28	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	部分床義歯による治療2	有床義歯の装着・調整・患者指導、 短期予後と長期予後、義歯の管理 と支台歯のメンテナンス	和田 淳一郎
13	11/28	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	全部床義歯による治療2	ゴシックアーチ、フェイスボウトラ ンスファー、咬合器装着	金澤 学
14-15	12/19	15:00-16:50	口腔保健 学科第4	超高齢社会の補綴歯科 治療 まとめ	高齢者の補綴歯科治療の特徴、 訪問診療での補綴歯科治療、義歯	古屋 純一、 猪原 健

			講義室		と多職種連携		
成績評価の方法							
<ul style="list-style-type: none"> ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総合的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。 ・提出レポート、発表、小テストで形成的評価を行い、総合的評価に加味する。 							
準備学習などについての具体的な指示							
授業内容をシラバスで確認の上、あらかじめ参考書や関連する Website を参照し、授業に関連する事項について、各自で事前学習しておくこと。							
試験の受験資格							
・全講義 15 時間の 2/3 以上出席していること。							
教科書							
咀嚼障害・咬合異常／全国歯科衛生士教育協議会 監修、赤川安正 ほか著、医歯薬出版、2009							
参考書							
5つのテーマでわかる若手歯科医師のための高齢者歯科ハンドブック：全身疾患・義歯・口腔ケア・摂食嚥下・訪問診療／松尾浩一郎 編著、岩佐康行、古屋純一、戸原玄、大野友久、原豪志 著、医歯薬出版、2016							
歯科補綴学専門用語集 = The Glossary of Prosthodontic Terms／日本補綴歯科学会 編、医歯薬出版、2015							
よい義歯だめな義歯：鈴木哲也のコンプリートデンチャー17のルール／鈴木哲也 著、クインテッセンス出版、2011							
スタンダード部分床義歯補綴学／藍稔、五十嵐順正 編集・執筆、学建書院、2010							
部分床義歯のトラブル解消法：患者さんと一緒に調整する部分床義歯の修理調整法／細見洋泰 著、クインテッセンス出版、2008							
クラウンブリッジ補綴学／矢谷博文、三浦宏之、細川隆司、小川匠 編集、医歯薬出版、2014							
義歯のケア-歯科衛生士のための副読本-(日本義歯ケア学会監修) 濱田泰三、水口俊介、秋葉徳寿ほか編 デンタルダイヤモンド社							
履修上の注意事項							
・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。							

時間割番号	022228				
科目名	口腔外科・歯科麻酔学				
担当教員	樺沢 勇司				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1
<p>本科目は一部分を口腔保健工学専攻と合同で授業を実施する。</p>					
<p>主な講義場所 口腔保健学科第4講義室</p>					
<p>授業の目的、概要等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔外科・歯科麻酔科でのチーム医療を行なうにあたって必要な基礎的知識を習得する。 ・歯科治療における全身管理、精神鎮静法、局所麻酔および全身麻酔の基本を理解する。 ・救急救命処置の初期対応に必要なバイタルサインの意味や処置器材を理解する。 					
<p>授業の到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔外科の概要、口腔外科疾患の種類と診断法について説明できる。 2. 口腔外科でのチーム医療・多職種連携について説明できる。 3. 顎顔面口腔に症状を現す先天異常と発育異常を列挙し、その治療法を説明できる。 4. 顎口腔領域の損傷の診断と治療法を説明できる。 5. 顎口腔領域の炎症の診断と治療法を説明できる。 6. 顎口腔領域の嚢胞の診断と治療法を説明できる。 7. 顎口腔領域の腫瘍の診断と治療法を説明できる。 8. 口腔粘膜疾患の診断と治療法を説明できる。 9. 顎口腔領域の神経系疾患の診断および治療法を説明できる。 10. 唾液腺疾患の病因と病態について説明できる。 11. 顎口腔領域に症状を現す血液疾患、出血性素因について説明できる。 12. 代謝性疾患の口腔症状、口腔顎顔面領域に関連した疾患について説明できる。 13. 口腔外科疾患に関連する補綴治療について説明できる。 14. 顎関節疾患の病因、病態、診断および治療法を説明できる。 15. 口腔外科を受診する患者、口腔がん患者の口腔保健管理について説明できる。 <p>歯科麻酔</p> <ol style="list-style-type: none"> 16. 麻酔の目的について説明できる。 17. 局所麻酔薬の薬理学作用と局所麻酔法の施術時の注意点を説明できる。 18. 全身麻酔の適応症と種類について説明できる。 19. 精神鎮静法の適応症と種類について説明できる。 20. バイタルサインの項目や、測定法を説明できる。 21. バイタルサインの測定を実施できる。 22. 安全で快適な歯科治療のための各種方法を説明できる。 23. 歯科治療時の偶発症とその対策について説明できる。 <p>救命救急処置</p> <ol style="list-style-type: none"> 24. 一次救命処置の手順を説明できる。 25. 一次救命処置に用いる器材を説明し、準備ができる。 26. 二次救命処置の手順を説明できる。 27. 二次救命処置に用いる器材を説明し、準備ができる。 28. AEDの取り扱いを実施できる。 29. 神経性ショックを説明し、患者対応ができる。 30. 過換気症候群を説明し、患者対応ができる。 					
<p>授業計画</p>					

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	10/3	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	総論 先天異常と発育 異常	口腔外科とは、口腔外科を学ぶ重 要性、口腔外科診断のプロセス、 歯や軟組織の異常、口唇裂・口蓋 裂、その他の口腔・顎・顔面の先 天異常、顎変形症等	樺沢 勇司
4	10/4	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔外科での多職種連 携	口腔外科での多職種連携につい て	樺沢 勇司
5	10/10	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	損傷	歯の外傷、軟組織損傷、歯槽骨・ 顎骨骨折	樺沢 勇司
6	10/10	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	炎症	歯槽部・顎骨・顎骨周囲組織の炎 症	樺沢 勇司
7	10/10	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	? 胞	嚢胞の定義・分類・診断、顎骨の 嚢胞、軟組織の嚢胞	樺沢 勇司
8	10/11	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	外科診療補助総論	口腔外科診療補助の要点、必要器 材、術前後の注意事項、術後管理 の要点等	樺沢 勇司
9	10/17	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	腫瘍および腫瘍類似疾 患	良性腫瘍・腫瘍類似疾患の診断と 治療、悪性腫瘍の診断と治療	樺沢 勇司
10	10/17	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	腫瘍および腫瘍類似疾 患	良性腫瘍・腫瘍類似疾患の診断と 治療、悪性腫瘍の診断と治療	樺沢 勇司
11	10/17	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔粘膜疾患	口腔粘膜疾患の診断と治療	樺沢 勇司
12	10/18	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	外科診療補助各論	拔牙、小手術の種類、必要器材、 術前の留意事項、術後管理、診療 補助の要点等	樺沢 勇司
13-15	10/24	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔顎顔面領域の神経 系疾患、唾液腺疾患、血 液疾患、出血性素因、代 謝性疾患の口腔症状・ 症候群	口腔顎顔面領域の神経疾患、唾液 腺疾患の診断と治療 血液疾患、 出血性素因の診断と治療 代謝 性疾患の口腔症状、口腔顎顔面領 域に関連した症候群および疾患	樺沢 勇司
16	10/25	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔外科患者の口腔保 健管理	口腔外科を受診する患者の口腔 保健管理	樺沢 勇司
17	10/31	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	顎関節疾患	顎関節症の診断と治療、顎関節症 以外の顎関節疾患の種類、診断と 治療	樺沢 勇司
18	10/31	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔外科と補綴治療	口腔外科疾患術後患者に対する 補綴治療、補綴に関連した口腔外 科手術	樺沢 勇司
19	10/31	15:00-15:50	口腔保健 学科第4	口腔外科手術・口腔が ん患者の口腔保健管理	口腔外科を受診する患者・口腔が ん患者の口腔保健管理	樺沢 勇司

			講義室			
20	11/1	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	まとめ	口腔外科講義についてのまとめ	樺沢 勇司
21	1/17	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科麻酔学概論	歯科麻酔学概論	宮本 智行
22	1/17	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	全身状態評価・バイタル サイン	全身状態評価・バイタルサイン	宮本 智行
23-24	1/24	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	局所麻酔法	局所麻酔法	宮本 智行
25-26	1/31	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	全身麻酔法	全身麻酔法	宮本 智行
27-28	2/7	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	精神鎮静法	精神鎮静法	宮本 智行
29-30	2/14	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	医療安全・救命救急処置	医療安全・救命救急処置	宮本 智行
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・2 学年後期末に筆記試験を行なう。 ・筆記試験および出席状況、授業態度により総合的に評価する。 						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
<ul style="list-style-type: none"> ・受験資格は東京医科歯科大学歯学部試験規則第 11 条に準ずる。 						
教科書						
口腔外科学・歯科麻酔学／池邊哲郎, 升井一朗, 吉増秀實, 伊賀弘起 編:クインテッセンス出版, 2013						
参考書						
顎・口腔粘膜疾患口腔外科・歯科麻酔／全国歯科衛生士教育協議会 監修,山根源之 ほか著.:医歯薬出版, 2011						
歯科衛生士のための口腔外科学／古森孝英 編著.:永末書店, 2011						
臨床病態学 3／北村聖 総編集.:ヌーヴェルヒロカワ, 2013						

時間割番号	022230					
科目名	臨床医学 I					
担当教員	樺沢 勇司					
開講時期	通年(秋)	対象年次	2	単位数	1	
本講座は3年前期で行なわれる臨床医学Ⅱと併せて、基礎疾患をもつ患者に対しての適切な口腔保健活動を行なうために必要な臨床医学の修得を目指している。						
主な講義場所 口腔保健学科第4講義室						
授業の目的、概要等 基礎疾患をもつ患者に対して、適切な口腔保健活動を行なうために必要な臨床医学の知識を習得するとともに、患者の QOL 向上に寄与する継続的な口腔ケアのための多職種連携および多職種協働について考える。						
授業の到達目標 臨床医学を学び、適切な口腔ケアについて考えることができる。 臨床医学を学び、継続的な口腔ケアを提供するための多職種連携と協働について検討できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/4	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	老年疾患	高齢者の健康評価法、老年症候群の発症機序・症状・診断・治療・予防	阿部 庸子
2	10/4	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	呼吸器疾患	呼吸器疾患の発症機序・症状・診断・治療	増尾 昌宏
3-4	10/11	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	演習	演習	樺沢 勇司
5	10/18	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	内分泌代謝疾患	内分泌性疾患の発症機序・症状・診断・治療	吉本 貴宣
6	10/18	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	内分泌代謝疾患	代謝性疾患の発症機序・症状・診断・治療	宮地 康高
7	10/25	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	消化器疾患	消化器疾患の発症機序・症状・診断・治療 消化器感染症	藤井 俊光
8	10/25	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	消化器疾患	胆・肝・膵疾患の発症機序・症状・診断・治療	新田 沙由梨
9	11/1	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	神経変性疾患	神経辺性疾患の発症機序、症状、診断、治療	沼沢 祥行
10	11/1	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	演習	演習	樺沢 勇司
11	11/8	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	血液疾患	血液疾患の発症機序、症状、診断、治療	山本 正英
12	11/8	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	自己免疫疾患	自己免疫疾患の発症機序、症状、診断、治療	木村 直樹

13-14	11/15	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	脳神経外科疾患	脳神経外科疾患の発症機序、症状、診断、治療	稲次 基希
15	11/29	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	食道・胃外科疾患	食道・胃外科疾患の発症機序、症状、診断、治療	川田 研郎
16	11/29	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	肝・胆・膵外科疾患	肝・胆・膵外科疾患の発症機序・症状・診断・治療	小川 康介
17	12/6	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	乳腺外科疾患	乳腺外科疾患の発症機序・症状・診断・治療	小田 剛史
18	12/6	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	大腸・肛門外科疾患	大腸・肛門外科疾患の発症機序・症状・治療	石黒 めぐみ
19-21	12/12	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	演習	演習	樺沢 勇司
22	12/13	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	整形外科(神経系)疾患	整形外科(神経系)疾患の発症機序・症状・治療	吉井 俊貴
23	12/13	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	演習	演習	樺沢 勇司
24-25	12/20	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	整形外科(関節系)疾患	整形外科(関節系)疾患の発症機序・症状・診断・治療	片桐 洋樹
26	1/10	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	腎臓疾患	腎臓疾患の発症機序・症状・診断・治療	磯部 清志
27	1/10	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	演習	演習	樺沢 勇司
28	1/16	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	産科・婦人科疾患1	性感染症	増田 美香子
29-30	1/16	14:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	産科・婦人科疾患2	妊娠、出産の機序・診断・身体の変化	廣瀬 明日香
31	1/16	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	演習	演習	樺沢 勇司
32-33	1/17	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	産科・婦人科疾患3	婦人科疾患の発症機序・症状・診断・治療	若菜 公雄
34-35	1/23	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	精神科疾患1	精神科疾患の発症機序・症状・診断・治療	西川 徹
36-37	1/23	15:00-16:50	口腔保健	精神科疾患2	認知症の発症機序・症状・診断・治療	車地 暁生

			学科第4 講義室				
38-41	1/24	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	演習	演習	樺沢 勇司	
42-45	1/30	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	演習	演習	樺沢 勇司	
準備学習などについての具体的な指示							
試験の受験資格 試験の受験資格は、東京医科歯科大学歯学部試験規則第 11 条に準ずる。							
モジュールの単位判定 2 学年後期末に試験を行なう。 出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。							
参考書 メディックメディア社 病気が見える シリーズ に代表される、 医科臨床系教科書など							

時間割番号	022232						
科目名	口腔疾患予防基礎学 I						
担当教員	品田 佳世子						
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2		
ユニット名:口腔疾患予防基礎学 I 科目名:口腔疾患予防学 時間数:2 単位 30 時間 授業形態:講義							
主な講義場所 口腔保健学科第 4 講義室							
授業の目的、概要等 <ul style="list-style-type: none"> ・口腔衛生学(母子保健、学校保健、産業保健、成人保健、高齢者保健、地域保健等)に関して理解する。 ・歯・口腔の健康状態を維持するための要因と、予防可能な口腔疾患の種類、その原因と予防について理解する。 ・歯・口腔の状態把握および歯科予防処置の基本的知識を修得する。 							
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・口腔衛生学(母子保健、学校保健、産業保健、成人保健、高齢者保健、地域保健等)に関して理解する。 ・歯・口腔の健康と予防の定義について説明できる。 ・歯・口腔の健康と予防の方法と健康づくりについて説明できる。 ・セルフケア、プロフェッショナルケア、コミュニティーケアの内容を説明できる。 ・歯・口腔の付着物、沈着物について説明できる。 ・口腔清掃について説明できる。 ・プラークコントロールについて説明できる。 ・歯磨剤や洗口剤について説明できる。 ・歯周病の症状、種類、検査を説明できる。 ・歯周病の予防について説明できる。 ・う蝕発生のメカニズムについて説明できる。 ・う蝕の発生要因とう蝕活動性試験について説明できる。 ・フッ化物の応用とう蝕予防効果について説明できる。 ・フッ化物の代謝や毒性について説明できる。 ・歯質損耗(tooth wear)の症状、種類、予防、治療法を説明できる。 ・口臭の分類、原因、予防、処置について説明できる。 ・歯科予防処置のうち、う蝕予防処置・フッ化物歯面塗布・フッ化物洗口を実施できる。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/10	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Ⅲ編 健康に関わる地 域の役割 1章 地域保 健・公衆衛生	Ⅲ編 健康に関わる地域の役割 1章 地域保健・公衆衛生	品田 佳世子	保健生態学の教 科書を使用
3-4	4/11	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Ⅱ編 歯・口腔の健康と 予防 1章総論 ①歯・ 口腔の健康と予防、③ 歯・口腔の付着物・沈着 物	Ⅱ編 歯・口腔の健康と予防 1章 総論 ①歯・口腔の健康と予防、 ③歯・口腔の付着物・沈着物	品田 佳世子	保健生態学の教 科書を使用
5-6	4/17	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Ⅲ編 2章母子保健 1 章地域保健・公衆衛生 の小テスト	Ⅲ編 2章母子保健 1章地域保 健・公衆衛生の小テスト	品田 佳世子	1章 地域保健・ 公衆衛生に関す る小テストを行 うので復習しておく こと

7-8	4/18	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Ⅱ編 4章う蝕の予防 ①う蝕発生のメカニズ ム、②う蝕の発生要因、 1章総論 ①歯・口腔の 健康と予防、③歯・口腔 の付着物・沈着物に関 する小テスト	Ⅱ編 4章う蝕の予防 ①う蝕発生 のメカニズム、②う蝕の発生要 因、1章総論 ①歯・口腔の健康と 予防、③歯・口腔の付着物・沈着 物に関する小テスト	品田 佳世子	Ⅱ編 歯・口腔の 健康と予防 1章 総論 ①歯・口腔 の健康と予防、③ 歯・口腔の付着 物・沈着物に関す る小テストを行う ので復習しておく こと
9-10	4/24	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Ⅲ編 3章学校保健 2 章母子保健の小テスト	Ⅲ編 3章学校保健 2章母子保 健の小テスト	品田 佳世子	2章母子保健の 小テストを行うの で復習しておくこ と
11-12	4/25	13:00-14:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	Ⅱ編 4章う蝕の予防 ③う蝕活動性、う蝕活動 性試験(実習)、4章①う 蝕発生のメカニズム、② う蝕の発生要因の小テ スト	Ⅱ編 4章う蝕の予防 ③う蝕活動 性、う蝕活動性試験(実習)、4章 ①う蝕発生のメカニズム、②う蝕 の発生要因の小テスト	品田 佳世子	4章①う蝕発生の メカニズム、②う 蝕の発生要因の 小テストを行うの で復習しておくこ と
13-14	5/1	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Ⅱ編 4章う蝕の予防 ③う蝕活動性、う蝕活動 性試験(判定)、④う蝕 の予防法	Ⅱ編 4章う蝕の予防 ③う蝕活動 性、う蝕活動性試験(判定)、④う 蝕の予防法	品田 佳世子	
15-16	5/8	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Ⅲ編 4章成人保健、5 章産業保健 3章学校 保健の小テスト	Ⅲ編 4章成人保健、5章産業保健 3章学校保健の小テスト	品田 佳世子	3章学校保健の 小テストを行うの で復習しておくこ と
17-18	5/9	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Ⅱ編 5章 フッ化物に よるう蝕予防 ①～⑥ま で、4章の③う蝕活動性 と④う蝕の予防法に関 する小テスト	Ⅱ編 5章 フッ化物によるう蝕予 防 ①～⑥まで、4章の③う蝕活 動性と④う蝕の予防法に関する小 テスト	品田 佳世子	4章の③う蝕活動 性と④う蝕の予防 法に関する小テ ストを行うので復 習しておくこと
19-20	5/15	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Ⅲ編 6章老人保健 7 章精神保健 8章国際 保健 4章成人保健、5 章産業保健の小テスト	Ⅲ編 6章老人保健 7章精神保健 8章国際保健 4章成人保健、5章 産業保健の小テスト	品田 佳世子	4章成人保健、5 章産業保健の小 テストを行うので 復習しておくこと
21-22	5/16	13:00-14:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	Ⅱ編 5章 ⑦フッ化物応 用によるう蝕予防方法、 フッ化物洗口(実習)、5 章 フッ化物によるう蝕 予防 ①～⑥の小テス ト	Ⅱ編5章 ⑦フッ化物応用によるう 蝕予防方法、フッ化物洗口(実 習)、5章 フッ化物によるう蝕予防 ①～⑥の小テスト	品田 佳世子	5章 フッ化物に よるう蝕予防 ① ～⑥の小テストを 行うので復習して おくこと
23-25	5/23	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	Ⅱ編 5章 フッ化物に よるう蝕予防 ⑧、⑨、 ⑦フッ化物の応用方法 に関する小テスト	Ⅱ編5章 フッ化物によるう蝕予防 ⑧、⑨、⑦フッ化物の応用方法に 関する小テスト	品田 佳世子	⑦フッ化物の応 用方法に関する 小テストを行うの で復習しておくこ と

26-28	5/30	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	Ⅱ編 3章歯科疾患の疫学、歯科関連のインデックス(DMFT、OHI、OHI-S、PCRなど)	Ⅱ編 3章歯科疾患の疫学、歯科関連のインデックス(DMFT、OHI、OHI-S、PCRなど)	品田 佳世子	5章⑧、⑨の小テストを行うので復習しておくこと
29-30	7/20	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Ⅱ編 6章歯周疾患の予防、7章その他の疾患(口臭を中心に実習も含む)の予防、Ⅱ編 3章歯科疾患の疫学、歯科関連のインデックスに関する小テスト	Ⅱ編 6章歯周疾患の予防、7章その他の疾患(口臭を中心に実習も含む)の予防、Ⅱ編 3章歯科疾患の疫学、歯科関連のインデックスに関する小テスト	品田 佳世子	Ⅱ編 3章歯科疾患の疫学、歯科関連のインデックスに関する小テストを行うので復習しておくこと

成績評価の方法

提出レポート、期末の客観試験、記述試験で総合的評価を行う。出席状況および授業態度を総合的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

・事前に資料の配布、e-learning へのアップロードがあった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

全講義の 2/3 以上出席すること。

教科書

最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版/可児徳子, 松井恭平, 眞木吉信 編: 医歯薬出版, 2015

最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論/全国歯科衛生士教育協議会 監修, 高阪利美 ほか著: 医歯薬出版, 2011

参考書

・フッ化物応用の科学/日本口腔衛生学会フッ化物応用委員会 編

・ずっとずっとじぶんの歯: 児童・生徒向/丸森英史, 竹内博朗 監修: 少年写真新聞社, 2007

・歯が溶ける!: エロージョンの診断から予防まで/小林賢一 著: 医歯薬出版, 2009

・口腔保健推進ハンドブック: 地域を支えるオーラルヘルスプロモーション/深井稔博, 池主憲夫, 川口陽子, 米山武義 編: 医歯薬出版, 2009

連絡先

shinada.pvoh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時

時間割番号	022233					
科目名	口腔疾患予防基礎学Ⅱ					
担当教員	安田 昌代					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1	
科目名: 口腔疾患予防学 時間数: 15 時間 授業形態: 講義						
主な講義場所 口腔保健学科 臨床基礎実習室						
授業の目的、概要等 ・歯・口腔の健康状態を維持するための要因と、予防可能な口腔疾患の種類、その原因と予防について理解する。 ・歯・口腔の状態把握および歯科予防処置の基本的知識と技術を修得する。						
授業の到達目標 ・歯・口腔の健康と予防の定義について説明できる。 ・歯・口腔の健康と予防の方法と健康づくりについて説明できる。 ・セルフケア、プロフェッショナルケア、コミュニティーケアの内容を説明できる。 ・歯・口腔の付着物、沈着物について説明できる。 ・口腔清掃について説明できる。 ・プラークコントロールについて説明できる。 ・歯周病の症状、種類、検査を説明できる。 ・歯周病の予防について説明できる。 ・生体への配慮(器具の消毒・滅菌、感染予防、手指消毒法、偶発事故の防止)の基本を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/6	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習の進め方	実習使用器材の準備” “実習使用器材の取扱方法	安田 昌代
2	4/13	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習の基本1	インスツルメントの把持法と操作 法	安田 昌代
3	4/20	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習の基本2	インスツルメントの基本操作	安田 昌代
4	4/27	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーション1	位置と姿勢	安田 昌代
5	5/11	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーション2	スケーリングの基本操作	安田 昌代
6	5/18	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習	インスツルメンテーション3	部位別のスケーリング方法(上顎前歯部)	安田 昌代

			室			
7	6/8	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン4	部位別のスケーリング方法(下顎 前歯部)	安田 昌代
8	6/15	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン5	部位別のスケーリング方法(上下 顎前歯部)	安田 昌代
9	6/22	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン6	部位別のスケーリング方法(下顎 臼歯部 1)	安田 昌代
10	6/29	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン7	部位別のスケーリング方法(下顎 臼歯部 2)	安田 昌代
11	7/6	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン8	部位別のスケーリング方法(上顎 臼歯部 1)	安田 昌代
12	7/13	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン9	部位別のスケーリング方法(上顎 臼歯部 2)	安田 昌代
13	7/20	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	評価	評価方法について	安田 昌代
14	7/26	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン10	ブローピングとは	安田 昌代
15	7/27	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン11	スケーリング・ルートプレーニング とは	安田 昌代

成績評価の方法

提出レポート、前期末の記述試験で総括的評価を行う。

出席状況および授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

・事前に資料の配布、e-learning へのアップロードがあった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

全講義の 2/3 以上出席すること。

教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修、高阪利美 ほか著、:医歯薬出版、2011

参考書

目で見るペリオドンタルインスツルメンテーション I ベーシックスキル／Jill S.Nield-Gehrig 著、吉田直美、小森朋栄 監訳堀江明子、富田

裕子 訳:医歯薬出版, 2009

目で見るとペリオドンタルインスツルメンテーション II アセスメントとインスツルメンテーション / Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄
監訳:医歯薬出版, 2010

目で見るとペリオドンタルインスツルメンテーション III デブライドメント / Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳:医歯
薬出版, 2009

目で見るとペリオドンタルインスツルメンテーション IV アドバンススキル / Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳:医
歯薬出版, 2010

履修上の注意事項

実習の際は身だしなみを整え、指定された白衣を着用すること。

時間割番号	022234					
科目名	口腔疾患予防基礎学実習					
担当教員	安田 昌代、近藤 圭子、大塚 紘未、田澤 千鶴					
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	2	
科目名: 口腔疾患予防学 時間数: 90 時間 授業形態: 実習						
主な講義場所 口腔保健学科 臨床基礎実習室・相互実習室						
授業の目的、概要等 <ul style="list-style-type: none"> ・歯・口腔の健康状態を維持するための要因と、予防可能な口腔疾患の種類、その原因と予防について理解する。 ・歯・口腔の状態把握および歯科予防処置の基本的知識と技術を修得する。 						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・歯・口腔の健康と予防の定義について説明できる。 ・歯・口腔の健康と予防の方法と健康づくりについて説明できる。 ・セルフケア、プロフェッショナルケア、コミュニティケアの内容を説明できる。 ・歯・口腔の付着物、沈着物について説明できる。 ・口腔清掃について説明できる。 ・プラークコントロールについて説明できる。 ・歯磨剤や洗口剤について説明できる。 ・歯周病の症状、種類、検査を説明できる。 ・歯周病の予防について説明できる。 ・生体への配慮(器具の消毒・滅菌、感染予防、手指消毒法、偶発事故の防止)の基本を実践しながら、歯科予防処置を実施できる。 ・歯科予防処置のうち、歯石除去・歯面清掃・SRP を実施できる。 ・歯科衛生過程の基本的な実践方法を理解する。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/6	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習の進め方	実習の目的と基本事項 実習使 用器材の準備	安田 昌代 近藤 圭子
3-4	4/13	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習の基本1	実習使用器材の取扱方法 マネ キンの取扱方法	近藤 圭子 安田 昌代 大塚 紘未
5-6	4/20	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習の基本2	インスツルメントの把持法と操作 法	近藤 圭子 安田 昌代 大塚 紘未
7-8	4/27	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン1	インスツルメントの基本操作 位 置と姿勢	近藤 圭子 安田 昌代 大塚 紘未
9-10	5/11	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン2	スケーリングの基本操作	近藤 圭子 安田 昌代 大塚 紘未
11-12	5/18	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床	インスツルメンテーショ ン3	前歯部のスケーリング1	近藤 圭子 安田 昌代

			基礎実習室			大塚 絃未
13-14	6/8	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーシ ョン4	前歯部のスケーリング2	近藤 圭子, 安田 昌代, 大塚 絃未
15-16	6/15	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーシ ョン5	前歯部のスケーリング3	近藤 圭子, 安田 昌代, 大塚 絃未
17-18	6/22	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーシ ョン6	臼歯部のスケーリング1	近藤 圭子, 安田 昌代, 大塚 絃未
19-20	6/29	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーシ ョン7	臼歯部のスケーリング2	近藤 圭子, 安田 昌代, 大塚 絃未
21-22	7/6	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーシ ョン8	臼歯部のスケーリング3	近藤 圭子, 安田 昌代, 大塚 絃未
23-24	7/13	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーシ ョン9	臼歯部のスケーリング4	近藤 圭子, 安田 昌代, 大塚 絃未
25-26	7/20	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	評価	スキル評価	近藤 圭子, 安田 昌代, 大塚 絃未
27-28	7/26	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーシ ョン10	ブローピング	近藤 圭子, 安田 昌代, 大塚 絃未
29-30	7/27	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーシ ョン11	スケーリング・ルートプレーニング	安田 昌代, 近藤 圭子
31-34	10/2	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーシ ョン12	スケーリング・ルートプレーニング	安田 昌代, 近藤 圭子
35-36	10/5	13:00-14:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーシ ョン13	スケーリング・ルートプレーニング	安田 昌代, 近藤 圭子
37-38	10/12	13:00-14:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習	インスツルメンテーシ ョン14	スケーリング・ルートプレーニング	安田 昌代, 近藤 圭子

			室			
39-42	10/16	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	評価 シャープニング	スキル評価 シャープニングの基 本 シックルスクレーパー・グレーシーキュレットス クレーパーのシャープニング	安田 昌代 近藤 圭子
43-46	10/23	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯面研磨 1	歯面研磨に使用する器材の取り 扱い方法	安田 昌代 近藤 圭子
47-48	10/26	13:00-14:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯面研磨 2	歯面研磨の実際	安田 昌代 近藤 圭子
49-52	11/27	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習 1	アセスメント 1 (医療面接・口腔内 診査検査)	安田 昌代 近藤 圭子
53-56	11/30	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習 2	アセスメント 2 (プラークの付着・ 歯石の沈着状態の評価)	近藤 圭子 安田 昌代 田澤 千鶴
57-60	12/4	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習 3	ハンドスケーリング 前歯	近藤 圭子 安田 昌代 田澤 千鶴
61-64	12/21	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習 4	ハンドスケーリング 前歯	近藤 圭子 安田 昌代 田澤 千鶴
65-68	1/11	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習 5	ハンドスケーリング 臼歯	近藤 圭子 安田 昌代 田澤 千鶴
69-71	1/16	09:00-11:50	口腔保健	超音波スケーリング 1	超音波スクレーパーの基本操作	安田 昌代

			学科臨床 基礎実習 室			近藤 圭子	
72-75	1/18	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習 6	ハンスケーリング 臼歯	近藤 圭子, 安田 昌代, 田澤 千鶴	
76-78	1/23	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	超音波スケーリング 2	超音波スケーリングの実際	安田 昌代, 近藤 圭子	
79-82	1/25	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習 7	超音波スケーリング	近藤 圭子, 安田 昌代, 田澤 千鶴	
83-86	2/1	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習 8	歯面研磨	安田 昌代, 近藤 圭子	
87-90	2/6	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習 9	処置後の評価	近藤 圭子, 安田 昌代, 大塚 絃未	

成績評価の方法

提出レポート、期末の客観試験、記述試験で総合的評価を行う。

出席状況および授業態度を総合的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

・事前に資料の配布、e-learning へのアップロードがあった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

実習は 3/4 以上出席すること。

教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修,高阪利美 ほか著,：医歯薬出版, 2011

参考書

目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション I / Jill S.Nield-Gehrig 著,吉田直美, 小森朋栄 監訳,堀江明子, 富田裕子 訳: 医歯薬出版, 2009

目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション II / Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳: 医歯薬出版, 2010

目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション III / Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳: 医歯薬出版, 2009

目で見るペリオドンタルインスツルメンテーション IV / Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳:医歯薬出版, 2010

履修上の注意事項

実習の際は身だしなみを整え、白衣を着用すること。

備考

担当教員:安田 昌代(歯学部附属病院 口腔ケア外来)

近藤 圭子・中村 奈都美(生涯口腔保健衛生学分野)

大塚 紘未(口腔疾患予防学分野)

小原 由紀(口腔健康教育学分野)

担当教員(非常勤):田澤千鶴(口腔疾患予防学分野)

時間割番号	022236					
科目名	健康教育の基礎 I					
担当教員	大塚 紘未, 近藤 圭子					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1	
時間数: 15 時間 授業形態: 講義						
主な講義場所 口腔保健学科 第4 講義室						
授業の目的、概要等 歯科衛生に関わる健康教育を実践するために、アセスメントから評価の流れを理解するとともに、その手法を修得する。また、歯口の健康維持に必要な方法、用具について知ることを目的とする。						
授業の到達目標 ・健康教育を説明する。 ・ライフステージ毎の健康課題を概説する。 ・歯科衛生過程を厚ようした健康教育実践の流れを説明する。 ・歯科衛生に関わる理論を説明する。 ・家庭、地域、学校、職域における健康教育の実際を知る。 ・視聴覚教材の種類と特徴、作成および使用に際しての留意点を説明する。 ・ブランクコントロールに関する基本的知識を説明する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/11	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の概念	健康教育の定義	近藤 圭子, 大塚 紘未
2	4/18	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の概念	健康の捉え方	近藤 圭子, 大塚 紘未
3	4/25	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	行動理論	行動変容のステージモデル、信念 モデル、グリーンモデルとその活 用	近藤 圭子, 大塚 紘未
4	5/2	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科保健指導の基礎	口腔の観察と評価	近藤 圭子, 大塚 紘未
5	5/9	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科保健指導の基礎	ブラッシング法の種類、歯ブラシ	近藤 圭子, 大塚 紘未
6	5/16	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	ライフステージ毎の健康 課題 健康教育の展開	小学校 1・2 年生の発達段階、学童 対象の健康教育の基礎、指導案と 教材	近藤 圭子, 大塚 紘未
7	5/24	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	PBL	PBL	大塚 紘未
8-9	5/26	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	海外研修発表会 健康 教育の実践	海外研修発表会 健康教育実習 に向けた打ち合わせ(3年合同)	近藤 圭子, 大塚 紘未
10	6/6	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科保健指導の基礎	歯磨剤、洗口剤、デンタルフロス、 歯間ブラシ	近藤 圭子, 大塚 紘未
11	6/13	11:00-11:50	口腔保健	ライフスキル	ライフスキルの種類と活用	近藤 圭子,

			学科第4 講義室			大塚 絃未	
12	6/20	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育のテーマ	食生活と栄養	近藤 圭子, 大塚 絃未	
13	6/27	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育のテーマ	運動・筋力トレーニング、余暇時間の使い方	近藤 圭子, 大塚 絃未	
14	7/4	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の展開	健康調査の基礎	近藤 圭子, 大塚 絃未	
15	7/6	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の展開	調査表の作成	大塚 絃未	
成績評価の方法							
課題レポート、期末の試験で総合的評価を行う。 受講態度、出席状況等を総合的評価に加味する。							
準備学習などについての具体的な指示							
事前配布資料や e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格							
3 分の 2 以上の出席							
教科書							
歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修,高阪利美 ほか著, : 医歯薬出版, 2011							
参考書							
健康教育 ヘルスプロモーションの展開／日本健康教育学会編: 保健同人社, 2003 歯科衛生学総論／遠藤圭子ほか著: 医歯薬出版, 2012 平成 23 年歯科疾患実態調査報告書 口腔保健協会 2013 授業の際に印刷物を配布する							

時間割番号	022237					
科目名	健康教育の基礎Ⅱ					
担当教員	大塚 紘未, 近藤 圭子					
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1	
時間数: 45 時間 授業形態: 実習、演習						
主な講義場所 口腔保健学科 第4 講義室						
授業の目的、概要等 口腔健康教育の実践に必要な知識・技術を修得し、実践力を培う。						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・生活と健康行動の関連を説明する。 ・歯科衛生過程の流れに従って、健康教育を組み立てる。 ・個人の口腔保健と生活習慣に関するアセスメントをする。 ・アセスメント内容を活用して、歯科衛生診断、計画立案をする。 ・対象者に合わせた健康教育を計画立案する。 ・健康教育実践のためのツールを説明する。 ・歯口清掃の方法、用具の種類、用途を説明する。 ・歯口清掃指導を実施する。 ・対象者に対する健康教育を実施、評価する。 ・口腔内写真を活用して情報を把握する。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	6/1	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室 その他 (口腔保 健学科口 腔保健衛 生学専 攻)	健康教育の実践	T 小学校健康教育実習	近藤 圭子, 大塚 紘未
4-5	7/13	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の実践	事前調査表の作成	大塚 紘未
6-7	10/4	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科保健指導の基礎	口腔の観察と評価、ブラッシング 法	近藤 圭子, 大塚 紘未
8-9	10/11	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の実践	調査票集計、指導目標の設定	近藤 圭子, 大塚 紘未
10-11	10/18	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の展開	健康教育の教材について	近藤 圭子, 大塚 紘未
12-13	10/25	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の実践	指導案、媒体案の作成	近藤 圭子, 大塚 紘未
14-15	11/1	13:00-14:50	口腔保健 学科第4	健康教育の実践	シナリオ・媒体作成	近藤 圭子, 大塚 紘未

			講義室			
16-17	11/8	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の実践	シナリオ・媒体作成	近藤 圭子, 大塚 絃未
18-20	11/15	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	口腔内写真撮影	口腔内写真撮影	小原 由紀
21-22	11/15	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の実践	健康教育実習リハーサル	近藤 圭子, 大塚 絃未
23	11/21	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の実践	シナリオ・媒体の修正、保護者プリント作成	近藤 圭子, 大塚 絃未
24-26	11/28	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	口腔内写真撮影	口腔内写真撮影(相互実習)	近藤 圭子, 小原 由紀 安田 昌代, 大塚 絃未
27	11/29	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の実践	シナリオ・媒体の修正、保護者プリント作成	近藤 圭子, 大塚 絃未
28-30	11/30	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の実践	健康教育実習事前準備	近藤 圭子, 大塚 絃未
31-34	12/5	09:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室 その他 (口腔保 健学科口 腔保健衛 生学専 攻)	健康教育の実践	H 小学校健康教育実習	近藤 圭子, 大塚 絃未
35-36	12/5	14:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の実践	振り返り、まとめ	近藤 圭子, 大塚 絃未
37	12/11	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	ライフステージ毎の健康 課題	乳幼児期・学童期	近藤 圭子, 大塚 絃未
38	1/9	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	ライフステージ毎の健康 課題	中高生、成人期、禁煙支援	近藤 圭子, 大塚 絃未
39	1/15	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の実践	歯磨きカレンダーコメント	近藤 圭子, 大塚 絃未
40	1/17	11:00-11:50	口腔保健	健康教育の実践	歯磨きカレンダーコメント	近藤 圭子,

			学科第4 講義室			大塚 紘未	
41	1/24	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	ライフステージ毎の健康 課題	妊娠期、高齢期	近藤 圭子, 大塚 紘未	
42	1/31	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	まとめ	まとめ	近藤 圭子, 大塚 紘未	
成績評価の方法							
課題レポート、期末の試験で総合的評価を行う。 受講態度、出席状況等を総合的評価に加味する。							
準備学習などについての具体的な指示							
事前配布資料や e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格							
4 分の 3 以上の出席							
教科書							
歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修,高阪利美 ほか著,：医歯薬出版, 2011							
参考書							
歯科疾患実態調査報告／日本口腔衛生学会 編:口腔保健協会, 2013							

時間割番号	022239						
科目名	食生活教育						
担当教員	品田 佳世子						
開講時期	通年	対象年次	2		単位数	1	
科目名:食生活教育 時間数:30 時間(3 時間は 2 年の衛生・工学合同のPBL) 授業形態:講義・演習・実習							
主な講義場所 口腔保健学科 第 4 講義室							
授業の目的、概要等 栄養と代謝の知識を基に、健康を維持するための栄養と食生活について理解し、食生活教育に必要な知識と技能を修得する。							
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・栄養や食生活に関する国の取り組みについて理解し説明できる。 ・日本人の食事摂取基準について理解し説明できる。 ・健康づくりのための食育の必要性を理解し説明できる。 ・日本人の食生活の現状を理解できる。 ・ライフステージに適した食生活について理解し説明できる。 ・保健機能食品について理解し説明できる。 ・食生活指導の意義を理解し説明できる。 ・食生活と口腔保健の関連を理解し説明できる。 ・食品の形態と食べやすさの関係について理解し説明できる。 ・疾病と食生活指導の必要性を理解し説明できる。 ・個人の栄養・食事バランスを分析できる。 ・自らの食生活の現状を知り問題および課題を発見し、食生活教育方法を検討できる。 ・事例検討を通し、口腔健康教育のひとつとして食生活教育を企画立案する。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	5/17	14:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	合同PBL	合同PBL	品田 佳世子, 大塚 紘未 大木 明子	合同PBL
4-6	6/19	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	Ⅱ編 歯と口の生化学 3章唾液の生化学 4章 プラークの生化学	Ⅱ編 歯と口の生化学 3章唾液 の生化学 4章プラークの生化学	品田 佳世子	栄養と代謝およ び保健生態学の 教科書として使 用、持参のこと
7-9	6/26	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	Ⅲ編 1章栄養基礎知識 ①食生活と栄養、国民 健康・栄養調査、2章食 事摂取基準、Ⅱ編 歯と 口の生化学 3章唾液の 生化学 4章プラークの 生化学の小テスト	Ⅲ編 1章栄養基礎知識 ①食生 活と栄養、国民健康・栄養調査、2 章食事摂取基準、Ⅱ編 歯と口の 生化学 3章唾液の生化学 4章プ ラークの生化学の小テスト	品田 佳世子	Ⅱ編 歯と口の生 化学 3章唾液の 生化学 4章プ ラークの生化学の 小テストを行うの で復習しておくこ と
10-12	7/3	15:00-17:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	Ⅳ編 1章食生活と健康、 食育、食事バランスガイ ド、食生活指針、保健機 能食品、③ライフステー ジ別の栄養と調理(離乳 食の実習)、①食生活と 栄養、国民健康・栄養調	Ⅳ編 1章食生活と健康、食育、食 事バランスガイド、食生活指針、保 健機能食品、③ライフステー ジ別の栄養と調理(離乳食の実習)、① 食生活と栄養、国民健康・栄養調 査、2章食事摂取基準の小テスト	品田 佳世子	Ⅲ編 1章栄養基 礎知識 ①食生 活と栄養、国民健 康・栄養調査、2 章食事摂取基準 の小テストを行う ので復習しておく

				査、2章食事摂取基準の小テスト			こと
13-15	7/10	15:00-17:50	口腔保健学科臨床基礎実習室、口腔保健学科第4講義室	IV編1章2章う蝕誘発性食品、飲料の糖度・酸性について(実習)、IV編1章食育、食事バランスガイド、食生活指針、保健機能食品、③ライフステージ別の栄養と調理の小テスト	IV編1章2章う蝕誘発性食品、飲料の糖度・酸性について(実習)、IV編1章食育、食事バランスガイド、食生活指針、保健機能食品、③ライフステージ別の栄養と調理の小テスト	品田 佳世子	飲料の糖度、酸性度を測定するので、事前に指定した班ごと5種類程度の飲料を持ってくること、前回の授業、実習に関する小テストを行うので復習しておくこと
16-18	11/6	09:00-11:50	口腔保健学科第4講義室	前期の授業の復習、臨床栄養、病態栄養について	前期の授業の復習、臨床栄養、病態栄養について	品田 佳世子	栄養と代謝の教科書使用
19-21	11/27	09:00-11:50	口腔保健学科臨床基礎実習室、口腔保健学科第4講義室	臨床栄養の実際、歯学部附属病院の病棟における病院食	臨床栄養の実際、歯学部附属病院の病棟における病院食	品田 佳世子、豊島 瑞枝	
22-24	12/11	13:00-15:50	口腔保健学科第4講義室	栄養分析、食生活指導、自分の食生活を分析し、食生活に関する課題、改善策を考える	栄養分析、食生活指導、自分の食生活を分析し、食生活に関する課題、改善策を考える	品田 佳世子	
25-27	12/18	14:00-16:50	口腔保健学科第4講義室	対象者の食生活指導、間食指導 口腔疾患予防のための食育、食生活教育	対象者の食生活指導、間食指導 口腔疾患予防のための食育、食生活教育	品田 佳世子	
28-30	1/15	13:00-15:50	口腔保健学科第4講義室	まとめと確認テスト	まとめと確認テスト	品田 佳世子	後期の授業の確認テストを行うので、授業の復習をしておくこと

成績評価の方法

演習の課題レポートおよび前期・後期の期末客観試験・記述試験で総括的評価を行う。
出席状況、グループ討論、発表の態度等を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

授業の2/3以上の出席を要する。

教科書

人体の構造と機能2 栄養と代謝/高橋信博, 江指隆年 ほか著, 医歯薬出版, 2016

参考書

糖尿病食事療法のための食品交換表/日本糖尿病学会 編・著, 日本糖尿病協会, 2013

腎臓病食品交換表: 治療食の基準/黒川清 監修, 中尾俊之 編集代表, 医歯薬出版, 2016

日本食品成分表 = STANDARD TABLES OF FOOD COMPOSITION IN JAPAN: 文部科学省科学技術・学術審議会資源調査分科会報告/医歯薬出版 編, 医歯薬出版, 2016

備考

事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

連絡先

shinada.pvoh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時

時間割番号	022240						
科目名	生体材料学						
担当教員	大塚 紘未、高橋 英和						
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1		
科目名: 生体材料学 時間数: 15 時間 授業形態: 講義							
主な講義場所 口腔保健学科 第 4 講義室							
授業の目的、概要等 顎口腔歯科領域の治療に使用される歯科生体材料の種類と使用方法について学習する。							
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・歯科生体材料の一般的性質を理解する。 ・石膏の種類と使用方法を理解する。 ・印象材の種類と使用方法について理解する。 ・セメント(合着用セメント、成形修復用セメント)の種類と使用方法について説明する。 ・アクリルレジンおよびコンポジットレジンの種類と使用方法を説明する。 ・歯科補綴治療(セラミックス、インプラントを含む)に使用する材料の種類と使用方法を概説する。 ・歯科生体材料の安全性について理解する。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/11	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科生体材料の特徴、 模型材 1	歯科生体材料の特徴とその素材、 歯科材料の所要性質 直接法と 間接法 模型材の所要性質、石膏 の種類と性質	高橋 英和	SBO's 1, 2
3-4	4/18	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	模型材 2 印象材 1	石膏の硬化反応に影響する各種 因子 印象材の概論、印象材の 種類と特徴、ハイドロコロイド印象 材	高橋 英和	SBO's 2, 3
5-6	4/25	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	印象材 2 歯科生体材 料の物理的性質	ゴム質印象材、非弾性印象材、機 能印象材 歯科生体材料の物理 的性質、	高橋 英和	SBO's 1, 2, 3
7-8	5/2	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科生体材料の物理的 性質と化学的性質	歯科生体材料の物理的性質、機械 的性質、ひずみ線図 歯科生体 材料の機械的性質、硬さ、 歯科 生体材料の溶解性と腐食	高橋 英和	SBO's 1
9-10	5/9	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	成形修復材	歯科用アマルガムの性質と取扱 方法、グラムアイオノマーセメント の性質と取扱い方法 コンポジット レジンの性質と取扱い方法、接 着機序	高橋 英和	SBO's 4
11-12	5/16	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	合着材と接着材	合着材の所要性質と種類 グラス アイオノマーセメントの特徴 接 着性レジンセメントの特徴	高橋 英和	SBO's 5
13-14	5/23	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科材料の加工法、 鋳造、重合、焼結	歯科精密鋳造の概要とその特徴 鋳造用合金の種類と特徴 義歯 床用レジンの特徴、レジンの重 合、裏装材 義歯安定剤 歯科 用陶材	高橋 英和	SBO's 6-9

15	5/30	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	生体適合性 歯ブラシ まとめ	生体適合性の重要性と評価方法 歯ブラシの構造 歯科生体材料 のまとめ	高橋 英和	SBO's 10
成績評価の方法 ・期末の筆記試験で総括評価を行う。 ・必要に応じて小テストによる形態的評価を行う。 ・出席状況、平常学習態度等を総括評価に加味する。							
準備学習などについての具体的な指示 Webclass に講義資料をアップするので、疑問点があれば質問すること。							
試験の受験資格 3分の2以上の出席							
参考書 ・中島 裕ほか編「スタンダード歯科理工学 ―生体材料と歯科材料― 第6版」学建出版 2016年 ・小倉英夫ほか編「コア歯科理工学」医歯薬出版 2008年 ・必要に応じてプリントを配布する。							
備考 事前に資料の配付、e-learning システム上へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。また、学習する内容について各自で参考文献を読み、理解を深めること。							

時間割番号	022241																																																												
科目名	臨床検査																																																												
担当教員	近藤 圭子																																																												
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1																																																								
科目名:臨床検査 時間数:15 時間 授業形態:講義																																																													
主な講義場所 口腔保健学科 第4 講義室																																																													
授業の目的、概要等 口腔保健の実践に必要な臨床検査についての理論と実際を理解し、個々の対象者に応用できる問題解決能力を身につける。																																																													
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> 臨床検査の目的および意義を説明する。 主な臨床検査について説明する。 口腔領域のエックス線写真を読影する。 歯科金属アレルギー検査を説明する。 																																																													
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>12/6</td> <td>13:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>臨床検査1</td> <td>臨床検査概論、 血液検査その1</td> <td>樺沢 勇司</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>12/13</td> <td>13:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>臨床検査2</td> <td>血液検査その2 肝機能検査</td> <td>樺沢 勇司</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>12/19</td> <td>13:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>臨床検査3 咀嚼機能 検査</td> <td>口腔領域の検査 咀嚼機能検査</td> <td>樺沢 勇司, 水口 俊介</td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>12/20</td> <td>13:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>臨床検査4</td> <td>病理検査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9-11</td> <td>1/9</td> <td>13:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>画像診断</td> <td>歯と歯周組織の X 線診断 X 線写 真の読影法等</td> <td>吉野 教夫</td> </tr> <tr> <td>12-13</td> <td>1/10</td> <td>13:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>臨床検査5</td> <td>腎機能検査 感染症検査</td> <td>樺沢 勇司</td> </tr> <tr> <td>14-15</td> <td>1/17</td> <td>13:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯科用金属によるアレ ルギー検査</td> <td>歯科用金属によるアレルギー検 査</td> <td>三浦 宏之</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-2	12/6	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査1	臨床検査概論、 血液検査その1	樺沢 勇司	3-4	12/13	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査2	血液検査その2 肝機能検査	樺沢 勇司	5-6	12/19	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査3 咀嚼機能 検査	口腔領域の検査 咀嚼機能検査	樺沢 勇司, 水口 俊介	7-8	12/20	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査4	病理検査		9-11	1/9	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	画像診断	歯と歯周組織の X 線診断 X 線写 真の読影法等	吉野 教夫	12-13	1/10	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査5	腎機能検査 感染症検査	樺沢 勇司	14-15	1/17	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科用金属によるアレ ルギー検査	歯科用金属によるアレルギー検 査	三浦 宏之
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																							
1-2	12/6	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査1	臨床検査概論、 血液検査その1	樺沢 勇司																																																							
3-4	12/13	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査2	血液検査その2 肝機能検査	樺沢 勇司																																																							
5-6	12/19	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査3 咀嚼機能 検査	口腔領域の検査 咀嚼機能検査	樺沢 勇司, 水口 俊介																																																							
7-8	12/20	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査4	病理検査																																																								
9-11	1/9	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	画像診断	歯と歯周組織の X 線診断 X 線写 真の読影法等	吉野 教夫																																																							
12-13	1/10	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査5	腎機能検査 感染症検査	樺沢 勇司																																																							
14-15	1/17	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科用金属によるアレ ルギー検査	歯科用金属によるアレルギー検 査	三浦 宏之																																																							
成績評価の方法 随時小テストを行い、形成的評価を行う。期末に客観試験、記述試験を行い、総括的評価を行う。 講義、グループ討論、発表の態度等を総括的評価に加味する。 受験資格は、東京医科歯科大学歯学部試験規則第 11 条に準ずる。																																																													
準備学習などについての具体的な指示 あらかじめ教科書等を参考に学習しておくこと。																																																													
参考書 臨床検査／井上孝 ほか著、:医歯薬出版、2012																																																													
備考 事前に資料の配布・アップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。																																																													

担当教員

出雲俊之 口腔病態診断科学分野

吉野教夫 口腔放射線医学分野

全部床義歯補綴学分野 教員

摂食機能保存学分野 教員

顎口腔外科学分野 教員

顎顔面外科学分野 教員

時間割番号	022243																																																													
科目名	歯科診療補助論 I																																																													
担当教員	大塚 紘未, 高橋 英和																																																													
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2																																																									
科目名: 臨床口腔保健衛生基礎学 時間数: 60 時間 授業形態: 演習・実習・講義																																																														
主な講義場所 口腔保健学科第 4 講義室・臨床基礎実習室・相互実習室																																																														
授業の目的、概要等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科材料を実際に使用し、その性質や特徴を知り、取り扱い方を学ぶ。 ・ 口腔保健・歯科医療の変遷と現状、歯科医療従事者の種類と役割、歯科診療の概要を理解する。 ・ 歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱・技術を理解し、基本的な歯科衛生士に必要な技術を身につける。 																																																														
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 石膏を使用して、その特徴、使用目的を知る。 ・ 印象材の種類とその特徴を体験を通して知る。 ・ 合着材やコンジットレジン进行操作し、その特徴を理解する。 ・ 口腔保健・歯科医療の変遷と現状を理解する。 ・ 歯科患者の特徴、心理状態を理解し説明する。 ・ ライフサイクルに合わせた、歯科衛生士の関わりを理解する。 ・ 歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱・技術を理解し、歯科衛生士に必要な基本的技術を身につける。 																																																														
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>4/5</td> <td>13:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯科診療室の環境整備</td> <td>オリエンテーション、歯科診療室 の基礎知識1</td> <td>大塚 紘未</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>4/10</td> <td>15:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯科診療室の環境整備</td> <td>歯科診療室の基礎知識 2</td> <td>大塚 紘未</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>4/12</td> <td>13:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科相互 実習室 口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>機械・器械の取扱い(歯 科用ユニット)</td> <td>歯科用チェア・ユニット基礎知識、 操作体験</td> <td>大塚 紘未</td> </tr> <tr> <td>7-11</td> <td>4/14</td> <td>13:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科臨床 基礎実習 室</td> <td>石膏</td> <td>石膏の練和方法、硬化時間、硬化 膨張、硬化時の発熱</td> <td>高橋 英和 岩崎 直彦 中野 文夫 土生 メイアナ</td> </tr> <tr> <td>12-13</td> <td>4/17</td> <td>15:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯科診療室の環境整備</td> <td>歯科診療室の基礎知識 3</td> <td>大塚 紘未</td> </tr> <tr> <td>14-15</td> <td>4/19</td> <td>13:00-14:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯科診療補助の概要</td> <td>感染対策(個人防護)と廃棄物処 理の基礎 歯科器材の特徴と取 扱いにおける注意点</td> <td>近藤 圭子</td> </tr> <tr> <td>16-19</td> <td>4/21</td> <td>13:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科臨床 基礎実習 室</td> <td>石膏</td> <td>練和溶液が石膏の硬化に及ぼす 影響</td> <td>高橋 英和 岩崎 直彦 中野 文夫 土生 メイアナ</td> </tr> </tbody> </table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-2	4/5	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療室の環境整備	オリエンテーション、歯科診療室 の基礎知識1	大塚 紘未	3-4	4/10	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療室の環境整備	歯科診療室の基礎知識 2	大塚 紘未	5-6	4/12	13:00-14:50	口腔保健 学科相互 実習室 口腔保健 学科第4 講義室	機械・器械の取扱い(歯 科用ユニット)	歯科用チェア・ユニット基礎知識、 操作体験	大塚 紘未	7-11	4/14	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	石膏	石膏の練和方法、硬化時間、硬化 膨張、硬化時の発熱	高橋 英和 岩崎 直彦 中野 文夫 土生 メイアナ	12-13	4/17	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療室の環境整備	歯科診療室の基礎知識 3	大塚 紘未	14-15	4/19	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療補助の概要	感染対策(個人防護)と廃棄物処 理の基礎 歯科器材の特徴と取 扱いにおける注意点	近藤 圭子	16-19	4/21	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	石膏	練和溶液が石膏の硬化に及ぼす 影響	高橋 英和 岩崎 直彦 中野 文夫 土生 メイアナ
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																								
1-2	4/5	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療室の環境整備	オリエンテーション、歯科診療室 の基礎知識1	大塚 紘未																																																								
3-4	4/10	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療室の環境整備	歯科診療室の基礎知識 2	大塚 紘未																																																								
5-6	4/12	13:00-14:50	口腔保健 学科相互 実習室 口腔保健 学科第4 講義室	機械・器械の取扱い(歯 科用ユニット)	歯科用チェア・ユニット基礎知識、 操作体験	大塚 紘未																																																								
7-11	4/14	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	石膏	石膏の練和方法、硬化時間、硬化 膨張、硬化時の発熱	高橋 英和 岩崎 直彦 中野 文夫 土生 メイアナ																																																								
12-13	4/17	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療室の環境整備	歯科診療室の基礎知識 3	大塚 紘未																																																								
14-15	4/19	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療補助の概要	感染対策(個人防護)と廃棄物処 理の基礎 歯科器材の特徴と取 扱いにおける注意点	近藤 圭子																																																								
16-19	4/21	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	石膏	練和溶液が石膏の硬化に及ぼす 影響	高橋 英和 岩崎 直彦 中野 文夫 土生 メイアナ																																																								

20-21	4/24	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療補助の概要	診療の流れと歯科衛生士の役割	近藤 圭子
22-23	4/26	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	滅菌と消毒の基本	滅菌・消毒・洗浄の定義	大塚 紘未
24-25	5/10	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	滅菌と消毒の基本	消毒薬の基本知識	大塚 紘未
26-28	5/19	13:00-15:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	印象	ハイドロコロイド印象材と模型の 再現性	高橋 英和 岩崎 直彦 中野 文夫 土生 メイアナ
29-30	5/19	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	共同動作の基本1	共同動作の概念、術者・補助者・患 者のポジション	近藤 圭子
31-33	5/26	15:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 第4講義 室	材料の取り扱い	衛生材料の種類と取扱い、作成方 法	大塚 紘未 近藤 圭子
34-36	6/2	13:00-15:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	印象	ゴム質印象材と模型の再現性	高橋 英和 岩崎 直彦 中野 文夫 土生 メイアナ
37-38	6/2	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	共同動作の基本1	共同動作の概念、術者・補助者・患 者のポジション	近藤 圭子
39-41	6/7	13:00-15:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 第4講義 室	共同動作の基本2	ライティング、器具の受け渡し、バ キュームテクニック等	大塚 紘未 近藤 圭子
42-44	6/9	13:00-15:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	成形修復材料と合着材	成形修復材料と合着材の種類と特 徴	高橋 英和 岩崎 直彦 中野 文夫 土生 メイアナ
45-46	6/9	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科材料の基本知識	歯科診療に用いる材料、薬品の取 扱い基本知識	大塚 紘未
47-49	6/12	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	機械・器械の取扱い(歯 科用ユニット)	歯科用チェア・ユニットの清掃・管 理方法の基本知識	大塚 紘未
50-52	6/14	13:00-15:50	口腔保健 学科相互	機械・器械の取扱い(歯 科用ユニット)	歯科診療に用いる材料、薬品の取 扱い基本知識	大塚 紘未 近藤 圭子

			実習室 口腔保健 学科第4 講義室				
53-54	6/16	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科材料の基本知識	歯科診療に用いる材料、薬品の取 扱い基本知識	大塚 紘未	
55-56	6/23	16:00-17:50	口腔保健 学科相互 実習室 口腔保健 学科第4 講義室	口腔保健・歯科医療	医療面接について	大塚 紘未 近藤 圭子	

成績評価の方法

- ・ 出席状況、平常学習態度等を総合的評価に加味する。
- ・ 提出課題ファイル、試験で総合的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

- ・ e ラーニングシステムに事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。
- ・ Webclass に実験結果をアップするので、レポートの作成に用いること。
- ・ 事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席

参考書

- ・ 最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」全国歯科衛生士教育協議会編 医歯薬出版
- ・ 必要に応じてプリントを配布する

連絡先

大塚 紘未 hiromi.pvoh@tmd.ac.jp
高橋 英和 takahashi.bmoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

大塚 紘未 随時
高橋 英和 あらかじめメールにて面談時間を相談のこと
2 号館 2 階 213 号室

時間割番号	022244					
科目名	歯科診療補助論Ⅱ					
担当教員	小原 由紀					
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	2	
主な講義場所						
口腔保健学科第4講義室・臨床基礎実習室・相互実習室・歯学科補綴実習室						
授業の目的、概要等						
<ul style="list-style-type: none"> ・歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱い・技術を理解し、歯科衛生士に必要な基本的な技術を身につける。 ・口腔保健・歯科医療の変遷と現状、歯科医療従事者の種類と役割、歯科診療の概要を理解する。 						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・器材の種類・特性・用途を理解する。 ・診療に必要な器械・材料・薬品の適切な準備と取り扱いを行う。 ・器材の特性にあわせ、滅菌・消毒を行う。 ・器材の管理方法を説明する。 ・患者を安全に誘導する。 ・チーム医療に必要な技能を理解する。 ・各科で必要な器材を選択し、診療の流れにそって説明する。 ・バイタルサイン(意識レベルを含む)を測定する。 ・歯科患者の特徴、心理状態を理解し説明する。 ・ライフサイクルに合わせた、歯科衛生士の関わりを理解する。 ・歯科保健医療に関わる職種をあげ、それぞれの役割を説明する。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	10/3	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	滅菌と消毒の実際1	各種器材の準備方法(演習)	小原 由紀
4-5	10/5	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	医療安全の実際1	医療安全の基本概念	小原 由紀
6-8	10/10	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	滅菌と消毒の実際2	各種器材の準備実習	小原 由紀 近藤 圭子
9-10	10/12	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	共同動作の基礎1	共同動作とフォーハンドシステム	小原 由紀
11-13	10/17	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	滅菌と消毒の実際3	診療前準備と診療室管理	小原 由紀 近藤 圭子 大塚 紘未
14-16	10/24	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習	滅菌と消毒の実際4	診療前準備と診療室管理	小原 由紀 近藤 圭子 大塚 紘未

			室 口腔保健学科相互実習室 口腔保健学科第4講義室			
17-18	10/26	15:00-16:50	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室	共同動作の基礎 2	共同動作の手技	小原 由紀 近藤 圭子
19-21	10/31	09:00-11:50	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室 口腔保健学科第4講義室	歯科治療と全身疾患	課題演習	小原 由紀
22-23	11/2	15:00-16:50	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室	歯科材料の取扱い	アルジネート印象材の練和と取り扱い	小原 由紀 安田 昌代
24-26	11/7	09:00-11:50	口腔保健学科第4講義室	医療安全の実際 2	視聴覚教材を用いた演習	小原 由紀
27-29	11/14	09:00-11:50	口腔保健学科第4講義室	教材演習 1	視聴覚教材の活用	小原 由紀
30-31	12/12	09:00-10:50	口腔保健学科第4講義室	歯科診療補助の実際 1	保存修復 1 1.診療補助の概要	安田 昌代
32-33	12/19	09:00-10:50	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科第4講義室	歯科診療補助の実際 2	保存修復 2 1.器材を扱う経験、 2.診療の流れと補助について	安田 昌代
34-36	1/9	09:00-11:50	口腔保健学科第4講義室	教材演習 2	コンピュータシミュレーション教材の演習	小原 由紀

37-39	1/10	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療補助の実際 3	歯内療法 1 1.診療補助の概要	安田 昌代
40-43	1/22	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	バイタルサイン	バイタルサイン計測実習 血圧、 体温、脈拍等	小原 由紀
44-46	1/25	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	歯科診療補助の実際 4	歯内療法 2 1.器材を扱う経験、 2.診療の流れと補助	安田 昌代
47-50	1/29	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	歯科診療補助に関する基 本スキルチェック	歯科材料の取扱などの診療補助 に必要なスキルの確認	小原 由紀 近藤 圭子 安田 昌代
51-54	1/31	13:00-16:50	その他 (口腔保 健学科口 腔保健衛 生学専 攻)	施設見学実習	障害者口腔保健センターの見学 実習	小原 由紀 安田 昌代
55-57	2/1	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	診療補助の実際 5	歯周治療 1 1.診療補助の概要、	安田 昌代
58-60	2/7	13:00-15:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	診療補助の実際 6	歯周治療 2 1.器材を扱う経験、 2 診療の流れと補助	安田 昌代

成績評価の方法

- ・中間と期末の筆記試験、実技試験及び提出レポート・課題により総合的評価する。
- ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

事前配布資料や視聴覚教材等、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

3/4 以上の出席

教科書

歯科診療補助論／可児徳子, 合場千佳子, 高阪利美 編: 医歯薬出版, 2007
参考書 ・ 器材準備マニュアル第5版 全国歯科衛生士教育協議会編 財団法人 口腔保健協会
備考
連絡先 ohara.pvoh@tmd.ac.jp
オフィスアワー 随時

時間割番号	022246					
科目名	臨床口腔保健衛生実習 I					
担当教員	大塚 絃未, 小原 由紀					
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	1	
主な講義場所						
口腔保健学科第4講義室・臨床基礎実習室・相互実習室・歯学科補綴実習室						
授業の目的、概要等						
<ul style="list-style-type: none"> ・歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱い・技術を理解し、歯科衛生士に必要な基本的な技術を身につける。 ・口腔保健・歯科医療の変遷と現状、歯科医療従事者の種類と役割、歯科診療の概要を理解する。 						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・器材の種類・特性・用途を理解する。 ・診療に必要な器械・材料・薬品の適切な準備と取り扱いを行う。 ・器材の特性にあわせ、滅菌・消毒を行う。 ・器材の管理方法を説明する。 ・患者を安全に誘導する。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	6/22	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科材料の基本知識	歯科診療に用いる材料、薬品の取 扱い基本知識	大塚 絃未
3-4	6/29	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	教材演習	シミュレーション教材演習	大塚 絃未
5-7	7/7	09:00-11:50	口腔保健 学科相互 実習室 口腔保健 学科第4 講義室	滅菌と消毒の実践	各種器具の消毒・滅菌、各種滅菌 器材の取り扱い	近藤 圭子, 大塚 絃未
8-10	7/14	09:00-11:50	口腔保健 学科相互 実習室 口腔保健 学科第4 講義室	共同動作の基本3	患者の誘導、姿勢と位置の確認	近藤 圭子, 大塚 絃未
11-14	10/30	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	共同動作(相互実習)1	位置と姿勢 ライティング	小原 由紀 近藤 圭子, 大塚 絃未
15-16	11/2	13:00-14:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科材料の取扱い	アルジネート印象材と石膏の取扱 い	小原 由紀 安田 昌代
17-20	11/6	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習	共同動作(相互実習)2	バキュームテクニック、3Wayシリ ンジの操作	近藤 圭子, 小原 由紀 大塚 絃未

			室 口腔保健学科相互実習室			
21-24	11/9	13:00-16:50	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室	研究用模型の作成(相互実習)1	印象採得実習1 下顎	小原 由紀 安田 昌代 近藤 圭子
25-28	11/16	13:00-16:50	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室	研究用模型の作成(相互実習)2	印象採得実習2 上顎	小原 由紀 安田 昌代 近藤 圭子
29-32	11/20	13:00-16:50	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室	共同動作(相互実習)3	フォーハンドテクニックの実際 器具の受け渡し	小原 由紀 近藤 圭子 大塚 紘未
33-37	11/22	13:00-17:50	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室	動作介助と車椅子の操作		近藤 圭子 小原 由紀
38-41	11/24	13:00-16:50	補綴実習室	研究用模型の作成 3	平行模型の作成 1	上條 真吾 小原 由紀
42-45	12/1	13:00-16:50	補綴実習室	研究用模型の作成 4	平行模型の作成 2	上條 真吾 小原 由紀

成績評価の方法

- ・筆記試験、実技試験及び提出レポート・課題により総合的に評価する。
- ・出席状況、授業態度を総合的に評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

事前配布資料や e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

3/4 以上の出席

教科書

歯科診療補助論／可児徳子, 合場千佳子, 高阪利美 編: 医歯薬出版, 2007

参考書

- ・ 器材準備マニュアル第 5 版 全国歯科衛生士教育協議会編 財団法人 口腔保健協会

備考

時間割番号	022248																																																																											
科目名	歯科衛生過程の基礎																																																																											
担当教員	大塚 絃未																																																																											
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1																																																																							
科目名: 歯科衛生過程の基礎 時間数: 15 時間 授業形態: 講義																																																																												
主な講義場所 口腔保健学科 第4 講義室																																																																												
授業の目的、概要等 人々の健康ニーズにあった支援を提供するために、論理的に思考し、問題を解決する知識・技術を習得する。																																																																												
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生過程の概念を説明する。 ・歯科衛生過程の構成要素を説明する。 ・歯科衛生過程の必要性和重要性を説明する。 ・対象者の情報を分類・整理する。 ・対象者の歯科衛生分野における問題を明確化し、優先順位をつける。 ・明確化した問題の関連因子を特定し、歯科衛生診断文を作成する。 ・歯科衛生計画を立案する(目標・歯科衛生介入・期待される結果)。 ・歯科衛生評価を説明する。 																																																																												
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/5</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯科衛生過程の概念</td> <td>歯科衛生過程とは、歯科衛生過程の構成要素</td> <td>大塚 絃未</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/12</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯科衛生アセスメント1</td> <td>情報収集</td> <td>大塚 絃未</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/26</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯科衛生アセスメント2</td> <td>情報処理(分類・整理)</td> <td>大塚 絃未</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11/2</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯科衛生アセスメント3</td> <td>情報処理(解釈・分析)</td> <td>大塚 絃未</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/8</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯科衛生診断1</td> <td>情報の統合</td> <td>大塚 絃未</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/9</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯科衛生診断2</td> <td>歯科衛生診断文</td> <td>大塚 絃未</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/16</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯科衛生診断3</td> <td>優先順位の決定</td> <td>大塚 絃未</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11/22</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>歯科衛生計画立案1</td> <td>目標設定</td> <td>大塚 絃未</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11/29</td> <td>09:00-09:50</td> <td>口腔保健 学科第4</td> <td>歯科衛生計画立案2 歯科衛生介入</td> <td>歯科衛生介入方法の決定 歯科 衛生介入、業務記録</td> <td>大塚 絃未</td> </tr> </tbody> </table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/5	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生過程の概念	歯科衛生過程とは、歯科衛生過程の構成要素	大塚 絃未	2	10/12	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生アセスメント1	情報収集	大塚 絃未	3	10/26	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生アセスメント2	情報処理(分類・整理)	大塚 絃未	4	11/2	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生アセスメント3	情報処理(解釈・分析)	大塚 絃未	5	11/8	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生診断1	情報の統合	大塚 絃未	6	11/9	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生診断2	歯科衛生診断文	大塚 絃未	7	11/16	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生診断3	優先順位の決定	大塚 絃未	8	11/22	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生計画立案1	目標設定	大塚 絃未	9	11/29	09:00-09:50	口腔保健 学科第4	歯科衛生計画立案2 歯科衛生介入	歯科衛生介入方法の決定 歯科 衛生介入、業務記録	大塚 絃未
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																						
1	10/5	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生過程の概念	歯科衛生過程とは、歯科衛生過程の構成要素	大塚 絃未																																																																						
2	10/12	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生アセスメント1	情報収集	大塚 絃未																																																																						
3	10/26	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生アセスメント2	情報処理(分類・整理)	大塚 絃未																																																																						
4	11/2	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生アセスメント3	情報処理(解釈・分析)	大塚 絃未																																																																						
5	11/8	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生診断1	情報の統合	大塚 絃未																																																																						
6	11/9	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生診断2	歯科衛生診断文	大塚 絃未																																																																						
7	11/16	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生診断3	優先順位の決定	大塚 絃未																																																																						
8	11/22	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生計画立案1	目標設定	大塚 絃未																																																																						
9	11/29	09:00-09:50	口腔保健 学科第4	歯科衛生計画立案2 歯科衛生介入	歯科衛生介入方法の決定 歯科 衛生介入、業務記録	大塚 絃未																																																																						

			講義室			
10	12/6	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生評価	歯科衛生評価	大塚 絃未
11	12/13	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生過程の展開1	事例演習	大塚 絃未
12	12/20	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生過程の展開2	事例演習	大塚 絃未

成績評価の方法

課題レポート、期末の試験で総合的評価を行う。
受講態度、出席状況等を総合的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

事前配布資料や e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

3分の2以上の出席

教科書

歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修、高阪利美 ほか著、:医歯薬出版, 2011

参考書

歯科衛生ケアプロセス／下野正基 監修、佐藤陽子、齋藤淳 編著、下野正基、保坂誠、Ginny Cathcart 著、:医歯薬出版, 2007
 歯科衛生課程 HAND BOOK／吉田直美、遠藤圭子、渡邊麻理、鈴木純子:クインテッセンス出版株式会社, 2015
 よくわかる歯科衛生過程／全国歯科衛生士教育協議会編:医歯薬出版株式会社, 2015
 歯科衛生ケアプロセス実践ガイド／佐藤陽子、齋藤淳:医歯薬出版株式会社, 2015

時間割番号	022249					
科目名	児童・家庭福祉 I					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1	
科目名: 児童・家庭福祉 I 時間数: 15 時間 授業形態: 講義						
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室						
授業の目的、概要等 ・現代社会における児童の成長・発達と生活実態について理解するとともに、現代社会における児童福祉の社会的背景、理念と意義について理解する。 ・社会福祉士に必要な児童福祉の特質への理解を深める。						
授業の到達目標 ・現代社会における児童の成長・発達と生活実態について説明できる。 ・ライフサイクルにおける児童期の位置づけ・とらえ方を説明できる。 ・近代・現代社会における子どもの権利および子どもを巡る問題について説明できる。 ・現代社会における児童福祉の理念と意義について説明できる。 ・児童福祉に関する法とサービス体系について説明できる。 ・児童のための地域・住環境整備と相談援助活動について説明できる。 ・近代・現代社会における国家・家族・児童の関連について説明できる。 ・児童福祉の歴史、児童福祉の仕組み、問題発生の際について説明できる。 ・児童福祉サービスの種類やあり方について説明できる。 ・少年非行や養護について説明できる。 ・母子保健、保育政策など発達期の児童福祉について説明できる。 ・子ども虐待の問題とその防止の取り組みについて概説できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	6/16	13:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	現在社会と子ども家庭	児童を取り巻く社会環境、子育て ニーズ	雨宮 由紀枝 遠藤 慶子
4-6	6/23	13:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	児童・家庭福祉とは何か、子どもと家庭の権利保障	児童観、児童の権利に関する条約 理念・意義	雨宮 由紀枝
7-9	6/30	13:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	児童福祉の発展 児童福祉と法	児童・家庭福祉の歴史(日本・欧米) 関連法、実施体制、行財政、 専門職、権利擁護	雨宮 由紀枝
10-12	7/7	13:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	母子保健 障害・難病のある子どもと家庭への支援 地域における子育てと 青少年育成 保育	母子保健施策、母子保健法、障害・難病のある子どもと家族のニーズ、支援制度 児童健全育成施策 保育制度、保育施策	雨宮 由紀枝
13-15	7/14	13:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	子育て支援 ひとり親 家庭の福祉	子育て支援施策 母子及び寡婦福祉法、自立支援	雨宮 由紀枝
成績評価の方法 ・期末試験、授業への参加状況、課題レポート等により総合的に評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						

教科書

新・社会福祉士養成講座児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版、2013
社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座 ⑮児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 第4版』中央法規

備考

担当教員(非常勤)

雨宮由紀枝 日本女子体育大学

時間割番号	022250					
科目名	障害児・者福祉 I					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1	
科目名:障害児・者福祉 I 時間数:15 時間 授業形態:講義						
主な講義場所 口腔保健学科 第2講義室						
授業の目的、概要等 ・障害福祉制度の変遷について学び、保健・医療・福祉・教育・労働の連携について理解する。 ・障害者福祉の理念の変化を概観し、障害者自身の活躍に注目する中で「共に歩む」を考える。						
授業の到達目標 ・障害者福祉制度の変遷について理解し、現代社会における障害者の実情・福祉課題を認識する。 ・国際的な「障害」の概念の変遷を理解し、人権思想にもとづく「障害者観」を獲得する。 ・障害者・その家族の生き方や社会的役割について学び、保健・医療・福祉などの専門職に共通する価値・倫理と関連づけながら具体的に説明できる。 ・ノーマライゼーション、リハビリテーション、インクルージョンなどの障害者福祉の理念の変遷を理解し、現代社会における障害者福祉の位置づけ・意義について説明できる。 ・障害者観と優生思想の関連について学び、医療従事者としての倫理観・価値観を獲得する。 ・障害児教育の変遷について学び、「共に学ぶ」「共に生きる」の意義を理解し、福祉教育や心のバリアフリーと社会のあり方について自分なりの考えを築く。 ・現代の障害者福祉の法体系について学び、「障害者が地域で生きる」ことの意義、ユニバーサル社会の本質について説明できる。 ・国連・障害者権利条約の特徴と意義について理解し、障害者差別とは何かを考え、「共生社会」を築くためのわが国の課題について考える。 ・障害者権利条約批准に向けての障がい者制度改革推進会議の成果と障害者の果たした役割を理解し、障害者福祉におけるわが国の課題について説明できる。 ・障害児・者福祉の学びを通して、医療者として「生命の尊厳」をどう考えるかについて、自分なりの価値観・倫理観を獲得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/23	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	障害者福祉の現状	わが国の障害者の生活実態、現代社会における障害児・者福祉の課題	石渡 和実 遠藤 慶子
2-3	5/30	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	障害者福祉制度の変遷 「障害」概念の変遷	「障害」概念とわが国の障害者観の変遷	石渡 和実
4-5	6/6	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	障害者福祉の理念 1	リハビリテーション理念の進展 国際的な ICIDH/ICF モデル	石渡 和実
6-7	6/13	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	障害者福祉の理念 2	自立生活運動と当事者活動 優 生保護法と障害者観	石渡 和実
8-9	6/20	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	障害者福祉の理念 3	ノーマライゼーション理念の進展 特殊教育、特別支援教育	石渡 和実
10-11	6/27	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	障害者福祉の理念 4	インクルージョン理念と多様性の 尊重	石渡 和実
12-13	7/4	09:00-10:50	口腔保健	障害者と「生命の尊厳」	障害者福祉制度の現状、改革	石渡 和実

			学科第3 講義室				
14-15	7/11	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	障害者福祉のまとめ」	グループディスカッション	石渡 和実	
成績評価の方法							
<ul style="list-style-type: none"> ・授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。 ・グループディスカッション(事例検討など)の参加状況を評価に加味する。 ・定期試験を実施し、総合的に評価する。 							
準備学習などについての具体的な指示							
参考書							
<ul style="list-style-type: none"> ・随時、授業中に紹介する。 							
備考							
<p>事前に資料の配付、e-learning システム上へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。</p> <p>担当教員(非常勤) 石渡和実 東洋英和女学院大学大学院</p>							

時間割番号	022251																																															
科目名	地域福祉 I																																															
担当教員	遠藤 慶子																																															
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1																																											
科目名:地域福祉 I 時間数:15 時間 授業形態:講義																																																
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室																																																
授業の目的、概要等 <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の歴史や基本的考え方を理解する。 ・地域福祉に係る組織や専門職の役割について理解する。 																																																
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉に関わる基本的な用語を理解し、説明できる。 ・地域福祉の関わる法制度を理解し説明できる。 ・地域福祉の歴史とそこに携わった人間について説明できる。 ・地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について説明できる。 ・地域福祉の推進方法(ネットワークング、社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法、地域トータルケアシステムの構築方法、サービスの評価方法を含む)について説明できる。 																																																
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>4/7</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>地域福祉の基本概念</td> <td>地域コミュニティと住民、社会福祉 法 人権尊重、権利擁護、社会的 包摂</td> <td>遠藤 慶子、 小嶋 珠実</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>4/14</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>地域福祉の歴史的展開</td> <td>地域福祉の源流 COS 活動とセ ツルメント活動 戦後日本の地域 福祉</td> <td>小嶋 珠実</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>4/21</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>コミュニティケアの展開</td> <td>地域コミュニティ視点の登場</td> <td>小嶋 珠実</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>4/28</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>地域福祉を支える組織</td> <td>行政組織の役割と実際、地方自治 体、民間組織の役割と実際、社会 福祉協議会の役割 地域住民の 役割と実際、民生委員、児童委員 の役割</td> <td>小嶋 珠実</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>5/12</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>地域福祉の現状と課題 まとめと試験</td> <td>地域福祉に関する基本的用語 今日の地域福祉における課題</td> <td>小嶋 珠実</td> </tr> </tbody> </table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-3	4/7	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	地域福祉の基本概念	地域コミュニティと住民、社会福祉 法 人権尊重、権利擁護、社会的 包摂	遠藤 慶子、 小嶋 珠実	4-6	4/14	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	地域福祉の歴史的展開	地域福祉の源流 COS 活動とセ ツルメント活動 戦後日本の地域 福祉	小嶋 珠実	7-9	4/21	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	コミュニティケアの展開	地域コミュニティ視点の登場	小嶋 珠実	10-12	4/28	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	地域福祉を支える組織	行政組織の役割と実際、地方自治 体、民間組織の役割と実際、社会 福祉協議会の役割 地域住民の 役割と実際、民生委員、児童委員 の役割	小嶋 珠実	13-15	5/12	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	地域福祉の現状と課題 まとめと試験	地域福祉に関する基本的用語 今日の地域福祉における課題	小嶋 珠実
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																										
1-3	4/7	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	地域福祉の基本概念	地域コミュニティと住民、社会福祉 法 人権尊重、権利擁護、社会的 包摂	遠藤 慶子、 小嶋 珠実																																										
4-6	4/14	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	地域福祉の歴史的展開	地域福祉の源流 COS 活動とセ ツルメント活動 戦後日本の地域 福祉	小嶋 珠実																																										
7-9	4/21	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	コミュニティケアの展開	地域コミュニティ視点の登場	小嶋 珠実																																										
10-12	4/28	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	地域福祉を支える組織	行政組織の役割と実際、地方自治 体、民間組織の役割と実際、社会 福祉協議会の役割 地域住民の 役割と実際、民生委員、児童委員 の役割	小嶋 珠実																																										
13-15	5/12	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	地域福祉の現状と課題 まとめと試験	地域福祉に関する基本的用語 今日の地域福祉における課題	小嶋 珠実																																										
成績評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。 ・試験を実施し、総合的に評価する。 																																																
準備学習などについての具体的な指示																																																
教科書 「新・社会福祉士養成講座 地域福祉の理論と方法」/社会福祉士養成講座編集委員会:中央法規出版, 2015																																																
備考 事前に資料の配付、e-learning システム上へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。また、学習する内容につい																																																

て各自で参考文献を読み、理解を深めること。

担当教員(非常勤)

小嶋珠実 ルーテル学院大学

時間割番号	022252																																															
科目名	高齢者福祉 I																																															
担当教員	遠藤 慶子																																															
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1																																											
科目名: 高齢者福祉 時間数: 30 時間 授業形態: 講義																																																
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室																																																
授業の目的、概要等 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生活実態や高齢者を取り巻く社会情勢から、高齢者福祉制度の変遷と今後のありかたについて理解する。 ・少子高齢化がもたらした新しい高齢者の生き方や活躍の場等を学ぶ。 																																																
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の人々の生活実態を理解する。 ・日本における少子高齢化について理解し、説明する。 ・日本における少子高齢化や家族類型および家族機能の変化について理解し、高齢者を取り巻く諸問題について考えることができる。 ・高齢者福祉制度および関連法規について理解し、説明する。 ・高齢者をとりまく問題を自ら発見し、解決するための方法を検討する。 																																																
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>4/10</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>高齢者を取り巻く社会環境の変化</td> <td>少子高齢化・家族の変化・介護への影響</td> <td>遠藤 慶子</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>4/17</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>少子高齢社会と高齢者問題の変化</td> <td>高齢者の福祉ニーズの把握</td> <td>遠藤 慶子</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>4/24</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>高齢者福祉制度</td> <td>高齢者介護の概念・対象・介護予防</td> <td>遠藤 慶子</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>5/1</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>高齢者支援関係法規</td> <td>老人福祉法 老人保健法・後期高齢者医療制度 介護保険制度</td> <td>遠藤 慶子</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>5/8</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>高齢福祉者の実際</td> <td>在宅療養における摂食・嚥下機能向上支援のための仕組みづくり 地区医師会・歯科医師会を含む多職種連携によるチームケア</td> <td>遠藤 慶子</td> </tr> </tbody> </table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-3	4/10	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者を取り巻く社会環境の変化	少子高齢化・家族の変化・介護への影響	遠藤 慶子	4-6	4/17	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	少子高齢社会と高齢者問題の変化	高齢者の福祉ニーズの把握	遠藤 慶子	7-9	4/24	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者福祉制度	高齢者介護の概念・対象・介護予防	遠藤 慶子	10-12	5/1	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者支援関係法規	老人福祉法 老人保健法・後期高齢者医療制度 介護保険制度	遠藤 慶子	13-15	5/8	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢福祉者の実際	在宅療養における摂食・嚥下機能向上支援のための仕組みづくり 地区医師会・歯科医師会を含む多職種連携によるチームケア	遠藤 慶子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																										
1-3	4/10	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者を取り巻く社会環境の変化	少子高齢化・家族の変化・介護への影響	遠藤 慶子																																										
4-6	4/17	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	少子高齢社会と高齢者問題の変化	高齢者の福祉ニーズの把握	遠藤 慶子																																										
7-9	4/24	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者福祉制度	高齢者介護の概念・対象・介護予防	遠藤 慶子																																										
10-12	5/1	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者支援関係法規	老人福祉法 老人保健法・後期高齢者医療制度 介護保険制度	遠藤 慶子																																										
13-15	5/8	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢福祉者の実際	在宅療養における摂食・嚥下機能向上支援のための仕組みづくり 地区医師会・歯科医師会を含む多職種連携によるチームケア	遠藤 慶子																																										
成績評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総合的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。 																																																
準備学習などについての具体的な指示																																																
教科書 新・社会福祉士養成講座／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版, 2015																																																
参考書 公衆衛生がみえる／医療情報科学研究所 編集：メディックメディア, 2014																																																
備考 <ul style="list-style-type: none"> ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 担当教員 小宮山恵美 北区健康福祉部																																																

時間割番号	022253																																															
科目名	介護福祉 I																																															
担当教員	遠藤 慶子																																															
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1																																											
科目名:介護福祉 時間数:15 時間 授業形態:講義																																																
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室																																																
授業の目的、概要等 <ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士にとって求められる介護とは何か、介護福祉とは何かを探究する。 ・現在社会における介護問題も最新の情報を取り上げ、介護を身近なものとして考えられるような授業内容を構成し、介護についての理解を深めることを目指す。 																																																
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉の役割について理解する。 ・身体的および精神的な変化に対する観察能力を学び、保健・医療機関、専門職との連携、協力および必要に応じた援助ができる。 ・病気や遭遇しやすい事故についての知識を持ち、それらの予防の技術を理解する。 ・高齢者の健康の概念を理解し、健康を促進する具体的な展開方法について学ぶ。 ・認知症ケアを理解し、家族支援や地域のサポートを学ぶ。 ・新しい介護予防を学び、これからの高齢者像をイメージできる。 																																																
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>5/15</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>介護福祉を取り巻く環境 (高齢者介護のはじまり)</td> <td>介護の歴史、介護の概念</td> <td>遠藤 慶子</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>5/22</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>生活支援と介護 介護 予防とは何か?</td> <td>尊厳を支える介護と自立支援 新 しい介護予防の考え方</td> <td>遠藤 慶子</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>5/29</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>生活支援技術Ⅰ(人の 動きに沿った支援 方 法)</td> <td>人の動きを知ろう 寝返り・起き上 がり、立ちあがり、移乗 人の姿 勢と動作</td> <td>遠藤 慶子</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>6/5</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>生活支援技術Ⅱ(人 の動きに沿った支援 方法)</td> <td>車いすの操作・介助方法 杖の 種類および使用・介助方法</td> <td>遠藤 慶子</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>6/12</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>認知症ケアの現状と課 題</td> <td>認知症ケアの概念と歴史 認知 症ケアが目指すもの</td> <td>遠藤 慶子</td> </tr> </tbody> </table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-3	5/15	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	介護福祉を取り巻く環境 (高齢者介護のはじまり)	介護の歴史、介護の概念	遠藤 慶子	4-6	5/22	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	生活支援と介護 介護 予防とは何か?	尊厳を支える介護と自立支援 新 しい介護予防の考え方	遠藤 慶子	7-9	5/29	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	生活支援技術Ⅰ(人の 動きに沿った支援 方 法)	人の動きを知ろう 寝返り・起き上 がり、立ちあがり、移乗 人の姿 勢と動作	遠藤 慶子	10-12	6/5	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	生活支援技術Ⅱ(人 の動きに沿った支援 方法)	車いすの操作・介助方法 杖の 種類および使用・介助方法	遠藤 慶子	13-15	6/12	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	認知症ケアの現状と課 題	認知症ケアの概念と歴史 認知 症ケアが目指すもの	遠藤 慶子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																										
1-3	5/15	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	介護福祉を取り巻く環境 (高齢者介護のはじまり)	介護の歴史、介護の概念	遠藤 慶子																																										
4-6	5/22	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	生活支援と介護 介護 予防とは何か?	尊厳を支える介護と自立支援 新 しい介護予防の考え方	遠藤 慶子																																										
7-9	5/29	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	生活支援技術Ⅰ(人の 動きに沿った支援 方 法)	人の動きを知ろう 寝返り・起き上 がり、立ちあがり、移乗 人の姿 勢と動作	遠藤 慶子																																										
10-12	6/5	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	生活支援技術Ⅱ(人 の動きに沿った支援 方法)	車いすの操作・介助方法 杖の 種類および使用・介助方法	遠藤 慶子																																										
13-15	6/12	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	認知症ケアの現状と課 題	認知症ケアの概念と歴史 認知 症ケアが目指すもの	遠藤 慶子																																										
成績評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総合的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。 																																																
準備学習などについての具体的な指示																																																
教科書 新・社会福祉士養成講座／社会福祉士養成講座編集委員会 編集.:中央法規出版, 2015																																																
参考書 新しい介護：完全図解／大田仁史, 三好春樹 監修・編著.:講談社, 2014 介護基礎学／竹内孝仁:医歯薬出版																																																
備考 <ul style="list-style-type: none"> ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 																																																

時間割番号	022254																																																													
科目名	相談援助の基盤と専門職 I																																																													
担当教員	大塚 絃未																																																													
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1																																																									
科目名:相談援助の基盤と専門職 時間数:15 時間 授業形態:講義																																																														
主な講義場所 口腔保健学科 第4 講義室																																																														
授業の目的、概要等 <ul style="list-style-type: none"> 保健・医療・福祉サービスの専門職としての自己・他者を理解する。 患者・サービス利用者・地域住民など支援を必要とする人たちとの信頼関係を構築するために必要なコミュニケーションスキルの基本を理解する。 保健・医療・福祉サービスにおける相談援助の基盤となる専門職の職業倫理を理解する。 																																																														
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> 保健・医療・福祉サービスの専門職としての自己理解とその重要性を説明する。 保健・医療・福祉サービスの専門職としての他者理解とその重要性を説明する。 患者・サービス利用者・地域住民など支援を必要とする人たちとの信頼関係を構築するために必要なコミュニケーションスキルの基本を説明する。 																																																														
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>5/1</td> <td>15:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>相談援助とは 自己理解・他己理解 1</td> <td>相談援助技術と理論 自己紹介 ゲームを通して</td> <td>大塚 絃未</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>5/8</td> <td>15:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>自己理解・他己理解 2</td> <td>コンセンサスゲームを通して</td> <td>大塚 絃未</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>5/15</td> <td>15:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>自己理解・他己理解 3 支援とは何か 1</td> <td>イメージの名刺交換を通して 支 援とは何か</td> <td>大塚 絃未</td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>5/22</td> <td>15:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>情報の伝達 1 支援と は何か 2</td> <td>伝え合う関係の形成(図形伝達ゲ ームを通して) 支援とは何か</td> <td>大塚 絃未</td> </tr> <tr> <td>9-10</td> <td>5/29</td> <td>15:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>情報の伝達 2 支援と は何か 3</td> <td>情報伝達ゲームを通して 支援と は何か:事例を通して考える</td> <td>大塚 絃未</td> </tr> <tr> <td>11-13</td> <td>6/5</td> <td>15:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>情報の伝達 3 支援と は何か 4</td> <td>ジェスチャー伝言ゲームを通して 支援とは何か:事例を通して考え る</td> <td>大塚 絃未</td> </tr> <tr> <td>14-15</td> <td>6/30</td> <td>16:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>まとめ</td> <td>まとめ</td> <td>大塚 絃未</td> </tr> </tbody> </table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-2	5/1	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助とは 自己理解・他己理解 1	相談援助技術と理論 自己紹介 ゲームを通して	大塚 絃未	3-4	5/8	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	自己理解・他己理解 2	コンセンサスゲームを通して	大塚 絃未	5-6	5/15	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	自己理解・他己理解 3 支援とは何か 1	イメージの名刺交換を通して 支 援とは何か	大塚 絃未	7-8	5/22	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	情報の伝達 1 支援と は何か 2	伝え合う関係の形成(図形伝達ゲ ームを通して) 支援とは何か	大塚 絃未	9-10	5/29	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	情報の伝達 2 支援と は何か 3	情報伝達ゲームを通して 支援と は何か:事例を通して考える	大塚 絃未	11-13	6/5	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	情報の伝達 3 支援と は何か 4	ジェスチャー伝言ゲームを通して 支援とは何か:事例を通して考え る	大塚 絃未	14-15	6/30	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	まとめ	まとめ	大塚 絃未
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																								
1-2	5/1	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助とは 自己理解・他己理解 1	相談援助技術と理論 自己紹介 ゲームを通して	大塚 絃未																																																								
3-4	5/8	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	自己理解・他己理解 2	コンセンサスゲームを通して	大塚 絃未																																																								
5-6	5/15	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	自己理解・他己理解 3 支援とは何か 1	イメージの名刺交換を通して 支 援とは何か	大塚 絃未																																																								
7-8	5/22	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	情報の伝達 1 支援と は何か 2	伝え合う関係の形成(図形伝達ゲ ームを通して) 支援とは何か	大塚 絃未																																																								
9-10	5/29	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	情報の伝達 2 支援と は何か 3	情報伝達ゲームを通して 支援と は何か:事例を通して考える	大塚 絃未																																																								
11-13	6/5	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	情報の伝達 3 支援と は何か 4	ジェスチャー伝言ゲームを通して 支援とは何か:事例を通して考え る	大塚 絃未																																																								
14-15	6/30	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	まとめ	まとめ	大塚 絃未																																																								
成績評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> 授業内レポートで学習成果を評価する。 事例検討などの参加態度、参加状況を評価に加味する。 事例検討のまとめやプレゼンテーションの内容から評価する。 																																																														
準備学習などについての具体的な指示 <ul style="list-style-type: none"> 事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、各自予習して授業に臨むこと。 																																																														
試験の受験資格																																																														

3分の2以上の出席

参考書

・随時、授業中に紹介する。

時間割番号	022255					
科目名	相談援助演習 I					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1	
科目名:相談援助演習 I 時間数:30 時間 授業形態:演習						
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室						
授業の目的、概要等 社会福祉における相談援助の知識と技術に関わる他の科目との関連性も視野に入れつつ、歯科衛生士に求められる相談援助の係る知識と技術について実践的に修得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を滋養する。						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・相談援助の特徴を説明することができる。 ・相談援助の内容・方法・プロセスを説明することができる。 ・相談援助に関する実践上の課題について、自ら意見を述べるすることができる。 ・相談援助と口腔保健における実践の関連性について興味や関心をもち、自分から調べ、考える態度 をもつ。 ・相談援助実習に向けた自分の興味や関心を持ったことと学習課題を説明することができる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	10/6	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	オリエンテーション 相 談援助の基礎 I	見る	遠藤 慶子, 小畑 万里
3-4	10/20	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の基礎 II 相談援助の基礎 III	聞く 話す	遠藤 慶子, 小畑 万里
5-6	10/27	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の基礎 IV	関係・プロセス。アセスメント	遠藤 慶子, 小畑 万里
7-8	11/10	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の基礎 V	情報収集と分析	遠藤 慶子, 小畑 万里
9-10	11/17	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の基礎 VI	支援計画・評価	遠藤 慶子, 小畑 万里
11-12	11/24	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助のまとめ I	グループワーク	遠藤 慶子, 小畑 万里
13-14	12/1	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助のまとめ II	発表	遠藤 慶子, 小畑 万里
15-17	12/8	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の基礎 VII	視覚障害者への支援	遠藤 慶子, 福喜多 恭子
18-22	12/8	13:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の実際 I	相談援助における個別援助技術 による活用①	遠藤 慶子, 福喜多 恭子
23-25	12/22	09:00-11:50	口腔保健 学科第3	相談援助の実際 II	相談援助における個別援助技術 による活用②	遠藤 慶子, 小畑 万里

			講義室				
26-30	12/22	13:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の実際 III まとめ	相談援助における個別援助技術 による活用③	遠藤 慶子 小畑 万里	
成績評価の方法 ・授業内レポートで重要な単元の学習効果を評価する。 ・定期試験を実施し、総合的に評価する。							
準備学習などについての具体的な指示							
参考書 ・授業中に配布する資料。 ・参考書は授業時に紹介する。							
備考 ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して臨むこと。 担当教員(非常勤) 小畑万里 日本社会事業大学 通信教育科 社会福祉士養成課程 福喜多恭子 神奈川県視覚障害者福祉協会							

時間割番号	022256																									
科目名	児童・家庭福祉Ⅱ																									
担当教員	遠藤 慶子																									
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1																					
科目名:児童・家庭福祉Ⅱ 時間数:15時間 授業形態:講義																										
主な講義場所 口腔保健学科 第2講義室																										
授業の目的、概要等 ・現代社会における児童の成長・発達と生活実態について理解するとともに、現代社会における児童福祉の社会的背景、理念と意義について理解する。 ・社会福祉士に必要な児童福祉の特質への理解を深める。																										
授業の到達目標 ・現代社会における児童の成長・発達と生活実態について説明できる。 ・ライフサイクルにおける児童期の位置づけ・とらえ方を説明できる。 ・近代・現代社会における子どもの権利および子どもを巡る問題について説明できる。 ・現代社会における児童福祉の理念と意義について説明できる。 ・児童福祉に関する法とサービス体系について説明できる。 ・児童のための地域・住環境整備と相談援助活動について説明できる。 ・近代・現代社会における国家・家族・児童の関連について説明できる。 ・児童福祉の歴史、児童福祉の仕組み、問題発生の際の機序について説明できる。 ・児童福祉サービスの種類やあり方について説明できる。 ・少年非行や養護について説明できる。 ・母子保健、保育政策など発達期の児童福祉について説明できる。 ・子ども虐待の問題とその防止の取り組みについて概説できる。																										
授業計画 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-7</td> <td>9/11</td> <td>09:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>障害児の福祉 児童虐待対策</td> <td>障害について 療育、福祉施策 特別支援教育、自立支援 社会的背景、実態 被虐待児保護、児童虐待防止法</td> <td>雨宮 由紀枝</td> </tr> <tr> <td>8-15</td> <td>9/12</td> <td>09:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>非行児童・情緒障害児の支援 子ども家庭への相談援助活動</td> <td>非行・情緒障害の理解、動向 非行児童・情緒障害児とその家族への支援 相談援助の方法 施設ケアと児童・家庭福祉援助活動</td> <td>雨宮 由紀枝</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-7	9/11	09:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	障害児の福祉 児童虐待対策	障害について 療育、福祉施策 特別支援教育、自立支援 社会的背景、実態 被虐待児保護、児童虐待防止法	雨宮 由紀枝	8-15	9/12	09:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	非行児童・情緒障害児の支援 子ども家庭への相談援助活動	非行・情緒障害の理解、動向 非行児童・情緒障害児とその家族への支援 相談援助の方法 施設ケアと児童・家庭福祉援助活動	雨宮 由紀枝
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																				
1-7	9/11	09:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	障害児の福祉 児童虐待対策	障害について 療育、福祉施策 特別支援教育、自立支援 社会的背景、実態 被虐待児保護、児童虐待防止法	雨宮 由紀枝																				
8-15	9/12	09:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	非行児童・情緒障害児の支援 子ども家庭への相談援助活動	非行・情緒障害の理解、動向 非行児童・情緒障害児とその家族への支援 相談援助の方法 施設ケアと児童・家庭福祉援助活動	雨宮 由紀枝																				
成績評価の方法 ・期末試験、授業への参加状況、課題レポート等により総合的に評価する。																										
準備学習などについての具体的な指示																										
教科書 社会福祉士養成講座編集委員会編「新・社会福祉士養成講座 ⑮児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 第4版」中央法規																										
備考 担当教員(非常勤) 雨宮由紀枝 日本女子体育大学																										

時間割番号	022257					
科目名	障害児・者福祉Ⅱ					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1	
科目名:障害児・者福祉Ⅱ 時間数:15時間 授業形態:講義						
主な講義場所 口腔保健学科 第2講義室						
授業の目的、概要等 ・障害種別の特性について理解し、具体的な支援の在り方を学び、自分なりの障害者観・関わり方を確立するよう努める。 ・現代社会における障害児・者福祉の課題について、医療専門職として果たせる役割を考える。						
授業の到達目標 ・身体障害、知的障害、精神障害、発達障害、高次脳機能障害など、具体的な障害種別の特性について理解し、支援にあたり求められる視点・姿勢を獲得する。 ・知的障害と出生前診断、発達障害と児童虐待、精神障害の長期入院と隔離施策、重症心身障害児と医療的ケア・生命の尊厳など、障害児・者福祉と医療的課題に着目し、医療専門職として自分なりの視点や姿勢の確立をめざす。 ・障害者雇用施策の変遷と就労支援の現状について学ぶなかで、「働くこと」の意義、ILOが提唱する「ディーセントワーク(decent work)(人間らしい尊厳をもった働き方)」について説明できる。 ・エンパワメントの視点に立った支援について学び、障害児・者が地域で暮らすことの意義、まちづくりについて考え、自分なりの支援の在り方・関わり方を修得することをめざす。 ・当事者主体の視点から、自己決定の尊重、意思決定支援などについて学び、自分なりに実践する具体的な方法の修得をめざす。 ・障害児・者福祉の学びを通して、医療者として福祉的な支援を必要とする人に関わる際の価値観・倫理観を獲得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-8	7/26	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	障害児・者福祉の現状 障害者の種類と特性 障害と出生前診断 精神障害と「隔離施策」 発達障害の種類と特性	わが国の障害児・者福祉の現状、現代社会における障害児・者福祉の課題 3障害の分類と「障害」の定義 出生前診断の変遷と「障害者の生命」 精神障害者福祉の変遷と「隔離施策」の関係性 発達障害者支援法と自閉症、学習障害、注意欠陥多動性障害の特性	石渡 和実 遠藤 慶子
9-15	7/27	09:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	発達障害児と児童虐待 高次脳機能障害と特性 エンパワメントと地域生活 重症心身障害児・者と「生命の尊厳」 当事者主体と自己決定 の尊重・意思決定支援	発達障害児と虐待の関係、人格形成への影響 高次脳機能障害の種類と特性、支援における課題 重症心身障害児・者の概念と支援の実態、「生命の尊厳」を考える 当事者主体の地域生活支援、自己決定の尊重と意思決定支援	石渡 和実
成績評価の方法 ・授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。 ・グループディスカッション(事例検討など)の参加状況を評価に加味する。 ・講義終了後のレポートを課し、授業ないレポート、グループ討議などの状況も考慮して総合的に評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
参考書 ・随時、授業中に紹介する。						
備考						

事前に資料の配付、e-learning システム上へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

担当教員(非常勤)

石渡和実 東洋英和女学院大学大学院

時間割番号	022258					
科目名	地域福祉Ⅱ					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1	
科目名:地域福祉Ⅱ 時間数:15時間 授業形態:講義						
主な講義場所 口腔保健学科 第2講義室						
授業の目的、概要等 <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の基本的考え方を踏まえ地域福祉の現状を理解する。 ・ネットワーキングをはじめとする地域福祉の推進方法と課題について理解する。 						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・対象者、地域によって異なる地域福祉の現状を理解し、課題について考察することができる。 ・地域福祉を推進していくために、必要な資源や対策を考察することができる。 ・地域福祉の推進方法(ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法、地域トータルケアシステムの構築方法、サービスの評価方法を含む)について具体的に説明できる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-8	7/21	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域福祉の推進法 地 域福祉の実際1	社会福祉法、コミュニティワーク技 法、ネットワーキング、社会資源 の活用・調整・開発 社会福祉施 設の地域拠点、福祉教育とボラン ティア活動	小嶋 珠実
9-15	7/28	09:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域福祉計画策定 地 域福祉の実際2	地域福祉計画策定の流れ、実践 「住民参加による福祉のまちづく り」 地域福祉計画における住民 主体形成、福祉サービスの評価方 法、第三者評価事業、福祉の情報 提供 と苦情解決システム	小嶋 珠実
成績評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。 ・試験を実施し、総合的に評価する。 						
準備学習などについての具体的な指示						
備考 事前に資料の配付、e-learning システム上へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。また、学習する内容について各自で参考文献を読み、理解を深めること。 担当教員(非常勤) 小嶋珠実 ルーテル学院大学						

時間割番号	022259																																
科目名	高齢者福祉Ⅱ																																
担当教員	遠藤 慶子																																
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1																												
科目名: 高齢者福祉 時間数: 30 時間 授業形態: 講義																																	
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室																																	
授業の目的、概要等 ・高齢者の生活実態や高齢者を取り巻く社会情勢から、高齢者福祉制度の変遷と今後のありかたについて理解する。 ・少子高齢化がもたらした新しい高齢者の生き方や活躍の場等を学ぶ。																																	
授業の到達目標 ・高齢者の人々の生活実態を理解する。 ・日本における少子高齢化について理解し、説明する。 ・日本における少子高齢化や家族類型および家族機能の変化について理解し、高齢者を取り巻く諸問題について考えることができる。 ・高齢者福祉制度および関連法規について理解し、説明する。 ・高齢者をとりまく問題を自ら発見し、解決するための方法を検討する。																																	
授業計画 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-5</td> <td>6/21</td> <td>11:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>高齢者支援関係法規 I</td> <td>保険者、被保険者、財源等、要介護認定、居宅介護支援等 介護保険法の改正</td> <td>遠藤 慶子</td> </tr> <tr> <td>6-10</td> <td>6/28</td> <td>11:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>高齢者支援関係法規 II 認知症についての法規</td> <td>その他の高齢者支援関連法規 認知症関連法規</td> <td>遠藤 慶子</td> </tr> <tr> <td>11-15</td> <td>7/5</td> <td>11:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>高齢者福祉の実際 2 高齢者福祉の課題 まとめ</td> <td>老人福祉法と高齢者虐待対応の 実際について 日本の超高齢化 社会を振り返る</td> <td>遠藤 慶子, 小宮山 恵美</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-5	6/21	11:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者支援関係法規 I	保険者、被保険者、財源等、要介護認定、居宅介護支援等 介護保険法の改正	遠藤 慶子	6-10	6/28	11:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者支援関係法規 II 認知症についての法規	その他の高齢者支援関連法規 認知症関連法規	遠藤 慶子	11-15	7/5	11:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者福祉の実際 2 高齢者福祉の課題 まとめ	老人福祉法と高齢者虐待対応の 実際について 日本の超高齢化 社会を振り返る	遠藤 慶子, 小宮山 恵美
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																											
1-5	6/21	11:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者支援関係法規 I	保険者、被保険者、財源等、要介護認定、居宅介護支援等 介護保険法の改正	遠藤 慶子																											
6-10	6/28	11:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者支援関係法規 II 認知症についての法規	その他の高齢者支援関連法規 認知症関連法規	遠藤 慶子																											
11-15	7/5	11:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者福祉の実際 2 高齢者福祉の課題 まとめ	老人福祉法と高齢者虐待対応の 実際について 日本の超高齢化 社会を振り返る	遠藤 慶子, 小宮山 恵美																											
成績評価の方法 ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総合的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。																																	
準備学習などについての具体的な指示																																	
教科書 新・社会福祉士養成講座／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版、2015																																	
参考書 公衆衛生がみえる／医療情報科学研究所 編集：メディックメディア、2014																																	
備考 ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 担当教員 小宮山恵美 北区健康福祉部																																	

時間割番号	022260					
科目名	現代社会と福祉 I					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2	
科目名:現代社会と福祉 I 時間数:30 時間 授業形態:講義						
主な講義場所 口腔保健学科 第4 講義室						
授業の目的、概要等 <ul style="list-style-type: none"> 保健・医療・福祉の専門職に共通する人権擁護や社会正義などの価値・倫理を理解する。 現代社会における社会福祉の意義や理念、福祉政策との関係について理解する。 						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> 保健・医療・福祉の専門職に共通する人権擁護や社会正義などの価値・倫理を具体的に説明できる。 現代社会における社会福祉の意義を保健・医療・福祉専門職の価値・倫理と関連づけながら具体的に説明できる。 現代社会における福祉政策の構成要素や社会資源、関連政策などの概要を説明することができる。 人々の生活と健康に関連する社会福祉の課題について、自らの意見を具体的に述べる事ができる。 社会福祉と口腔保健の関連性に興味関心をもち、自ら調べ、考える態度をもつ。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/4	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	オリエンテーション	社会福祉入門	遠藤 慶子
2	4/6	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	生活を創る	遠藤 慶子
3	4/10	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	人生を計画する	遠藤 慶子
4	4/11	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	生活課題を考える	遠藤 慶子
5	4/17	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	人生課題を考える	遠藤 慶子
6	4/18	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	グループワーク	遠藤 慶子
7	4/24	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	何故貧困になるのか	遠藤 慶子
8	4/25	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	グループワーク	遠藤 慶子
9	5/1	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	何故貧困に陥るのか	遠藤 慶子
10	5/2	17:00-17:50	口腔保健 学科第4	放送大学	グループワーク	遠藤 慶子

			講義室			
11	5/9	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	私の生活に起きた「もしも・・・」	遠藤 慶子
12	5/11	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	グループワーク	遠藤 慶子
13	5/15	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	生活課題 ①	遠藤 慶子
14	5/16	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	グループワーク	遠藤 慶子
15	5/18	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	生活課題 ②	遠藤 慶子
16	5/22	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	グループワーク	遠藤 慶子
17	5/23	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	生活課題 ③	遠藤 慶子
18	5/30	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	グループワーク	遠藤 慶子
19	6/6	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	生活課題 ④	遠藤 慶子
20	6/8	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	グループワーク	遠藤 慶子
21	6/13	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	生活課題 ⑥	遠藤 慶子
22	6/15	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	グループワーク	遠藤 慶子
23	6/20	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	生活課題 ⑦	遠藤 慶子
24	6/22	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	グループワーク	遠藤 慶子
25	6/27	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	生活課題 ⑧	遠藤 慶子
26	6/29	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	グループワーク	遠藤 慶子

27	7/6	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	生活課題 ⑨	遠藤 慶子
28	7/13	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	グループワーク	遠藤 慶子
29	7/20	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	振り返り	グループワーク討議 ①	遠藤 慶子
30	7/27	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	振り返り	グループワーク討議 ②	遠藤 慶子

成績評価の方法

- ・授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。
- ・グループディスカッション(事例検討など)の参加状況を評価に加味する。
- ・放送大学での試験を実施し、総合的に評価する。

準備学習などについての具体的な指示

教科書

放送大学テキスト使用

参考書

新・社会福祉士養成講座／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版，2014

時間割番号	022261																																																																				
科目名	現代社会と福祉Ⅱ																																																																				
担当教員	遠藤 慶子																																																																				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	2																																																																
科目名:現代社会と福祉Ⅱ 時間数:30 時間 授業形態:講義																																																																					
主な講義場所 口腔保健学科 第4 講義室																																																																					
授業の目的、概要等 <ul style="list-style-type: none"> 保健・医療・福祉の専門職に共通する人権擁護や社会正義などの価値・倫理を理解する。 現代社会における社会福祉の意義や理念について子どもの問題に焦点を当てて理解する。 																																																																					
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> 保健・医療・福祉の専門職に共通する人権擁護や社会正義などの価値・倫理を具体的に説明できる。 現代社会における社会福祉の意義を保健・医療・福祉専門職の価値・倫理と関連づけながら具体的に説明できる。 社会福祉と口腔保健の関連性に興味関心を持ち、自ら調べ、考える態度をもつ。 具体的には、子ども虐待、いじめ、臓器移植など、子どもをめぐる現代の課題について理解し、説明できる。 国際的な視点に立ち、貧困、不十分な医療、子どもの労働、戦争などから、子どもの人権について理解し、説明できる。 国連の子どもの権利条約について理解し、自らの専門性を踏まえて、子どもの人権擁護について考える態度をもつ。 																																																																					
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>8/29</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>現代社会と福祉</td> <td>現代社会と福祉(特徴と概要)</td> <td>石渡 和実 遠藤 慶子</td> </tr> <tr> <td>4-8</td> <td>8/29</td> <td>13:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>福祉課題Ⅰ ①</td> <td>子供の虐待の現状と課題</td> <td>石渡 和実</td> </tr> <tr> <td>9-11</td> <td>8/30</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>福祉課題Ⅰ ②</td> <td>こどもの虐待への対応、グループ 演習①</td> <td>石渡 和実</td> </tr> <tr> <td>12-16</td> <td>8/30</td> <td>13:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>福祉課題Ⅱ ①</td> <td>いじめの問題の変遷と現状</td> <td>石渡 和実</td> </tr> <tr> <td>17-19</td> <td>8/31</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>福祉課題Ⅱ ②</td> <td>いじめの問題への対応、グループ 討議②</td> <td>石渡 和実</td> </tr> <tr> <td>20-24</td> <td>8/31</td> <td>13:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>福祉課題Ⅲ ①</td> <td>国際的視点から見た子どもの人 権:戦争、教育を中心に</td> <td>石渡 和実</td> </tr> <tr> <td>25-27</td> <td>9/1</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>福祉課題Ⅲ ②</td> <td>子どもの労働、臓器移植と子ども の人権、グループ討議③</td> <td>石渡 和実</td> </tr> <tr> <td>28-30</td> <td>9/1</td> <td>13:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科第4 講義室</td> <td>福祉政策と関連政策</td> <td>子どもの権利条約を考える、グル ープ討議④</td> <td>石渡 和実</td> </tr> </tbody> </table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-3	8/29	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	現代社会と福祉	現代社会と福祉(特徴と概要)	石渡 和実 遠藤 慶子	4-8	8/29	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	福祉課題Ⅰ ①	子供の虐待の現状と課題	石渡 和実	9-11	8/30	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	福祉課題Ⅰ ②	こどもの虐待への対応、グループ 演習①	石渡 和実	12-16	8/30	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	福祉課題Ⅱ ①	いじめの問題の変遷と現状	石渡 和実	17-19	8/31	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	福祉課題Ⅱ ②	いじめの問題への対応、グループ 討議②	石渡 和実	20-24	8/31	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	福祉課題Ⅲ ①	国際的視点から見た子どもの人 権:戦争、教育を中心に	石渡 和実	25-27	9/1	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	福祉課題Ⅲ ②	子どもの労働、臓器移植と子ども の人権、グループ討議③	石渡 和実	28-30	9/1	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	福祉政策と関連政策	子どもの権利条約を考える、グル ープ討議④	石渡 和実
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																															
1-3	8/29	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	現代社会と福祉	現代社会と福祉(特徴と概要)	石渡 和実 遠藤 慶子																																																															
4-8	8/29	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	福祉課題Ⅰ ①	子供の虐待の現状と課題	石渡 和実																																																															
9-11	8/30	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	福祉課題Ⅰ ②	こどもの虐待への対応、グループ 演習①	石渡 和実																																																															
12-16	8/30	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	福祉課題Ⅱ ①	いじめの問題の変遷と現状	石渡 和実																																																															
17-19	8/31	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	福祉課題Ⅱ ②	いじめの問題への対応、グループ 討議②	石渡 和実																																																															
20-24	8/31	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	福祉課題Ⅲ ①	国際的視点から見た子どもの人 権:戦争、教育を中心に	石渡 和実																																																															
25-27	9/1	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	福祉課題Ⅲ ②	子どもの労働、臓器移植と子ども の人権、グループ討議③	石渡 和実																																																															
28-30	9/1	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	福祉政策と関連政策	子どもの権利条約を考える、グル ープ討議④	石渡 和実																																																															
成績評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> 授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。 																																																																					

- ・グループディスカッション(事例検討など)の参加状況を評価に加味する。
- ・講義終了後のレポートを課し、授業内レポート、グループ討議などの状況も考慮して総合的に評価する。

準備学習などについての具体的な指示

備考

事前に資料の配付、e-learning システム上へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

担当教員(非常勤)

石渡和実 東洋英和女学院大学大学院

時間割番号	022262					
科目名	ソーシャルワーク I					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	4	
科目名:ソーシャルワーク I 時間数:60 時間 授業形態:講義						
主な講義場所 口腔保健学科 第4 講義室						
授業の目的、概要等 ・相談援助の実際および相談援助の事例を教材とした実践的な講義を行う。 ・本講義での事例は実践例の提示から相談援助の視点を学ぶことを目的に使用する。						
授業の到達目標 ・相談援助の対象者が置かれている社会的背景を理解する。 ・相談援助の知識・技術を具体的な事例の提示を通して理解する。 ・相談援助に対する考え方(人権尊重・権利擁護・自立支援等)を理解し、総合的かつ包括的な援助のあり方を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-5	4/28	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	ソーシャルワークとは (社会福祉支援)	ソーシャルワークにおけるミクロ 実践からマクロ実践へのひろがり	大輪 典子, 遠藤 慶子
6-10	5/12	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の実際 I - 1 相談援助の実際 I - 2	高齢者(虚弱)について 高齢者 (要介護者)について	大輪 典子
11-12	7/7	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の実際 II - 1 相談援助の実際 II - 2	障害者 I (身体)について 障害 者 II (知的)について	大輪 典子
13-14	7/14	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の実際 II - 3 相談援助の実際 II - 4	障害者 III (精神)について 障害 者 IV (高次脳機能障害)について	大輪 典子
15-17	7/21	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の実際 III	子どもについて	大輪 典子
18-22	7/21	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の実際 IV	DV について	大輪 典子
23-25	7/28	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の実際 V	低所得者について	大輪 典子
26-30	7/28	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の実際 VI	就労支援について	大輪 典子
31-33	7/31	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	ソーシャルワークの機 能 I	ソーシャルワーク専門職の機能、 調整的機能、開発的機能	大輪 典子
34-37	7/31	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	ソーシャルワークの機 能 II	代替的機能、教育的機能、ソーシ ヤルワーク機能の発見	大輪 典子
38-42	9/29	13:00-17:50	口腔保健	ソーシャルワークと援助	ソーシャルワークにおける援助関	大輪 典子

			学科第4 講義室	関係	係、援助関係の形成と活用		
43-47	10/6	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の実践の場Ⅰ	在宅と施設(高齢者)について	大輪 典子	
48-49	10/20	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の実践の場Ⅱ	在宅と施設(障害者)について	大輪 典子	
50-51	10/27	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の実践の場Ⅲ	低所得者と福祉事務所について	大輪 典子	
52-53	11/10	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の実践の場 Ⅳ 相談援助の実践 の場 Ⅴ	児童と児童相談所について 病 院について	大輪 典子	
54-55	11/17	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の実践の場 Ⅵ	地域包括支援センターについて	大輪 典子	
56	11/24	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	まとめ Ⅰ	グループディスカッション	遠藤 慶子	
57	12/1	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	まとめ Ⅱ	グループディスカッション	遠藤 慶子	
58-60	2/9	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	まとめ Ⅲ	発表 授業の振り返りと学習効果 の確認	遠藤 慶子	

成績評価の方法

- ・授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。
- ・実習態度、グループディスカッションの参加状況を評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

教科書

MINERVA 社会福祉士養成テキストブック「ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ」:ミネルヴァ書房

MINERVA 社会福祉士養成テキストブック「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」/岩田正美, 大橋謙策, 白澤政和 監修:ミネルヴァ書房

備考

(非常勤)

大輪典子 公益社団法人 東京都社会福祉士会

第 3 学年
履修科目・ユニット

時間割番号	022033					
科目名	小児歯科学					
担当教員	近藤 圭子					
開講時期	1.5 通年(秋)	対象年次	2～3	単位数	1	
科目名:臨床歯科医学 時間数:2 学年 15 時間、3 学年 15 時間 授業形態:演習・講義						
主な講義場所						
2 年 口腔保健学科第 4 講義室、修士課程講義室						
3 年 口腔保健学科第 3 講義室						
授業の目的、概要等						
2 年:小児の心身の成長・発達をふまえ、発達期口腔保健の意義および発達期口腔疾患の特徴、予防・治療法を理解する。						
3 年:障害児・者に対して、口腔保健の立場から支援する際に必要な知識、技術を習得する。						
授業の到達目標						
2 年						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 出生から青少年期までの心身の成長・発達を理解する。 ・ 小児の情緒と社会性の発達を理解する。 ・ 小児の健康を育む食生活と支援の重要性を理解する。 ・ 歯の萌出と乳歯・幼若永久歯の特徴を理解する。 ・ 顎・顔面頭蓋の成長過程を理解する。 ・ 歯列咬合の発育過程を理解する。 ・ 小児期の口腔疾患とその治療法、チーム医療を理解する。 ・ 歯科治療時の小児の行動への対応法を理解する。 ・ 小児に特有な心身の問題とその解決策を概説できる。 						
3 年						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害とは何かを理解し、種々の障害の定義を説明できる。 ・ 障害児・者の口腔内の特徴と歯科疾患罹患状況を説明できる。 ・ 障害児・者の歯科治療時における行動への対応法を概説する。 ・ 障害児・者の歯科治療におけるチーム医療を概説する。 ・ 障害児・者の一次、二次、三次歯科医療体制を概説する。 ・ 障害児・者の口腔健康教育の実際を説明できる。 ・ 発音機能の発達とその異常を概説する。 ・ 構音障害の訓練法を概説する。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	11/6	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	障害と歯科医療1	障害の分類およびその特徴、口腔 内所見、歯科疾患罹患状況	楠本 康香
3-4	11/13	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	障害と歯科医療2	行動調整法の種類とその概要	楠本 康香
5-6	11/27	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	障害と歯科医療3	診療計画立案、予後管理、障害 児・者の 一次・二次・三次歯科医 療体制	楠本 康香
7-8	12/4	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	言語聴覚療法1	正常な構音発達、機能性構音障害	壬生 美智子
9-10	12/11	13:00-14:50	口腔保健	言語聴覚療法2	器質性構音障害(口蓋裂、舌小帯)	壬生 美智子

			学科第3 講義室		短縮症)		
11	12/18	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	2次医療機関における 障害児・者と歯科衛生士 の関わり1	障害者センター等の対応 障害 児・者と歯科衛生士の関わり	安田 昌代	
12-13	1/15	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯学部附属病院におけ る 障害児・者に対する 口腔健康教育の実際	ニーズ診断、障害に対応したセル フケア、ホームケア 口腔内の状 況、歯科予防処置の実際、患者 対応上の留意点		
14-15	1/22	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	2次医療機関における 障害児・者と歯科衛生士 の関わり2	事例紹介・まとめ	安田 昌代	
成績評価の方法							
出席状況、レポート・試験等により総括評価を行う。							
準備学習などについての具体的な指示							
試験の受験資格							
歯学部の規定の準ずる							
構成ユニット							
2 年次 小児歯科学							
3 年次 障害者歯科学							
教科書							
小児歯科学／高木裕三, 田村康夫, 井上美津子, 白川哲夫 編, 医歯薬出版, 2011							
参考書							
小児歯科／大嶋隆 ほか著, 医歯薬出版, 2009							
障害者歯科／向井美恵 ほか 著, 医歯薬出版, 2013							
・全国歯科衛生士教育協議会監修 最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」医歯薬出版							
・前田隆秀, 朝田芳信, 田中光郎他「小児の口腔科学」学建書院							
・「国民衛生の動向 2014・2015 年」厚生統計協会							
・「平成 26 年版 青少年白書」内閣府							
・「平成 26 年版 食育白書」内閣府							

時間割番号	022053																																																												
科目名	歯科薬理・薬剤学																																																												
担当教員	坂本 裕次郎, 青木 和広, 田村 幸彦																																																												
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1																																																								
科目名: 歯科薬理・薬剤学 ユニット番号: 3001 授業形態: 講義 時間数: 必修 1 単位・15 時間 科目責任者・ユニット責任者: 坂本 裕次郎・青木 和広																																																													
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室																																																													
授業の目的、概要等 医薬品の薬理作用を理解し、薬物を安全かつ効果的に利用するために必要な基本的知識を修得する。																																																													
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器系作用薬の種類と作用について概説できる。 ・消化器系作用薬の種類と作用について概説できる。 ・内分泌系薬物、ホルモン剤の種類と作用について概説できる。 ・悪性腫瘍治療薬の種類と作用について概説できる。 ・痛みと薬物について概説できる。 ・血液・造血系に作用する薬物について概説できる。 ・免疫系作用薬の種類と作用について概説できる。 ・歯科用医薬品の特徴および使用の留意点について概説できる。 ・歯内療法薬、歯周疾患治療薬の種類と作用について概説できる。 ・病原微生物作用薬(消毒薬・化学療法薬)の種類と作用について概説できる。 ・漢方薬物療法について概説できる。 ・医薬品の剤形、処方箋および保管方法について概説できる。 ・薬事関連法規について概説できる。 ・臨床試験と薬害について概説できる。 																																																													
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/4</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>呼吸器系作用薬</td> <td>鎮咳薬、去痰薬、気管支拡張薬、 喘息治療薬、呼吸促進薬</td> <td>田村 幸彦</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/11</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>消化器系作用薬</td> <td>食欲・消化作用薬、消化性潰瘍治 療薬、胃腸運動改善薬、腸疾患作 用薬</td> <td>田村 幸彦</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/18</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>内分泌系作用薬・代謝系 疾患治療</td> <td>糖尿病治療薬、ホルモン拮抗薬</td> <td>田村 幸彦</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/25</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>悪性腫瘍治療薬</td> <td>化学療法薬、口腔領域の悪性腫瘍 治療薬</td> <td>田村 幸彦</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/2</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>痛みと薬物</td> <td>麻薬性鎮痛薬、非麻薬性鎮痛薬、 解熱鎮痛薬</td> <td>青木 和広</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/9</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>血液と薬物</td> <td>貧血治療薬、局所性・全身性止血 薬、抗血栓療法薬、血液製剤</td> <td>田村 幸彦</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/16</td> <td>11:00-11:50</td> <td>口腔保健</td> <td>免疫調節薬・免疫療法薬</td> <td>免疫抑制薬、免疫増強薬、ワクチ</td> <td>江面 陽一</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/4	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	呼吸器系作用薬	鎮咳薬、去痰薬、気管支拡張薬、 喘息治療薬、呼吸促進薬	田村 幸彦	2	4/11	11:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	消化器系作用薬	食欲・消化作用薬、消化性潰瘍治 療薬、胃腸運動改善薬、腸疾患作 用薬	田村 幸彦	3	4/18	11:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	内分泌系作用薬・代謝系 疾患治療	糖尿病治療薬、ホルモン拮抗薬	田村 幸彦	4	4/25	11:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	悪性腫瘍治療薬	化学療法薬、口腔領域の悪性腫瘍 治療薬	田村 幸彦	5	5/2	11:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	痛みと薬物	麻薬性鎮痛薬、非麻薬性鎮痛薬、 解熱鎮痛薬	青木 和広	6	5/9	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	血液と薬物	貧血治療薬、局所性・全身性止血 薬、抗血栓療法薬、血液製剤	田村 幸彦	7	5/16	11:00-11:50	口腔保健	免疫調節薬・免疫療法薬	免疫抑制薬、免疫増強薬、ワクチ	江面 陽一
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																							
1	4/4	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	呼吸器系作用薬	鎮咳薬、去痰薬、気管支拡張薬、 喘息治療薬、呼吸促進薬	田村 幸彦																																																							
2	4/11	11:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	消化器系作用薬	食欲・消化作用薬、消化性潰瘍治 療薬、胃腸運動改善薬、腸疾患作 用薬	田村 幸彦																																																							
3	4/18	11:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	内分泌系作用薬・代謝系 疾患治療	糖尿病治療薬、ホルモン拮抗薬	田村 幸彦																																																							
4	4/25	11:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	悪性腫瘍治療薬	化学療法薬、口腔領域の悪性腫瘍 治療薬	田村 幸彦																																																							
5	5/2	11:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	痛みと薬物	麻薬性鎮痛薬、非麻薬性鎮痛薬、 解熱鎮痛薬	青木 和広																																																							
6	5/9	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	血液と薬物	貧血治療薬、局所性・全身性止血 薬、抗血栓療法薬、血液製剤	田村 幸彦																																																							
7	5/16	11:00-11:50	口腔保健	免疫調節薬・免疫療法薬	免疫抑制薬、免疫増強薬、ワクチ	江面 陽一																																																							

			学科第3 講義室		ン製剤、抗アレルギー薬、特異的 抗リウマチ薬、抗ヒスタミン薬		
8	5/23	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯内療法薬・歯周疾患治 療薬	う窩消毒剤および歯髄鎮静剤、覆 髄剤、裏層剤、歯髄失活剤、歯髄 乾死剤、根管拡大補助剤と根管清 掃剤、根管消毒剤、根管充填剤、 象牙質知覚過敏症治療薬、歯周疾 患の分類、歯周炎の発症、ブラー クコントロールに用いる薬剤、歯 周治療の処置に用いる薬剤	長谷川 望	
9	5/30	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	感染と薬物1	消毒薬、抗菌薬(抗生物質、抗真 菌薬、抗結核薬、抗ウィルス薬)	高橋 悦子	
10	6/6	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	感染と薬物2	消毒薬、抗菌薬(抗生物質、抗真 菌薬、抗結核薬、抗ウィルス薬)	高橋 悦子	
11	6/13	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	漢方薬物療法	漢方薬	高橋 悦子	
12	6/20	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	医薬品の分類・薬事関 連法規	薬機法、日本薬局方及び局方薬、 毒薬劇薬、麻薬、向精神薬、覚せ い剤、医薬部外品、化粧品	原澤 秀樹	
13	6/27	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	薬物の取り扱い・服薬指 導	処方箋、調剤と製剤、配合変化、 保存方法、剤形	原澤 秀樹	
14	7/4	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科用医薬品の特徴と 使用	歯科用医薬品の特徴と剤形、歯科 用医薬品の使用方法と留意点	原澤 秀樹	
15	7/11	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床試験と薬害	臨床試験に関わる倫理規定、臨床 試験のあり方・方法、臨床試験の 課題、薬害	原澤 秀樹	
成績評価の方法							
<ul style="list-style-type: none"> ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総合的評価を行う。 ・出席状況および授業態度を総合的評価に加味する。 							
準備学習などについての具体的な指示							
<ul style="list-style-type: none"> ・事前に資料配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、必ず目を通してから講義に臨むこと。 ・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。 							
参考書							
<p>薬理学／全国歯科衛生士教育協議会 編川口充, 大浦清, 大谷啓一, 戸苅彰史, 加藤有三, 篠原光子 著.: 医歯薬出版, 2011</p> <p>シンプル薬理学／野村隆英, 石川直久 編集.: 南江堂, 2014</p> <p>現代歯科薬理学／大谷啓一, 鈴木邦明, 戸苅彰史 編加藤有三, 篠田壽 監修.: 医歯薬出版, 2012</p> <p>コメディカルのための薬理学／渡邊泰秀, 樋口マキエ 編集.: 朝倉書店, 2012</p> <p>絵でみる和漢診療学／寺沢捷年 著.: 医学書院, 1996</p>							
連絡先							
<p>坂本 裕次郎 y.sakamoto.bs@tmd.ac.jp</p> <p>青木 和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp</p> <p>田村 幸彦 tamu.hpha@tmd.ac.jp</p>							
オフィスアワー							
坂本 裕次郎 随時 1号館西8階							

青木 和広: 随時 2号館2階 217号室(口腔基礎工学分野)

田村 幸彦: 毎週金曜日 16:00-19:00 MDタワー7階南 研究室1(S760)

時間割番号	022054					
科目名	矯正歯科学					
担当教員	大塚 紘未 辻 美千子					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
科目名:臨床歯科医学 時間数:30 時間 授業形態:実習・講義						
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室						
授業の目的、概要等 ・顎口腔機能の発達過程および不正咬合との関連を理解し、顎口腔機能の育成および個性正常咬合獲得を、口腔保健の立場から支援するための知識を修得する。						
授業の到達目標 ・正常な歯列咬合の状態を理解する。 ・不正咬合の種類とその影響を理解する。 ・不正咬合の診断に必要な資料・情報を理解する。 ・不正咬合の診断・治療法を概説できる。 ・歯科矯正器材と装置の種類・取り扱い方を概説できる。 ・歯科矯正治療におけるチーム医療を理解する。 ・歯科矯正治療中の患者の口腔保健指導を理解する。 ・歯科矯正治療中の患者の口腔ケアと心理的支援を理解する。 ・顎口腔機能の育成を概説できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/11	13:00-14:50	口腔保健 学科第2 講義室	歯科矯正学概論/成長・ 発育	不正咬合の生理的・心理的障害、 矯正治療の目的とその必要性、矯 正歯科治療の歴史、矯正歯科臨床 における歯科衛生士の役割、成長 発育曲線、顎・顔面・頭蓋の成長発 育	辻 美千子
3-4	4/18	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	成長・発育/咬合	歯列の成長発育(乳歯列、混合歯 列、永久歯列、歯年齢)、正常咬合 の定義、不正咬合の種類(歯の異 常、歯列弓形態の異常、上下顎間 関係の異常)と分類	辻 美千子
5-6	4/25	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	咬合/口腔習癖	不正咬合の原因(遺伝的・環境的、 先天的・後天的)、不正咬合の予 防、口腔習癖の種類と頻度、咬合・ 咀嚼・発音・嚥下への影響、口腔 筋機能療法	辻 美千子
7-8	5/2	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	矯正治療における生体 反応と生体力学/矯正診 断	矯正力、歯の移動・組織反応、歯 の移動様式、診査と情報の収集 (相談・問診・写真・口腔模型・パノ ラマエックス線写真・頭部エクス 線規格写真、口腔機能検査等)	辻 美千子
9-10	5/9	13:00-14:50	口腔保健 学科第2 講義室	矯正診断/矯正器具	症例分析法、治療方針の立て方、 固定、矯正用器具の種類とその取 扱い、矯正材料の種類と取扱い	辻 美千子
11-12	5/16	13:00-14:50	口腔保健	矯正材料/矯正装置	舌側弧線装置、マルチブラケット	辻 美千子

			学科第3 講義室		装置、床矯正装置、機能的顎矯正装置、側方拡大装置、顎外固定装置、保定装置など、各装置の説明と注意事項	
13-14	5/23	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	不正咬合の治療法と保定/チーム医療	前後的関係・垂直的關係の不調和に対する治療、歯の埋伏と歯数の異常に対する治療、混合歯列期、永久歯列期、成人の矯正歯科治療（外科矯正、補綴前準備、歯周疾患患者、MTM）、トラブルへの対応、先天異常疾患・顎変形症に対するチーム医療	辻 美千子
15-16	5/30	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科衛生士の役割/矯正歯科関連実習説明/国試対策	矯正歯科外来における歯科衛生士の役割(患者指導、MFT、チーム医療等)、矯正歯科関連実習説明、国試対策	辻 美千子
17-18	6/6	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科矯正治療における歯科衛生士の役割1	矯正歯科外来における歯科衛生士の役割(患者指導、MFT、チーム医療等)	大塚 紘未
19-22	6/13	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	矯正歯科関連実習 1	矯正歯科における診査、検査、分析 矯正歯科における器材の取扱い(結紮ほか)	辻 美千子
23-24	6/14	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科矯正治療における歯科衛生士の役割2	診査の補助、歯科矯正治療の補助、各種装置の取扱い、矯正治療中の口腔保健管理、心理的支援等	大塚 紘未
25-28	6/20	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	矯正歯科関連実習 2	症例分析、診断、治療方針立案	辻 美千子
29-30	7/11	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科矯正治療における歯科衛生士の役割 3	診査の補助、歯科矯正治療の補助、各種装置の取扱い、矯正治療中の口腔保健管理、心理的支援等	大塚 紘未

成績評価の方法

随時の小テスト・レポートで形成的評価、期末の客観試験、記述試験で総合的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

・事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

・3分の2以上の出席

参考書

- ・最新歯科衛生士教本「歯科矯正学」 全国歯科衛生士教育協議会編 医歯薬出版
- ・矯正歯科治療とオーラルハイジーンコントロール 高田健治監修 クインテッセンス出版
- ・歯科矯正学と診療補助 東理十三雄監修 遠藤敏哉著 クインテッセンス出版
- ・歯科矯正学 第5版 葛西一貴他編 医歯薬出版

履修上の注意事項

事前に資料の配布、e-learning 上へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

時間割番号	022055																																																																				
科目名	歯科放射線学																																																																				
担当教員	近藤 圭子																																																																				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1																																																																
科目名:臨床歯科医学 時間数:15時間 授業形態:講義																																																																					
主な講義場所 口腔保健学科 第3講義室																																																																					
授業の目的、概要等 歯科診療の診断に必要な放射線に関して、チーム医療に必要な知識、基本的手技を習得する。																																																																					
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> 放射線物理の基本的な内容を説明できる。 歯科放射線の撮影方法について説明できる。 放射線撮影にあたり、撮影の意味とその被曝の程度や適切な防護について説明できる。 放射線治療の概要について説明できる。 CT や MRI などの画像診断法について概説できる。 																																																																					
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>4/4</td> <td>15:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>放射線物理</td> <td>放射線と放射能って何? X線の性質、X線の発生、物質との相互作用</td> <td>大林 尚人</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>4/11</td> <td>15:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>X線撮影法と画像形成</td> <td>X線撮影装置の基本構造、フィルムの現像と管理</td> <td>大林 尚人</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>4/18</td> <td>15:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>X線撮影の補助1</td> <td>パノラマX線装置と撮影用機材、口内法撮影(二等分法、平行法、咬合法)</td> <td>大林 尚人</td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>4/25</td> <td>15:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>X線撮影の補助2</td> <td>パノラマX線写真の撮影と読影、デジタルX線撮影法の仕組み</td> <td>大林 尚人</td> </tr> <tr> <td>9-10</td> <td>5/2</td> <td>15:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>放射線治療-腫瘍学と生物学</td> <td>放射線の生物学的影響とその防護</td> <td>大林 尚人</td> </tr> <tr> <td>11-12</td> <td>5/9</td> <td>15:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第2 講義室</td> <td>放射線の管理と防護</td> <td>放射線被曝、被曝線量の測定、放射線防護学</td> <td>大林 尚人</td> </tr> <tr> <td>13-14</td> <td>5/16</td> <td>15:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>顎口腔領域の放射線診断</td> <td>画像診断</td> <td>大林 尚人</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>5/23</td> <td>15:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>画像診断機器</td> <td>CT、MRI、PET/CT、RI検査、超音波画像</td> <td>大林 尚人</td> </tr> </tbody> </table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-2	4/4	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	放射線物理	放射線と放射能って何? X線の性質、X線の発生、物質との相互作用	大林 尚人	3-4	4/11	15:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	X線撮影法と画像形成	X線撮影装置の基本構造、フィルムの現像と管理	大林 尚人	5-6	4/18	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	X線撮影の補助1	パノラマX線装置と撮影用機材、口内法撮影(二等分法、平行法、咬合法)	大林 尚人	7-8	4/25	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	X線撮影の補助2	パノラマX線写真の撮影と読影、デジタルX線撮影法の仕組み	大林 尚人	9-10	5/2	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	放射線治療-腫瘍学と生物学	放射線の生物学的影響とその防護	大林 尚人	11-12	5/9	15:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	放射線の管理と防護	放射線被曝、被曝線量の測定、放射線防護学	大林 尚人	13-14	5/16	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	顎口腔領域の放射線診断	画像診断	大林 尚人	15	5/23	15:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	画像診断機器	CT、MRI、PET/CT、RI検査、超音波画像	大林 尚人
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																															
1-2	4/4	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	放射線物理	放射線と放射能って何? X線の性質、X線の発生、物質との相互作用	大林 尚人																																																															
3-4	4/11	15:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	X線撮影法と画像形成	X線撮影装置の基本構造、フィルムの現像と管理	大林 尚人																																																															
5-6	4/18	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	X線撮影の補助1	パノラマX線装置と撮影用機材、口内法撮影(二等分法、平行法、咬合法)	大林 尚人																																																															
7-8	4/25	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	X線撮影の補助2	パノラマX線写真の撮影と読影、デジタルX線撮影法の仕組み	大林 尚人																																																															
9-10	5/2	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	放射線治療-腫瘍学と生物学	放射線の生物学的影響とその防護	大林 尚人																																																															
11-12	5/9	15:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	放射線の管理と防護	放射線被曝、被曝線量の測定、放射線防護学	大林 尚人																																																															
13-14	5/16	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	顎口腔領域の放射線診断	画像診断	大林 尚人																																																															
15	5/23	15:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	画像診断機器	CT、MRI、PET/CT、RI検査、超音波画像	大林 尚人																																																															
成績評価の方法 必要に応じてレポートの提出を課すとともに、期末の客観試験、記述試験で総合的評価を行う。出席状況、授業態度を総括評価に加味する。																																																																					
準備学習などについての具体的な指示																																																																					
試験の受験資格																																																																					

全履修時間の3分の2以上出席する。

課題レポートをすべて提出する。

参考書

歯科放射線／全国歯科衛生士教育協議会 監修,岡野友宏 ほか著,：医歯薬出版, 2009

時間割番号	022056					
科目名	包括的歯科医療の実際					
担当教員	小原 由紀					
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	2	
主な講義場所						
口腔保健学科 第3 講義室・臨床基礎実習室・相互実習室 歯学部附属病院内、学外施設他						
授業の目的、概要等						
加齢や障害に伴う身体・精神諸機能の変化や、高齢者・障害者の疾病の特徴を理解し、高齢者・障害者の医療・歯科医療に関する知識や技能の基礎を習得する。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 加齢や障害に伴う身体的・精神的・社会的変化を理解する ・ 高齢者や障害者の疾病の特徴を理解する ・ 高齢者や障害者の医療・歯科医療の留意点を理解する ・ 高齢者や障害者の医療および福祉の社会的システムを理解する ・ 高齢者・障害者医療における倫理を理解する 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	2/2	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	要介護高齢者への口腔 ケアの実際	口腔ケア(相互実習)、 合同実習 の指導計画の見直し	安田 昌代、小原 由紀 中村 奈都美
4-6	2/5	09:00-11:50	第1 総合 診療室	口腔ケア実習指導	実習シミュレーションと計画の修 正	安田 昌代、小原 由紀 中村 奈都美
7-10	2/5	13:00-16:50	第1 総合 診療室 特別講堂	医歯融合の老年医学ブ ロック口腔ケア合同実習	医歯融合の老年医学ブロック口腔 ケア合同実習	近藤 圭子、安田 昌代 小原 由紀、中村 奈都美
11-13	2/6	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	口腔内吸引実習 食事 介助実習	吸引器を用いた口腔内吸引(相互 実習)、食事介助実習	古屋 純一、樺沢 勇司、 小原 由紀、安田 昌代 中村 奈都美
14-20	2/8	09:00-16:50	その他 (口腔保 健学科口 腔保健衛 生学専 攻)	高齢者施設見学	介護保険施設の見学実習	安田 昌代、小原 由紀
21-23	2/13	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科	口腔内吸引実習 食事 介助実習	吸引器を用いた口腔内吸引(相互 実習)、食事介助実習	古屋 純一、樺沢 勇司、 小原 由紀、安田 昌代 中村 奈都美

			相互実習室				
24-27	2/13	13:00-16:50	第1総合診療室 特別講堂	医歯融合の老年医学ブロック口腔ケア合同実習	医歯融合の老年医学ブロック口腔ケア合同実習	近藤 圭子, 安田 昌代, 小原 由紀, 中村 奈都美	
28-30	2/14	09:00-11:50	口腔保健学科第2講義室	施設見学発表会、まとめ	施設見学グループ発表、まとめ	安田 昌代, 小原 由紀	
成績評価の方法							
<ul style="list-style-type: none"> 提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。 出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 							
準備学習などについての具体的な指示							
<ul style="list-style-type: none"> 事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 高齢者の生理的特徴、口腔清掃用具の使用方法を復習しておくこと。 							
試験の受験資格							
3/4 以上出席のこと。							
参考書							
<ul style="list-style-type: none"> 老年医学テキスト(日本老年医学会編) 健康長寿診療ハンドブック(日本老年医学会編) 高齢者総合的機能評価ガイドライン(鳥羽研二) 認知症地域ケアガイドブック(認知症介護研究・研修東京センター監修) 日本老年歯科医学会監修 高齢者歯科診療ガイドブック(財団法人 口腔保健協会) 							
履修上の注意事項							
施設見学の実習に際しては、事前のオリエンテーションを受けなければ実習に出席することはできな。							
備考							
連絡先							
ohara.pvoh@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
随時							

時間割番号	022057					
科目名	口腔疾患予防学の実践と応用					
担当教員	小原 由紀 荒川 真一					
開講時期	通年	対象年次	3	単位数	3	
主な講義場所						
口腔保健学科 第3講義室・臨床基礎実習室・相互実習室						
授業の目的、概要等						
<ul style="list-style-type: none"> ・歯・口腔の健康状態を維持するための要因と、予防可能な口腔疾患の種類、その原因と予防法について理解する。 ・歯・口腔の状態把握および歯科予防処置の基本的知識と技術を修得する。 ・多職種連携の意義目的と、チーム医療の重要性を理解する。 ・より専門的な歯周病についての臨床知識を修得し、また歯科衛生士の実際の業務を学ぶ。 						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・う蝕予防と歯周病予防の基礎を理解する。 ・歯、口腔(歯、歯肉、歯の付着物・沈着物)状態を把握できる。 ・器具の消毒・滅菌、感染予防、手指の消毒法、偶発事故の予防など生体への配慮の基本を実践しながら、歯科予防処置に必要な知識と技術を修得する。 ・歯科予防処置のうち、歯石除去、歯面清掃、SRP、う蝕予防処置、フッ化物歯面塗布、フッ化物洗口を実施できる。 ・歯科衛生過程にそって、口腔ケアを実施できる。 ・集団を対象としたう蝕予防の処置を計画実践する。 ・多職種連携における歯科衛生士の役割を説明する。 ・有病者に対する口腔機能管理の重要性を説明する。 ・歯周病と全身疾患の関連を説明する。 ・歯周病発症の予防法を説明する。 ・歯周基本治療を説明する。 ・最新の歯周病検査・歯周治療を理解する。 ・歯周専門分野での歯科衛生士の役割を説明する。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/5	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	口腔疾患予防の実践の 概要	実習の進め方、試験ケースシミュ レーションの進め方	小原 由紀
3-4	4/12	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	う蝕予防論 1	英語教材を用いた演習	小原 由紀
5-9	4/13	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習(ケースシミュ レーション)1	アセスメント1(口腔内写真撮影 5 枚法および9枚法)	安田 昌代、小原 由紀 大塚 紘未
10-11	4/19	09:00-10:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン	ブローピング、スケーリング実習	小原 由紀
12-16	4/20	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔	相互実習(ケースシミュ レーション)2	アセスメント 2	小原 由紀、安田 昌代 大塚 紘未

			保健学科 相互実習 室			
17-21	4/27	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習(ケースシミュ レーション)3	アセスメント3	大塚 紘未 安田 昌代 小原 由紀
22-26	5/11	13:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科衛生計画立案	計画書の作成	小原 由紀
27-31	5/18	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室 第1 総合診療 室	相互実習(ケースシミュ レーション)4 臨床体験 実習	歯科衛生ケア介入1 歯学部附属 病院外来見学1	小原 由紀 近藤 圭子 大塚 紘未 田澤 千鶴
32-36	6/5	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習(ケースシミュ レーション)5	歯科衛生ケア介入2	近藤 圭子 小原 由紀 安田 昌代
37-41	6/8	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室 第1 総合診療 室	相互実習(ケースシミュ レーション)6 臨床体験 実習	歯科衛生ケア介入3 歯学部附属 病院外来見学2	小原 由紀 近藤 圭子 大塚 紘未 田澤 千鶴
42-46	6/12	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習(ケースシミュ レーション)7 臨床体験 実習	歯科衛生ケア介入4	近藤 圭子 小原 由紀 田澤 千鶴 安田 昌代
47-51	6/19	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科	集団に対する口腔疾患 予防の実践1	小児に対するフッ化物応用(相互 実習)	近藤 圭子 小原 由紀 大塚 紘未

			相互実習室			
52-56	6/22	13:00-17:50	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室 第1 総合診療室	相互実習(ケースシミュレーション)8 臨床体験実習	歯科衛生ケア介入5 歯学部附属病院外来見学3	小原 由紀 安田 昌代 田澤 千鶴 近藤 圭子
57-61	6/26	09:00-14:50	その他(口腔保健学科口腔保健衛生学専攻)	集団に対する口腔疾患予防の実践2	幼稚園児へのフッ化物塗布実習	小原 由紀 近藤 圭子 安田 昌代 大塚 紘未 品田 佳世子
62-66	6/29	13:00-17:50	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室 第1 総合診療室	相互実習(ケースシミュレーション)9 臨床体験実習	評価1 歯学部附属病院外来見学4	小原 由紀 安田 昌代 田澤 千鶴 近藤 圭子
67-71	7/4	13:00-17:50	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室	相互実習(ケースシミュレーション)10	評価2	小原 由紀 近藤 圭子 大塚 紘未
72-73	7/5	09:00-10:50	口腔保健学科第3講義室	記録の整理	ケースプレゼンテーションの準備	小原 由紀
74-78	7/6	13:00-17:50	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室	ケースプレゼンテーション1	ケースプレゼンテーション(グループ発表)	安田 昌代 小原 由紀
79-81	7/11	15:00-17:50	口腔保健学科第3講義室	ケースプレゼンテーション2	全体発表	安田 昌代 小原 由紀 近藤 圭子
82-86	7/13	13:00-17:50	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔	相互実習(PMTC)11	機械的歯面清掃	小原 由紀 近藤 圭子 安田 昌代

			保健学科 相互実習 室			
87	7/20	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	う蝕予防論2	英語教材を用いた演習	小原 由紀
88-91	7/20	14:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	インスツルメンテーシ ョン	手技の総合評価	小原 由紀、近藤 圭子
92	7/25	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室、 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	実技試験	OSCE	近藤 圭子、小原 由紀、 安田 昌代、田澤 千鶴、 岡田 昌子、大塚 絃未
93	7/25	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室、 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室、口腔 保健学科 第4講義 室	実技試験	OSCE	近藤 圭子、小原 由紀、 安田 昌代、田澤 千鶴、 岡田 昌子、大塚 絃未
94-95	7/25	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	実技試験	OSCE	小原 由紀
96-97	9/29	11:00-13:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	基本手技の確認1	SRP	小原 由紀
98-99	10/6	11:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	基本手技の確認2	根分岐部ブローピング	小原 由紀
100	10/20	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携の重要性1	チーム医療の推進	小原 由紀

101	10/20	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携の重要性 2	歯学部および医学部附属病院における歯科衛生士の活動	木村 文香
102-1 03	10/27	11:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携の重要性 3	急性期病院における歯科衛生士の役割	吉田 沙織 小原 由紀
104-1 05	11/10	11:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携の重要性 4	歯科診療所における周術期口腔機能管理の実際	河野 章江 小原 由紀
106-1 07	11/17	11:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携の重要性 5	病院歯科におけるチーム医療	大野 友久
108-1 09	11/24	11:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携の重要性 6	多職種連携における歯科衛生士の果たす役割	高柳 久与
110	12/1	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携の重要性 7	地域一体型 NST と食支援	柴崎 美紀
111	12/1	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携の重要性 8	有病者における口腔機能管理の重要性	西川 利恵
112-1 13	1/5	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	有病高齢者に対する口腔ケア 1	口腔保健専門職に求められる口腔ケアの基本技術	小原 由紀
114	1/12	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携の重要性 9	在宅療養における食支援の重要性 1	篠原 弓月
115	1/12	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携の重要性 8	在宅療養における食支援の重要性 2	安田 淑子
116-1 17	1/19	11:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	有病高齢者に対する口腔ケア 2	歯科衛生過程に基づくケア立案	小原 由紀 安田 昌代
118-1 20	1/22	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	有病高齢者に対する口腔ケア 3	専門的口腔ケア(相互実習)	小原 由紀 安田 昌代
121-1 22	1/22	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯周病と全身疾患	歯周病、特に歯周炎と全身疾患の関係について学ぶ	和泉 雄一
123-1 25	1/29	09:00-11:50	口腔保健 学科第3	有病高齢者に対する口腔ケア 4	ケア方法の選択(指導計画の立案)	小原 由紀 安田 昌代

			講義室			
126-1 27	1/29	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	Cell sheat とは	Cell sheat を用いた最新の歯周再生療法を紹介する	妻沼 有香
128	2/6	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	3-4 年次臨床実習における歯周基本治療の実際	臨床実習における歯周組織検査、口腔保健衛生指導、スケーリング、ルートプレーニング	塩山 秀裕
129	2/6	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	3-4 年次臨床実習における歯周基本治療の実際	臨床実習における歯周組織検査、口腔保健衛生指導、スケーリング、ルートプレーニング	塩山 秀裕
130	2/6	15:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	3-4 年次臨床実習における歯周基本治療の実際 歯周治療におけるレーザーの応用 企業内歯科診療所における歯科衛生士	臨床実習における歯周組織検査、口腔保健衛生指導、スケーリング、ルートプレーニング レーザーの基礎との歯周治療へ応用例	塩山 秀裕
131	2/6	16:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	企業内歯科診療所における歯科衛生士	企業内歯科診療所における歯科衛生士の役割を知る。	大西 英知
132	2/6	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	企業内歯科診療所における歯科衛生士	企業内歯科診療所における歯科衛生士の役割を知る。	大西 英知
133	2/7	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯周治療におけるレーザーの応用	エルビウムヤグレーザーなどの基礎との歯周治療へ応用例	青木 章
134	2/7	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	審美歯科、インプラント治療における歯科衛生士	審美歯科、インプラント治療において歯科衛生士がいかにかかわるかを学ぶ。	辻村 香恵
135	2/7	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯周治療における歯科衛生士の役割	歯周外科などの歯周治療における歯科衛生士のかかわりを学ぶ。	池田 実樹子
136-1 37	2/15	14:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	コミュニケーション	キー局現役アナウンサーから、コミュニケーションの極意を学ぶ。	荒川 真一
138	2/15	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	コミュニケーション	キー局現役アナウンサーから、コミュニケーションの極意を学ぶ。	荒川 真一

成績評価の方法

- ・随時の小テストで形成的評価を行う。
- ・出欠状況、実習態度などを総括的評価に加味する。
- ・前期末の筆記試験、実技試験及び提出レポート・課題により総括的評価する。

準備学習などについての具体的な指示

- ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
- ・歯科予防処置、歯科保健指導、口腔疾患予防等に関する復習しておくこと。

試験の受験資格

講義は 2/3 以上、実習は 3/4 以上出席のこと。

教科書

保健生態学／可児徳子, 松井恭平, 眞木吉信 編:医歯薬出版, 2007

歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修,高阪利美 ほか著.:医歯薬出版, 2011

参考書

口腔保健推進ハンドブック：地域を支えるオーラルヘルスプロモーション／深井稜博, 池主憲夫, 川口陽子, 米山武義 編:医歯薬出版, 2009

目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション／Jill S.Nield-Gehrig 著,吉田直美, 小森朋栄 監訳,堀江明子, 富田裕子 訳:医歯薬出版, 2009

目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション／Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳:医歯薬出版, 2010

目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション／Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳:医歯薬出版, 2009

・「歯科衛生士の臨床」ウイルキンス著 医歯薬出版

・最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」全国歯科衛生士教育協議会編 医歯薬出版

・目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅠ「ベーシック スキル」 医歯薬出版

・目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅡ「アセスメントとインスツルメンテーション」 医歯薬出版

・目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅢ「デブライドメント」 医歯薬出版

・目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅣ「アドバンス スキル」 医歯薬出版

・「歯科衛生ケアプロセス」下野正基監修 医歯薬出版

・ザ・ペリオドントロジー 和泉雄一、沼部幸博、山本松男、木下淳博 編 永末書店

・歯周病診断のストラテジー 吉江弘正、宮田 隆 編 医歯薬出版

・最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 2 微生物学 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版

・臨床歯周病学 吉江弘正、伊藤公一、村上伸也、申 基喆 編 医歯薬出版

・チームアプローチで成功させる実践的歯周治療 野口俊英、横田 誠 編 医学情報社

・最新歯科衛生士教本 歯周疾患 歯周治療 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版

・授業の際に印刷物を配付、または e-learning システム上にアップロードする。

連絡先

荒川 真一 s-arakawa.ito@tmd.ac.jp

小原 由紀 ohara.pvoh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

荒川 真一 随時

小原 由紀 随時

時間割番号	022058					
科目名	医学一般Ⅱ					
担当教員	品田 佳世子, 樺沢 勇司					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
科目名: 口腔疾患予防学 時間数: 45 時間 授業形態: 演習・講義						
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室						
授業の目的、概要等 ・基礎疾患をもつ患者に対して、適切な口保健活動を行うために必要な臨床医学の知識を習得するとともに、患者の QOL 向上に寄与する継続的な口腔ケアのための多職種連携および多職種協働を検討する。						
授業の到達目標 ・感染の成り立ちおよび感染対策について学び、有病者に対して感染対策に配慮した口腔ケアを検討できる。また、感染症患者および易感染患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。 ・小児科疾患について学び、小児患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。 ・遺伝性疾患、染色体異常および遺伝カウンセリングについて学び、それらの患者の心情に配慮して、適切な口腔ケアを検討できる。 ・皮膚科疾患について学び、皮膚科疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。 ・耳鼻咽喉科疾患について学び、耳鼻咽喉科疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。 ・眼科疾患について学び、眼科疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。 ・泌尿器科疾患について学び、泌尿器科疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。 ・リハビリテーション医学について学び、リハビリテーションが必要な患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。 ・スポーツ関連外傷・障害・疾患について学び、それらの患者に対して適切な口腔ケアを検討できる。 ・救急災害医学について学び、被災者に対する災害フェーズに適した口腔ケアを検討できる。 ・緩和医療・緩和ケア・心療医療について学び、患者の心身を支えつつ QOL を向上させるために、適切な口腔ケアを検討できる。 ・臨床医学を学び、基礎疾患をもつ患者に対して継続的な口腔ケアを提供するための多職種連携と協働を検討する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/6	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	小児科1	小児が罹患しやすい感染症および幼児期以降に見られる小児内科疾患の発症機序・症状・診断・治療	柳町 昌克
3-4	4/13	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	小児科 2	低出生体重児・先天性疾患など新生児期から乳児期に多くみられる疾患の発症機序・症状・診断・治療	滝 敦子
5-6	4/20	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	皮膚科疾患 1	皮膚科疾患の発症機序・症状・診断・治療	並木 剛
7-8	4/27	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	皮膚科疾患 2	加齢に伴う皮膚の変化と高齢者に多い皮膚科疾患	並木 剛
9-10	5/11	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	耳鼻咽喉科疾患	耳鼻科疾患の発症機序・症状・診断・治療	堤 剛
11-12	5/18	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	演習	演習	樺沢 勇司
13-14	5/25	10:00-11:50	口腔保健 学科第3	眼科疾患1	眼科疾患の発症機序・症状・診断・治療	篠原 宏成

			講義室			
15-16	5/31	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	演習	演習	樺沢 勇司
17-18	6/8	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	眼科疾患2	加齢に伴う視覚の変化と高齢者に多い眼科疾患	横井 多恵
19	6/15	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	腎泌尿器科疾患 1	腎泌尿器科疾患の発症機序・症状・診断・治療	井上 雅晴
20	6/15	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	腎泌尿器科疾患 2	加齢に伴う腎泌尿器系の変化と高齢者に多い腎泌尿器科疾患	井上 雅晴
21-22	6/22	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	演習	演習	樺沢 勇司
23	6/29	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	頭頸部外科学	頭頸部腫瘍の症状、診断、治療	朝蔭 孝宏
24-25	6/29	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科相互 実習室	リハビリテーション医学	リハビリテーションの意義とリハビリテーション医学	神野 哲也
26	7/6	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科相互 実習室	スポーツ歯学1	スポーツ歯学1	上野 俊明
27-28	7/6	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科相互 実習室	救急医療	災害時における救急医療	植木 穰
29	7/13	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	頭頸部外科学 2	頭頸部外科学 2	朝蔭 孝宏
30-31	7/13	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	演習	演習	樺沢 勇司
32	7/19	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	緩和医療・緩和ケア	緩和医療、緩和ケアの役割と早期診断時からの緩和医療・緩和ケア	三宅 智
33-34	7/19	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	心療・緩和医療	患者の心身を支える心療・緩和医療	宮島 美穂

35-36	7/19	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	遺伝性疾患、染色体異常、 遺伝カウンセリング	遺伝性疾患、染色体異常、 遺伝カウンセリング	吉田 雅幸, 江花 有亮
37	7/19	15:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科相互 実習室	スポーツ関連の外傷	スポーツ関連の外傷・障害・ 疾患の発症機序・症状・ 診断・治療とその予防	柳下 和慶
38	7/19	16:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	スポーツ歯学2	スポーツ歯学2	上野 俊明
39	7/19	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	緩和医療・緩和ケア2	緩和医療、緩和ケアの役割と 早期診断時からの緩和医療・ 緩和ケア2	三宅 智
40	7/20	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	感染性疾患	感染性疾患の発症機序・ 症状・診断・治療と感染 対策	貫井 陽子
41	7/20	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	感染性疾患	感染性疾患の発症機序・ 症状・診断・治療と感染 対策	貫井 陽子
42	7/20	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	演習	演習	樺沢 勇司
43	7/24	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	演習	演習	樺沢 勇司
44	7/24	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	演習	演習	樺沢 勇司

成績評価の方法

3 学年前期末に試験を行う。

出席状況、授業態度を総合的に評価に加味する。

受験資格は、東京医科歯科大学歯学部試験規則第 11 条に準ずる。

準備学習などについての具体的な指示

担当教員数も資料も多い講義なので、必ず復習して内容を確認すること。

試験の受験資格

試験の受験資格は、東京医科歯科大学歯学部試験規則第 11 条に準ずる。

連絡先

品田 佳世子:shinada.pvoh@tmd.ac.jp

樺沢 勇司:kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

品田 佳世子:随時

樺沢 勇司:随時 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。1 号館 8 階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022060					
科目名	健康教育の企画と実践 I					
担当教員	小原 由紀 近藤 圭子					
開講時期	通年	対象年次	3	単位数	2	
主な講義場所						
口腔保健学科第2講義室						
授業の目的、概要等						
地域歯科保健活動を展開するために必要なアセスメント、ニーズ診断、企画立案能力を高めるとともに、介入後の変化を評価する手法を培う。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期および学童期の健康課題を説明する。 ・幼児期および学童期の歯科衛生ニーズを把握する。 ・小学生および幼稚園児対象の健康教育を企画立案し、実践する。 ・健康教育実施後の健康行動の変容を評価する。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/3	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	健康教育の意義	ライフステージに応じた健康教育の意義	小原 由紀
2-3	4/4	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	学童期の歯科保健	学童期の生活習慣と歯科的問題	小原 由紀
4-5	4/5	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	学校歯科保健	学校保健と学校歯科保健	小原 由紀 白田 千代子 遠藤 圭子
6-7	4/14	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康 教育1	小学1・2年生への事前調査項目の検討	小原 由紀 遠藤 圭子
8-9	4/21	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康 教育2	グループディスカッション 歯科衛生業務記録の記載	小原 由紀
10-11	4/26	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	園児対象健康教育1	幼稚園歳児の健康課題	小原 由紀
12-13	4/28	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	園児対象健康教育2	幼稚園児への健康教育 指導案作成 歯科衛生業務記録の記載	小原 由紀
14-15	5/12	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康 教育3	健康教育の展開方法 目標設定、教育内容の検討、指導案作成	小原 由紀
16-17	5/17	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康 教育4	指導案に基づく教材の作成	小原 由紀
18-19	5/19	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康 教育5	指導案に基づく教材の作成 歯科衛生業務記録の記載	小原 由紀
20	5/23	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	園児対象健康教育3	指導案に基づく教材の作成	小原 由紀

21-22	5/24	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	園児対象健康教育 4	指導案に基づく教材の作成	小原 由紀
23-24	5/24	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康 教育 6	指導案に基づく教材の作成	小原 由紀
25	5/26	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	海外における歯科保健 活動 1	海外研修報告会	小原 由紀
26	5/26	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康 教育 6	リハーサル 2年生の合同授業	小原 由紀
27-28	5/26	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康 教育 7	教材の修正	小原 由紀
29-30	5/31	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康 教育 8	実習準備	小原 由紀
31-33	6/1	09:00-11:50	その他 (口腔保 健学科口 腔保健衛 生学専 攻)	小学1・2年生への健康 教育 9	T小学校での健康教育実習	小原 由紀
34-38	6/1	13:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	園児対象健康教育 5	指導案に基づく教材の作成	小原 由紀
39-42	6/2	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康 教育 10 園児対象健康 教育 5	実習記録の作成と振り返り 指導案に基 づく教材の作成	小原 由紀
43-46	6/9	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	園児対象健康教育 5 個別性を考慮した健康 教育 1	リハーサル 歯科衛生業務記録の整理 大学生の健康課題と健康教育	小原 由紀
47	6/23	16:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	園児対象健康教育 6	実習準備	小原 由紀
48-50	6/26	15:00-17:50	その他 (口腔保 健学科口 腔保健衛 生学専 攻)	園児対象健康教育 7	N幼稚園における健康教育実習	小原 由紀
51	6/30	16:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	個別性を考慮した健康 教育 2	大学生の健康課題 歯科衛生業務記録の 整理	小原 由紀
52	7/7	16:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	個別性を考慮した健康 教育 2	大学生の健康課題 歯科衛生業務記録の 整理	小原 由紀
53-54	7/12	10:00-11:50	口腔保健	個別性を考慮した健康	指導内容の検討	小原 由紀 安田

			学科第3 講義室	教育 3		昌代 近藤 圭子
55-59	7/12	13:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	個別性を考慮した健康 教育 4	大学生への健康教育	近藤 圭子, 安田 昌代, 小原 由紀 大木 明子
60	7/14	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学 1・2 年生への健康 教育 11	健康教育の振り返り 歯磨きカレンダーの 活用	小原 由紀
61-62	7/14	16:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	海外における歯科保健 活動 2	スウェーデンにおける歯科衛生士の活動	小原 由紀
63-67	7/18	11:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	個別性を考慮した健康 教育 5	実習報告書作成	小原 由紀
68-69	9/29	09:00-10:50	口腔保健 学科第2 講義室	個別指導教材の作成 1	歯科診療室における視覚媒体の活用	小原 由紀
70-72	11/27	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	個別指導教材の作成 2	歯科診療室における視覚媒体の作成	小原 由紀
73-78	1/5	11:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	要介護高齢者への口腔 ケア 1	口腔アセスメントと専門的口腔ケア	小原 由紀 安田 昌代
79	1/15	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	要介護高齢者への口腔 ケア 2	情報の整理とケアプランの作成	小原 由紀
80-81	1/26	11:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	要介護高齢者への口腔 ケア 3	歯科衛生士介入計画の立案	小原 由紀
82-83	2/2	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	看護概論	看護とは	小松 佳子
84-86	2/2	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	リフレクション 1	リフレクションとは何か?	小原 由紀
87-88	2/9	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	看護過程	看護過程の展開	鬼澤 かおる
89-91	2/9	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	リフレクション 2	リフレクションの実践	小原 由紀

成績評価の方法

- ・期末試験、レポートによる総括的評価
- ・出席状況、意欲・授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

- ・試験規則を確認すること。出席時間不足の場合は、受験することができない。

参考書

最新歯科衛生士教本 小児歯科／大嶋隆 ほか著、:医歯薬出版, 2009

最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修、高阪利美 ほか著、:医歯薬出版, 2011

プラークコントロールのためのホームケア指導 : 口腔リスクとライフステージに応じた最新処方／荒川浩久 監修、:クインテッセンス出版, 2000

口腔の成育をはかる／佐々木洋, 田中英一, 菅原準二 編著、:医歯薬出版, 2003

履修上の注意事項

・試験規則の条件を満たさない場合、単位を認めない。 ・実習への取り組みが不適切な場合、実習中止となることを認識する。

連絡先

小原 由紀:ohara.pvoh@tmd.ac.jp

近藤 圭子:solan.ltoh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

小原 由紀:随時

近藤 圭子:随時(メール等で連絡の上、約束してから来室してください)

時間割番号	022061					
科目名	臨床口腔保健衛生応用学Ⅱ					
担当教員	安田 昌代					
開講時期	通年	対象年次	3	単位数	2	
科目名:臨床口腔保健衛生応用学Ⅱ 時間数:90 時間 授業形態:実習・演習・講義						
主な講義場所 口腔保健学科第3講義室・臨床基礎実習室・相互実習室 歯学科補綴実習室						
授業の目的、概要等 <ul style="list-style-type: none"> ・歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱い・技術を理解し、歯科衛生士に必要な基本的な 技術を身につける。 ・口腔保健・歯科医療の変遷と現状、歯科医療従事者の種類と役割、歯科診療の概要を理解する。 						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 器材の種類・特性・用途を理解する。 ・ 診療に必要な器械・材料・薬品の適切な準備と取り扱いを行う。 ・ 器材の特性にあわせ、滅菌・消毒を行う。 ・ 器材の管理の方法を説明できる。 ・ 患者の誘導の方法・患者とのコミュニケーションの取り方を理解する。 ・ チーム医療に必要な技能を理解し実践する。 ・ 各科に必要な器材を選択し、診療の流れにそって説明できる。 ・ バイタルサイン(意識レベルを含む)を測定し、判断できる。 ・ 救急蘇生について説明し、ダミーを使用し体験する。 ・ 歯科患者の特徴、心理状態を理解し説明できる。 ・ ライフサイクルに合わせた、歯科衛生士の関わりを理解する。 ・ 歯科保健医療に関わる職種をあげ、それぞれの役割を説明できる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-4	4/3	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科診療の補助	歯科補綴 1.診療補助の概要 2.器材を扱う体験	安田 昌代
5-9	4/6	13:00-17:50	補綴実習 室	歯科補綴関連実習	暫間被覆冠の種類と作製の実際	三浦 宏之 進 千春
10-13	4/10	13:00-16:50	保存矯正 実習室	歯科保存処置関連実習	器材の取り扱いの実際 充填材	井上 剛
14-17	4/17	13:00-16:50	保存矯正 実習室	歯科保存処置関連実習	器材の取り扱いの実際 接着材	井上 剛
18	4/24	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	器材試験1	器材試験(保存修復・歯内療法・歯 周治療)	安田 昌代
19-21	4/24	14:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科保険について1	社会保障制度の体系と医療保険	安田 昌代
22-23	5/1	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	インプラントの基礎と臨床	インプラントの歴史、種類、手技、 管理について	黒田 真司
24-27	5/8	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科診療の補助	口腔外科 1.診療補助の概要 2.器材を扱う体験	安田 昌代
28-29	5/10	09:00-10:50	口腔保健	インプラントの臨床と製	インプラントの埋入法 インプラン	黒田 真司

			学科第3 講義室	作過程	トの補綴法	
30-33	5/15	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	外科手術における診療 補助	滅菌グローブ・ガウンの装着方法 滅菌器具の展開方法	小原 由紀 近藤 圭子 安田 昌代
34-35	5/17	09:00-10:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科保存処置関連実習	防湿法について ラバーダム防 湿法(基礎実習)	近藤 圭子 安田 昌代
36-39	5/22	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	歯科保存処置関連実習	防湿法の実際 ラバーダム防湿 法(相互実習)	海老原 新
40-43	5/25	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科材料の取り扱い	小児歯科 1.診療補助の概要 2.器材を扱う体験	近藤 圭子
44-47	5/29	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科保険について2	歯科治療と保険請求①	安田 昌代
48-49	6/7	09:00-10:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科材料の取り扱い	印象材の取り扱い	安田 昌代
50-53	6/15	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	歯科補綴関連実習	精密印象・石膏の取り扱い	近藤 圭子 安田 昌代 田澤 千鶴
54-55	6/21	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	器材試験 2	器材試験(口腔外科・歯科補綴・小 児歯科)	安田 昌代
56-59	6/27	13:00-16:50	口腔保健 学科相互 実習室	小児歯科関連の実習	小児における診療補助の実際 (相互実習)	橋本 吉明 近藤 圭子
60-61	6/28	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科保険について3	歯科治療と保険請求②	安田 昌代
62-65	7/3	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習	口腔外科・歯科麻酔関連 実習	浸潤麻酔・静脈確保の実際	安田 昌代

			室			
66-69	7/10	13:00-16:50	歯学部演習室 歯学部演習室 歯学部演習室 歯学部演習室	救急蘇生法の実習	救急蘇生の実際	安田 昌代
70-72	11/6	09:00-11:50	口腔保健学科第3講義室	高齢者歯科総論	老年歯科医学総論 高齢者の口腔機能管理	古屋 純一
73-75	11/13	09:00-11:50	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室	歯科診療補助の実際	歯科診療補助に必要なスキルの確認	安田 昌代 近藤 圭子
76-78	12/4	09:00-11:50	口腔保健学科第3講義室	摂食嚥下機能の評価	摂食嚥下のメカニズムと摂食嚥下障害	古屋 純一
79-81	12/11	09:00-11:50	口腔保健学科第3講義室 口腔保健学科相互実習室	高齢者歯科治療の実際	高齢者疑似体験実習	関田 俊明
82-83	1/12	11:00-13:50	口腔保健学科第3講義室	摂食嚥下リハビリテーション	摂食嚥下リハビリテーション①	古屋 純一
84-85	1/15	09:00-10:50	口腔保健学科第3講義室	摂食嚥下リハビリテーション	摂食嚥下リハビリテーション②	古屋 純一
86-87	1/19	09:00-10:50	口腔保健学科第3講義室	摂食嚥下リハビリテーション	摂食嚥下リハビリテーション③	古屋 純一
88-89	1/26	09:00-10:50	口腔保健学科第3講義室	顎顔面補綴学 顎顔面補綴治療の実際1	顎顔面補綴学が対応する症例・補綴症例	隅田 由香
90-91	1/29	13:00-14:50	口腔保健学科第3講義室	顎顔面補綴治療の実際2	顎顔面補綴治療の実際に求められる心理ケア 顎顔面補綴治療におけるチーム医療	隅田 由香
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・中間試験、前期末の筆記試験、実習評価及び後期末の筆記試験、提出レポート課題により 総括的評価する。 ・出席状況、意欲・授業態度を総括的評価に加味する。 						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
全講義の2/3以上出席すること。						

実習は3/4以上出席すること。

参考書

- ・最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版
- ・よくわかる口腔インプラント学 赤川安正、松浦正朗編 医歯薬出版
- ・声と言葉のしくみ 亀田和夫 口腔保健協会
- ・口唇裂口蓋裂の補綴治療 大山喬史編 医歯薬出版社
- ・顎顔面補綴の臨床 大山喬史・谷口 尚著 医学情報社
- ・言語聴覚士に必要な歯科の知識 谷口 尚・片倉伸郎・大野友久・墨田由香著 インテルナ出版

履修上の注意事項

2年次の臨床歯科医学(歯科保存学、歯科補綴学、口腔外科・歯科麻酔学、小児歯科学)の講義内容を復習して授業に臨むこと。

備考

- ・事前に資料の配布、e-learning システム上へのアップロードなどがあった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

担当教員

井上 剛	う蝕制御学分野	inoue.ope@tmd.ac.jp
海老原 新	歯髄生物学分野	a.ebihara.endo@tmd.ac.jp
三浦 宏之	摂食機能保存学分野	h.miura.fpro@tmd.ac.jp
馬場 有希子	麻酔・生体管理学分野	yukianph@tmd.ac.jp
黒田 真司	インプラント・口腔再生医学分野	skuroda.mfc@tmd.ac.jp
隅田 由香	顎顔面補綴学分野	yuka.mfp@tmd.ac.jp
古屋 純一	地域・福祉口腔機能管理学分野	furuya.ohcw@tmd.ac.jp
関田 俊明	高齢者歯科学分野	tsekita.ore@tmd.ac.jp

担当教員(非常勤)

田澤千鶴

時間割番号	022062					
科目名	歯科衛生過程専門演習					
担当教員	小原 由紀					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
主な講義場所						
口腔保健学科 第3講義室						
授業の目的、概要等						
人々の歯科衛生ニーズにあった支援を提供するために活用する問題解決思考ツールの歯科衛生過程の概念と展開の方法を理解し、必要な知識・技術を習得する。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・事例を通して、対象者の情報を分類・整理、統合する。 ・事例を通して、対象者の歯科衛生関連の問題を明確化し、優先順位をつける。 ・明確化した問題の関連因子を特定し、歯科衛生診断文を作成する。 ・歯科衛生計画を立案する(目標・歯科衛生介入・期待される結果)。 ・歯科衛生評価を説明する。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/5	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科衛生過程の とらえ 方	歯科衛生過程の概念 ミニテスト	小原 由紀
2-3	4/7	13:00-14:50	口腔保健 学科第2 講義室	歯科衛生過程の展開	ケースプレゼンテーション	小原 由紀
4-6	4/12	11:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科衛生業務記録 情 報収集	歯科衛生業務記録の意義 SOAP 形式による記載 医療面接の実際 傾聴	小原 由紀
7-9	4/19	11:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科衛生アセスメント— 情報の統合	医療面接 主観情報の整理 情報の分析、 歯科衛生診断文の記述	小原 由紀
10-12	4/26	11:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科衛生介入 歯科 衛生業務	目標設定と介入プランの立案 歯科衛生業務の役割と記載のルール	小原 由紀
13-15	5/10	11:00-14:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	口腔保健行動の自立	患者のニーズに即したセルフケア用品の選 択	小原 由紀
16-18	5/17	11:00-14:50	口腔保健 学科第2 講義室	行動変容理論 事例検 討 1-1	歯科衛生介入に必要な行動変容理論と実際 事例に基づく情報の整理	小原 由紀
19-21	5/24	11:00-14:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 第3講義 室	事例検討 1-2	歯科衛生診断 歯科衛生計画・立案	小原 由紀
22-24	5/31	11:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	事例検討 1-3 事例検 討 2-1	介入後の評価 事例に基づく情報の整理	小原 由紀

25-27	6/7	11:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	事例検討 2-2	歯科衛生診断 歯科衛生計画・立案 記録 の整理	小原 由紀
28-30	6/14	11:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科衛生介入と評価 ニーズに即したケアの 提案	記録の整理 電動歯ブラシ実習	安田 昌代
成績評価の方法						
課題レポート、期末試験で総合的評価を行う。 受講態度、出席状況等を総合的評価に加味する。						
準備学習などについての具体的な指示						
2年次に履修した歯科衛生過程基礎演習の内容に基づき演習を行う。2年次に使用した資料を確認しておくこと。 事前配布資料や e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。						
試験の受験資格						
2/3 以上の出席						
教科書						
最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修,高阪利美 ほか著, 医歯薬出版, 2011						
参考書						
よくわかる歯科衛生過程／全国歯科衛生士教育協議会 編, 医歯薬出版, 2015						
連絡先						
小原 由紀:ohara.pvoh@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
小原 由紀:随時						

時間割番号	022063				
科目名	歯科衛生臨床実習				
担当教員	近藤 圭子				
開講時期	1.5 通年(秋)	対象年次	3~4	単位数	13
主な講義場所 歯学部附属病院					
授業の目的、概要等 ・歯科診療施設において、チーム医療の一員として、対象者本位の歯科予防処置・歯科保健指導・歯科診療の補助を実践するために必要な態度・知識・技術を習得する。					
授業の到達目標 ・対象者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出・整理する。 ・対象者の不安・不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。 ・歯科ユニット各部の名称と機能を説明できる。 ・診療に必要な器材を説明する。 ・診療室への患者の誘導を適切にできる。 ・対象者に挨拶して自己紹介できる。 ・対象者との信頼関係を築くことができる。 ・個人的、社会的背景等が異なる対象者に、わけへだてなく対応できる。 ・対象者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 ・必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 ・説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。 ・対象者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。 ・医療事故や潜在的医療事故(ニアミス)に関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる。 ・インフォームドコンセントを行うことができる。 ・対象者に応じた歯科予防処置を実施する。 ・対象者に応じた歯科保健指導を実施する。 ・対象者に応じた歯科診療補助を実施する。					
授業内容 ●3年生 ・臨床実習ガイダンスおよび予備実習 ・臨床実習(本実習) -口腔ケア実習 むし歯外来実習 歯周病外来実習 口腔外科外来実習 義歯外来実習 小児歯科外来実習 歯科放射線外来実習 中央器材室実習 ●4年生 ・臨床実習ガイダンス ・臨床実習(本実習) -口腔ケア実習 歯周病外来実習 矯正歯科外来実習 歯科麻酔外来実習 小児歯科外来実習 顎義歯外来実習					

インプラント外来実習
スペシャルケア外来1(高齢者歯科)実習
スペシャルケア外来2(障害者歯科)実習
病棟実習
歯科アレルギー外来実習
歯科心身医療外来実習
顎関節治療部実習
スポーツ歯科外来実習
息さわやか外来実習
検査部実習
薬剤部実習

成績評価の方法

- ・実習記録・実習報告書、出席状況、臨床実習指導者評価等により総合的評価を行う。
- ・実習態度・取組み、提出物の提出状況を総合的評価に加味する。
- ・提出レポート、課題発表等で総合的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

実習の詳細は「臨床実習の手引き」に示す。
実習前の目標の設定、予習、実施後の報告書作成、復習を行うこと。

教科書

:医歯薬出版

参考書

歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修,高阪利美 ほか著, :医歯薬出版, 2011
歯科診療補助論／可児徳子, 合場千佳子, 高阪利美 編: 医歯薬出版, 2007
歯の硬組織・歯髄疾患-保存修復・歯内療法／千田彰, 中村洋 ほか著, :医歯薬出版, 2010
歯周疾患／申基哲, 松井恭平, 白鳥たかみ 編: 医歯薬出版, 2006
顎・口腔粘膜疾患口腔外科・歯科麻酔／全国歯科衛生士教育協議会 監修,山根源之 ほか著, :医歯薬出版, 2011
咀嚼障害・咬合異常／全国歯科衛生士教育協議会 監修,氷室利彦 ほか著, :医歯薬出版, 2011
歯科放射線／全国歯科衛生士教育協議会 監修,岡野友宏 ほか著, :医歯薬出版, 2009
小児歯科／大嶋隆 ほか著, :医歯薬出版, 2009
障害者歯科／向井美恵 ほか 著, :医歯薬出版, 2013
臨床検査／井上孝 ほか著, :医歯薬出版, 2012
ISBN978-4-263-42835-1 高齢者歯科

履修上の注意事項

附属病院等では服装、態度等に留意すること。不適切な場合は実習停止とする場合がある。

時間割番号	022064				
科目名	歯科衛生臨地実習				
担当教員	近藤 圭子				
開講時期	1.5 通年(秋)	対象年次	3~4	単位数	5
科目名: 歯科衛生臨地実習 時間数 3 学年 45 時間、4 学年 180 時間 授業形態: 実習					
主な講義場所					
口腔保健学科 第3 講義室、学外施設、病院 等					
授業の目的、概要等					
歯科衛生活動を展開するために必要な知識、技術、態度を習得して、実践力を養う。					
授業の到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・地域、病院、企業における歯科衛生活動を説明する。 ・対象のニーズ判断に基づいた介入計画を立案する。 ・介入後の変化を評価する。 					
授業内容					
高齢者施設実習 1: 高齢者施設の概要、現状の理解、実習の意義と留意点 高齢者施設実習 2: 利用者、スタッフとのコミュニケーションのとり方 高齢者施設実習 3: 口腔の評価、介入計画、実践 訪問診療実習 1: オリエンテーション、訪問資料の概要 訪問診療実習 2: 事前情報収集・整理、口腔ケア計画 訪問診療実習 3: 実践・評価 入院患者のケア 1: 医学部附属病院入院患者の口腔ケア 入院患者のケア 2: 看護師の仕事、患者との関わり、口腔ケアの実際 入院患者のケア 3: 実習報告書の作成、事後評価					
成績評価の方法					
授業への取り組み、出席状況、報告書、期末試験を基に総合的評価を行う。					
準備学習などについての具体的な指示					
参考書					
臨地実習 handbook / 眞木吉信, 合場千佳子, 船奥律子, 北原稔, 白田チヨ 監著, クインテッセンス出版, 2009 臨床実習 hand book / 眞木吉信, 藤原愛子, 高阪利美, 石井実和子, 泉野裕美 監著, クインテッセンス出版, 2010					
備考					
<ul style="list-style-type: none"> ・学外実習時の服装、態度、言葉遣いに留意する。 ・実習への取り組み、出席状況、報告書の提出状況などが不適切な場合には、実習停止とすることがある。 					

時間割番号	022065					
科目名	高齢者福祉					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	2	
科目名: 高齢者福祉 時間数: 30 時間 授業形態: 講義						
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室						
授業の目的、概要等 ・高齢者の生活実態や高齢者を取り巻く社会情勢から、高齢者福祉制度の変遷と今後のありかたについて理解する。 ・少子高齢化がもたらした新しい高齢者の生き方や活躍の場等を学ぶ。						
授業の到達目標 ・高齢者の人々の生活実態を理解する。 ・日本における少子高齢化について理解し、説明する。 ・日本における少子高齢化や家族類型および家族機能の変化について理解し、高齢者を取り巻く諸問題について考えることができる。 ・高齢者福祉制度および関連法規について理解し、説明する。 ・高齢者をとりにく問題を自ら発見し、解決するための方法を検討する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	4/10	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者を取り巻く社会環境の変化	少子高齢化・家族の変化・介護への影響	遠藤 慶子
4-6	4/17	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	少子高齢社会と高齢者問題の変化	高齢者の福祉ニーズの把握	遠藤 慶子
7-9	4/24	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者福祉制度	高齢者介護の概念・対象・介護予防	遠藤 慶子
10-12	5/1	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者支援関係法規 I	老人福祉法 老人保健法・後期高齢者医療制度	遠藤 慶子
13-15	5/8	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢福祉の実際 1	在宅療養における摂食・嚥下機能向上支援のための仕組みづくり 地区医師会・歯科医師会を含む多職種連携によるチームケア	遠藤 慶子, 小宮山 恵美
16-20	6/21	11:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者支援関係法規 II	介護保険制度の概要 ① 保険者、被保険者、財源等 介護保険制度の概要 ② 要介護認定、居宅介護支援等	遠藤 慶子
21-25	6/28	11:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者支援関係法規 III	介護保険制度の概要 ③ 介護保険法の改正 その他の高齢者支援関連法規	遠藤 慶子
26-30	7/5	11:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢福祉の実際 2	老人福祉法と高齢者虐待対応の実際について	遠藤 慶子, 小宮山 恵美
成績評価の方法 ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総合的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。						

準備学習などについての具体的な指示
教科書 新・社会福祉士養成講座／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版，2015
参考書 公衆衛生がみえる／医療情報科学研究所 編集：メディックメディア，2014
備考 ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 担当教員 小宮山恵美 北区健康福祉部

時間割番号	022066					
科目名	社会調査の基礎					
担当教員	品田 佳世子					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	2	
科目名:社会調査の基礎 時間数:30 時間 授業形態:講義						
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室						
授業の目的、概要等 <ul style="list-style-type: none"> ・社会調査の意義と目的を理解し、調査票の作成と模擬実施、集計解析など実践的に学習する。 ・社会調査における倫理や個人情報保護について理解する。 ・医療法、歯科医師法、歯科技工士法他に関して理解する。 						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・社会調査の意義と目的及び方法の概要について説明できる。 ・量的調査及び質的調査の基本的な方法を説明することができる。 ・統計法の概要、社会調査における倫理や個人情報保護について説明できる。 ・医療法、歯科医師法、歯科技工士法他に関する知識がある。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/4	09:00-10:50	口腔保健 学科第2 講義室	社会福祉と社会調査、 社会調査の概要1	社会福祉と社会調査、 社会調査 の意義と目的、対象と方法	品田 佳世子
3-4	4/7	15:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	社会調査の概要2	社会調査を取り巻く状況、統計法 の概要	品田 佳世子
5-6	4/11	09:00-10:50	口腔保健 学科第2 講義室	小テスト①(社会調査の 概要)と解説、 関連法 規①	小テスト①(社会調査の概要)と解 説、 関連法規① 医療法	品田 佳世子
7-8	4/14	15:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	関連法規②	歯科医師法、歯科技工士法など	品田 佳世子
9-10	4/18	09:00-10:50	口腔保健 学科第2 講義室	小テスト②(関連法規) 量的調査の方法 1	小テスト②(関連法規)、量的調査 の特徴と種類	品田 佳世子
11-12	4/21	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	質的研究(総論)	質的研究の概要	大山 篤
13-14	4/25	09:00-10:50	口腔保健 学科第2 講義室	量的調査の方法2	調査票(質問紙)の作成方法、調査 票の配布と回収	品田 佳世子
15-16	4/28	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	質的研究(各論)	質的研究の活用	大山 篤
17-18	5/2	09:00-10:50	口腔保健 学科第1 講義室	社会調査の実施におけ る IT 活用法、ほか	データの集積と種々のIT活用法 ほか	品田 佳世子
19-20	5/9	09:00-10:50	第1講義 室	倫理審査、研究倫理審 査の必要性	倫理審査、研究倫理審査の必要性	甲畑 宏子

21-22	5/12	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	統計、分析、検定方法	統計、分析、検定方法	神田 英一郎
23-24	5/16	09:00-10:50	第1講義 室	個人情報保護	個人情報保護	吉田 雅幸
25-26	6/30	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	質的研究、量的研究、統計に関する確認テスト・解説	質的研究、量的研究、統計に関する確認テスト・解説	品田 佳世子
27-28	7/7	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	文献検索	文献検索	品田 佳世子
29	7/24	15:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	社会調査のまとめ	社会調査のまとめ	品田 佳世子
30	7/24	16:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	社会調査全般の確認テスト・解説	社会調査全般の確認テスト・解説	品田 佳世子
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・出欠状況と授業参加の態度 ・調査課題に関するレポートおよび筆記試験を総合評価する。 						
準備学習などについての具体的な指示						
統計の基礎を復習しておくこと。						
試験の受験資格						
全講義の 2/3 以上出席すること						
参考書						
新・社会福祉士養成講座／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版，2015						
備考						
担当教員(非常勤) 神田英一郎(2時間 生命倫理研究センター) 大山 篤(4時間 神戸製鋼 歯科室)						
連絡先						
shinada.pvoh@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
随時						

時間割番号	022067					
科目名	介護福祉					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	2	
科目名:介護福祉 時間数:30 時間 授業形態:講義						
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室						
授業の目的、概要等 <ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士にとって求められる介護とは何か、介護福祉とは何かを探究する。 ・現在社会における介護問題も最新の情報を取り上げ、介護を身近なものとして考えられるような授業内容を構成し、介護についての理解を深めることを目指す。 						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉の役割について理解する。 ・身体的および精神的な変化に対する観察能力を学び、保健・医療機関、専門職との連携、協力および必要に応じた援助ができる。 ・病気や遭遇しやすい事故についての知識を持ち、それらの予防の技術を理解する。 ・高齢者の健康の概念を理解し、健康を促進する具体的な展開方法について学ぶ。 ・認知症ケアを理解し、家族支援や地域のサポートを学ぶ。 ・新しい介護予防を学び、これからの高齢者像をイメージできる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	5/15	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	介護福祉を取り巻く環境 (高齢者介護のはじまり)	介護の歴史、介護の概念	遠藤 慶子
4-6	5/22	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	生活支援と介護 介護 予防とは何か?	尊厳を支える介護と自立支援 新 しい介護予防の考え方	遠藤 慶子
7-9	5/29	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	生活支援技術Ⅰ(人の 動きに沿った支援 方 法)	人の動きを知ろう 寝返り・起き上 がり、立ちあがり、移乗 人の姿 勢と動作	遠藤 慶子
10-12	6/5	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	生活支援技術Ⅱ(人 の動きに沿った支援 方法)	車いすの操作・介助方法 杖の 種類および使用・介助方法	遠藤 慶子
13-15	6/12	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	認知症ケアの現状と課 題Ⅰ	認知症ケアの概念と歴史 認知 症ケアが目指すもの	遠藤 慶子
16-18	6/19	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	介護福祉の倫理	さまざまな障害のケア、終末期 の介護 医療行為と介護(医の倫 理、食の倫理)	遠藤 慶子
19-21	7/3	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	生活支援技術Ⅲ	介護過程とケアマネジメント	遠藤 慶子
22-24	7/10	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	他職種連携	食介護とは 口から食べるの支援	遠藤 慶子、 田中 弥生
25-27	7/18	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	認知症ケアの現状と課 題Ⅱ	認知症のケアの実際	遠藤 慶子

28-30	7/24	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	まとめ	今後の介護福祉について	遠藤 慶子	
成績評価の方法 ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総合的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。							
準備学習などについての具体的な指示							
教科書 新・社会福祉士養成講座／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版，2015							
参考書 新しい介護：完全図解／大田仁史，三好春樹 監修・編著：講談社，2014 介護基礎学／竹内孝仁：医歯薬出版							
備考 ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 担当教員(非常勤) 田中弥生 駒沢女子大学							

時間割番号	022068																																														
科目名	児童・家庭福祉 I																																														
担当教員	遠藤 慶子																																														
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1																																										
科目名: 児童・家庭福祉 I 時間数: 15 時間 授業形態: 講義																																															
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室																																															
授業の目的、概要等 ・現代社会における児童の成長・発達と生活実態について理解するとともに、現代社会における児童福祉の社会的背景、理念と意義について理解する。 ・社会福祉士に必要な児童福祉の特質への理解を深める。																																															
授業の到達目標 ・現代社会における児童の成長・発達と生活実態について説明できる。 ・ライフサイクルにおける児童期の位置づけ・とらえ方を説明できる。 ・近代・現代社会における子どもの権利および子どもを巡る問題について説明できる。 ・現代社会における児童福祉の理念と意義について説明できる。 ・児童福祉に関する法とサービス体系について説明できる。 ・児童のための地域・住環境整備と相談援助活動について説明できる。 ・近代・現代社会における国家・家族・児童の関連について説明できる。 ・児童福祉の歴史、児童福祉の仕組み、問題発生の際の機序について説明できる。 ・児童福祉サービスの種類やあり方について説明できる。 ・少年非行や養護について説明できる。 ・母子保健、保育政策など発達期の児童福祉について説明できる。 ・子ども虐待の問題とその防止の取り組みについて概説できる。																																															
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>6/16</td> <td>13:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>現在社会と子ども家庭</td> <td>児童を取り巻く社会環境、子育て ニーズ</td> <td>雨宮 由紀枝 遠藤 慶子</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>6/23</td> <td>13:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>児童・家庭福祉とは何か、子どもと家庭の権利保障</td> <td>児童観、児童の権利に関する条約 理念・意義</td> <td>雨宮 由紀枝</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>6/30</td> <td>13:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>児童福祉の発展 児童福祉と法</td> <td>児童・家庭福祉の歴史(日本・欧米) 関連法、実施体制、行財政、専門職、権利擁護</td> <td>雨宮 由紀枝</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>7/7</td> <td>13:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>母子保健 障害・難病のある子どもと家庭への支援 地域における子育てと 青少年育成 保育</td> <td>母子保健施策、母子保健法、障害・難病のある子どもと家族のニーズ、支援制度 児童健全育成施策 保育制度、保育施策</td> <td>雨宮 由紀枝</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>7/14</td> <td>13:00-15:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>子育て支援 ひとり親 家庭の福祉</td> <td>子育て支援施策 母子及び寡婦福祉法、自立支援</td> <td>雨宮 由紀枝</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-3	6/16	13:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	現在社会と子ども家庭	児童を取り巻く社会環境、子育て ニーズ	雨宮 由紀枝 遠藤 慶子	4-6	6/23	13:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	児童・家庭福祉とは何か、子どもと家庭の権利保障	児童観、児童の権利に関する条約 理念・意義	雨宮 由紀枝	7-9	6/30	13:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	児童福祉の発展 児童福祉と法	児童・家庭福祉の歴史(日本・欧米) 関連法、実施体制、行財政、専門職、権利擁護	雨宮 由紀枝	10-12	7/7	13:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	母子保健 障害・難病のある子どもと家庭への支援 地域における子育てと 青少年育成 保育	母子保健施策、母子保健法、障害・難病のある子どもと家族のニーズ、支援制度 児童健全育成施策 保育制度、保育施策	雨宮 由紀枝	13-15	7/14	13:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	子育て支援 ひとり親 家庭の福祉	子育て支援施策 母子及び寡婦福祉法、自立支援	雨宮 由紀枝
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																									
1-3	6/16	13:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	現在社会と子ども家庭	児童を取り巻く社会環境、子育て ニーズ	雨宮 由紀枝 遠藤 慶子																																									
4-6	6/23	13:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	児童・家庭福祉とは何か、子どもと家庭の権利保障	児童観、児童の権利に関する条約 理念・意義	雨宮 由紀枝																																									
7-9	6/30	13:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	児童福祉の発展 児童福祉と法	児童・家庭福祉の歴史(日本・欧米) 関連法、実施体制、行財政、専門職、権利擁護	雨宮 由紀枝																																									
10-12	7/7	13:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	母子保健 障害・難病のある子どもと家庭への支援 地域における子育てと 青少年育成 保育	母子保健施策、母子保健法、障害・難病のある子どもと家族のニーズ、支援制度 児童健全育成施策 保育制度、保育施策	雨宮 由紀枝																																									
13-15	7/14	13:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	子育て支援 ひとり親 家庭の福祉	子育て支援施策 母子及び寡婦福祉法、自立支援	雨宮 由紀枝																																									
成績評価の方法 ・期末試験、授業への参加状況、課題レポート等により総合的に評価する。																																															
準備学習などについての具体的な指示																																															

教科書

新・社会福祉士養成講座児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版、2013
社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座 ⑮児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 第4版』中央法規

備考

担当教員(非常勤)

雨宮由紀枝 日本女子体育大学

時間割番号	022069					
科目名	障害児・者福祉 I					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
科目名:障害児・者福祉 I 時間数:15 時間 授業形態:講義						
主な講義場所 口腔保健学科 第2講義室						
授業の目的、概要等 ・障害福祉制度の変遷について学び、保健・医療・福祉・教育・労働の連携について理解する。 ・障害者福祉の理念の変化を概観し、障害者自身の活躍に注目する中で「共に歩む」を考える。						
授業の到達目標 ・障害者福祉制度の変遷について理解し、現代社会における障害者の実情・福祉課題を認識する。 ・国際的な「障害」の概念の変遷を理解し、人権思想にもとづく「障害者観」を獲得する。 ・障害者・その家族の生き方や社会的役割について学び、保健・医療・福祉などの専門職に共通する価値・倫理と関連づけながら具体的に説明できる。 ・ノーマライゼーション、リハビリテーション、インクルージョンなどの障害者福祉の理念の変遷を理解し、現代社会における障害者福祉の位置づけ・意義について説明できる。 ・障害者観と優生思想の関連について学び、医療従事者としての倫理観・価値観を獲得する。 ・障害児教育の変遷について学び、「共に学ぶ」「共に生きる」の意義を理解し、福祉教育や心のバリアフリーと社会のあり方について自分なりの考えを築く。 ・現代の障害者福祉の法体系について学び、「障害者が地域で生きる」ことの意義、ユニバーサル社会の本質について説明できる。 ・国連・障害者権利条約の特徴と意義について理解し、障害者差別とは何かを考え、「共生社会」を築くためのわが国の課題について考える。 ・障害者権利条約批准に向けての障がい者制度改革推進会議の成果と障害者の果たした役割を理解し、障害者福祉におけるわが国の課題について説明できる。 ・障害児・者福祉の学びを通して、医療者として「生命の尊厳」をどう考えるかについて、自分なりの価値観・倫理観を獲得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/23	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	障害者福祉の現状	わが国の障害者の生活実態、現代社会における障害児・者福祉の課題	石渡 和実 遠藤 慶子
2-3	5/30	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	障害者福祉制度の変遷 「障害」概念の変遷	「障害」概念とわが国の障害者観の変遷	石渡 和実
4-5	6/6	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	障害者福祉の理念 1	リハビリテーション理念の進展 国際的な ICIDH/ICF モデル	石渡 和実
6-7	6/13	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	障害者福祉の理念 2	自立生活運動と当事者活動 優 生保護法と障害者観	石渡 和実
8-9	6/20	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	障害者福祉の理念 3	ノーマライゼーション理念の進展 特殊教育、特別支援教育	石渡 和実
10-11	6/27	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	障害者福祉の理念 4	インクルージョン理念と多様性の 尊重	石渡 和実
12-13	7/4	09:00-10:50	口腔保健	障害者と「生命の尊厳」	障害者福祉制度の現状、改革	石渡 和実

			学科第3 講義室				
14-15	7/11	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	障害者福祉のまとめ	グループディスカッション	石渡 和実	
成績評価の方法							
<ul style="list-style-type: none"> ・授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。 ・グループディスカッション(事例検討など)の参加状況を評価に加味する。 ・定期試験を実施し、総合的に評価する。 							
準備学習などについての具体的な指示							
参考書							
<ul style="list-style-type: none"> ・随時、授業中に紹介する。 							
備考							
<p>事前に資料の配付、e-learning システム上へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。</p> <p>担当教員(非常勤) 石渡和実 東洋英和女学院大学大学院</p>							

時間割番号	022070																																															
科目名	地域福祉 I																																															
担当教員	遠藤 慶子																																															
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1																																											
科目名: 地域福祉 I 時間数: 15 時間 授業形態: 講義																																																
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室																																																
授業の目的、概要等 <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の歴史や基本的考え方を理解する。 ・地域福祉に係る組織や専門職の役割について理解する。 																																																
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉に関わる基本的な用語を理解し、説明できる。 ・地域福祉の関わる法制度を理解し説明できる。 ・地域福祉の歴史とそこに携わった人間について説明できる。 ・地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について説明できる。 ・地域福祉の推進方法(ネットワーク、社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法、地域トータルケアシステムの構築方法、サービスの評価方法を含む)について説明できる。 																																																
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>4/7</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>地域福祉の基本概念</td> <td>地域コミュニティと住民、社会福祉 法 人権尊重、権利擁護、社会的 包摂</td> <td>小嶋 珠実 遠藤 慶子</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>4/14</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>地域福祉の歴史的展開</td> <td>地域福祉の源流 COS 活動とセ ツルメント活動 戦後日本の地域 福祉</td> <td>小嶋 珠実</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>4/21</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>コミュニティケアの展開</td> <td>地域コミュニティ視点の登場</td> <td>小嶋 珠実</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>4/28</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>地域福祉を支える組織</td> <td>行政組織の役割と実際、地方自治 体、民間組織の役割と実際、社会 福祉協議会の役割 地域住民の 役割と実際、民生委員、児童委員 の役割</td> <td>小嶋 珠実</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>5/12</td> <td>09:00-11:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>地域福祉の現状と課題 まとめと試験</td> <td>地域福祉に関する基本的用語 今日の地域福祉における課題</td> <td>小嶋 珠実</td> </tr> </tbody> </table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-3	4/7	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	地域福祉の基本概念	地域コミュニティと住民、社会福祉 法 人権尊重、権利擁護、社会的 包摂	小嶋 珠実 遠藤 慶子	4-6	4/14	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	地域福祉の歴史的展開	地域福祉の源流 COS 活動とセ ツルメント活動 戦後日本の地域 福祉	小嶋 珠実	7-9	4/21	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	コミュニティケアの展開	地域コミュニティ視点の登場	小嶋 珠実	10-12	4/28	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	地域福祉を支える組織	行政組織の役割と実際、地方自治 体、民間組織の役割と実際、社会 福祉協議会の役割 地域住民の 役割と実際、民生委員、児童委員 の役割	小嶋 珠実	13-15	5/12	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	地域福祉の現状と課題 まとめと試験	地域福祉に関する基本的用語 今日の地域福祉における課題	小嶋 珠実
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																										
1-3	4/7	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	地域福祉の基本概念	地域コミュニティと住民、社会福祉 法 人権尊重、権利擁護、社会的 包摂	小嶋 珠実 遠藤 慶子																																										
4-6	4/14	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	地域福祉の歴史的展開	地域福祉の源流 COS 活動とセ ツルメント活動 戦後日本の地域 福祉	小嶋 珠実																																										
7-9	4/21	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	コミュニティケアの展開	地域コミュニティ視点の登場	小嶋 珠実																																										
10-12	4/28	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	地域福祉を支える組織	行政組織の役割と実際、地方自治 体、民間組織の役割と実際、社会 福祉協議会の役割 地域住民の 役割と実際、民生委員、児童委員 の役割	小嶋 珠実																																										
13-15	5/12	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	地域福祉の現状と課題 まとめと試験	地域福祉に関する基本的用語 今日の地域福祉における課題	小嶋 珠実																																										
成績評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。 ・試験を実施し、総合的に評価する。 																																																
準備学習などについての具体的な指示																																																
教科書 「新・社会福祉士養成講座 地域福祉の理論と方法」/社会福祉士養成講座編集委員会: 中央法規出版, 2015																																																
備考 事前に資料の配付、e-learning システム上へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。また、学習する内容につい																																																

て各自で参考文献を読み、理解を深めること。

担当教員(非常勤)

小嶋珠実 ルーテル学院大学

時間割番号	022071					
科目名	相談援助の基盤と専門職Ⅱ					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
科目名:相談援助の基盤と専門職Ⅱ 時間数:15時間 授業形態:講義						
主な講義場所 口腔保健学科 第3講義室						
授業の目的、概要等 ・ソーシャルワークの共通基盤(価値・知識・技術等)について体系的に学ぶ。 ・ソーシャルワークを展開する専門職のあるべき姿を理解する。						
授業の到達目標 ・ソーシャルワーカーの概念と理念を理解し説明できる。 ・ソーシャルワークの形成過程を理解し説明できる。 ・専門職倫理について理解する。 ・日本社会福祉士会の行動規範から、相談援助場面での専門職としてのあり方を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	5/19	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の定義、相談 援助の形成過程Ⅰ	ソーシャルワークの概念 ソーシ ャルワークの構成要素	小嶋 珠実 遠藤 慶子
4-6	5/26	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の形成過程 Ⅱ、相談援助の理念Ⅰ	ソーシャルワークの発展期・展開 期 ソーシャルワークの統合化 とジェネラリスト・ソーシャルワー ク	小嶋 珠実
7-9	6/2	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の理念Ⅱ、専 門職倫理	クライアントのドンゲンと自己決定 ノーマライゼーションと社会的包 摂	小嶋 珠実
10-11	6/9	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	倫理的ジレンマ	ソーシャルワーク実践における倫 理的ジレンマ	小嶋 珠実
12-14	6/23	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	まとめ		小嶋 珠実 遠藤 慶子
成績評価の方法 ・授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。 ・試験を実施し、総合的に評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
教科書 「新・社会福祉士養成講座 相談援助と基盤と専門職」第3版／社会福祉士養成講座編集委員会 編：中央法規出版、2015						
備考 事前に資料の配付、e-learning システム上へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。また、学習する内容について各自で参考文献を読み、理解を深めること。 担当教員(非常勤) 小嶋珠実 ルーテル学院大学						

時間割番号	022072					
科目名	相談援助演習 I					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	1	
科目名:相談援助演習 I 時間数:30 時間 授業形態:演習						
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室						
授業の目的、概要等 社会福祉における相談援助の知識と技術に関わる他の科目との関連性も視野に入れつつ、歯科衛生士に求められる相談援助の係る知識と技術について実践的に修得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を滋養する。						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・相談援助の特徴を説明することができる。 ・相談援助の内容・方法・プロセスを説明することができる。 ・相談援助に関する実践上の課題について、自ら意見を述べるすることができる。 ・相談援助と口腔保健における実践の関連性について興味や関心をもち、自分から調べ、考える態度 をもつ。 ・相談援助実習に向けた自分の興味や関心を持ったことと学習課題を説明することができる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	10/6	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	オリエンテーション 相 談援助の基礎 I	見る	遠藤 慶子, 小畑 万里
3-4	10/20	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の基礎 II 相談援助の基礎 III	聞く 話す	遠藤 慶子, 小畑 万里
5-6	10/27	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の基礎 IV	関係・プロセス、アセスメント	遠藤 慶子, 小畑 万里
7-8	11/10	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の基礎 V	情報収集と分析	遠藤 慶子, 小畑 万里
9-10	11/17	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の基礎 VI	支援計画・評価	遠藤 慶子, 小畑 万里
11-12	11/24	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助のまとめ I	グループワーク	遠藤 慶子, 小畑 万里
13-14	12/1	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助のまとめ II	発表	遠藤 慶子, 小畑 万里
15-22	12/8	09:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の基礎 VII 相談援助の実際 I	視覚障害者への支援 相談援助 における個別援助技術による活用 ①	遠藤 慶子, 福喜多 恭子
23-30	12/22	09:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の実際 II 相談援助の実際 III まとめ	相談援助における個別援助技術 による活用② 相談援助におけ る個別援助技術による活用③	遠藤 慶子, 小畑 万里
成績評価の方法 ・授業内レポートで重要な単元の学習効果を評価する。						

<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験を実施し、総合的に評価する。
<p>準備学習などについての具体的な指示</p>
<p>参考書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に配布する資料。 ・参考書は授業時に紹介する。
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して臨むこと。 <p>担当教員(非常勤)</p> <p>小畑万里 日本社会事業大学 通信教育科 社会福祉士養成課程</p> <p>福喜多恭子 神奈川県視覚障害者福祉協会</p>

時間割番号	022073					
科目名	卒業研究					
担当教員	品田 佳世子, 樺沢 勇司					
開講時期	2年通年	対象年次	3~4	単位数	4	
科目名:卒業研究 時間数:3 学年 83 時間、4 学年 97 時間 授業形態:演習・講義						
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室 他						
授業の目的、概要等 各学生の知的興味、将来の方向性に沿ってテーマを選択し、計画・立案に基づいて研究を実施する。さらに結果を論文にまとめて十分考察することにより、研究への理解と意欲を培う。						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の知的興味、将来の方向性に沿って研究テーマが設定できる。 ・研究テーマに対応した論文の検索と科学的吟味を行い、これまでの知見が整理できる。 ・EBM・EBHC の概念を説明できる。 ・知見や問題点に基づいた研究の計画・立案ができる。 ・実験・調査などの研究を実施できる。 ・実験・調査などの結果を分析整理し、統計学的な解析ができる。 ・結果に基づき、新たな問題点と課題を抽出、提起できる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/12	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	卒業研究の進め方・研究テーマの 決め方の説明(講義)	樺沢 勇司, 品田 佳世子
3	5/23	16:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	卒業研究の進め方・研究テーマの 決め方の説明(講義)	樺沢 勇司, 品田 佳世子
4-5	5/30	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各教員のテーマ例の講義	樺沢 勇司, 品田 佳世子
6-7	6/6	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各教員のテーマ例の講義	樺沢 勇司, 品田 佳世子
8-9	6/14	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各教員のテーマ例の講義	樺沢 勇司, 品田 佳世子
10	7/10	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各教員のテーマ例の講義	樺沢 勇司, 品田 佳世子
11	9/27	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各教員のテーマ例の講義	樺沢 勇司, 品田 佳世子
12	9/28	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各教員のテーマ例の講義	樺沢 勇司, 品田 佳世子
13	10/2	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各教員のテーマ例の講義	樺沢 勇司, 品田 佳世子

14	10/3	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各教員のテーマ例の講義	樺沢 勇司, 品田 佳世子
15	10/4	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各教員のテーマ例の講義	樺沢 勇司, 品田 佳世子
16	10/5	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	研究準備	樺沢 勇司, 品田 佳世子
17	10/10	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	研究準備	樺沢 勇司, 品田 佳世子
18	10/11	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	研究準備	樺沢 勇司, 品田 佳世子
19	10/13	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	研究準備	樺沢 勇司, 品田 佳世子
20	10/16	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	研究準備	樺沢 勇司, 品田 佳世子
21	10/17	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	研究準備	樺沢 勇司, 品田 佳世子
22	10/18	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	研究準備	樺沢 勇司, 品田 佳世子
23	10/19	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	研究準備	樺沢 勇司, 品田 佳世子
24	10/23	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	研究準備	樺沢 勇司, 品田 佳世子
25	10/24	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	研究準備	樺沢 勇司, 品田 佳世子
26	10/25	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	研究準備	樺沢 勇司, 品田 佳世子
27	10/26	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	研究準備	樺沢 勇司, 品田 佳世子
28-31	10/27	14:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマに関する面談	樺沢 勇司, 品田 佳世子
32	10/30	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	樺沢 勇司, 品田 佳世子
33	10/31	17:00-17:50	口腔保健	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	樺沢 勇司,

			学科第3 講義室			品田 佳世子
34	11/2	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	樺沢 勇司, 品田 佳世子
35	11/8	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	樺沢 勇司, 品田 佳世子
36	11/9	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	樺沢 勇司, 品田 佳世子
37	11/14	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	樺沢 勇司, 品田 佳世子
38	11/15	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	樺沢 勇司, 品田 佳世子
39	11/16	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	樺沢 勇司, 品田 佳世子
40-43	11/17	14:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマに関する面談(決定)	樺沢 勇司, 品田 佳世子
44	11/20	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	樺沢 勇司, 品田 佳世子
45	11/21	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	樺沢 勇司, 品田 佳世子
46	11/22	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	樺沢 勇司, 品田 佳世子
47	11/28	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	樺沢 勇司, 品田 佳世子
48	11/29	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	樺沢 勇司, 品田 佳世子
49	11/30	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	樺沢 勇司, 品田 佳世子
50	12/6	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	樺沢 勇司, 品田 佳世子
51	12/7	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	樺沢 勇司, 品田 佳世子
52	12/12	17:00-17:50	口腔保健 学科第3	卒業研究	各指導教官との相談	樺沢 勇司, 品田 佳世子

			講義室				
53	12/13	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	樺沢 勇司, 品田 佳世子	
54	12/14	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	樺沢 勇司, 品田 佳世子	
55-62	12/15	09:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	4年生卒業研究発表会	樺沢 勇司, 品田 佳世子	
63	12/19	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	卒業研究	樺沢 勇司, 品田 佳世子	
64	12/20	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	卒業研究	樺沢 勇司, 品田 佳世子	
65	12/21	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	卒業研究	樺沢 勇司, 品田 佳世子	
66	1/11	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	卒業研究	樺沢 勇司, 品田 佳世子	
67	1/18	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	卒業研究	樺沢 勇司, 品田 佳世子	
68	1/25	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	卒業研究	樺沢 勇司, 品田 佳世子	
69	2/5	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	卒業研究	樺沢 勇司, 品田 佳世子	
70-74	2/7	13:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	卒業研究	樺沢 勇司, 品田 佳世子	
75	2/13	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	卒業研究	樺沢 勇司, 品田 佳世子	
76-80	2/14	13:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	卒業研究	樺沢 勇司, 品田 佳世子	

成績評価の方法

- ・単位認定(4単位)は4学年終了時に行う。
- ・単位認定は、3年次から各課題(論文抄録、研究計画書、中間発表会プレゼンテーションファイル、成果報告会プレゼンテーションファイル、卒業研究論文ファイル)の期限内提出、研究計画書・中間発表会プレゼンテーション・成果報告会プレゼンテーション・論文についての総括的評価により行う。

準備学習などについての具体的な指示

研究テーマを考え、それに関する文献を検索し、文献を読んでおくこと。

試験の受験資格

卒業研究の発表および卒業論文を提出すること

参考書

卒業研究 HAND BOOK／眞木吉信 監著,薄井由枝, 品田佳世子, 白鳥たかみ, 杉原直樹, 田村清美, 松田裕子 著.:クインテッセンス出版, 2011

SPSS による医学・歯学・薬学のための統計解析／石村貞夫, 謝承泰, 久保田基夫 著.:東京図書, 2011

SPSS で学ぶ医療系多変量データ解析／対馬栄輝 著.:東京図書, 2008

- ・「保健・医療のための研究法入門」、朝倉隆司監訳、協同医書出版社
- ・「歯科衛生研究の進め方、論文の書き方」、金澤紀子、武井典子、合場千佳子、岩久正明 編、医歯 薬出版
- ・「医薬研究者の視点からみた道具としての統計学」、奥田千恵子、金芳堂

備考

- ・常に指導教員、副指導教員と密接な連絡をとり、助言を得ながら研究を進めること。

連絡先

品田 佳世子:shinada.pvoh@tmd.ac.jp

樺沢 勇司:kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

品田 佳世子:随時

樺沢 勇司:随時 可能ならば事前にメール等でご連絡下さい。1号館8階 健康支援口腔保健衛生学分野 教授室

時間割番号	022074																																																																																	
科目名	口腔保健と国際協力																																																																																	
担当教員	安田 昌代、古屋 純一																																																																																	
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	2																																																																													
科目名: 口腔保健と国際協力 時間数: 30 時間 授業形態: 講義・実習																																																																																		
主な講義場所 1号館西 口腔保健学科 第3 セミナー室																																																																																		
授業の目的、概要等 国際保健医療福祉の現状を知り、国際的な視点から、歯科衛生士・社会福祉士として活躍できる人材になるための、基礎を学習する。																																																																																		
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・国際歯科保健医療福祉とは何かを説明する。 ・それぞれの国の歯科保健医療福祉を説明する。 ・国際保健医療福祉で、活躍するために必要な基礎的な事項を説明する。 ・海外で活動できること、関心のあることをまとめ、説明する。 ・海外での保健医療福祉活動の目標を立て、計画、実施できるよう説明する。 																																																																																		
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>国際保健医療福祉 I</td> <td>グローバルヘルスの歴史</td> <td>安田 昌代</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>国際保健医療福祉 II</td> <td>プライマリーヘルスケアとヘルス プロモーション</td> <td>安田 昌代</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/21</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>国際保健医療福祉 IV</td> <td>国際保健医療と疾病対策</td> <td>安田 昌代</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>国際保健医療福祉 III</td> <td>国際保健医療協力活動</td> <td>安田 昌代</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/12</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>国際歯科保健医療福祉 I</td> <td>先進国・開発途上国の歯科事情</td> <td>古屋 純一</td> </tr> <tr> <td>6-7</td> <td>5/19</td> <td>15:00-16:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>国際歯科保健医療福祉 I</td> <td>国際歯科保健福祉の状況 在日 外国人の歯科事情</td> <td>中久木 康一</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/26</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>国際歯科保健医療福祉 II</td> <td>先進国・発展途上国の歯科事情</td> <td>安田 昌代</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/2</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>国際歯科保健医療福祉 III</td> <td>多職種との活動の連携</td> <td>鶴田 潤</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/9</td> <td>17:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>国際歯科保健医療福祉 IV</td> <td>多職種との活動の連携</td> <td>安田 昌代</td> </tr> <tr> <td>11-12</td> <td>6/16</td> <td>16:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>国際歯科保健医療福祉 V</td> <td>多職種との活動の連携</td> <td>鶴田 潤</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/7	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際保健医療福祉 I	グローバルヘルスの歴史	安田 昌代	2	4/14	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際保健医療福祉 II	プライマリーヘルスケアとヘルス プロモーション	安田 昌代	3	4/21	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際保健医療福祉 IV	国際保健医療と疾病対策	安田 昌代	4	4/28	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際保健医療福祉 III	国際保健医療協力活動	安田 昌代	5	5/12	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 I	先進国・開発途上国の歯科事情	古屋 純一	6-7	5/19	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 I	国際歯科保健福祉の状況 在日 外国人の歯科事情	中久木 康一	8	5/26	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 II	先進国・発展途上国の歯科事情	安田 昌代	9	6/2	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 III	多職種との活動の連携	鶴田 潤	10	6/9	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 IV	多職種との活動の連携	安田 昌代	11-12	6/16	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 V	多職種との活動の連携	鶴田 潤
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																												
1	4/7	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際保健医療福祉 I	グローバルヘルスの歴史	安田 昌代																																																																												
2	4/14	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際保健医療福祉 II	プライマリーヘルスケアとヘルス プロモーション	安田 昌代																																																																												
3	4/21	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際保健医療福祉 IV	国際保健医療と疾病対策	安田 昌代																																																																												
4	4/28	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際保健医療福祉 III	国際保健医療協力活動	安田 昌代																																																																												
5	5/12	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 I	先進国・開発途上国の歯科事情	古屋 純一																																																																												
6-7	5/19	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 I	国際歯科保健福祉の状況 在日 外国人の歯科事情	中久木 康一																																																																												
8	5/26	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 II	先進国・発展途上国の歯科事情	安田 昌代																																																																												
9	6/2	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 III	多職種との活動の連携	鶴田 潤																																																																												
10	6/9	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 IV	多職種との活動の連携	安田 昌代																																																																												
11-12	6/16	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 V	多職種との活動の連携	鶴田 潤																																																																												

13	6/23	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 IV	歯科衛生士としての活動	白田 千代子
14	6/30	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 IV	歯科衛生士としての活動	白田 千代子
15	7/7	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 V	ヘルスプロモーションの展開	安田 昌代
16	9/21	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 の実践 I	ケーススタディ	安田 昌代
17	9/21	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 の実践 I	ケーススタディ	安田 昌代
18	9/21	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 の実践 I	ケーススタディ	安田 昌代
19	9/21	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 の実践 I	ケーススタディ	安田 昌代
20	9/21	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 の実践 I	ケーススタディ	安田 昌代
21	9/21	15:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 の実践 I	ケーススタディ	安田 昌代
22	9/21	16:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 の実践 I	ケーススタディ	安田 昌代
23	9/21	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 の実践 II	計画立案(グループ活動)	安田 昌代
24	9/25	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 の実践 II	計画立案(グループ活動)	安田 昌代
25	9/25	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 の実践 II	計画立案(グループ活動)	安田 昌代
26	9/25	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 の実践 II	計画立案(グループ活動)	安田 昌代
27	9/25	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 の実践 II	計画立案(グループ活動)	安田 昌代
28	9/25	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 の実践 II	発表	安田 昌代
29	9/25	15:00-15:50	口腔保健	まとめ		安田 昌代

			学科第3 講義室				
30	9/25	16:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	まとめ		安田 昌代	
成績評価の方法							
<p>論述試験、提出レポートで総括的評価を行う。</p> <p>講義、グループ討論、発表の態度等を総括的評価する。</p> <p>授業態度等も総括的評価に加える。</p>							
準備学習などについての具体的な指示							
<p>授業内容をシラバスで確認の上、あらかじめ参考書や関連する Website を参照し、授業に関連する事項について、各自で事前学習しておくこと。</p>							
参考書							
<ul style="list-style-type: none"> ・世界子供白書 2012,ユニセフ 2012 ・The World Health Report 2012 , WHO, 2012 ・国際協力NGOセンター,国際協力NGOダイレクトリ-2008 ・国際歯科保健医療学,中村修一編,医歯薬出版,2003 ・国際保健学講義,山本太郎,学会出版センター,初版, 1999 ・ヘルスプロモーション,ローレンス,W,グリーン,医学書院, 1997 ・国際保健医療学第 3 版,日本国際保健医療学会編,杏林書院,2013 							
備考							
<p>他の教科で学習した内容を確認した上で、洞察力と実践力を養い、海外での保健医療福祉活動に積極的に参加できるよう努力する。</p>							

時間割番号	022075					
科目名	児童・家庭福祉Ⅱ					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
科目名:児童・家庭福祉Ⅱ 時間数:15時間 授業形態:講義						
主な講義場所						
口腔保健学科 第2講義室						
授業の目的、概要等						
<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における児童の成長・発達と生活実態について理解するとともに、現代社会における児童福祉の社会的背景、理念と意義について理解する。 ・社会福祉士に必要な児童福祉の特質への理解を深める。 						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における児童の成長・発達と生活実態について説明できる。 ・ライフサイクルにおける児童期の位置づけ・とらえ方を説明できる。 ・近代・現代社会における子どもの権利および子どもを巡る問題について説明できる。 ・現代社会における児童福祉の理念と意義について説明できる。 ・児童福祉に関する法とサービス体系について説明できる。 ・児童のための地域・住環境整備と相談援助活動について説明できる。 ・近代・現代社会における国家・家族・児童の関連について説明できる。 ・児童福祉の歴史、児童福祉の仕組み、問題発生の際序について説明できる。 ・児童福祉サービスの種類やあり方について説明できる。 ・少年非行や養護について説明できる。 ・母子保健、保育政策など発達期の児童福祉について説明できる。 ・子ども虐待の問題とその防止の取り組みについて概説できる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-7	9/11	09:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	障害児の福祉 児童 虐待対策	障害について 療育、福祉施策 特別支援教育、自立支援 社会的 背景、実態 被虐待児保護、児 童虐待防止法	雨宮 由紀枝
8-15	9/12	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	非行児童・情緒障害児 の支援 子ども家庭 への相談援助活動	非行・情緒障害の理解、動向 非行 児童・情緒障害児とその家族への 支援 相談援助の方法 施設ケ アと児童・家庭福祉援助活動	雨宮 由紀枝
成績評価の方法						
・期末試験、授業への参加状況、課題レポート等により総合的に評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
教科書						
社会福祉士養成講座編集委員会編「新・社会福祉士養成講座 ⑮児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 第4版」中央法規						
備考						
担当教員(非常勤) 雨宮由紀枝 日本女子体育大学						

時間割番号	022076					
科目名	障害児・者福祉Ⅱ					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
科目名:障害児・者福祉Ⅱ 時間数:15時間 授業形態:講義						
主な講義場所 口腔保健学科 第2講義室						
授業の目的、概要等 ・障害種別の特性について理解し、具体的な支援の在り方を学び、自分なりの障害者観・関わり方を確立するよう努める。 ・現代社会における障害児・者福祉の課題について、医療専門職として果たせる役割を考える。						
授業の到達目標 ・身体障害、知的障害、精神障害、発達障害、高次脳機能障害など、具体的な障害種別の特性について理解し、支援にあたり求められる視点・姿勢を獲得する。 ・知的障害と出生前診断、発達障害と児童虐待、精神障害の長期入院と隔離施策、重症心身障害児と医療的ケア・生命の尊厳など、障害児・者福祉と医療的課題に着目し、医療専門職として自分なりの視点や姿勢の確立をめざす。 ・障害者雇用施策の変遷と就労支援の現状について学ぶなかで、「働くこと」の意義、ILOが提唱する「ディーセントワーク(decent work)(人間らしい尊厳をもった働き方)」について説明できる。 ・エンパワメントの視点に立った支援について学び、障害児・者が地域で暮らすことの意義、まちづくりについて考え、自分なりの支援の在り方・関わり方を修得することをめざす。 ・当事者主体の視点から、自己決定の尊重、意思決定支援などについて学び、自分なりに実践する具体的な方法の修得をめざす。 ・障害児・者福祉の学びを通して、医療者として福祉的な支援を必要とする人に関わる際の価値観・倫理観を獲得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-8	7/26	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	障害児・者福祉の現状 障害者の種類と特性 障害と出生前診断 精神障害と「隔離施策」 発達障害の種類と特性	わが国の障害児・者福祉の現状、現代社会における障害児・者福祉の課題 3障害の分類と「障害」の定義 出生前診断の変遷と「障害者の生命」 精神障害者福祉の変遷と「隔離施策」の関係性 発達障害者支援法と自閉症、学習障害、注意欠陥多動性障害の特性	石渡 和実
9-15	7/27	09:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	発達障害児と児童虐待 高次脳機能障害と特性 エンパワメントと地域生活 重症心身障害児・者と「生命の尊厳」 当事者主体と自己決定 の尊重・意思決定支援	発達障害児と虐待の関係、人格形成への影響 高次脳機能障害の種類と特性、支援における課題 重症心身障害児・者の概念と支援の実態、「生命の尊厳」を考える 当事者主体の地域生活支援、自己決定の尊重と意思決定支援	石渡 和実
成績評価の方法 ・授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。 ・グループディスカッション(事例検討など)の参加状況を評価に加味する。 ・講義終了後のレポートを課し、授業ないレポート、グループ討議などの状況も考慮して総合的に評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
参考書 ・随時、授業中に紹介する。						
備考						

事前に資料の配付、e-learning システム上へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

担当教員(非常勤)

石渡和実 東洋英和女学院大学大学院

時間割番号	022077					
科目名	地域福祉Ⅱ					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
科目名:地域福祉Ⅱ 時間数:15時間 授業形態:講義						
主な講義場所						
口腔保健学科 第2講義室						
授業の目的、概要等						
<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の基本的考え方を踏まえ地域福祉の現状を理解する。 ・ネットワーキングをはじめとする地域福祉の推進方法と課題について理解する。 						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・対象者、地域によって異なる地域福祉の現状を理解し、課題について考察することができる。 ・地域福祉を推進していくために、必要な資源や対策を考察することができる。 ・地域福祉の推進方法(ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法、地域トータルケアシステムの構築方法、サービスの評価方法を含む)について具体的に説明できる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-8	7/21	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域福祉の推進法 地域福祉の実際1	社会福祉法、コミュニティワーク技 法、 ネットワーキング、社会資源 の活用・調整・開発 社会福祉施 設の地域拠点、 福祉教育とボラ ンティア活動	小嶋 珠実
9-15	7/28	09:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域福祉計画策定 地域福祉の実際2	地域福祉計画策定の流れ、実践 「住民参加による福祉のまちづく り」 地域福祉計画における住民 主体形成、 福祉サービスの評価 方法、 第三者評価事業、 福祉 の情報提供と苦情解決システム	小嶋 珠実
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。 ・試験を実施し、総合的に評価する。 						
準備学習などについての具体的な指示						
備考						
事前に資料の配付、e-learning システム上へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。また、学習する内容について各自で参考文献を読み、理解を深めること。						
担当教員(非常勤) 小嶋珠実 ルーテル学院大学						

時間割番号	022078					
科目名	相談援助の基盤と専門職Ⅲ					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	2	
科目名:相談援助の基盤と専門職Ⅲ 時間数:30 時間 授業形態:講義						
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室						
授業の目的、概要等 ・福祉専門職の役割と意義、実践活動の状況の概観を通して、社会福祉士の役割と意義、専門性について理解する。						
授業の到達目標 ・福祉専門職の種類とそれぞれの業務等の概要を理解する。 ・社会福祉士の役割と意義、実践活動分野を理解する。 ・社会福祉士と精神保健福祉士の固有性と共通性、医療ソーシャルワーカーにおける両資格のあり方について理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	9/14	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助にかかわる専門職	相談援助にかかわる専門職の概念と範囲	後山 恵理子
4-8	9/14	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	専門職の機能	予防機能、新しいニーズへの対応機能、総合的支援機能、権利擁護機能、社会資源開発機能	後山 恵理子
9-11	9/15	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	社会福祉士	社会福祉士の役割と意義、法制度見直しとその背景、社会福祉士の実践分野	後山 恵理子
12-15	9/15	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	介護福祉士・精神保健福祉士	介護福祉士・精神保健福祉士の役割と意義	後山 恵理子
16-18	9/19	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	医療ソーシャルワーカー、介護支援専門員	医療ソーシャルワーカーの歴史と業務、介護支援専門員の資格と役割	後山 恵理子
19-23	9/19	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	その他の専門職の資格と業務	弁護士、司法書士、保育士等	後山 恵理子
24-26	9/20	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	総合的かつ包括的な相談業務1	動向と背景、地域を基盤としたソーシャルワーク	後山 恵理子
27-31	9/20	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	総合的かつ包括的な相談業務2	ジェネラリスト、ソーシャルワークの意義と基本的視点	後山 恵理子
成績評価の方法 ・授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。 ・試験を実施し、総合的に評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
教科書 新・社会福祉士養成講座／社会福祉士養成講座編集委員会 編:中央法規出版, 2010 「相談援助の基盤と専門職 第2版(新・社会福祉士養成講座 第6巻)」社会福祉士養成講座編集委員会編 中央法規出版						

参考書

随時、授業中に紹介する。

備考

事前に資料の配付、e-learning システム上へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。また、学習する内容について各自で参考文献を読み、理解を深めること。

担当教員(非常勤)

後山恵理子 後山社会福祉士事務所

時間割番号	022079																																															
科目名	権利擁護																																															
担当教員	遠藤 慶子																																															
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1																																											
科目名:権利擁護 時間数:15 時間 授業形態:講義																																																
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室																																																
授業の目的、概要等 ・相談援助活動に必要とされている法律の知識の概要を学ぶ。権利擁護に関する基本的な考え方、成年後見制度をはじめとする権利擁護の仕組みをその実際について学ぶ。																																																
授業の到達目標 ・相談援助にかかわる日本国憲法、行政法、民法の基本的理解ができる。 ・成年後見及び関係する支援事業の概要が理解できる。 ・権利擁護に関わる組織・団体・専門職の役割が理解できる。 ・成年後見活動、権利擁護活動の実際が理解できる。																																																
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>4/5</td> <td>15:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>相談援助の活動と法</td> <td>日本国憲法、行政法、民法等の理解</td> <td>大貫 正男, 遠藤 慶子</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>4/19</td> <td>15:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>成年後見制度の概要の理解</td> <td>法定後見制度、任意後見制度、成年後見制度の動向</td> <td>大貫 正男</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>4/26</td> <td>15:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>権利擁護に関わる組織・団体・専門職の役割</td> <td>家庭裁判所、法務局、市町村、社会福祉協議会、児童相談所、弁護士、司法書士、公証人、社会福祉士の活動の実際</td> <td>大貫 正男</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>5/10</td> <td>15:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>成年後見活動の実際</td> <td>認知症、知的・精神障害者への支援の実際</td> <td>大貫 正男</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>6/7</td> <td>15:00-17:50</td> <td>口腔保健 学科第3 講義室</td> <td>権利擁護活動の実際</td> <td>高齢者虐待対応・ホームレス支援</td> <td>大貫 正男, 遠藤 慶子</td> </tr> </tbody> </table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-3	4/5	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の活動と法	日本国憲法、行政法、民法等の理解	大貫 正男, 遠藤 慶子	4-6	4/19	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	成年後見制度の概要の理解	法定後見制度、任意後見制度、成年後見制度の動向	大貫 正男	7-9	4/26	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	権利擁護に関わる組織・団体・専門職の役割	家庭裁判所、法務局、市町村、社会福祉協議会、児童相談所、弁護士、司法書士、公証人、社会福祉士の活動の実際	大貫 正男	10-12	5/10	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	成年後見活動の実際	認知症、知的・精神障害者への支援の実際	大貫 正男	13-15	6/7	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	権利擁護活動の実際	高齢者虐待対応・ホームレス支援	大貫 正男, 遠藤 慶子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																										
1-3	4/5	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の活動と法	日本国憲法、行政法、民法等の理解	大貫 正男, 遠藤 慶子																																										
4-6	4/19	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	成年後見制度の概要の理解	法定後見制度、任意後見制度、成年後見制度の動向	大貫 正男																																										
7-9	4/26	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	権利擁護に関わる組織・団体・専門職の役割	家庭裁判所、法務局、市町村、社会福祉協議会、児童相談所、弁護士、司法書士、公証人、社会福祉士の活動の実際	大貫 正男																																										
10-12	5/10	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	成年後見活動の実際	認知症、知的・精神障害者への支援の実際	大貫 正男																																										
13-15	6/7	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	権利擁護活動の実際	高齢者虐待対応・ホームレス支援	大貫 正男, 遠藤 慶子																																										
成績評価の方法 ・授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。 ・試験を実施し、総合的に評価する。																																																
準備学習などについての具体的な指示																																																
教科書 新・社会福祉士養成講座／社会福祉士養成講座編集委員会 編集:中央法規出版, 2014 19 「権利擁護と成年後見制度 第4版(新・社会福祉士養成講座 第19巻)」社会福祉士養成講座編集委員会編 中央法規出版																																																
参考書 ・「厚生指針 国民の福祉の動向 各年度版」厚生統計協会 ・「社会福祉小六法」(最新年度版)ミネルヴァ書房 ・他随時授業中に紹介する。																																																
備考																																																

事前に資料の配付、e-learning システム上へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。また、学習する内容について各自で参考文献を読み、理解を深めること。

担当教員(非常勤講師)

大貫正男 司法書士大貫正男事務所

時間割番号	022080					
科目名	社会福祉行政					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
科目名:社会福祉行政 時間数:15 時間 授業形態:講義						
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室						
授業の目的、概要等 ・福祉の関わる社会福祉制度は、法律によってその大枠が規定されている。その運用の実際は諸制度の運営に関わる行財政のあり方によって規定されている。その仕組みを学ぶ。						
授業の到達目標 ・福祉の行財政の実施体制(国・都道府県・市区町村の役割、国と地方の関係、財源、組織及び団体、専門職の役割を含む)について説明できる。 ・福祉行財政の実際について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	8/1	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉行政の実施体制 1	わが国における社会福祉の定義 の変遷	國見 真理子
4-8	8/1	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉行政の実施体制 2	福祉の法制度の展開、行政の骨 格、社会福祉と法制度、福祉行政 の組織	國見 真理子
9-11	8/2	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉行政の組織	社会福祉基礎構造、社会福祉基礎 構造改革、相談過程	國見 真理子
12-15	8/2	13:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉行政の団体と福祉 行政の専門職の役割	相談体制、専門緒機関、地域相談 システム、専門職	國見 真理子
成績評価の方法 ・授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。 ・グループディスカッション(事例検討など)の参加状況を評価に加味する。 ・定期試験を実施し、総合的に評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
教科書 新・社会福祉士養成講座／社会福祉士養成講座編集委員会 編集:中央法規出版, 2014						
備考 事前に資料の配付、e-learning システム上へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。また、講義における質疑応答などには主体的に参加し、学ぶ意欲を持って授業に参加することを望む。 担当教員(非常勤) 國見真理子 田園調布学園大学						

時間割番号	022081					
科目名	ソーシャルワークⅡ					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	通年	対象年次	3	単位数	4	
科目名:ソーシャルワークⅡ 時間数:60 時間 授業形態:講義						
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室						
授業の目的、概要等 ・相談援助の理論および相談援助の知識・技術について理解する。						
授業の到達目標 ・相談援助における人と環境との交互作用に関する理論について理解する。 ・相談援助の様々な実践モデルについて理解する。 ・相談援助のプロセスとそれに関する知識・技術について理解する。 ・実践場面における理論的背景を理解し、説明できる。 ・援助の記録方法について学ぶ。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	9/7	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助における対象 の理解	・社会福祉援助活動の概念と定 義 ・相談援助の対象をどうとらえ るか	庄司 妃佐 遠藤 慶子
4-8	9/7	13:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	ケースマネジメント	・ケースマネジメントの基本と過 程 ・ケースマネジメントにおける アセスメントの特徴 ・ケアプラン の作成・実施の特徴	庄司 妃佐
9-11	9/8	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	グループを活用した相 談援助	・グループを活用した相談援助と は ・自助グループを活用した相 談援助	庄司 妃佐
12-16	9/8	13:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	コーディネーションとネ ットワーキング	・コーディネーションの目的・意 義、方法・技術・留意点 ・ネットワ ーキングの目的・意義 ・ネットワ ーキングの方法 ・地域福祉の総 合的なネットワーキングの形成と システム化	庄司 妃佐
17-19	9/13	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助における社会 資源の活用・調整・開発	・社会資源の活用・調整・開発の意 義と目的 ・社会資源の活用・調 整・開発の方法と留意点 ・ソーシ ャルアクションによるシステムづく り	庄司 妃佐
20-24	9/13	13:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助における社会 資源の活用・調整・開発 の実際	・ファシリテーション ・プレゼンテ ーション ・ネゴシエーション ・コ ーディネーション	庄司 妃佐
25-28	9/22	14:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	さまざまな実践モデルと アプローチⅠ	・実践モデルとその意味 ・治療 モデル、生活モデル、ストレング スモデル ・ジェネラリスト・ソー シャルワークの展開と実践モデル	庄司 妃佐
29-32	9/29	14:00-17:50	口腔保健	さまざまな実践モデルと	・心理社会的アプローチ ・機能	庄司 妃佐

			学科第3 講義室	アプローチⅡ-1	的アプローチ ・問題解決アプロ ーチ		
33-36	10/6	14:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	さまざまなモデルとアプ ローチⅡ-2	・課題中心アプローチ ・危機介 入アプローチ ・行動変容アプロ ーチ	庄司 妃佐	
37-40	10/20	14:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	さまざまな実践モデルと アプローチⅢ	・エンパワメントアプローチ ・ナ ラティブアプローチ ・その他の 実践アプローチと課題	庄司 妃佐	
41-44	11/10	14:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	スーパービジョンとコン サルテーションの技術	・スーパービジョンの意義と目的、 方法と留意点 ・コンサルテーショ ン	庄司 妃佐	
45-48	11/24	14:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	ソーシャルワークのプロ セスの理解	・インテーク ・アセスメント ・プ ランニング ・インターベンショ ン ・モニタリング ・エバリュエー ション ・ターミネーション	庄司 妃佐	
49-52	12/1	14:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	ケースカンファレンスの 技術	・ケースカンファレンスの意義・目 的 ・運営と展開過程	庄司 妃佐	
53-56	1/12	14:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の記録Ⅰ	・記録の意義と定義 ・記録の方 法	庄司 妃佐	
57-60	1/19	14:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の記録Ⅱ	・記録の実際 ・記録を書く	庄司 妃佐	

成績評価の方法

- ・授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。
- ・実習態度、グループディスカッションの参加状況を評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

教科書

MINERVA 社会福祉士養成テキストブック／岩田正美, 大橋謙策, 白澤政和 監修: ミネルヴァ書房, 2010

MINERVA 社会福祉士養成テキストブック／岩田正美, 大橋謙策, 白澤政和 監修: ミネルヴァ書房, 2010

備考

担当教員(非常勤)

庄司妃佐 和洋女子大学

時間割番号	022082					
科目名	相談援助実習指導					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	1.5 通年(秋)	対象年次	3~4	単位数	2	
科目名:相談援助実習指導 時間数:3 学年 38 時間、4 学年 52 時間 授業形態:実習						
主な講義場所 口腔保健学科 第2 講義室						
授業の目的、概要等 ・社会福祉における相談援助実習の意義について理解する。 ・授業で学んだ専門知識と相談援助の具体的な実践を結びつけるとともに、実習後は実習体験を意識化し、体系立てていくことをめざす。						
授業の到達目標 ・社会福祉における相談援助実習の意義を事前に理解し、実習後は経験知として説明できる。 ・相談援助実習に係る個別指導並びに集団指導を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ实际的に体験し、経験知として説明できる。 ・社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得し、意識化できる。 ・具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化・理論化し、体系立てて整理できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-4	9/22	09:00-13:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助実習とは		遠藤 慶子
5-7	11/6	15:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室		高齢者施設	遠藤 慶子
8-10	11/13	15:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室		障害者施設	遠藤 慶子
11-13	11/27	15:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室		地域包括支援センター	遠藤 慶子
14-16	12/4	15:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室		病院実習	遠藤 慶子
17-18	12/11	15:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室		実習報告会のまとめと整理の仕方	遠藤 慶子
19-21	12/18	15:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室			遠藤 慶子
22-24	1/15	15:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室		実習に行く前の準備	遠藤 慶子
25	1/22	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室		アセスメントを行う理由 実習先 のアセスメントの活用	遠藤 慶子
26-29	1/26	14:00-17:50	口腔保健		実習先機関・施設等の地理的条件	遠藤 慶子

			学科第2 講義室		や関連する社会資源		
30	1/29	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室		利用者ニーズの理解 地域を理 解する必要性	遠藤 慶子	
31-33	2/9	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室		グループごとに発表	遠藤 慶子	
34-37	2/15	09:00-13:50	口腔保健 学科第2 講義室		実習目的の立て方 ・児童相談 所 ・児童養護施設	遠藤 慶子	
成績評価の方法							
事前・事後学習の成果による総合的評価を行う。(4年後期)							
準備学習などについての具体的な指示							
教科書							
Minerva 社会福祉士養成テキストブック／岩田正美, 大橋謙策, 白澤政和 監修, ミネルヴァ書房, 2009 ソーシャルワーク実践へのいざないーはじめての社会福祉士の実習							
編集: 日本社会事業大学実習教育研究・研修センター 出版社: 株式会社 日本医療企画							
参考書							
随時、実習関連資料を配付する。							

時間割番号	022083				
科目名	相談援助実習				
担当教員	遠藤 慶子				
開講時期	1.5 通年(秋)	対象年次	3~4	単位数	4
<p>科目名:相談援助実習 時間数:3 学年後期(春季集中)、4 学年(夏季集中) 実習日数(時間)は 24 日間(180 時間)・16 日間(120 時間)・8 日間(60 時間)以上のいずれか。 授業形態:実習 教員が週 1 回実習先を巡回する</p>					
主な講義場所					
社会福祉施設・機関					
授業の目的、概要等					
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士として求められる資質や倫理、相談援助に係る知識と技術について、具体的かつ实际的に理解し、支援に必要な技術を体得する。 					
授業の到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉分野における相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ实际的に経験し、実践的な技術等を経験知として整理できる。 ・社会福祉士として求められる資質、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を体験的に把握できる。 ・関連分野の専門職との連携のあり方や具体的内容を把握し、事後学習で整理できる。 					
成績評価の方法					
実習計画、実習記録ノート、実習報告書および実習指導者評価表により、総合的評価を行う。					
準備学習などについての具体的な指示					
<p>教科書 Minerva 社会福祉士養成テキストブック／岩田正美、大橋謙策、白澤政和 監修、:ミネルヴァ書房, 2009</p>					

第 4 学年
履修科目・ユニット

時間割番号	022063				
科目名	歯科衛生臨床実習				
担当教員	近藤 圭子				
開講時期	1.5 通年(秋)	対象年次	3~4	単位数	13
主な講義場所 歯学部附属病院					
授業の目的、概要等 ・歯科診療施設において、チーム医療の一員として、対象者本位の歯科予防処置・歯科保健指導・歯科診療の補助を実践するために必要な態度・知識・技術を習得する。					
授業の到達目標 ・対象者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出・整理する。 ・対象者の不安・不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。 ・歯科ユニット各部の名称と機能を説明できる。 ・診療に必要な器材を説明する。 ・診療室への患者の誘導を適切にできる。 ・対象者に挨拶して自己紹介できる。 ・対象者との信頼関係を築くことができる。 ・個人的、社会的背景等が異なる対象者に、わけへだてなく対応できる。 ・対象者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 ・必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 ・説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。 ・対象者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。 ・医療事故や潜在的医療事故(ニアミス)に関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる。 ・インフォームドコンセントを行うことができる。 ・対象者に応じた歯科予防処置を実施する。 ・対象者に応じた歯科保健指導を実施する。 ・対象者に応じた歯科診療補助を実施する。					
授業内容 ●3年生 ・臨床実習ガイダンスおよび予備実習 ・臨床実習(本実習) -口腔ケア実習 むし歯外来実習 歯周病外来実習 口腔外科外来実習 義歯外来実習 小児歯科外来実習 歯科放射線外来実習 中央器材室実習 ●4年生 ・臨床実習ガイダンス ・臨床実習(本実習) -口腔ケア実習 歯周病外来実習 矯正歯科外来実習 歯科麻酔外来実習 小児歯科外来実習 顎義歯外来実習					

インプラント外来実習
スペシャルケア外来1(高齢者歯科)実習
スペシャルケア外来2(障害者歯科)実習
病棟実習
歯科アレルギー外来実習
歯科心身医療外来実習
顎関節治療部実習
スポーツ歯科外来実習
息さわやか外来実習
検査部実習
薬剤部実習

成績評価の方法

- ・実習記録・実習報告書、出席状況、臨床実習指導者評価等により総合的評価を行う。
- ・実習態度・取組み、提出物の提出状況を総合的評価に加味する。
- ・提出レポート、課題発表等で総合的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

実習の詳細は「臨床実習の手引き」に示す。

実習前の目標の設定、予習、実施後の報告書作成、復習を行うこと。

教科書

:医歯薬出版

参考書

歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修,高阪利美 ほか著, :医歯薬出版, 2011
歯科診療補助論／可児徳子, 合場千佳子, 高阪利美 編, :医歯薬出版, 2007
歯の硬組織・歯髄疾患-保存修復・歯内療法／千田彰, 中村洋 ほか著, :医歯薬出版, 2010
歯周疾患／申基哲, 松井恭平, 白鳥たかみ 編, :医歯薬出版, 2006
顎・口腔粘膜疾患口腔外科・歯科麻酔／全国歯科衛生士教育協議会 監修,山根源之 ほか著, :医歯薬出版, 2011
咀嚼障害・咬合異常／全国歯科衛生士教育協議会 監修,氷室利彦 ほか著, :医歯薬出版, 2011
歯科放射線／全国歯科衛生士教育協議会 監修,岡野友宏 ほか著, :医歯薬出版, 2009
小児歯科／大嶋隆 ほか著, :医歯薬出版, 2009
障害者歯科／向井美恵 ほか 著, :医歯薬出版, 2013
臨床検査／井上孝 ほか著, :医歯薬出版, 2012
ISBN978-4-263-42835-1 高齢者歯科

履修上の注意事項

附属病院等では服装、態度等に留意すること。不適切な場合は実習停止とする場合がある。

時間割番号	022064				
科目名	歯科衛生臨地実習				
担当教員	近藤 圭子				
開講時期	1.5 通年(秋)	対象年次	3~4	単位数	5
科目名: 歯科衛生臨地実習 時間数 3 学年 45 時間、4 学年 180 時間 授業形態: 実習					
主な講義場所					
口腔保健学科 第3 講義室、学外施設、病院 等					
授業の目的、概要等					
歯科衛生活動を展開するために必要な知識、技術、態度を習得して、実践力を養う。					
授業の到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・地域、病院、企業における歯科衛生活動を説明する。 ・対象のニーズ判断に基づいた介入計画を立案する。 ・介入後の変化を評価する。 					
授業内容					
高齢者施設実習 1: 高齢者施設の概要、現状の理解、実習の意義と留意点 高齢者施設実習 2: 利用者、スタッフとのコミュニケーションのとり方 高齢者施設実習 3: 口腔の評価、介入計画、実践 訪問診療実習 1: オリエンテーション、訪問資料の概要 訪問診療実習 2: 事前情報収集・整理、口腔ケア計画 訪問診療実習 3: 実践・評価 入院患者のケア 1: 医学部附属病院入院患者の口腔ケア 入院患者のケア 2: 看護師の仕事、患者との関わり、口腔ケアの実際 入院患者のケア 3: 実習報告書の作成、事後評価					
成績評価の方法					
授業への取り組み、出席状況、報告書、期末試験を基に総括的評価を行う。					
準備学習などについての具体的な指示					
参考書					
臨地実習 handbook / 眞木吉信, 合場千佳子, 船奥律子, 北原稔, 白田チヨ 監著, :クインテッセンス出版, 2009 臨床実習 hand book / 眞木吉信, 藤原愛子, 高阪利美, 石井実和子, 泉野裕美 監著, :クインテッセンス出版, 2010					
備考					
<ul style="list-style-type: none"> ・学外実習時の服装、態度、言葉遣いに留意する。 ・実習への取り組み、出席状況、報告書の提出状況などが不適切な場合には、実習停止とすることがある。 					

時間割番号	022073					
科目名	卒業研究					
担当教員	古屋 純一					
開講時期	2年通年	対象年次	3~4	単位数	4	
科目名:卒業研究 時間数:3 学年 82 時間、4 学年 98 時間 授業形態:演習・講義						
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室 他						
授業の目的、概要等 各学生の知的興味、将来の方向性に沿ってテーマを選択し、計画・立案に基づいて研究を実施する。さらに結果を論文にまとめて十分考察することにより、研究への理解と意欲を培う。						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の知的興味、将来の方向性に沿って研究テーマが設定できる。 ・研究テーマに対応した論文の検索と科学的吟味を行い、これまでの知見が整理できる。 ・EBM・EBHC の概念を説明できる。 ・知見や問題点に基づいた研究の計画・立案ができる。 ・実験・調査などの研究を実施できる。 ・実験・調査などの結果を分析整理し、統計学的な解析ができる。 ・結果に基づき、新たな問題点と課題を抽出、提起できる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	6/9	10:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究の進め方・研究 テーマの決め方の説明(講義)	卒業研究の進め方・研究テーマの 決め方の説明(講義)	古屋 純一
3-4	6/27	16:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	各教員のテーマ例の講 義①	各教員のテーマ例の講義①	古屋 純一
5	7/4	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	各教員のテーマ例の講 義②	各教員のテーマ例の講義②	古屋 純一
6-7	7/12	16:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	各教員のテーマ例の講 義③	各教員のテーマ例の講義③	古屋 純一
8	7/19	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	文献検索の説明(講義)	文献検索の説明(講義)	古屋 純一
9	7/25	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	テーマ考案・文献検索 (各自)	テーマ考案・文献検索(各自)	古屋 純一
10	7/26	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	テーマ考案・文献検索 (各自)	テーマ考案・文献検索(各自)	古屋 純一
11	9/28	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	テーマ考案・文献検索 (各自)	テーマ考案・文献検索(各自)	古屋 純一
12	9/29	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	文献検索(各自)	文献検索(各自)	古屋 純一

13	10/3	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	文献検索(各自)	文献検索(各自)	古屋 純一
14	10/4	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	文献検索(各自)	文献検索(各自)	古屋 純一
15	10/5	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	文献検索(各自)	文献検索(各自)	古屋 純一
16	10/6	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	文献検索(各自)	文献検索(各自)	古屋 純一
17	10/11	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	文献検索(各自)	文献検索(各自)	古屋 純一
18	10/12	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	文献検索(各自)	文献検索(各自)	古屋 純一
19	10/13	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	文献検索(各自)	文献検索(各自)	古屋 純一
20	10/17	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	文献検索(各自)	文献検索(各自)	古屋 純一
21	10/18	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	文献検索(各自)	文献検索(各自)	古屋 純一
22	10/19	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	文献検索(各自)	文献検索(各自)	古屋 純一
23	10/20	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	文献検索(各自)	文献検索(各自)	古屋 純一
24-26	10/21	14:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	検索した文献のプレゼン	検索した文献のプレゼン	古屋 純一
27	10/24	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	テーマ再考(各自)	テーマ再考(各自)	古屋 純一
28	10/25	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	テーマ再考(各自)	テーマ再考(各自)	古屋 純一
29	10/26	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	テーマ再考(各自)	テーマ再考(各自)	古屋 純一
30	10/27	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	テーマ再考(各自)	テーマ再考(各自)	古屋 純一
31-33	10/28	14:00-16:50	口腔保健	テーマに関する面談	テーマに関する面談	古屋 純一

			学科第2 講義室			
34	10/31	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	テーマ再考・研究立案 (各自)	テーマ再考・研究立案(各自)	古屋 純一
35	11/1	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	テーマ再考・研究立案 (各自)	テーマ再考・研究立案(各自)	古屋 純一
36	11/2	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	テーマ再考・研究立案 (各自)	テーマ再考・研究立案(各自)	古屋 純一
37	11/8	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	テーマ再考・研究立案 (各自)	テーマ再考・研究立案(各自)	古屋 純一
38	11/9	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	テーマ再考・研究立案 (各自)	テーマ再考・研究立案(各自)	古屋 純一
39	11/10	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	テーマ再考・研究立案 (各自)	テーマ再考・研究立案(各自)	古屋 純一
40	11/15	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	テーマ再考・研究立案 (各自)	テーマ再考・研究立案(各自)	古屋 純一
41	11/16	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	テーマ再考・研究立案 (各自)	テーマ再考・研究立案(各自)	古屋 純一
42	11/17	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	テーマ再考・研究立案 (各自)	テーマ再考・研究立案(各自)	古屋 純一
43-45	11/18	14:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	担当分野・教員に関する 面談	担当分野・教員に関する面談	古屋 純一
46	11/21	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	担当分野・教員との相談 (事前にアポイントをと ること)	担当分野・教員との相談(事前に アポイントをとること)	古屋 純一
47	11/22	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	担当分野・教員との相談 (事前にアポイントをと ること)	担当分野・教員との相談(事前に アポイントをとること)	古屋 純一
48	11/24	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	担当分野・教員との相談 (事前にアポイントをと ること)	担当分野・教員との相談(事前に アポイントをとること)	古屋 純一
49	11/29	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	担当分野・教員との相談 (事前にアポイントをと ること)	担当分野・教員との相談(事前に アポイントをとること)	古屋 純一
50	11/30	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	担当分野・教員との相談 (事前にアポイントをと ること)	担当分野・教員との相談(事前に アポイントをとること)	古屋 純一
51	12/1	17:00-17:50	口腔保健 学科第2	担当分野・教員との相談 (事前にアポイントをと	担当分野・教員との相談(事前に アポイントをとること)	古屋 純一

			講義室	ること)		
52	12/6	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	担当分野・教員との相談 (事前にアポイントをと ること)	担当分野・教員との相談(事前に アポイントをとること)	古屋 純一
53	12/7	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	担当分野・教員との相談 (事前にアポイントをと ること)	担当分野・教員との相談(事前に アポイントをとること)	古屋 純一
54	12/8	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	担当分野・教員との相談 (事前にアポイントをと ること)	担当分野・教員との相談(事前に アポイントをとること)	古屋 純一
55	12/13	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	担当分野・教員との相談 (事前にアポイントをと ること)	担当分野・教員との相談(事前に アポイントをとること)	古屋 純一
56	12/14	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	担当分野・教員との相談 (事前にアポイントをと ること)	担当分野・教員との相談(事前に アポイントをとること)	古屋 純一
57	12/15	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	担当分野・教員との相談 (事前にアポイントをと ること)	担当分野・教員との相談(事前に アポイントをとること)	古屋 純一
58-65	12/16	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	4年生の卒業研究発表 聴講	4年生の卒業研究発表 聴講	古屋 純一
66	12/20	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	担当分野・教員との相談 (事前にアポイントをと ること)	担当分野・教員との相談(事前に アポイントをとること)	古屋 純一
67	12/21	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	担当分野・教員との相談 (事前にアポイントをと ること)	担当分野・教員との相談(事前に アポイントをとること)	古屋 純一
68	12/22	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	担当分野・教員との相談 (事前にアポイントをと ること)	担当分野・教員との相談(事前に アポイントをとること)	古屋 純一
69-72	2/8	13:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	担当教員とテーマ・具体 的計画立案	担当教員とテーマ・具体的計画立 案	古屋 純一
73-74	2/14	15:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	担当教員とテーマ・具体 的計画立案・研究開始	担当教員とテーマ・具体的計画立 案・研究開始	古屋 純一
75-77	2/17	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	担当教員とテーマ・具体 的計画立案・研究開始	担当教員とテーマ・具体的計画立 案・研究開始	古屋 純一
78-82	2/17	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	担当教員とテーマ・具体 的計画立案・研究開始	担当教員とテーマ・具体的計画立 案・研究開始	古屋 純一
83-85	5/2	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	4年生の卒業研究のタイ ムスケジュール(講義)	4年生の卒業研究のタイムスケジ ュール	古屋 純一
86-90	5/2	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究(各自)	担当教員と相談し、卒業研究を進 める	古屋 純一

91-97	7/21	09:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究中間発表	卒業研究中間発表	古屋 純一
98-10 5	9/12	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究(各自)	担当教員と相談し、卒業研究を進める	古屋 純一
106-1 13	9/13	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究(各自)	担当教員と相談し、卒業研究を進める	古屋 純一
114-1 21	10/23	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究(各自)	担当教員と相談し、卒業研究を進める	古屋 純一
122-1 29	11/6	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究(各自)	担当教員と相談し、卒業研究を進める	古屋 純一
130-1 34	11/20	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究(各自)	担当教員と相談し、卒業研究を進める	古屋 純一
135-1 42	11/27	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究(各自)	担当教員と相談し、卒業研究を進める	古屋 純一
143-1 45	12/1	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究(各自)	担当教員と相談し、卒業研究を進める	古屋 純一
146-1 52	12/4	10:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究(各自)	担当教員と相談し、卒業研究を進める	古屋 純一
153-1 60	12/11	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究(各自)	担当教員と相談し、卒業研究を進める	古屋 純一
161-1 68	12/15	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究発表会	卒業研究発表会	古屋 純一
169-1 76	12/18	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究(各自)	卒業論文作成	古屋 純一
177-1 79	12/21	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究(各自)	卒業論文作成	古屋 純一
180-1 84	12/21	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究(各自)	卒業論文作成	古屋 純一
185-1 92	12/22	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究(各自)	卒業論文作成	古屋 純一

成績評価の方法

- ・単位認定(4単位)は4学年終了時に行う。
- ・単位認定は、3年次から各課題(論文抄録、研究計画書、中間発表会プレゼンテーションファイル、成果報告会プレゼンテーションファイル、卒業研究論文ファイル)の期限内提出、研究計画書・中間発表会プレゼンテーション・成果報告会プレゼンテーション・論文について

<p>の総括的評価により行う。</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>研究テーマを考え、それに関する文献を検索し、文献を読んでおくこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>卒業研究の発表および卒業論文を提出すること</p>
<p>参考書</p> <p>卒業研究 HAND BOOK／眞木吉信 監著,薄井由枝,品田佳世子,白鳥たかみ,杉原直樹,田村清美,松田裕子 著.:クインテッセンス出版, 2011</p> <p>SPSS による医学・歯学・薬学のための統計解析／石村貞夫, 謝承泰, 久保田基夫 著.:東京図書, 2011</p> <p>SPSS で学ぶ医療系多変量データ解析／対馬栄輝 著.:東京図書, 2008</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保健・医療のための研究法入門」、朝倉隆司監訳、協同医書出版社 ・「歯科衛生研究の進め方、論文の書き方」、金澤紀子、武井典子、合場千佳子、岩久正明 編、医歯 薬出版 ・「医薬研究者の視点からみた道具としての統計学」、奥田千恵子、金芳堂
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に指導教員、副指導教員と密接な連絡をとり、助言を得ながら研究を進めること。

時間割番号	022082				
科目名	相談援助実習指導				
担当教員	遠藤 慶子				
開講時期	1.5 通年(秋)	対象年次	3~4	単位数	2
科目名:相談援助実習指導 時間数:3 学年 38 時間、4 学年 52 時間 授業形態:実習					
主な講義場所					
口腔保健学科 第2 講義室					
授業の目的、概要等					
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉における相談援助実習の意義について理解する。 ・授業で学んだ専門知識と相談援助の具体的な実践を結びつけるとともに、実習後は実習体験を意識 化し、体系立てていくことをめざす。 					
授業の到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉における相談援助実習の意義を事前に理解し、実習後は経験知として説明できる。 ・相談援助実習に係る個別指導並びに集団指導を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的 かつ実際的に体験し、経験知として説明できる。 ・社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応でき る能力を習得し、意識化できる。 ・具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化・理論化し、体系立てて整理できる。 					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-3	11/7	15:00-17:50	口腔保健学科 第3講義室	オリエンテーションとは	遠藤 慶子
4-6	11/14	15:00-17:50	口腔保健学科 第3講義室	相談援助実習とは	遠藤 慶子
7-9	11/28	15:00-17:50	口腔保健学科 第3講義室	相談援助実習とは	遠藤 慶子
10-12	12/5	15:00-17:50	口腔保健学科 第3講義室	相談援助実習とは	遠藤 慶子
13-20	12/9	09:00-17:50	口腔保健学科 第3講義室	施設見学	遠藤 慶子
21-23	12/12	15:00-17:50	口腔保健学科 第3講義室	相談援助実習とは	遠藤 慶子
24-26	12/19	15:00-17:50	口腔保健学科 第3講義室	相談援助実習の進め方	遠藤 慶子
27-29	1/16	15:00-17:50	口腔保健学科 第3講義室	相談援助実習の進め方	遠藤 慶子
30	1/23	17:00-17:50	口腔保健学科 第3講義室	配属実習とは	遠藤 慶子
31	1/30	17:00-17:50	口腔保健学科 第3講義室	配属実習とは	遠藤 慶子
32-34	2/10	09:00-11:50	口腔保健学科 第3講義室	配属実習とは	遠藤 慶子
35-38	2/16	09:00-13:50	口腔保健学科 第3講義室	配属実習とは	遠藤 慶子
39-40	4/17	16:00-17:50	口腔保健学科 第2講義室	オリエンテーション	遠藤 慶子
41-42	4/24	16:00-17:50	口腔保健学科	実習報告会①	遠藤 慶子

			第2講義室		
43-44	5/1	16:00-17:50	口腔保健学科 第2講義室	実習報告会②	遠藤 慶子
45-46	5/8	16:00-17:50	口腔保健学科 第2講義室	実習報告会③	遠藤 慶子
47-48	5/15	16:00-17:50	口腔保健学科 第2講義室	実習報告会④	遠藤 慶子
49-50	5/22	16:00-17:50	口腔保健学科 第2講義室	実習報告会⑤	遠藤 慶子
51-52	5/29	16:00-17:50	口腔保健学科 第2講義室	春実習のまとめ	遠藤 慶子
53-54	6/5	16:00-17:50	口腔保健学科 第2講義室	夏季実習の準備	遠藤 慶子
55-56	6/12	16:00-17:50	口腔保健学科 第2講義室	実習先のアセスメント	遠藤 慶子
57-58	6/19	16:00-17:50	口腔保健学科 第2講義室	地域調べ①	遠藤 慶子
59-61	7/14	15:00-17:50	口腔保健学科 第2講義室	地域調べ② 発表	遠藤 慶子
62-66	7/28	09:00-14:50	口腔保健学科 第2講義室	実習中の学習計画①	遠藤 慶子
67-70	9/8	13:00-16:50	口腔保健学科 第2講義室	実習中の学習計画②	遠藤 慶子
71-78	9/21	09:00-17:50	口腔保健学科 第2講義室	実習報告会準備	遠藤 慶子
79-85	9/27	09:00-16:50	口腔保健学科 第2講義室	実習報告会	遠藤 慶子
86-90	9/28	13:00-17:50	口腔保健学科 第2講義室	まとめ	遠藤 慶子

成績評価の方法

事前・事後学習の成果による総合的評価を行う。(4年後期)

準備学習などについての具体的な指示

教科書

Minerva 社会福祉士養成テキストブック／岩田正美, 大橋謙策, 白澤政和 監修, ミネルヴァ書房, 2009

ソーシャルワーク実践へのいざないーはじめての社会福祉士の実習

編集: 日本社会事業大学実習教育研究・研修センター

出版社: 株式会社 日本医療企画

参考書

随時、実習関連資料を配付する。

連絡先

遠藤 慶子 k-endo.ohcw@tmd.ac.jp

オフィスアワー

遠藤 慶子 随時

時間割番号	022083				
科目名	相談援助実習				
担当教員	遠藤 慶子				
開講時期	1.5 通年(秋)	対象年次	3~4	単位数	4
<p>科目名:相談援助実習 時間数:3 学年後期(春季集中)、4 学年(夏季集中) 実習日数(時間)は 24 日間(180 時間)・16 日間(120 時間)・8 日間(60 時間)以上のいずれか。 授業形態:実習 教員が週 1 回実習先を巡回する</p>					
主な講義場所					
社会福祉施設・機関					
授業の目的、概要等					
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士として求められる資質や倫理、相談援助に係る知識と技術について、具体的かつ实际的に理解し、支援に必要な技術を体得する。 					
授業の到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉分野における相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ实际的に経験し、実践的な技術等を経験知として整理できる。 ・社会福祉士として求められる資質、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を体験的に把握できる。 ・関連分野の専門職との連携のあり方や具体的内容を把握し、事後学習で整理できる。 					
成績評価の方法					
実習計画、実習記録ノート、実習報告書および実習指導者評価表により、総合的評価を行う。					
準備学習などについての具体的な指示					
教科書					
Minerva 社会福祉士養成テキストブック／岩田正美、大橋謙策、白澤政和 監修、:ミネルヴァ書房, 2009					
連絡先					
遠藤 慶子 k-endo.ohcw@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
遠藤 慶子 随時					

時間割番号	022084				
科目名	歯科衛生臨床・臨地応用実習				
担当教員	近藤 圭子				
開講時期	通年	対象年次	4	単位数	1
科目名: 歯科衛生臨床・臨地応用実習					
授業の目的、概要等					
既習の臨床実習および臨地実習で関心を抱いた場での実習、ボランティア活動、また学会等への参加を通して、その領域に関する知識を深め、技能を高める。 特別な配慮が必要な対象者に対して、対象者本位の口腔保健活動を実施するための、態度、知識、技術を習得する。					
授業の到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・対象者の身体的・精神的・社会的特性を配慮して、生活上の問題を抽出、整理する。 ・対象者の価値観の多様性を理解して、対応する。 ・利用者の心理状態や体調の変化に対応する。 ・歯科衛生過程の各段階の意味を理解して、実施する。 ・評価結果から、今後の課題を設定する。 ・専門職間の連携について説明する。 					
授業内容					
<p>ボランティア活動: 高齢者施設、地域のイベント参加</p> <p>学会: 歯科衛生分野の学会、関連学会参加</p> <p>歯科関連セミナー: 産業保健研究会、大学院講義、その他への参加</p> <p>デンタルショー: 歯科関連の企業展示見学</p> <p>報告書の作成: 活動報告書</p> <p>就職支援セミナー: 専攻、学科等におけるセミナー出席</p>					
準備学習などについての具体的な指示					

時間割番号	022085					
科目名	全身と口腔の健康評価					
担当教員	安田 昌代					
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	1	
科目名:全身と口腔の健康評価 時間数:45 時間 授業形態:講義・実習・演習						
主な講義場所 口腔保健学科第2 講義室(1号館7階)						
授業の目的、概要等 多様な患者に対して健康評価を行い、当該患者に対する医療・歯科医療内容を理解するとともに、歯科衛生過程に基づいて、歯科衛生活動を展開できる知識と応用力を修得する。						
授業の到達目標 1.各種疾患患者の医科疾患、歯科疾患の概要を説明できる。 2.個々の症例の臨床検査結果を説明できる。 3.歯科衛生過程に基づき、必要な医療情報を収集できる。 4.個々の症例に対して、歯科衛生診断を行い、歯科衛生活動計画を立案できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/7	09:00-09:50	口腔保健 学科第2 講義室	序論	歯科衛生活動における 健康評価①	安田 昌代
2-3	4/7	10:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	健康評価1	心身症患者の健康評価	豊福 明
4-6	4/21	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	健康評価2	顎関節症患者の健康評価	西山 暁
7-9	5/12	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	健康評価3	歯科衛生活動における 健康評価②	安田 昌代
10-12	5/19	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	健康評価4	口臭症患者の健康評価	品田 佳世子
13-15	5/26	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	健康評価5	国際歯科保健における健康評価	安田 昌代
16-18	6/2	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	健康評価6	障害のある患者の健康評価	楠本 康香
19-21	6/9	13:00-15:50	口腔保健 学科第1 講義室	健康評価7	小児患者の健康評価	宮新 美智世
22-24	6/16	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	健康評価8	歯科衛生活動における健康評価③	安田 昌代
25-27	6/23	13:00-15:50	口腔保健 学科第2	健康評価9	インプラント患者の健康評価	黒田 真司

			講義室			
28-30	6/30	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	健康評価10	歯科矯正患者の健康評価	辻 美千子
31-33	10/20	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	健康評価11	睡眠時無呼吸症候群患者の健康 評価	秀島 雅之
34-36	10/27	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	健康評価12	医病入院患者の健康評価と歯科 衛生士の介入	安田 昌代
37-39	11/10	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	健康評価13	口腔がんの健康評価	富岡 寛文
40-42	11/17	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	健康評価14	大災害時における歯科から見た 健康評価	中久木 康一
43-45	11/24	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	試験	試験	安田 昌代
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ● 講義最終日に記述試験を行い、総括的評価を行う。 ● 講義への出席状況も評価に加味する ● 受験資格は、東京医科歯科大学歯学部試験規則に順ずる。 						
準備学習などについての具体的な指示						
・事前に配布資料や e-learning へのアップロード等があった場合には、各自予習して授業に臨むこと。						
試験の受験資格						
全講義の 2/3 以上出席していること。						

時間割番号	022086						
科目名	顎口腔機能の育成と回復						
担当教員	小原 由紀						
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	1		
主な講義場所							
口腔保健学科第2講義室							
授業の目的、概要等							
顎口腔機能の発達および顎口腔機能の評価、障害への対応方法を理解する。							
授業の到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・摂食・嚥下機能の発達、非栄養的吸綴行動と口腔習癖を概説する。 ・口腔筋機能療法の基本理論と流れを概説する。 ・口腔筋機能の評価法、口腔筋機能療法の手技を説明する。 ・摂食嚥下機能の遅滞、重症障害児の摂食訓練を概説する。 ・摂食・嚥下障害および言語障害の病因・病態・障害を説明する。 ・摂食・嚥下障害および言語障害の治療・管理の必要性和流れを説明する。 ・摂食・嚥下障害を有する患者の口腔清掃及び保健指導を説明する。 ・摂食・嚥下障害および言語障害に対する訓練法を説明する。 ・摂食・嚥下障害のある患者への食事の対応を説明する。 ・摂食・嚥下障害および言語障害に対するチーム医療を説明する。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/10	09:00-09:50	口腔保健 学科第2 講義室	リハビリテーション総論	国際生活機能分類、リハビリテーションとは 摂食嚥下機能の基本(復習)	小原 由紀	
2-3	4/10	10:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	たべる機能の獲得	摂食機能の獲得過程	浅川 剛吉	
4-6	4/17	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	発達障害児の食べる機能 発達障害とその対応	顎口腔の先天異常と摂食機能の発達、唇顎口蓋裂児の哺乳と離乳、Hotz 床の目的・構造および治療効果、術前鼻齒槽形成法(PNAM)、家族・本人への精神的支援	落合 聡	
7-9	4/24	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	摂食嚥下機能の遅滞 重症障害児の摂食訓練	摂食嚥下機能の発達遅滞、遅滞を助長する外部環境因子、異常パターンの定着、重症心身障害児の摂食訓練	浅川 剛吉	
10-11	5/1	09:00-10:50	口腔保健 学科第2 講義室	広汎性発達障害児・者への歯科治療の実際	広汎性発達障害児療育の概要と歯科治療	浅川 剛吉	
12	5/1	11:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	広汎性発達障害児・者に対する行動調整法と口腔健康教育	TEACHH 法、PECS 法、歯科診療の構造化、自閉症児歯科治療と口腔健康教育	安田 昌代	
13-15	5/8	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	介護予防	フレイルとサルコペニア 口腔機能管理の重要性	小原 由紀	
16-18	5/15	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	言語障害 1	言語障害の評価と診断 小児・発達期の支援	大庭 優香	

19-21	5/22	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	摂食嚥下障害 1	摂食・嚥下障害の特徴と問題点	戸原 玄	
22-24	5/29	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	摂食嚥下障害 2	摂食・嚥下障害の診療	戸原 玄	
25-27	6/5	09:00-11:50	口腔保健 学科第1 講義室	言語障害 2	言語障害に対する治療・指導	大庭 優香	
28-30	6/12	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	摂食嚥下リハビリテーシ ョン 1	口腔機能評価実習	小原 由紀	相互実習の身だ しなみ
31-33	6/19	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	摂食嚥下リハビリテーシ ョン 2	間接訓練と直接訓練	小原 由紀	相互実習の身だ しなみ
34-36	6/26	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	摂食嚥下リハビリテーシ ョン 3	課題演習 摂食嚥下リハビリテー ションにおける歯科衛生士の関わ り情報収集から実践、評価まで	小原 由紀	
37-39	7/3	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	栄養管理と食支援	口腔機能に応じた食形態と食事環 境の設定	豊島 瑞枝	
40-42	7/10	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	認知症高齢者の食支援	認知症の病態と食べる機能の障 害 支援のあり方	平野 浩彦	
43-45	7/24	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	まとめ	事例学習 教材演習	小原 由紀	

成績評価の方法

- ・期末試験で総括的評価を行う。
- ・課題レポート、出席状況、授業態度を総括的評価に加味する

準備学習などについての具体的な指示

- ・解剖学、生理学の基礎学はもちろん、小児歯科学、口腔外科学、障害者歯科学等、臨床科目で履修した事項を復習しておくこと。

試験の受験資格

歯学部規則に準ずる

教科書

歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション／金子芳洋 編、日本歯科衛生士会 監修：医歯薬出版、2011
 スペシャルニーズデンティストリーハンドブック 障害者歯科医療ハンドブック改訂版／公益社団法人東京都歯科医師会 監修、2015

連絡先

ohara.pvoh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時

時間割番号	022087					
科目名	相談援助演習Ⅱ					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	2	
科目名:相談援助演習Ⅱ						
授業の目的、概要等						
社会福祉における相談援助の知識と技術に関わる他の科目との関連性も視野に入れつつ、歯科衛生士に求められる相談援助の係る知識と技術について実践的に修得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を滋養する。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助の特徴を説明することができる。 ・相談援助の内容・方法・プロセスを説明することができる。 ・相談援助に関する実践上の課題について、自ら意見を述べるすることができる。 ・相談援助と口腔保健における実践の関連性について興味や関心をもち、自分から調べ、考える態度をもつ。 ・相談援助実習に向けた自分の興味や関心を持ったことと学習課題を説明することができる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	4/17	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談の技法を身につけるⅠ	高齢者	遠藤 慶子, 後山 恵理子
4-6	4/24	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談の技法を身につけるⅡ	障害者	遠藤 慶子, 後山 恵理子
7-9	5/1	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談の技法を身につけるⅢ	こども	遠藤 慶子, 後山 恵理子
10-12	5/8	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談の技法を身につけるⅣ	多問題家族	遠藤 慶子, 後山 恵理子
13-15	5/15	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談の技法を身につけるⅤ	チームアプローチ	遠藤 慶子, 後山 恵理子
16-18	5/22	13:00-15:50	口腔保健 学科第1 講義室	相談の技法を身につけるⅥ	ネットワーキング	遠藤 慶子, 後山 恵理子
19-21	5/29	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助技法の応用Ⅰ	事例に基づくロールプレイ①	遠藤 慶子, 後山 恵理子
22-24	6/5	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助技法の応用Ⅱ	事例に基づくロールプレイ②	遠藤 慶子, 後山 恵理子
25-27	6/12	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助技法の応用Ⅲ	事例に基づくロールプレイ③	遠藤 慶子, 後山 恵理子
28-30	6/19	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助技法の応用Ⅳ	事例に基づくロールプレイ④	遠藤 慶子, 後山 恵理子
31-35	6/26	13:00-17:50	口腔保健 学科第2	相談援助の実際Ⅰ	相談援助における個別援助技術による活用(電車の中で)	遠藤 慶子, 福喜多 恭子

			講義室				
36-40	7/3	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助技法の応用 V	事例に基づくロールプレイ⑤	遠藤 慶子, 福喜多 恭子	
41-42	7/7	13:00-14:50	口腔保健 学科第2 講義室	まとめ	相談援助における個別援助技術 による活用	遠藤 慶子, 古屋 純一	
43-47	7/10	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の実際Ⅱ	食事と栄養問題	遠藤 慶子, 田中 弥生	
48-55	7/14	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助技法の応用 VI	事例に基づくロールプレイ⑥	遠藤 慶子, 小畑 万里	
56-60	7/24	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の実際Ⅲ	相談援助における個別援助技術 による活用(診療室)	遠藤 慶子, 福喜多 恭子	

成績評価の方法

- ・授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。
- ・グループディスカッション(事例検討など)の参加状況を評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

備考

担当教員(非常勤)

田中弥生 駒澤女子大学

小畑万里 日本社会事業大学通信教育科 社会福祉士養成課程

後山恵理子 後山社会福祉士事務所

福喜多恭子 神奈川県視覚障害者福祉協会

時間割番号	022088				
科目名	口腔疾患予防学演習				
担当教員	近藤 圭子				
開講時期	通年	対象年次	4	単位数	1
授業の目的、概要等					
口腔機能の変化を理解し、対象の生活背景・口腔状況に応じた口腔疾患の予防のための方法および技術を習得する。					
授業の到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・対象の口腔の現状を概説する。 ・対象の口腔の変化を概説する。 ・口腔疾患と機能に応じた処置の選択・応用を考える。 ・口腔疾患とその背景について概説する。 					
授業内容					
隣地・臨床における応用 講義、演習、基礎実習					
成績評価の方法					
試験によって総括的評価を行う。 課題レポート、出席状況、授業態度を総括的に加味する。					
準備学習などについての具体的な指示					
試験の受験資格					
全履修時間の4分3以上出席する。 課題レポートをすべて提出する。					

時間割番号	022089				
科目名	口腔健康教育演習				
担当教員	近藤 圭子				
開講時期	通年	対象年次	4	単位数	1
科目名:口腔健康教育演習					
主な講義場所 口腔保健学科第2講義室					
授業の目的、概要等 口腔機能の変化を理解し、対象の生活背景、口腔状況に応じた口腔機能の保持・増進のための方法および技術を習得する。					
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・対象の口腔機能の変化を概説する。 ・口腔の健康維持・増進の必要性を概説する。 ・口腔機能評価法を説明する。 ・口腔機能に応じた食形態や障害に応じた食具を説明する。 ・疾病や障害に応じた食事摂取法を説明する。 ・口腔ケア支援の方法を概説する。 					
授業内容 様々な場における健康教育(保健指導)の計画立案・成果について、臨床実習期間に組み込んで講義・演習を行う。					
成績評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・試験によって総括的評価を行う。 ・課題レポート、出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 					
準備学習などについての具体的な指示					

時間割番号	022090				
科目名	臨床口腔保健衛生基礎学演習				
担当教員	近藤 圭子				
開講時期	通年	対象年次	4	単位数	1
授業の目的、概要等					
歯科臨床における歯科衛生士の役割を考え、応用に必要な知識と技術および態度を習得する。					
授業の到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医療における歯科衛生士の役割をもとに考える。 ・さまざまな場の診療に必要な機械・材料・薬品の適切な準備と取り扱いを行う。 ・患者の安全と安心を確保する方法を考える。 ・チーム医療に必要な技能を応用する方法を考える。 					
授業内容					
臨床口腔保健衛生学:隣地・臨床における応用 - 講義、演習、基礎実習					
成績評価の方法					
試験によって総括的評価を行う。 課題レポート、出席状況、授業態度を総括的に加味する。					
準備学習などについての具体的な指示					
試験の受験資格					
全履修時間の4分3以上出席する。 課題レポートをすべて提出する。					

時間割番号	022091					
科目名	公的扶助					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	2	
科目名:公的扶助						
授業の目的、概要等						
<p>社会保障・社会福祉の基盤をなす公的扶助について理解する。</p> <p>現代社会が生み出す貧困・低所得問題に対処するための一連の制度的な取り組みを理解する。</p>						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・公的扶助の概念と範囲、意義と役割について説明することができる。 ・貧困・低所得者対策の歴史的展開から社会福祉の課題について、自らの意見を具体的に述べることができる。 ・生活保護制度やさまざまな低所得者対策の制度的仕組みを学び、生活保護制度の最近の動向や生活保護の運営実施体制について説明できる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-8	9/7	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	公的扶助の概念 公的 扶助の歴史	公的扶助の概念と範囲、公的扶助 の意義と役割 海外の歴史、日本 の歴史、貧困・低所得者対策の動 向	西田 ちゆき
9-16	9/14	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	生活保護制度の動向 低所得者対策	保護の開始・廃止の動向、医療扶 助・介護扶助の動向 生活保護の 運営実施体制と関係機関・団体	西田 ちゆき
17-24	9/15	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	生活保護制度の仕組み 最低生活保障水準と生 活保護基準	生活保護法の構成、目的と原理・ 原則、保護の種類 最低生活保障 水準と生活保護基準の考え方	西田 ちゆき
25-30	9/25	09:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	貧困・低所得者に対する 相談援助活動 生活保 護における自立	相談援助活動、他機関・他職種と の連携・協働 自立支援プログラ ムの位置づけ	西田 ちゆき
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。 ・グループディスカッション(事例検討など)の参加状況を評価に加味する。 ・定期試験を実施し、総合的に評価する。 						
準備学習などについての具体的な指示						
教科書						
<p>新・社会福祉士養成講座／社会福祉士養成講座編集委員会 編集, 中央法規出版, 2014</p> <p>16</p> <p>低所得者に対する支援と生活保護制度 第3版</p>						
備考						
<p>(非常勤)</p> <p>西田ちゆき 日本社会事業大学通信教育科 社会福祉士養成課程</p>						

時間割番号	022092				
科目名	コミュニティーワーク				
担当教員	遠藤 慶子				
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	2

科目名:コミュニティーワーク

授業の目的、概要等

コミュニティーワークの成果としてコミュニティーケアの実態を知ること、コミュニティーワークの意義と手段を理解する。
施設見学も行う。

授業の到達目標

- ・コミュニティーワークを概説できる。
- ・障害者の地域生活の実態について学ぶ。
- ・高齢者の地域生活の実態について学ぶ。
- ・地域の福祉社会資源について調べる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	9/8	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	オリエンテーション コ ミュニティーケアとは 障 害者の地域生活 高齢 者の地域生活 フィー ルドワークの準備	講義内容の説明 文献購読 視 聴覚資料を用いての講義	遠藤 慶子, 小嶋 珠実
4-11	9/11	09:00-17:50		フィールドワーク I	福祉施設の見学とニーズ調査(高 齢者)	遠藤 慶子, 小嶋 珠実
12-19	9/22	09:00-17:50		フィールドワーク II	福祉施設の見学とニーズ調査(障 害者)	小嶋 珠実
20-27	9/26	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	発表準備	グループワーク	遠藤 慶子
28-30	9/28	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	発表	グループワークと講義	遠藤 慶子, 小嶋 珠実

成績評価の方法

- ・授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。
- ・グループディスカッション(事例検討など)の参加状況を評価に加味する。
- ・定期試験を実施し、総合的に評価する。

準備学習などについての具体的な指示

備考

事前に資料の配付、e-learning システム上へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。また、学習する内容について各自で参考文献を読み、理解を深めること。

担当教員(非常勤)

小嶋珠実 ルーテル学院大学

時間割番号	022093					
科目名	相談援助演習Ⅲ					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	後期	対象年次	4	単位数	2	
主な講義場所						
1号館西 口腔保健学科 第2講義室						
授業の目的、概要等						
社会福祉における相談援助知識と技術に関わる他科科目と関連性も視野に入れつつ、社会福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について実践的に修得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を滋養する。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉援助口特徴を説明することができる。 ・社会福祉援助口内容・方法プロセスを説明することができる。 ・社会福祉援助に関する実践上課題について、自ら意見述べることができる。 ・社会福祉援助と口腔保健における実践関連性に興味関心をもち、自ら調べ、考える態度をもつ。 ・社会福祉相談援助実習に向けた自ら興味関心と学習課題を説明することができる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-7	8/28	09:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の技術の基礎 1	コミュニケーション技術の習得	堀 千鶴子
8-14	8/29	09:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の技術の基礎 2	面接技術の習得	堀 千鶴子
15-21	8/30	09:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の技術の基礎 3	相談実践における価値と倫理	堀 千鶴子
22-28	9/4	09:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の技術の応用 1	相談援助技術の活用①	堀 千鶴子
29-36	10/6	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の技術の応用 2	相談援助技術の活用②	古屋 純一
37-44	10/30	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の技術のまとめ	グループワーク	遠藤 慶子
45-52	11/13	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の技術の応用 3	相談援助技術の活用③	古屋 純一
53-60	12/8	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の技術のまとめ	グループワーク	古屋 純一
成績評価の方法						
授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。出席状況および授業態度、グループディスカッションの参加状況を総合的に評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
相談援助の実践について、あらかじめ教科書や関連するWebsiteを参照し、関連する事項や事例について、各自で事前学習しておくこと。						
教科書						
社会福祉士相談援助演習／日本社会福祉士養成校協会 監修、長谷川匡俊、上野谷加代子、白澤政和、中谷陽明 編集、中央法規出版、						

2015

備考

担当教員(非常勤)

堀千鶴子 城西国際大学

時間割番号	022094					
科目名	福祉計画					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	後期	対象年次	4	単位数	1	
科目名:福祉計画						
主な講義場所 口腔保健学科 第2講義室						
授業の目的、概要等 福祉計画の基本的事項を理解し、社会福祉の位置づけ、枠組みを修得する。						
授業の到達目標 ・福祉計画の意義と目的を説明できる。 ・福祉計画の主体と方法について説明できる。 ・福祉計画についてその種類、内容について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	8/31	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉計画の意義と目的	行政の総合計画と福祉計画、福祉 計画の法的根拠など	佐藤 信人 遠藤 慶子
4-7	8/31	13:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉計画の理論と技法	福祉計画の基本的視点、ニーズ の把握、評価、住民参加	佐藤 信人
8-10	9/1	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉計画の実際1	老人福祉計画・介護保険事業計 画、障害者計画・障害福祉計画	佐藤 信人
11-15	9/1	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉計画の実際2	次世代育成支援行動計画、地域福 祉計画	佐藤 信人 遠藤 慶子
成績評価の方法 ・授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。 ・グループディスカッション(事例検討など)の参加状況を評価に加味する。 ・定期試験を実施し、総合的に評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
教科書 新・社会福祉士養成講座／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版、2014						
備考 担当教員(非常勤) 佐藤信人 認知症介護研究・研修東京センター						

時間割番号	022095					
科目名	司法福祉					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	1	
科目名: 司法福祉						
授業の目的、概要等						
現代社会における更生保護制度の実効性(エビデンス)について理解する。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・刑事司法のなかの更生保護制度の概要が説明できる。 ・更生保護制度における関係機関・団体との連携を説明できる。 ・更生保護の実際と今後の展望について考えることができる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	9/19	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	更生保護制度の概要	刑事司法のなかの更生保護	長谷川 洋昭 遠藤 慶子
4-8	9/19	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	更生保護制度の担い手	保護観察官、保護司、更生保護施設等	長谷川 洋昭
9-11	9/20	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	更生保護制度における 関係機関・団体との連携	裁判所、検察庁、矯正施設、児童 相談所、公共職業安定所・福祉事 務所等	長谷川 洋昭
12-15	9/20	13:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	更生保護の実際と今後 の展望	社会復帰にむけて	長谷川 洋昭 遠藤 慶子
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。 ・グループディスカッション(事例検討など)の参加状況を評価に加味する。 ・定期試験を実施し、総合的に評価する。 						
準備学習などについての具体的な指示						
教科書						
新・社会福祉士養成講座／社会福祉士養成講座編集委員会 編集、中央法規出版、2014 20 更生保護制度 第3版						
参考書						
新・社会福祉士養成講座／社会福祉士養成講座編集委員会 編集、中央法規出版、2014						
備考						
事前に資料の配付、e-learning システム上へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。						
担当教員(非常勤)						
長谷川洋昭 田園調布学園大学						

時間割番号	022096					
科目名	福祉運営管理					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	後期	対象年次	4	単位数	2	
科目名:福祉運営管理						
授業の目的、概要等						
・福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論およびサービス経営と管理運営の特徴について理解する。						
授業の到達目標						
・福祉サービスに係る組織や団体(社会福祉法人、医療法人、特定非営利活動法人、営利法人、市民団体、自治会など)について説明できる。						
・福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論について説明できる。						
・福祉サービスの経営と管理運営について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-5	10/20	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	オリエンテーション 福祉サービスの組織と 経営の基礎理論1	授業の説明、学習内容の確認、重 要事項の概説、ロジカルシンキン グ、フレームワーク リーダーシ ップ、組織間ネットワーク、チーム アプローチ	川淵 孝一、 遠藤 慶子
6-10	10/27	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉サービスの管理運 営の方法	会計管理と財務管理	川淵 孝一
11-15	11/10	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉サービスにおける 組織と経営1 福祉 サービスの組織と経営 の基礎理論2	福祉サービス提供組織の経営を 支える財務と会計 戦略と事業 計画	川淵 孝一
16-20	11/17	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉サービスにおける 組織と経営2 福祉 サービスの組織や団体	福祉サービス提供組織の経営と 実態 社会福祉法人、医療法 人、特定非営利活動法人、営利法 人、市民団体、自治会・町内会など 福祉サービス提供組織の定義、組 織の特徴など 福祉サービス 提供組織の社会的役割、運営の 実態や課題	川淵 孝一
21-25	11/24	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉サービスの組織と 経営の基礎理論2 福祉サービスの管理運 営の方法① 事例研 究1	キャリア・パスの概要(仕組みと意 義)、職員研修システム、OJT、職 場のメンタルヘルス対策(現状と 課題) 人事管理と労務管理、人 材育成 真の地域包括ケアシス テムとは何か	川淵 孝一
26-30	12/1	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉サービスの管理運 営の方法② 事例研 究II	サービスマネジメント、サービス の質の評価、リスクマネジメント 情報管理と戦略的広報 福祉サ ービス提供組織における社会福 祉士の役割と位置づけ～医療・介 護に携わる管理者の取り組み(医 療・介護の現場のあり方)	川淵 孝一

<p>成績評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。 ・過去問をベースに毎回授業の最後にクイズを課す。これにクラスディスカッション(事例研究など)の参加状況を加味する。
<p>準備学習などについての具体的な指示</p>
<p>参考書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「福祉サービスの組織と経営 第4版(新・社会福祉士養成講座 第11巻)」社会福祉士養成講座編集委員会編 中央法規出版 ・一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会推薦テキスト「介護福祉経営士テキスト」シリーズ(全21巻) 日本医療企画 ・随時授業中に紹介する。
<p>履修上の注意事項</p> <p>事前に資料の配付、e-learning システム上へのアップロード等があった場合は、各自学習して授業に臨むこと。また、講義における質疑応答などには主体的に参加し、積極的に学ぶ意欲を持って授業に参加することを望む。</p>
<p>備考</p> <p>担当教員 川渕孝一 医療経済学分野</p>

時間割番号	022097					
科目名	就労支援サービス					
担当教員	遠藤 慶子					
開講時期	後期	対象年次	4	単位数	1	
科目名:就労支援サービス						
授業の目的、概要等						
<ul style="list-style-type: none"> ・社会的に不利な立場にある人々の就労を通じた社会経済的な参加とこれを支える社会の仕組みを理解する。 ・就労支援が個人の生活保障や少子高齢社会における活力ある社会・経済の形成に関わっていることを把握する。 ・各種の就労支援制度や就労支援に係る組織・専門職、就労支援分野との連携について理解する。 						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助活動において必要となる各種の就労支援制度について説明できる。 ・就労支援に係る組織、団体及び専門職について説明できる。 ・社会福祉士と就労支援分野の専門職及び専門機関の連携について説明できる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	9/5	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	人が働くということ	労働の意義、社会的不利と労働	引馬 知子、 遠藤 慶子
4-8	9/5	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	雇用・就労の動向と支 援、就労支援制度の現 状と課題	社会経済情勢と雇用就労の現状	引馬 知子
9-11	9/6	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	就労支援制度における 専門職の役割と実際	(障害)就労支援員、生活支援員、 ジョブコーチ等 (低所得)生活保 護の現業員、就労支援員、就労支 援コーディネーター等	引馬 知子
12-15	9/6	13:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	就労支援分野との連携 と実際、就労支援と新た な試み	連携の過程・意義・実際 均等待 遇政策を含む国際的動向	引馬 知子、 遠藤 慶子
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。 ・グループディスカッション(事例検討など)の参加状況を評価に加味する。 ・定期試験を実施し、総合的に評価する。 						
準備学習などについての具体的な指示						
教科書						
「新・社会福祉養成課程対応 就労支援サービス」:みらい, 2015						
備考						
事前に資料の配付、e-learning システム上へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。						
担当教員(非常勤)						
引馬知子 田園調布学園大学						

時間割番号	022098					
科目名	健康教育の企画と実践Ⅱ					
担当教員	小原 由紀 近藤 圭子					
開講時期	前期	対象年次	4	単位数		
主な講義場所						
口腔保健学科第2講義室						
授業の目的、概要等						
<ul style="list-style-type: none"> ・個別性を重視した健康教育を実践するために必要な情報分析、計画立案を行う。 ・実施した健康教育の成果を評価する。 						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージごとの健康課題を説明できる。 ・プライマリヘルスケアの重要性を説明できる。 ・周術期口腔機能管理、在宅療養管理指導の意義目的を説明する 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	4/14	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	インプラント装着患者への健康教育	インプラント周囲炎への対応 術前、術後のセルフケアについて インプラントメンテナンス	小原 由紀
4-6	4/21	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	学校保健と学校歯科保健	思春期の健康課題と食生活	小原 由紀
7-9	5/12	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	医療コミュニケーション	ヘルスカウンセリング技法	小原 由紀
10-12	5/19	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	産業歯科保健における健康教育	禁煙支援 産業保健における歯科衛生士の取り組み	小原 由紀 深川 優子
13-15	5/26	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	がん等周術期患者における健康教育	周術期口腔機能管理 ケース検討	小原 由紀
16-18	6/2	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	全身疾患を有する患者への歯科保健指導	五大疾患と口腔ケア	小原 由紀
19-21	6/9	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	高齢期における健康教育	加齢に伴う心身の変化 居宅療養管理指導	小原 由紀
22-24	6/16	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	課題演習	事例学習	小原 由紀
25-27	6/23	09:00-11:50	口腔保健 学科第1 講義室	地域歯科保健	地域包括ケアシステムにおける歯科の役割	小原 由紀
28-30	6/30	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	特別なニーズを有する対象者への健康教育	妊産婦、精神疾患患者への対応	小原 由紀
31	7/7	09:00-09:50	口腔保健 学科第2 講義室	健康教育と歯科衛生活動	事例学習	小原 由紀

32-33	7/7	10:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	歯科衛生士と就労	歯科衛生士のキャリアデザイン	小原 由紀	
34-36	11/20	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	歯科保健指導の今後の 展開	口腔衛生、公衆衛生の課題 歯科 保健指導の展開における課題	小原 由紀	
37	12/4	09:00-09:50	口腔保健 学科第2 講義室	総括	総括	小原 由紀	
成績評価の方法							
<ul style="list-style-type: none"> ・期末試験、レポートによる総合的評価 ・出席状況、意欲・授業態度を総合的評価に加味する。 							
準備学習などについての具体的な指示							
<ul style="list-style-type: none"> ・事前に確認すべき課題がある場合は、Webclass にアップロードする。 ・2 年次、3 年次の健康教育の講義・実習で使用した資料を確認する。 							
試験の受験資格							
<ul style="list-style-type: none"> ・試験規則を確認すること。出席時間不足の場合は、受験することができない。 							
教科書							
歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修、高阪利美 ほか著、:医歯薬出版, 2011 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み: 医歯薬出版, 2014							
参考書							
最新歯科衛生士教本 小児歯科／大嶋隆 ほか著、:医歯薬出版, 2009 プラークコントロールのためのホームケア指導 : 口腔リスクとライフステージに応じた最新処方／荒川浩久 監修、:クインテッセンス出版, 2000 口腔の成育をはかる／佐々木洋, 田中英一, 菅原準二 編著、:医歯薬出版, 2003							
履修上の注意事項							
<ul style="list-style-type: none"> ・試験規則の条件を満たさない場合、単位を認めない。 ・実習への取り組みが不適切な場合、実習中止となることを認識する。 							
連絡先							
小原 由紀:ohara.pvoh@tmd.ac.jp 近藤 圭子:solan.ito@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
小原 由紀:随時 近藤 圭子:随時(メール等で連絡の上、約束してから来室してください)							